

No.38

# 委員 会 報

平成21年版

沖 繩 県 議 会

# 目 次

## 1 平成20年第4回沖縄県議会（定例会）閉会中継続審査（調査）

1) 総務企画委員会	
委員会記録	1
議案処理一覧表	2
不発弾爆発事故への対応及び不発弾等の早期処理に関する意見書	2
不発弾爆発事故への対応及び不発弾等の早期処理に関する決議	3
委員派遣	4
2) 経済労働委員会	
委員派遣	4
3) 文教厚生委員会	
委員会記録	4
委員派遣	5
4) 観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会	
委員派遣	5

## 2 平成21年第3回沖縄県議会（定例会）

1) 総務企画委員会	
委員会記録	7
議案処理一覧表	10
陳情処理一覧表	11
閉会中継続審査（調査）事件一覧	12
2) 経済労働委員会	
委員会記録	13
議案処理一覧表	15
陳情処理一覧表	16
閉会中継続審査（調査）事件一覧	16
3) 文教厚生委員会	
委員会記録	17
議案処理一覧表	21
請願・陳情処理一覧表	21
閉会中継続審査（調査）事件一覧	24
沿岸域における漂流・漂着ごみ対策に関する意見書	26
県立病院のあり方に関する決議	27
4) 土木委員会	
委員会記録	27
議案処理一覧表	29
陳情処理一覧表	30
閉会中継続審査（調査）事件一覧	30
5) 米軍基地関係特別委員会	
委員会記録	31

陳情処理一覧表	32
閉会中継続審査（調査）事件一覧	32
金武町伊芸区流弾事故の真相究明に関する意見書	33
金武町伊芸区流弾事故の真相究明に関する抗議決議	33
普天間飛行場燃料流出事故に関する意見書	34
普天間飛行場燃料流出事故に関する抗議決議	34
6) 観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会	
委員会記録	35
閉会中継続審査（調査）事件一覧	36
7) 沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会	
委員会記録	36
閉会中継続審査（調査）事件一覧	37
8) 予算特別委員会	
委員会記録	37
議案処理一覧表	53
<b>3 平成21年第3回沖縄県議会（定例会）閉会中継続審査（調査）</b>	
1) 総務企画委員会	
委員会記録	57
委員派遣	57
2) 経済労働委員会	
委員会記録	57
委員派遣	58
3) 文教厚生委員会	
委員会記録	59
国立沖縄青少年交流の家存続に関する意見書	59
委員派遣	60
4) 土木委員会	
委員会記録	61
直轄国道3事業の凍結解除を求める意見書	61
<b>4 平成21年第4回沖縄県議会（定例会）</b>	
1) 総務企画委員会	
委員会記録	63
議案処理一覧表	66
陳情処理一覧表	66
閉会中継続審査（調査）事件一覧	67
2) 経済労働委員会	
委員会記録	68
議案処理一覧表	69
陳情処理一覧表	70
閉会中継続審査（調査）事件一覧	71
さとうきび農家基本政策確立等に関する意見書	71
3) 文教厚生委員会	
委員会記録	72

	議案処理一覧表	75
	請願・陳情処理一覧表	76
	閉会中継続審査（調査）事件一覧	79
4)	土木委員会	
	委員会記録	81
	議案処理一覧表	82
	閉会中継続審査（調査）事件一覧	83
5)	米軍基地関係特別委員会	
	委員会記録	83
	陳情処理一覧表	84
	閉会中継続審査（調査）事件一覧	85
6)	観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会	
	委員会記録	86
	閉会中継続審査（調査）事件一覧	87
7)	沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会	
	委員会記録	87
	閉会中継続審査（調査）事件一覧	88
<b>5</b>	<b>平成21年第4回沖縄県議会（定例会）閉会中継続審査（調査）</b>	
1)	文教厚生委員会	
	委員会記録	89
	委員派遣	89
2)	沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会	
	委員派遣	89
<b>6</b>	<b>平成21年第5回沖縄県議会（定例会）</b>	
1)	総務企画委員会	
	委員会記録	91
	議案処理一覧表	93
	陳情処理一覧表	94
	閉会中継続審査（調査）事件一覧	94
2)	経済労働委員会	
	委員会記録	96
	議案処理一覧表	97
	陳情処理一覧表	97
	閉会中継続審査（調査）事件一覧	97
	所得税法第56条の廃止を求める意見書	98
	WTO、EPA及びFTAの交渉に関する意見書	98
3)	文教厚生委員会	
	委員会記録	99
	議案処理一覧表	102
	陳情処理一覧表	103
	閉会中継続審査（調査）事件一覧	103
4)	土木委員会	
	委員会記録	106

	議案処理一覧表 .....	107
	陳情処理一覧表 .....	107
	閉会中継続審査（調査）事件一覧 .....	108
5)	米軍基地関係特別委員会	
	委員会記録 .....	109
	閉会中継続審査（調査）事件一覧 .....	110
6)	観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会	
	委員会記録 .....	111
	閉会中継続審査（調査）事件一覧 .....	112
7)	沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会	
	委員会記録 .....	112
	閉会中継続審査（調査）事件一覧 .....	113
	那覇空港に係る公租公課の軽減を求める意見書 .....	113
8)	決算特別委員会	
	委員会記録 .....	113
	閉会中継続審査（調査）事件一覧 .....	114
<b>7</b>	<b>平成21年第5回沖縄県議会（定例会）閉会中継続審査（調査）</b>	
1)	文教厚生委員会	
	委員会記録 .....	117
2)	土木委員会	
	委員派遣 .....	117
3)	米軍基地関係特別委員会	
	委員派遣 .....	117
4)	決算特別委員会	
	委員会記録 .....	118
	決算処理一覧表 .....	135
<b>8</b>	<b>平成21年第6回沖縄県議会（定例会）</b>	
1)	総務企画委員会	
	委員会記録 .....	137
	議案処理一覧表 .....	140
	閉会中継続審査（調査）事件一覧 .....	141
2)	経済労働委員会	
	委員会記録 .....	143
	議案処理一覧表 .....	145
	陳情処理一覧表 .....	145
	閉会中継続審査（調査）事件一覧 .....	145
	駐留軍等労働者の給与水準見直しに関する意見書 .....	146
3)	文教厚生委員会	
	委員会記録 .....	146
	議案処理一覧表 .....	149
	陳情処理一覧表 .....	149
	閉会中継続審査（調査）事件一覧 .....	149
	ハンセン病療養所の将来構想実現等に関する意見書 .....	152

	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書	153
	核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書	153
	核兵器の廃絶と恒久平和を求める決議	154
4)	土木委員会	
	委員会記録	154
	議案処理一覧表	157
	陳情処理一覧表	157
	閉会中継続審査(調査)事件一覧	157
	県内建設業の安定に関する要請決議	158
	委員派遣	159
5)	米軍基地関係特別委員会	
	委員会記録	159
	閉会中継続審査(調査)事件一覧	160
	米軍人車両によるひき逃げ事件に関する意見書	161
	米軍人車両によるひき逃げ事件に関する抗議決議	162
6)	観光振興・新石垣空港建設促進特別委員会	
	委員会記録	163
	閉会中継続審査(調査)事件一覧	164
7)	沖縄振興・那覇空港整備促進特別委員会	
	委員会記録	164
	閉会中継続審査(調査)事件一覧	165
9	議案の会期別委員会別付託・処理内訳	167
10	請願・陳情の会期別委員会別付託・処理内訳	171
11	会期別委員会日等一覧	175
12	会派別常任・議会運営・特別委員一覧	177
13	委員会関係条例・規則等	179

平成20年第4回沖縄県議会(定例会)

閉会中継続審査(調査)

# 総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年1月7日(水曜日)

開 会 午前10時3分  
散 会 午前11時24分  
場 所 第4委員会室  
議 題

1 平成20年第4回議会乙第1号議案 沖縄県  
行政機関設置条例の一部を改正する等の条例

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	照 屋 守 之 君
	浦 崎 唯 昭 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	糸 洲 朝 則 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 義 和 君

欠 席

吉 元 義 彦 君

説明員の職、氏名

総 務 部 長 宮 城 嗣 三 君

審査概要

平成20年第4回議会乙第1号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、支庁改編に対する地元の理解状況、地元紙社説についての県の見解、これまでの支庁長の役割に対する県の評価、地域振興に向けた県の支援体制、市町村への権限委譲予定、支庁長廃止に伴う機能低下の懸念、宮古・八重山事務所長等の職位、行財政改革に伴う経費節減効果、行財政改革における支庁再編の位置づけ、地元説明会における市長の反応、支庁改編の目的、地元行政関係者との意見交換の状況、支庁改編準備作業に要する期間、地元住民に対する説明状況、行政サービスの低下を招かない根拠等について質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、共産党所属委員か

ら反対の意見が表明された。

次に、議案1件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、社民・護憲ネット所属委員から附帯動議が提出された。

次に、附帯動議を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(2)

◎平成21年1月15日(木曜日)

開 会 午後1時3分  
散 会 午後1時7分  
場 所 第4委員会室  
議 題

1 視察調査日程について

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
委 員	島 袋 大 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	玉 城 義 和 君

欠 席

山 内 末 子 さん
吉 元 義 彦 君
照 屋 守 之 君
浦 崎 唯 昭 君
糸 洲 朝 則 君
新 垣 清 涼 君

審査概要

視察調査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成21年1月20日(火曜日)

開 会 午前9時3分  
散 会 午前10時57分  
場 所 第4委員会室  
議 題

1 広報、危機管理及び消防防災について(糸満市の不発弾爆発事故について)

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん

委員 島袋大君  
照屋守之君  
浦崎唯昭君  
崎山嗣幸君  
新里米吉君  
前田政明君  
糸洲朝則君  
新垣清涼君  
玉城義和君

知事公室長 上原昭君  
土木建築部参事  
兼技術管理課長 比嘉和夫君  
土木建築部  
道路管理課長 前泊勇栄君  
警察本部刑事部長 日高清晴君

**審査概要**

糸満市の不発弾爆発事故について知事公室長及び警察本部刑事部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

なお、「不発弾爆発事故への対応及び不発弾等の早期処理に関する意見書」及び「同決議」を別掲のとおり提出することとなった。

欠席

吉元義彦君  
金城勉君

説明員の職、氏名

**総務企画委員会議案処理一覧表**

イ 処理（1件）

議案番号	議案名	議決の結果
平成20年 第4回議会 乙第1号	沖縄県行政機関設置条例の一部を改正する等の条例	多数 原案可決

(別紙)

平成20年第4回議会乙第1号議案沖縄県行政機関設置条例の一部を改正する等の条例に対する附帯決議

沖縄県行政機関設置条例の一部を改正する等の条例の施行に当たっては、宮古・八重山地域住民の要望にこたえるため、以下のことについて万全を期すこと。

- 1 これまで宮古支庁・八重山支庁が担っていた各種施策・事業については、支庁組織改編後も引き続き確実に実施し、住民サービスの向上を図ること。
- 2 現在進めている伊良部大橋の整備や新石垣空港の建設等の重要施策を着実に推進するとともに、宮古・八重山地域の振興・発展に努めること。
- 3 災害時の危機管理等に関する総合調整機能を確保すること。
- 4 宮古事務所・八重山事務所の所長は、参事監を配置すること。

**不発弾爆発事故への対応及び不発弾等の早期処理に関する意見書**

去る1月14日午前8時ごろ、糸満市字小波蔵の水道管布設工事現場で米国製爆弾による爆発事故が突如あり、重機の運転手ら2人の負傷と近隣の老人ホーム等のガラス等の破損被害が発生した。幸い重大な結果には至らなかったものの一步間違えば悲惨な事故につながりかねなかったことから、県民は不安

と恐怖を抱くとともに、戦後63年を経た今日でもなお地中に埋没する不発弾等の上での生活を強いられ、いつ爆発が起きても不思議ではないという現実を改めて突きつけられたことに大きな衝撃を受けている。

ところで、県内には約2300トンの不発弾等が埋没しているとされており、これまでの年間30トンの処理量のペースでいくとあと70年かかると見込まれているが、第2次世界大戦の負の遺産である埋没不発弾等の処理が遅々として進まない大きな理由は、国による戦後処理が十分になされていないことや、他

県との均衡を理由に不発弾等の処理費用の半額を市町村に負担させてきたこと、民間の工事は補助の対象外とされてきたこと、不発弾等の爆発事故を未然に防ぐための唯一の手段である磁気探査の徹底が経費等の理由から見合わせてきたことなどである。

これに対し、国は平成21年度予算案で、市町村が半額を負担してきた不発弾等の処理費用を、来年度から沖縄に限って国が全額負担することを決定したが、一つの改善としてはとらえられるものの、民間工事が依然として除外されていることから、県民は、県民の生命・財産を守るためには、公共工事への対応改善と同様の対応を民間工事にも適用し、一日でも早く県内から埋没不発弾等をなくすことを切望している。

よって、国におかれては、県民の生命・財産・生活の安全を確保するため、今回の不発弾爆発事故への対応及び不発弾等の早期処理に関して、下記の事項が早急に措置されるよう強く要請する。

#### 記

- 1 今回の不発弾爆発事故による人身及び物件に対する損傷及び損害に対しては、国の責任において速やかに完全な補償をすること。
- 2 不発弾等爆発事故による人身及び物件に対する損傷及び損害に対しては、新たな補償制度を創設するなどを含め国の責任において対応すること。
- 3 沖縄県内に埋没、放置されている不発弾等の発見及び処理にかかる費用は、公共、民間問わずすべて国の負担とすること。
- 4 これまでの探査実施基準を早急に見直して、今後、民間の工事を含め磁気探査を義務づけるとともに、不発弾等を発見するための磁気探査等を徹底して実施すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年2月2日

沖縄県議会

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
法務大臣

財務大臣 } あて  
農林水産大臣 }  
国土交通大臣 }  
防衛大臣 }  
沖縄及び北方対策担当大臣 }

## 不発弾爆発事故への対応及び不発弾等の早期処理に関する決議

去る1月14日午前8時ごろ、糸満市字小波蔵の水道管布設工事現場で米国製爆弾による爆発事故が突如あり、重機の運転手ら2人の負傷と近隣の老人ホーム等のガラス等の破損被害が発生した。幸い重大な結果には至らなかったものの一步間違えば悲惨な事故につながりかねなかったことから、県民は不安と恐怖を抱くとともに、戦後63年を経た今日でもなお地中に埋没する不発弾等の上での生活を強いられ、いつ爆発が起きても不思議ではないという現実を改めて突きつけられたことに大きな衝撃を受けている。

ところで、県内には約2300トンの不発弾等が埋没しているとされており、これまでの年間30トンの処理量のペースでいくとあと70年かかると見込まれているが、第2次世界大戦の負の遺産である埋没不発弾等の処理が遅々として進まない大きな理由は、国による戦後処理が十分になされていないことや、他県との均衡を理由に不発弾等の処理費用の半額を市町村に負担させてきたこと、民間の工事は補助の対象外とされてきたこと、不発弾等の爆発事故を未然に防ぐための唯一の手段である磁気探査の徹底が経費等の理由から見合わせてきたことなどである。

これに対し、国は平成21年度予算案で、市町村が半額を負担してきた不発弾等の処理費用を、来年度から沖縄に限って国が全額負担することを決定したが、一つの改善としてはとらえられるものの、民間工事が依然として除外されていることから、県民は、県民の生命・財産を守るためには、公共工事への対応改善と同様の対応を民間工事にも適用し、一日でも早く県内から埋没不発弾等をなくすことを切望している。

よって、県におかれては、県民の生命・財産・生活の安全を確保するため、今回の不発弾爆発事故への対応及び不発弾等の早期処理に関して、下記の事項が早急に措置されるよう強く要請する。

記

- 1 今回の不発弾爆発事故による人身及び物件に対する損傷及び損害に対しては、国の責任において速やかに完全な補償をするよう国に要請すること。
  - 2 不発弾等爆発事故による人身及び物件に対する損傷及び損害に対しては、新たな補償制度を創設するなどを含め国の責任において対応するよう国に要請すること。
  - 3 沖縄県内に埋没、放置されている不発弾等の発見及び処理にかかる費用は、公共、民間問わずすべて国の負担とするよう国に要請すること。
  - 4 これまでの探査実施基準を早急に見直して、今後、民間の工事を含め磁気探査を義務づけるとともに、不発弾等を発見するための磁気探査等を徹底して実施するよう国に要請すること。
- 上記のとおり決議する。

平成21年2月2日

沖 縄 県 議 会

沖縄県知事 あて

総務企画委員会  
委員派遣

(1)

視察調査の日時

平成21年1月15日(1日)

視察調査の場所

糸満市

視察調査事項

- 1 広報、危機管理及び消防防災について(不発弾事故調査)

参 加 者

委 員 長	當 間 盛 夫 君
委 員	島 袋 大 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	玉 城 義 和 君

経済労働委員会  
委員派遣

(1)

視察調査の日時

自 平成21年1月18日 (6日間)  
至 平成21年1月23日

視察調査の場所

中国寿光市、青島市、上海市及び香港

視 察 調 査 事 項

- 1 農林水産業について(山東省における大規模集約的農業等について)
- 2 商・鉱・工業について(上海におけるIT産業、人材育成状況、県産品の需要動向等について)
- 3 商・鉱・工業について(香港における県産品販路拡大施策、市場の需要動向等について)

参 加 者

委 員 長	玉 城 ノブ子 さん
副 委 員 長	瑞慶覧 功 君
委 員	中 川 京 貴 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	具 志 孝 助 君
	仲宗根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君
	渡久地 修 君
	上 里 直 司 君
	玉 城 満 君

文教厚生委員会  
委員会記録

(1)

◎平成21年1月19日(月曜日)

開 会 午後2時5分

散 会 午後3時0分

場 所 第2委員会室

議 題

- 1 医療及び保健衛生について(食品の安心・安全問題について)

出 席

委 員 長 赤 嶺 昇 君

副委員長 西銘純恵さん  
 委員 桑江朝千夫君  
 佐喜真 淳君  
 仲田弘毅君  
 翁長政俊君  
 仲村未央さん  
 渡嘉敷喜代子さん  
 上原章君  
 比嘉京子さん  
 奥平一夫君

奥平一夫君

## 観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 委員派遣

(1)

### 視察調査の日時

自 平成21年1月27日  
 至 平成21年1月30日 (4日)

### 視察調査の場所

奈良県、大阪府及び兵庫県

### 視察調査事項

- 1 歴史・文化資産と観光拠点づくりの取り組みについて
- 2 修学旅行の現状と誘致の取り組みについて
- 3 ボランティアガイドによる観光案内の実体験について
- 4 観光振興のための取り組みについて
- 5 送客側から見た沖縄観光について
- 6 神戸港旅客専用ターミナルとクルーズ客船の概要について
- 7 神戸港旅客専用ターミナルの視察について
- 8 観光客誘致の取り組みと外国人観光客の現状について

### 参加者

委員長 比嘉京子さん  
 副委員長 辻野ヒロ子さん  
 委員 座喜味一幸君  
 新垣良俊君  
 仲宗根悟君  
 高嶺善伸君  
 金城勉君  
 赤嶺昇君  
 平良昭一君

### 説明員の職、氏名

福祉保健部長 伊波輝美さん  
 薬務衛生課主幹 與那原良克君

### 審査概要

医療及び保健衛生についてに係る食品の安心・安全問題について福祉保健部長から説明を聴取した後、質疑に入り、屠殺検査体制の現状、屠殺検査の方法、病畜肉の流通事故の原因と今後の対策等について質疑が行われた。

## 文教厚生委員会 委員派遣

(1)

### 視察調査の日時

平成21年1月19日 (1日)

### 視察調査の場所

南城市

### 視察調査事項

医療及び保健衛生について (食品の安全・安心問題について)

### 参加者

委員長 赤嶺昇君  
 副委員長 西銘純恵さん  
 委員 桑江朝千夫君  
 佐喜真 淳君  
 仲田弘毅君  
 翁長政俊君  
 仲村未央さん  
 渡嘉敷喜代子さん  
 上原章君  
 比嘉京子さん

平成21年第3回沖縄県議会(定例会)

# 総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年2月26日(木曜日)

開 会 午後7時57分  
散 会 午後8時00分  
場 所 第4委員会室  
議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	浦 崎 唯 昭 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	糸 洲 朝 則 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 義 和 君

欠 席

吉 元 義 彦 君
照 屋 守 之 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年3月2日(月曜日)

開 会 午前10時4分  
散 会 午後0時1分  
場 所 第4委員会室  
議 題

1 乙第4号議案 沖縄県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例(先議)  
2 乙第42号議案 沖縄県不発弾等対策安全基金条例(先議)

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	照 屋 守 之 君

浦 崎 唯 昭 君
崎 山 嗣 幸 君
新 里 米 吉 君
前 田 政 明 君
金 城 勉 君
糸 洲 朝 則 君
新 垣 清 涼 君
玉 城 義 和 君

欠 席

吉 元 義 彦 君
-----------

説明員の職、氏名

知事公室長	上 原 昭 君
防災危機管理課長	饒平名 知 成 君
総務部長	宮 城 嗣 三 君
総務統括監	杉 浦 友 平 君
人事課行政管理監	謝 花 喜 一 郎 君
企画部市町村課 行政体制企画監	漢 那 宗 善 君
福祉保健部 薬務衛生課長	金 城 康 政 君
土木建築部 建築指導課班長	運 天 勇 君

審査概要

乙第4号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、都市計画区域外での開発行為の許可等に関する事務の内容、事務手数料の収入先、墓地、埋葬等に関する法律に基づく事務を市町村に移譲する理由、権限移譲に伴う市町村の業務量増加に対応する人員増や予算の問題、権限移譲に際しての市町村議会の議決の必要性、パスポートの受付・交付事務の権限移譲の状況等について質疑が行われた。

次に、乙第42号議案について知事公室長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、基金設置に伴う国への責任の求め方、財源である特別調整費が活用可能な期限、民間工事等の際の不発弾等探査が国の負担でできない理由、不発弾等爆発事故の被害補償における公共工事と民間工事との区別の有無、公共事業における不発弾等探査の補助率の問題点、補償額の算定方法等について質疑が行われた。

次に、議案2件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(3)

◎平成21年3月17日(火曜日)

開 会 午前10時1分

散 会 午後2時40分

場 所 第4委員会室

議 題

- 1 乙第1号議案 沖縄県行政機関設置条例の一部を改正する条例
- 2 乙第2号議案 沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例等の一部を改正する条例
- 3 乙第3号議案 沖縄県職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 4 乙第5号議案 沖縄県職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- 5 乙第6号議案 沖縄県職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例
- 6 乙第7号議案 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
- 7 乙第29号議案 包括外部監査契約の締結について
- 8 乙第30号議案 全国自治宝くじ事務協議会への岡山市の加入及びこれに伴う全国自治宝くじ事務協議会規約の一部の変更について
- 9 乙第31号議案 西日本宝くじ事務協議会への岡山市の加入及びこれに伴う西日本宝くじ事務協議会規約の一部の変更について
- 10 乙第40号議案 沖縄県教育委員会委員の任命について
- 11 乙第43号議案 沖縄県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 12 陳情平成20年第83号、同第86号、同第87号、同第101号、同第127号、同第151号、同第163号、同第178号から同第180号まで、同第190号、同第191号、陳情第10号、第58号及び第59号

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	照 屋 守 之 君
	浦 崎 唯 昭 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君

前 田 政 明 君
金 城 勉 君
糸 洲 朝 則 君
新 垣 清 涼 君
玉 城 義 和 君

説明員の職、氏名

総 務 部 長	宮 城 嗣 三 君
総務統括監	杉 浦 友 平 君
総務私学課長	真栄城 香代子 さん
人 事 課 長	當 間 秀 史 君
人事課行政管理監	謝 花 喜 一 郎 君
財 政 課 長	小橋川 健 二 君
税 務 課 長	下 地 功 君
管 財 課 長	武 内 孝 夫 君
教育委員会	山 田 保 君
人事管理監	

審査概要

乙第1号議案から乙第3号議案まで、乙第5号議案から乙第7号議案まで、乙第29号議案から乙第31号議案まで、乙第40号議案及び乙第43号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第1号議案については、質疑なし。

乙第2号議案については、他の都道府県における実施状況について質疑が行われた。

乙第3号議案については、人事評価制度の目的、評価期間の変更内容、人事評価制度が対象者に与える心理的影響、人事評価と職員の精神疾患の関係、目標設定の方法、職員給与への影響、評価結果の反映方法等について質疑が行われた。

乙5号議案については、今後の手当見直しの予定、社会福祉手当などが大幅な減額になった理由、職業訓練手当が廃止になる理由、非常勤職員への適用の可否、他県との比較状況等について質疑が行われた。

乙第6号議案については、制度制定の目的、実際に本条例を適用した事例等について質疑が行われた。

乙第7号議案については、使用料等の改定内容及び准看護師再教育研修手数料の九州各県、全国との比較について質疑が行われた。

乙第29号議案については、包括外部監査の契約期間、契約金額の積算根拠、監査員の選任基準、監査事項の設定方法、監査結果の県政への反映等

について質疑が行われた。

乙第30号議案については、質疑なし。

乙第31号議案については、質疑なし。

乙第40号議案については、質疑なし。

乙第43号議案については、条例改正の背景、校長、教頭制度に加えて、さらに細かく副校長や主幹教諭を設ける理由、副校長の設置基準の内容、配置予定の見通し、職員給与の特例措置による削減金額、一人当たりの削減給与額、他都道府県の措置状況、組合との団体交渉の有無等について質疑が行われた。

次に、陳情15件について総務部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

#### (4)

#### ◎平成21年3月18日(水曜日)

開 会 午前10時33分

散 会 午後4時55分

場 所 第4委員会室

#### 議 題

- 1 乙第1号議案 沖縄県行政機関設置条例の一部を改正する条例
- 2 乙第2号議案 沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例等の一部を改正する条例
- 3 乙第3号議案 沖縄県職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 4 乙第5号議案 沖縄県職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- 5 乙第6号議案 沖縄県職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例
- 6 乙第7号議案 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
- 7 乙第8号議案 沖縄県統計調査条例
- 8 乙第25号議案 沖縄県警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例
- 9 乙第26号議案 沖縄県警察関係手数料条例の一部を改正する条例
- 10 乙第29号議案 包括外部監査契約の締結について
- 11 乙第30号議案 全国自治宝くじ事務協議会への岡山市の加入及びこれに伴う全国自治宝くじ事務協議会規約の一部の変更について
- 12 乙第31号議案 西日本宝くじ事務協議会へ

の岡山市の加入及びこれに伴う西日本宝くじ事務協議会規約の一部の変更について

- 13 乙第32号議案 第4次沖縄県国土利用計画(案)について
- 14 乙第40号議案 沖縄県教育委員会委員の任命について
- 15 乙第43号議案 沖縄県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 16 陳情平成20年第44号から同第49号まで、同第52号、同第54号、同第58号、同第60号、同第65号、同第76号、同第83号、同第85号から同第87号まで、同第91号、同第96号、同第101号、同第108号、同第127号、同第144号、同第150号、同第151号、同第163号、同第165号、同第166号、同第175号、同第178号から同第180号まで、同第190号、同第191号、同第196号、同第200号、陳情第7号、第10号、第15号、第17号、第19号、第27号から第29号まで、第38号、第49号、第58号、第59号及び第66号
- 17 総合開発及び地域振興について(国境離島対策について)
- 18 閉会中継続審査(調査)について

#### 出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	照 屋 守 之 君
	浦 崎 唯 昭 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	糸 洲 朝 則 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 義 和 君

#### 説明員の職、氏名

知事公室長	上 原 昭 君
基地対策課長	又 吉 進 君
企画部長	上 原 良 幸 君
交通政策課長	津 覇 隆 君
土地対策課長	下 地 喬 君
統計課長	具志堅 全 助 君

土木建築部 海岸防災課長	田 盛 繁 美 君
警察本部警務部長	児 嶋 洋 平 君
警察本部交通部長	古波蔵 正 君
警察本部警備部長	仲宗根 孝 君
人事委員会事務局長	伊 礼 幸 進 君

### 審査概要

乙第8号議案及び乙第32号議案について企画部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第8号議案については、条例の適用件数及び具体的な統計調査の内容について質疑が行われた。

乙第32号議案については、過去における自然環境への配慮の欠如に対する認識、国土利用計画と都市計画の関係、那覇市都市計画と国土利用計画の関係、北部振興策と国土利用計画の関係、県人口の推計根拠、国土利用計画における基地問題の取り扱い状況、基地の跡地利用計画の内容、災害対策と国土利用計画の関係等について質疑が行われた。

次に、陳情20件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、国境離島対策について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、乙第25号議案及び乙第26号議案について警察本部警務部長及び警察本部交通部長からそれぞれ提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、

乙第25号議案については、質疑なし。

乙第26号議案については、70歳以上の運転免許の保持者数、県内の高齢者の起こした事故の件数と全交通事故における割合、75歳以上の高齢者を対象に認知機能検査を行う理由、認知機能検査員講習の内容、県内の運転代行業者数と車両台数、運転代行業者の増加と飲酒運転件数の関係等について質疑が行われた。

次に、陳情2件について警察本部警備部長及び警察本部警務部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情11件について知事公室長から説明を聴取し、陳情1件について交通政策課長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について人事委員会事務局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第3号議案、乙第32号議案及び乙第43号議案については、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案15件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情48件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

## 総務企画委員会議案処理一覧表

### イ 処理（17件）

（先議）

議案番号	議案名	議決の結果
乙第4号	沖縄県の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第42号	沖縄県不発弾等対策安全基金条例	〃

議案番号	議案名	議決の結果
乙第1号	沖縄県行政機関設置条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第2号	沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	〃
乙第3号	沖縄県職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	多数 原案可決

議案番号	議案名	議決の結果
乙第5号	沖縄県職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第6号	沖縄県職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例	〃
乙第7号	沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	〃
乙第8号	沖縄県統計調査条例	〃
乙第25号	沖縄県警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例	〃
乙第26号	沖縄県警察関係手数料条例の一部を改正する条例	〃
乙第29号	包括外部監査契約の締結について	全会一致 可決
乙第30号	全国自治宝くじ事務協議会への岡山市の加入及びこれに伴う全国自治宝くじ事務協議会規約の一部の変更について	〃
乙第31号	西日本宝くじ事務協議会への岡山市の加入及びこれに伴う西日本宝くじ事務協議会規約の一部の変更について	〃
乙第32号	第4次沖縄県国土利用計画(案)について	多数 可決
乙第40号	沖縄県教育委員会委員の任命について	全会一致 同意
乙第43号	沖縄県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	多数 原案可決

### 総務企画委員会陳情処理一覧表

イ 処理(陳情4件)

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第163号 (継続)	平成20年 10月16日	地方税法第37条の2及び同法第314条の7に基づく条例改正に関する陳情	沖縄県私立大学協会 会長(沖縄大学学長) 桜井 国俊	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第166号 (継続)	平成20年 10月30日	台風13号による与那国町被災に対する救援を求める陳情	在沖八重山郷友会連合会 会長 大盛 永章	〃	〃
第7号	平成20年 12月24日	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める陳情	石垣市議会 議長 入嵩西 整	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(公安委員会)
第49号	平成21年 3月4日	不発弾等の処理に関する陳情	石垣市議会 議長 入嵩西 整	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)

ロ 審査未了（陳情5件）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名
第151号 (継続)	平成20年 9月26日	沖縄県八重山支庁の組織改編の見直しを求める陳情	石垣市議会 議長 入嵩西 整
第178号 (継続)	平成20年 11月19日	八重山支庁組織改編に関する陳情	八重山市町会 会長（石垣市長） 大濱 長照
第179号 (継続)	平成20年 11月19日	宮古支庁組織改編に関する陳情	宮古市村会 会長 伊志嶺 亮
第180号 (継続)	平成20年 11月19日	宮古支庁の組織改編方針の見直しを求める陳情	宮古島市議会 議員 仲間 明典 外9人
第10号	平成20年 12月24日	八重山支庁組織改編に関する陳情	在沖八重山郷友会連合会 会長 大盛 永意

## 総務企画委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第44号 有村産業株式会社 of 航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 2 陳情平成20年第45号 有村産業株式会社 of 航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 3 陳情平成20年第46号 有村産業株式会社 of 航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 4 陳情平成20年第47号 有村産業株式会社 of 航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 5 陳情平成20年第48号 有村産業株式会社 of 航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 6 陳情平成20年第49号 有村産業株式会社 of 航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 7 陳情平成20年第52号 有村産業株式会社 of 航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 8 陳情平成20年第54号 有村産業株式会社 of 航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 9 陳情平成20年第58号 有村産業株式会社 of 航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 10 陳情平成20年第60号 八重山航路の存続を求める陳情
- 11 陳情平成20年第65号 「旧軍飛行場問題解決に向けた沖振計特別枠の設置を求める意見書」の採択を求める陳情
- 12 陳情平成20年第76号 那覇市地域再生計画の実態調査及び那覇市に対する措置に関する陳情
- 13 陳情平成20年第83号 消費税の増税に反対する陳情
- 14 陳情平成20年第85号 先島航路並びに台湾航路存続と雇用確保を求める陳情
- 15 陳情平成20年第86号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 16 陳情平成20年第87号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 17 陳情平成20年第91号 那覇バスターミナル機能の維持に関する陳情
- 18 陳情平成20年第96号 軽油価格の高騰により存亡の危機に瀕しているトラック運送業界に関する陳情
- 19 陳情平成20年第101号 燃料価格高騰対策に関する陳情
- 20 陳情平成20年第108号 原油価格高騰対策に関する陳情
- 21 陳情平成20年第127号 原油・食料など生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める陳情
- 22 陳情平成20年第144号 地上警戒管制レーダーの配備中止を求める陳情
- 23 陳情平成20年第150号 航空自衛隊那覇基地へのF15戦闘機配備などの機能強化に反対し、那覇空港の民間専用化を求める意見書の可決を求める陳情
- 24 陳情平成20年第165号 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳情
- 25 陳情平成20年第175号 第58回婦人大会の宣言・

# 経済労働委員会 委員会記録

- 決議の実現方に関する陳情
- 26 陳情平成20年第190号 私学助成に関する意見書の提出を求める陳情
- 27 陳情平成20年第191号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 28 陳情平成20年第196号 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳情
- 29 陳情平成20年第200号 沖縄県行政オンブズマンの職務不履行に関する陳情
- 30 陳情第15号 水産海洋研究センターの喜屋武地域への早期移転整備に関する陳情
- 31 陳情第17号 沖縄警察署の沖縄市への存続を求める陳情
- 32 陳情第19号 沖縄県所在旧軍飛行場用地問題解決に関する陳情
- 33 陳情第27号 旧軍飛行場用地問題解決のための事業の早期実現を求める陳情
- 34 陳情第28号 旧日本軍飛行場用地問題の解決に向けた事業の早期実現を求める陳情
- 35 陳情第29号 病院事業局における臨床心理士の採用に関する陳情
- 36 陳情第38号 (仮称) 沖縄県警察運転免許センター隣接地(未公募区画地)への協会用地取得に関する陳情
- 37 陳情第58号 琉球大学の外国語授業削減に関する陳情
- 38 陳情第59号 沖子連事務所の賃貸料免除に関する陳情
- 39 陳情第66号 自衛隊ヘリのキャンプ・ハンセン内レンジ4使用に関する陳情
- 40 広報、危機管理及び消防防災について(所管事務調査)
- 41 予算及び行財政について(所管事務調査)
- 42 県税及び公有財産について(所管事務調査)
- 43 市町村行財政について(所管事務調査)
- 44 県職員の給与について(所管事務調査)
- 45 学事について(所管事務調査)
- 46 県庁舎について(所管事務調査)
- 47 総合開発及び地域振興について(所管事務調査)
- 48 交通運輸及び通信について(所管事務調査)
- 49 土地利用対策について(所管事務調査)
- 50 警察行政について(所管事務調査)
- 51 自衛隊について(所管事務調査)

(1)

◎平成21年2月26日(木曜日)

開 会 午後7時58分  
散 会 午後8時5分  
場 所 第1委員会室  
議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長	玉 城 ノブ子 さん
副 委 員 長	瑞慶覧 功 君
委 員	中 川 京 貴 君
	座喜味 一 幸 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	具 志 孝 助 君
	仲宗根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君
	渡久地 修 君
	前 島 明 男 君
	上 里 直 司 君
	玉 城 満 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年3月2日(月曜日)

開 会 午前10時5分  
散 会 午後0時32分  
場 所 第1委員会室  
議 題

- 乙第17号議案 沖縄県雇用再生特別事業基金条例(先議)
- 乙第18号議案 沖縄県緊急雇用創出事業臨時特例基金条例(先議)
- 乙第35号議案 指定管理者の指定について(先議)

出 席

委 員 長	玉 城 ノブ子 さん
副 委 員 長	瑞慶覧 功 君
委 員	中 川 京 貴 君
	座喜味 一 幸 君

辻 野 ヒロ子 さん  
具 志 孝 助 君  
仲宗根 悟 君  
当 銘 勝 雄 君  
渡久地 修 君  
前 島 明 男 君  
上 里 直 司 君  
玉 城 満 君

#### 説明員の職、氏名

農林水産部長 護得久 友 子 さん  
森林緑地課長 長 間 孝 君  
観光商工部長 仲 田 秀 光 君  
雇用労政課長 比 嘉 徹 君

#### 審査概要

乙第17号議案及び乙第18号議案について観光商工部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第17号議案については、沖縄県への予算配分額約74億円の配分方法、県や市町村の持ち出しの有無、県と市町村への配分方法、本事業での雇用見込人数及び事業内容、本事業の有効利用の方策、過去の緊急雇用事業の実績、事業実施に向けてのスケジュール、福祉分野の事業計画内容等について質疑が行われた。

乙第18号議案については、交付金額、雇用見込人数、県と市町村の配分割合、県で現在挙がっている事業の具体的内容、雇用就業期間6カ月満了後の継続雇用の有無、乙第17号議案と本議案を一本化しなかった理由、事業実施に向けてのスケジュール、福祉分野の事業計画内容、過去の緊急雇用創出事業の市町村分の実績、相談業務への対応状況等について質疑が行われた。

次に、乙第35号議案について農林水産部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、前回応募団体が今回応募していない理由、沖縄県緑化種苗協同組合が前回応募しないで今回応募した理由、同組合の実績、前回の同議案否決後の改善内容、沖縄県平和創造の森公園の債務負担行為限度額の増額理由、選定事業者の予定自主事業の内容、応募4団体の入札額、沖縄県が直接管理する場合の考え方、指定管理料と人件費の関係等について質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第35号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案3件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(3)

#### ◎平成21年3月17日(火曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午後6時40分

場 所 第1委員会室

#### 議 題

- 1 乙第14号議案 沖縄県火薬類製造業許可、  
高圧ガス製造許可申請等手数料条例の一部を  
改正する条例
- 2 乙第15号議案 沖縄県企業立地促進条例の  
一部を改正する条例
- 3 乙第16号議案 沖縄 I T 津梁パーク施設の  
設置及び管理に関する条例
- 4 乙第19号議案 沖縄県職業訓練指導員免許  
申請等手数料条例の一部を改正する条例
- 5 乙第27号議案 土地の処分について
- 6 乙第34号議案 県営土地改良事業の執行に  
伴う負担金の徴収についての議決内容の一部  
変更について
- 7 陳情平成20年第80号、同第84号、同第135号、  
同第139号、同第143号、同第158号、同第186  
号、同第194号、同第198号、同第201号、陳情  
第39号、第45号、第48号及び第53号から第55  
号まで
- 8 閉会中継続審査(調査)について
- 9 参考人招致について(追加議題)

#### 出 席

委 員 長 玉 城 ノブ子 さん  
副 委 員 長 瑞慶覧 功 君  
委 員 中 川 京 貴 君  
座喜味 一 幸 君  
辻 野 ヒロ子 さん  
具 志 孝 助 君  
仲宗根 悟 君  
当 銘 勝 雄 君  
渡久地 修 君  
前 島 明 男 君  
上 里 直 司 君  
玉 城 満 君

#### 説明員の職、氏名

農林水産部長 護得久 友 子 さん

糖業農産課長	赤 嶺	勉 君
村づくり計画課長	知 念	武 君
森林緑地課長	長 間	孝 君
観光商工部長	仲 田	秀 光 君
産業雇用統括監	勝 目	和 夫 君
経営金融課長	比 嘉	清 市 君
企業立地推進課長	上 原	俊 次 君
情報産業振興課長	小 嶺	淳 君
雇用労政課長	比 嘉	徹 君

#### 審査概要

乙第14号議案から乙第16号議案まで、乙第19号議案及び乙第27号議案について観光商工部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第14号議案については、県内の火薬製造業者及び高压ガス製造業者数、火薬製造業者の所在地、業者の行う検査内容等について質疑が行われた。

乙第15号議案については、県内の情報通信産業振興地域指定市町村数、投資事業費総額及び雇用効果、条例による助成条件、県及び市町村の責務の内容等について質疑が行われた。

乙第16号議案については、中核支援施設における雇用効果と誘致企業数の見込み、IT津梁パーク入居見込み企業の業種、IT津梁パーク設置場所を特別自由貿易地域内にした理由、中核機能施設管理主体の内容、施設内の使用料金の状況、津梁パーク内保養施設の内訳等について質疑が行われた。

乙第19号議案については、技能検定の実施状況及び実施主体、技能検定の過去の申請者数及び人気職種、職業訓練指導員の内訳等について質疑が行われた。

乙第27号議案については、土地の処分単価の決定方法、特別自由貿易地域の土地売却率2.1%への認識、IT企業の関連利便施設の内容、工場敷地の地盤の状況、企業公募の時期等について質疑が行われた。

次に、陳情5件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、乙第34号議案について農林水産部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第34号議案については、質疑なし。

次に、陳情11件について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第27号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案6件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情16件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

次に、参考人招致について協議し、決定した。

## 経済労働委員会議案処理一覧表

### イ 処理（9件）

（先議）

議案番号	議案名	議決の結果
乙第17号	沖縄県雇用再生特別事業基金条例	全会一致 原案可決
乙第18号	沖縄県緊急雇用創出事業臨時特例基金条例	〃
乙第35号	指定管理者の指定について	多数 可決

議案番号	議案名	議決の結果
乙第14号	沖縄県火薬類製造業許可、高压ガス製造許可申請等手数料条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決

議案番号	議案名	議決の結果
乙第15号	沖縄県企業立地促進条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第16号	沖縄IT津梁パーク施設の設置及び管理に関する条例	〃
乙第19号	沖縄県職業訓練指導員免許申請等手数料条例の一部を改正する条例	〃
乙第27号	土地の処分について	多数 可決
乙第34号	県営土地改良事業の執行に伴う負担金の徴収についての議決内容の一部変更について	全会一致 可決

## 経済労働委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情3件）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第45号	平成21年 2月26日	水産物流総合センター整備に当たっての確認事項の厳守及び実施に関する陳情	第一牧志公設市場 組合長 上原 正敏	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事）
第54号	平成21年 3月6日	沖縄県における雇用対策等に関する陳情	日本労働組合総連合会 沖縄県連合会（連合沖縄） 会長 仲村 信正	〃	〃
第55号	平成21年 3月6日	「緊急保証制度」等の拡充で中小企業へのさらなる支援を求める陳情	沖縄県中小企業家同友会 筆頭代表理事 糸数 久美子	〃	〃

## 経済労働委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第80号 楚洲仲尾線（楚洲支線）開設工事中止を求める陳情
- 2 陳情平成20年第84号 ヤンバル林道事業の中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第135号 宮古土地改良区における適正な管理、運営に関する陳情
- 4 陳情平成20年第139号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情
- 5 陳情平成20年第143号 宮古土地改良区の運営改善に関する陳情

- 6 陳情平成20年第158号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情
- 7 陳情平成20年第186号 沖縄県立職業能力開発校の非常勤講師の雇用安定と均等待遇に基づく処遇改善を求める陳情
- 8 陳情平成20年第194号 公契約に関する基本法の制定を求める意見書の可決を求める陳情
- 9 陳情平成20年第198号 伊江島における黒糖工場建設問題に関する陳情
- 10 陳情平成20年第201号 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 11 陳情第39号 県営林道5路線（奥山線、伊楚支線、楚洲仲尾線、伊江I号支線、伊江原支線）の

- 建設中止を求める陳情
- 12 陳情第48号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情
- 13 陳情第53号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情
- 14 農林水産業について（所管事務調査）
- 15 商・鉱・工業について（所管事務調査）
- 16 労働問題について（所管事務調査）
- 17 国内外の交流について（所管事務調査）

- 1 乙第9号議案 沖縄県消費者行政活性化基金条例（先議）
- 2 乙第10号議案 沖縄県安心こども基金条例（先議）
- 3 乙第11号議案 沖縄県障害者自立支援対策臨時特例基金条例の一部を改正する条例（先議）
- 4 乙第13号議案 沖縄県妊婦健康審査支援基金条例（先議）

## 文教厚生委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年2月26日（木曜日）

開 会 午後7時57分  
散 会 午後8時11分  
場 所 第2委員会室  
議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君

欠 席

仲 田 弘 毅 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年3月2日（月曜日）

開 会 午前10時3分  
散 会 午後0時19分  
場 所 第2委員会室  
議 題

出 席

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君

説明員の職、氏名

文化環境部長	知 念 建 次 君
県民生活課長	譜久山 典 子 さん
福祉保健部長	伊 波 輝 美 さん
参 事	道 躰 正 成 君
青少年・ 児童家庭課長	新 垣 郁 男 君
障害保健福祉課長	垣 花 芳 枝 さん
健康増進課長	桃 原 利 功 君

審査概要

乙第10号議案、乙第11号議案及び乙第13号議案について福祉保健部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第10号議案については、沖縄県保育所入所待機児童対策特別事業基金との違い、今後のスケジュールや実施の方法、事業の内容と対象者の範囲、事業予算の配分方法と内容等について質疑が行われた。

乙第11号議案については、障害者自立支援対策臨時特例基金の延長理由、本基金の介護報酬への充当の可能性、基金事業の実績、介護報酬の実態、精神障害者生活訓練施設等移行促進事業の内容等について質疑が行われた。

乙第13号議案については、基金の設置理由、妊

婦健康診査の公費負担の状況、基金造成後の状況、妊婦健康診査の受診率、妊婦健康診査の啓蒙の必要性、基金事業終了後の支援のあり方等について質疑が行われた。

次に、乙第9号議案について文化環境部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、消費生活相談員の経費への基金充当の可否、市町村の消費相談窓口の設置状況、消費相談の実態、消費者相談体制の現状、消費者生活相談員の資格と人数、消費者行政予算の推移等について質疑が行われた。

次に、議案4件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(3)

◎平成21年3月17日(火曜日)

開会 午前10時2分

散会 午後7時44分

場 所 第2委員会室

議 題

- 1 参考人からの説明聴取について(陳情平成20年第149号について)
- 2 参考人からの説明聴取について(陳情平成20年第197号について)
- 3 参考人からの説明聴取について(陳情平成20年第201号の2について)
- 4 参考人からの説明聴取について(陳情平成20年第184号について)
- 5 陳情平成20年第64号、同第72号、同第100号、同第117号、同第136号、同第137号、同第141号、同第149号、同第161号、同第162号、同第175号の2、同第187号、同第192号、同第201号の2、陳情第1号、第5号、第6号、第12号、第33号、第34号、第63号及び第64号

出 席

委 員 長 赤 嶺 昇 君  
 副 委 員 長 西 銘 純 恵 さん  
 委 員 桑 江 朝千夫 君  
 佐喜真 淳 君  
 仲 田 弘 毅 君  
 翁 長 政 俊 君  
 仲 村 未 央 さん  
 渡嘉敷 喜代子 さん  
 上 原 章 君

説明員の職、氏名

文化環境部長	知 念 建 次 君
環境企画統括監	友 利 弘 一 君
環境政策課長	下 地 寛 君
環境保全課長	久 田 友 弘 君
自然保護課長	上 原 隆 廣 君
参 考 人	(陳情平成20年第149号) 平 良 ヨシ子 さん
補 助 者	( " ) 山 口 喜七郎 君
補 助 者	( " ) 安座間 俊 子 さん
参 考 人	(陳情平成20年第197号) 沖 縄 県 子 ど も の 未 来 を つ く る 親 の 会 連 絡 会 副 会 長
補 助 者	( " ) 新 垣 道 代 さん
補 助 者	( " ) 県立南部医療センター ・こども医療センター こころの診療科部長
補 助 者	( " ) 土 岐 篤 史 君
保 護 者	( " ) 新 垣 美 果 さん
補 助 者	( " ) 保 護 者 玉 寄 知 恵 さん
補 助 者	( " ) 保 護 者 大 宜 見 由 紀 さん
補 助 者	( " ) 保 護 者 羽 地 知 香 さん
参 考 人	(陳情平成20年第201号の2) 中 城 湾 沿 岸 漁 業 協 同 組 合 長 会 会 長
補 助 者	( " ) 安 次 富 保 君
補 助 者	( " ) 知 念 漁 業 協 同 組 合 代 表 理 事 組 合 長
補 助 者	( " ) 沖 縄 市 漁 業 協 同 組 合 代 表 理 事 組 合 長
補 助 者	( " ) 勝 連 漁 業 協 同 組 合 代 表 理 事 組 合 長
参 考 人	(陳情平成20年第184号) 沖 縄 県 精 神 保 健 医 療 福 祉 連 絡 協 議 会 代 表
補 助 者	( " ) 中 山 勲 君
補 助 者	( " ) 県立南部医療センター ・こども医療センター 精 神 科 部 長
補 助 者	( " ) 那 覇 市 立 病 院 精 神 科 部 長
	屋 宜 盛 秀 君

補助者 ( )  
沖縄県精神科  
病院協会会長 小渡 敬君

#### 審査概要

陳情平成20年第149号、同第197号、同第201号の2及び同第184号について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、文化環境部関係の陳情22件について文化環境部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

#### (4)

#### ◎平成21年3月18日(水曜日)

開会 午前10時4分

散会 午後10時47分

場所 第2委員会室

#### 議題

- 1 乙第12号議案 沖縄県立看護大学授業料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例
- 2 乙第33号議案 沖縄県離島医療組合規約の一部変更について
- 3 医療及び保健衛生について(公立久米島病院の助産師問題について)(追加議題)
- 4 請願第1号から第4号まで、陳情平成20年第41号から同第43号まで、同第53号、同第55号、同第78号、同第79号、同第99号、同第122号の2、同第134号、同第148号、同第175号の2、同第184号、同第188号、同第192号、同第195号、同第197号、陳情第2号、第8号、第9号、第13号、第16号、第22号、第23号、第26号、第32号、第40号、第41号、第44号、第50号、第52号及び第60号から第62号まで

#### 出席

委員長	赤嶺昇君
副委員長	西銘純恵さん
委員	桑江朝千夫君
	佐喜真淳君
	仲田弘毅君
	翁長政俊君
	仲村未央さん
	渡嘉敷喜代子さん
	上原章君
	比嘉京子さん
	奥平一夫君

#### 説明員の職、氏名

福祉保健部長	伊波輝美さん
保健衛生統括監	高江洲均君
参事	久田裕君
青少年・児童家庭課長	新垣郁男君
障害保健福祉課長	垣花芳枝さん
医務・国保課長	新垣盛勝君
医務・国保課看護専門監	照屋恵子さん
医務・国保課医療制度改革専門監	平順寧君
健康増進課長	桃原利功君
病院事業局長	知念清君
県立病院課病院経営管理監	桃原幹雄君
県立病院課病院企画監	安慶田英樹君
県立病院課看護企画監	上地悦子さん
県立八重山病院事務部長	川平哲君

#### 審査概要

乙第12号議案及び乙第33号議案について福祉保健部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第12号議案については、長期履修学生制度の導入の背景、長期履修期間と授業料の状況、長期履修学生の募集定数等について質疑が行われた。

乙第33号議案については、沖縄県離島医療組合の構成団体、資産の持ち分、沖縄県離島医療組合議会の議員構成の内訳、久米島病院の診療科の内訳と収支状況等について質疑が行われた。

次に、公立久米島病院の助産師問題について福祉保健部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、福祉保健部及び病院事業局関係の請願4件及び陳情34件について福祉保健部長及び病院事業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

#### (5)

#### ◎平成21年3月19日(木曜日)

開会 午前10時8分

散会 午後8時3分

場所 第2委員会室

#### 議題

- 1 乙第12号議案 沖縄県立看護大学授業料等

- の徴収に関する条例の一部を改正する条例
- 2 乙第22号議案 沖縄県教育委員会関係手数料条例の一部を改正する条例
  - 3 乙第23号議案 沖縄県立高等学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例
  - 4 乙第24号議案 沖縄県学校職員定数条例の一部を改正する条例
  - 5 乙第33号議案 沖縄県離島医療組合規約の一部変更について
  - 6 乙第38号議案 指定管理者の指定について
  - 7 請願第1号から第4号まで、陳情平成20年第35号、同第40号から同第43号まで、同第50号、同第53号、同第55号、同第57号、同第59号、同第63号、同第64号、同第66号、同第67号、同第72号、同第78号、同第79号、同第82号、同第90号、同第93号、同第99号、同第100号、同第105号、同第107号、同第110号、同第112号、同第117号、同第122号の2、同第124号、同第125号、同第134号、同第136号、同第137号、同第141号、同第142号、同第148号、同第149号、同第161号、同第162号、同第175号の2、同第184号、同第187号から同第189号まで、同第192号、同第195号、同第197号、同第199号、同第201号の2、陳情第1号、第2号、第5号、第6号、第8号、第9号、第12号、第13号、第16号、第22号、第23号、第26号、第32号から第34号まで、第40号、第41号、第43号、第44号、第50号、第52号、第56号、第57号及び第60号から第65号まで
  - 8 閉会中継続審査（調査）について
  - 9 視察調査日程について
  - 10 沿岸域における漂流・漂着ごみ対策に関する意見書の提出について（追加議題）
  - 11 県立病院のあり方に関する決議の提出について（追加議題）

## 出席

委員長	赤嶺昇君
副委員長	西銘純恵さん
委員	桑江朝千夫君
	佐喜真淳君
	仲田弘毅君
	翁長政俊君
	仲村未央さん
	渡嘉敷喜代子さん

上原章君  
比嘉京子さん  
奥平一夫君

## 説明員の職、氏名

教育長	仲村守和君
教育管理統括監	岩井健一君
総務課教育企画監	武内正幸君
県立学校教育課長	喜納眞正君
義務教育課長	山中久司君
保健体育課長	諸見里明君
生涯学習振興課長	玉栄直君
文化課長	千木良芳範君
全国高校総体推進課長	大城勇君

## 審査概要

乙第22号議案から乙第24号議案まで及び乙第38号議案について教育長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第22号議案については、手数料の額、受講対象者の状況、制度改正の背景、宮古・八重山地区における講習会の開催状況等について質疑が行われた。

乙第23号議案については、名称変更の対象となる学校、沖縄盲学校及び沖縄ろう学校の状況、特別支援学校の在籍者数の状況、沖縄盲学校及び沖縄ろう学校に対する説明会の開催状況等について質疑が行われた。

乙第24号議案については、児童・生徒数及び学級数の増減の状況、正規職員と非正規職員数の状況、正規職員に対する非正規職員の割合の全国との比較、国の加配定数の状況等について質疑が行われた。

乙第38号議案については、指定管理候補者の選定の経緯、指定管理の効果、候補者の概要、高等学校総合体育大会施設の使用状況等について質疑が行われた。

次に、教育委員会関係の陳情29件について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第22号議案及び乙第24号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案6件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、請願4件及び陳情78件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

なお、「沿岸域における漂流・漂着ごみ対策に関する意見書」及び「県立病院のあり方に関する決議」を別掲のとおり提出することになった。

## 文教厚生委員会議案処理一覧表

イ 処理（10件）

（先議）

議案番号	議案名	議決の結果
乙第9号	沖縄県消費者行政活性化基金条例	全会一致 原案可決
乙第10号	沖縄県安心こども基金条例	〃
乙第11号	沖縄県障害者自立支援対策臨時特例基金条例の一部を改正する条例	〃
乙第13号	沖縄県妊婦健康診査支援基金条例	〃

議案番号	議案名	議決の結果
乙第12号	沖縄県立看護大学授業料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第22号	沖縄県教育委員会関係手数料条例の一部を改正する条例	多数 原案可決
乙第23号	沖縄県立高等学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第24号	沖縄県学校職員定数条例の一部を改正する条例	多数 原案可決
乙第33号	沖縄県離島医療組合理約の一部変更について	全会一致 原案可決
乙第38号	指定管理者の指定について	〃

## 文教厚生委員会請願・陳情処理一覧表

イ 処理（請願3件、陳情7件）

請願番号	受理年月日	件名	請願者名	紹介議員	審査の結果	措置
第1号	平成21年 2月13日	第39回沖縄県母子寡婦福祉大会の決議の実現方に関する請願	社団法人 沖縄県母子寡婦福祉連合会 会長 与那嶺 清子	佐喜真 淳	採択	地方自治法第125条による措置 (知事)

請願 番号	受 理 年月日	件 名	請願者名	紹介議員	審査の 結 果	措 置
第 3 号	平成21年 3月10日	沖縄県発達障害者支 援センターの設置と 事業運営に関する請 願	沖縄県子どもの未来 をつくる親の会連絡 会 代表 新垣 道代 外5人	島袋 大 中川 京貴 浦崎 唯昭 座喜味一幸 照屋 守之 嶺井 光 新垣 良俊 新垣 哲司 具志 孝助 池間 淳 辻野ヒロ子 吉田 勝廣 吉元 義彦 佐喜真 淳 翁長 政俊 桑江朝千夫 仲田 弘毅 新里 米吉 崎山 嗣幸 当銘 勝雄 大城 一馬 新垣 清涼 比嘉 京子 瑞慶覧 功 上里 直司 山内 末子 新垣 安弘 赤嶺 昇 當間 盛夫 平良 昭一 玉城 満 糸洲 朝則 金城 勉 前島 明男 當山 眞市 上原 章 前田 政明 玉城ノブ子 西銘 純恵 渡久地 修 嘉陽 宗儀 奥平 一夫 玉城 義和	採 択	地方自治法第125条 に よ る 措 置 (知 事)

請願 番号	受 理 年月日	件 名	請願者名	紹介議員	審査の 結 果	措 置
第 4 号	平成21年 3月10日	子供の心の診療体制 整備に関する請願	沖縄県子どもの未来 をつくる親の会連絡 会 代表 新垣 道代 外 5 人	島袋 大 中川 京貴 浦崎 唯昭 座喜味一幸 嶺井 光 新垣 良俊 新垣 哲司 具志 孝助 池間 淳 照屋 守之 辻野ヒロ子 吉田 勝廣 新里 米吉 崎山 嗣幸 当銘 勝雄 大城 一馬 新垣 清涼 比嘉 京子 瑞慶覧 功 上里 直司 山内 未子 新垣 安弘 赤嶺 昇 當間 盛夫 平良 昭一 玉城 満 糸洲 朝則 金城 勉 前島 明男 當山 眞市 上原 章 前田 政明 玉城ノブ子 西銘 純恵 渡久地 修 嘉陽 宗儀 奥平 一夫 玉城 義和	採 択	地方自治法第125条 に よ る 措 置 (知 事)

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第42号 (継続)	平成20年 4月16日	妊婦健康診査の公費負担の拡充を求める陳情	沖縄県女性団体連絡協議会 会長 安里 千恵子	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第55号 (継続)	平成20年 5月26日	更生保護施設の町内建設反対及び代替地の確保に関する陳情	首里平良町自治会 会長 嘉陽田 詮	〃	〃
第79号 (継続)	平成20年 7月3日	妊婦健康診査の公費負担の拡充を求める陳情	新日本婦人の会沖縄県本部 会長 前田 芙美子	〃	〃
第161号 (継続)	平成20年 10月14日	消費者行政の抜本的拡充を求める陳情	沖縄弁護士会 会長 三宅 俊司	〃	〃
第197号 (継続)	平成20年 12月3日	発達障害及び発達障害疑いの子供とその家族のための支援体制の整備に関する陳情	沖縄県子どもの未来をつくる親の会連絡会 代表 武田 洋行 外5人	〃	〃
第1号	平成20年 12月8日	「沖縄県生活環境保全条例」の米軍基地適用に関する陳情	中部市町村会 会長 知念 恒男	〃	〃
第56号	平成21年 3月6日	沖縄盲学校を「視覚特別支援学校」として存続を求める陳情	「沖縄盲学校の未来を考える会」 会長 仲川 福俊 外1人	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(教育委員会)

## 文教厚生委員会閉会中継続 審査(調査)事件一覧

- 1 請願第2号 発達障害及び発達障害が疑われる「気になる」子供の早期発見・早期支援体制の整備に関する請願
- 2 陳情平成20年第35号 石垣市における小学校低学年の30人以下学級の実現を求める陳情
- 3 陳情平成20年第40号 「30人以下学級」の早期実現を求める陳情
- 4 陳情平成20年第41号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 5 陳情平成20年第43号 母子家庭等医療費助成の給付方法を償還払いから現物給付へ変更することを求める陳情
- 6 陳情平成20年第50号 沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情
- 7 陳情平成20年第53号 ジストニア治療の健康保険適用拡大等治療環境の改善に関する意見書の提出を求める陳情
- 8 陳情平成20年第57号 2009年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情
- 9 陳情平成20年第59号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 10 陳情平成20年第63号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 11 陳情平成20年第64号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情
- 12 陳情平成20年第66号 沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情
- 13 陳情平成20年第67号 沖縄県立図書館八重山分館廃止に反対する陳情
- 14 陳情平成20年第72号 沖広産業の産業廃棄物安定型最終処分場内におけるクロルデン類等汚染の浄化と、営業許可の更新を認めないことを求める

- 陳情
- 15 陳情平成20年第78号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 16 陳情平成20年第82号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 17 陳情平成20年第90号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 18 陳情平成20年第93号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 19 陳情平成20年第99号 地域医療崩壊阻止のための意見書提出を求める陳情
- 20 陳情平成20年第100号 沖縄市登川・池原地区への産業廃棄物処理施設の集中抑止に関する陳情
- 21 陳情平成20年第105号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 22 陳情平成20年第107号 沖縄県立図書館八重山分館の廃止撤回を求める陳情
- 23 陳情平成20年第110号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 24 陳情平成20年第112号 友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情
- 25 陳情平成20年第117号 株式会社環境ソリューションの産業廃棄物処理焼却施設建設に反対する陳情
- 26 陳情平成20年第122号の2 沖縄県腎臓病患者連絡協議会の活動等に対する支援を求める陳情
- 27 陳情平成20年第124号 「30人以下学級完全実現」を求める陳情
- 28 陳情平成20年第125号 「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情
- 29 陳情平成20年第134号 認可外保育園支援のための振興対策調整費の使途に関する陳情
- 30 陳情平成20年第136号 浦添の美しい景観と安心・安全で安らぎのある生活環境を求める陳情
- 31 陳情平成20年第137号 サンゴの保護に関する陳情
- 32 陳情平成20年第141号 アメラジアンへの公的支援に関する陳情
- 33 陳情平成20年第142号 天然記念物の伐採に関する陳情
- 34 陳情平成20年第148号 地域医療・高度多機能な医療の確保に関する陳情
- 35 陳情平成20年第149号 産業廃棄物処理場の撤去を求める陳情
- 36 陳情平成20年第162号 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情
- 37 陳情平成20年第175号の2 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情
- 38 陳情平成20年第184号 県立南部医療センター精神身体合併症病棟の拡充に関する陳情
- 39 陳情平成20年第187号 沖縄美ら海再生に関する陳情
- 40 陳情平成20年第188号 命の尊厳を踏みにじる「後期高齢者医療制度」の廃止を求める陳情
- 41 陳情平成20年第189号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 42 陳情平成20年第192号 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
- 43 陳情平成20年第195号 医療提供体制確保と地域医療を守ることにに関する陳情
- 44 陳情平成20年第199号 沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情
- 45 陳情平成20年第201号の2 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 46 陳情第2号 学童保育に関する陳情
- 47 陳情第5号 八重瀬町世名城地域における産業廃棄物処理施設の建設計画に反対する陳情
- 48 陳情第6号 八重瀬町世名城地域における産業廃棄物処理施設の建設計画に反対する陳情
- 49 陳情第8号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 50 陳情第9号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 51 陳情第12号 産業廃棄物処理施設新炉建設阻止に関する陳情
- 52 陳情第13号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 53 陳情第16号 地域子育て支援センター事業費の従来どおりの県負担を求める陳情
- 54 陳情第22号 沖縄県精神科医療の施策に関する陳情
- 55 陳情第23号 障害者福祉の増進に関する陳情
- 56 陳情第26号 沖縄県精神科通院患者リハビリテーション事業に関する陳情
- 57 陳情第32号 身体障害者に関する手続等についての陳情

- 58 陳情第33号 読谷村産業廃棄物安定型最終処分場問題をめぐる行政処分に関する陳情
- 59 陳情第34号 株式会社沖広産業の管理型産業廃棄物最終処分場建設計画の撤回に関する陳情
- 60 陳情第40号 県立南部医療センター精神身体合併症病棟の早期再開に関する陳情
- 61 陳情第41号 県立病院の存続を求める陳情
- 62 陳情第43号 「人体の不思議展」県立博物館使用の中止を求める陳情
- 63 陳情第44号 沖縄県の障害者スポーツ振興に関する陳情
- 64 陳情第50号 県立病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 65 陳情第52号 地域医療を守り、県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 66 陳情第57号 学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の使用促進に関する陳情
- 67 陳情第60号 県立八重山病院の地方独立行政法人化に反対する陳情
- 68 陳情第61号 医療提供体制確保を求める陳情
- 69 陳情第62号 地域子育て支援センター事業費の従来どおりの県負担を求める陳情
- 70 陳情第63号 ヤンバルの森全体の環境調査の実施と沖縄県アセス条例の改正を求める陳情
- 71 陳情第64号 うるま市宇赤野港原地域への産業廃棄物処理場建設に反対する陳情
- 72 陳情第65号 沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」として存続を求める陳情
- 73 消費者保護及び県民生活について（所管事務調査）
- 74 県民文化について（所管事務調査）
- 75 青少年及び交通安全問題について（所管事務調査）
- 76 公害防止及び環境保全について（所管事務調査）
- 77 社会福祉及び社会保障について（所管事務調査）
- 78 医療及び保健衛生について（所管事務調査）
- 79 教育及び学術文化について（所管事務調査）
- 80 平和について（所管事務調査）
- 81 男女共同参画について（所管事務調査）

## 沿岸域における漂流・漂着ごみ対策に関する意見書

全国第4位の海岸線距離を有し、島嶼県である本県の沿岸域では、近年、大量の漂流・漂着ごみが相次いで発生し、景観、水産業、動植物の生態、環境負荷等さまざまな問題を惹起させている。

しかもこれらの漂流・漂着ごみは、年々その量が増加するとともに、発生源も国内外にわたり、また、その質もペットボトル等のプラスチック製品から木材まで、さらには劇薬まで雑多なものとなっている。

また、各離島にはそれぞれの処理施設がないため、処理施設のあるところまで海上運搬しなければならず、多大な労力と経費を要することや、突発的にしかも繰り返しごみが漂流・漂着するため、各地域及び自治体では対応に苦慮している。

さらに、現行法では、海岸の清潔を保持することが自治事務とされ、ごみをどの程度処理するかも含めて海岸管理者である都道府県の判断にゆだねられているが、予算、人員の制約から、市町村がやむを得ず処理する機会が多いため、財政が逼迫している自治体にとって大きな負担となっている。

よって、国におかれては、相次ぐ原因不明の漂流・漂着ごみの対策として、下記の事項について配慮されるよう強く要請する。

### 記

- 1 漂流・漂着ごみの処理は、本来沿岸域を所管する自治体の責任とすべきものではなく、国の責任と負担で実施すべきものであるとの観点に立ち、国と自治体などの責任及び役割を明確にすること。
- 2 近年、外国からのごみが増加している実態にかんがみ、関係国との連携を持つなどして実効性のある防止対策を講じること。
- 3 各地域・離島でのごみ処理に当たっては、それぞれの地域・離島の地理的特性、自然条件など地域の特性に応じた対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年3月25日

沖 縄 県 議 会

衆 議 院 議 長  
参 議 院 議 長  
内 閣 総 理 大 臣

総務大臣  
財務大臣  
外務大臣  
農林水産大臣  
経済産業大臣  
国土交通大臣  
環境大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣

あて

## 県立病院のあり方に関する決議

本県の県立病院は、開設以来、県下の基幹病院、地域の中核病院、救急病院として、一般医療はもとより、高度・特殊医療、離島・僻地医療、救急救命医療など民間医療機関では対応が困難な医療、いわゆる政策医療を担ってきた。

しかしながら、平成14年に診療報酬が改定されたこともあって、県立病院の経常損失の拡大や、毎年度約100億円の運営資金の不足と借り入れなどにより、平成19年度末の累積欠損金は216億円余に達しており、厳しい経営状況となっている。

また、県立病院では、慢性的に医師と看護師が不足しており、休科・休床が相次ぎ、県民に不安と不便を与えている。

さらに、現在の看護体制は10対1となっているが、この体制では県民へ手厚い看護を提供することが難しいことや、看護師に過重な労働を強いる結果となり、民間病院への転職や休職、なり手の減少を招く事態の一因となっている。

このような中、県医療審議会県立病院のあり方検討部会が取りまとめた「県立病院のあり方に関する基本構想(案)」では、地方独立行政法人を設立して、同法人に県立病院を一体として経営させる形態に移行する案を打ち出している。

仮に、案のとおり県立病院が地方独立行政法人化された場合には、救命救急医療など不採算部門や精神医療などの特殊部門における医療提供の形骸化、医師不足による診療体制の縮小、医師派遣制度の廃止、離島・僻地医療の見直し、都市部と離島・僻地間の医療格差の拡大などの問題が生じないか懸念されている。

よって、県におかれては、県立病院のあり方を決定するに当たっては、県民に安心・安全な医療を安

定して提供することができるようにするとともに、医師・看護師が働きやすい医療現場を実現できるように、下記事項の実現について強く要請する。

記

- 1 県立病院の経営・運営方法の決定に当たっては、病院現場で働く医師・看護師並びに利用者である県民の意見や要望を聴取して反映させるとともに、公営企業法全部適用移行後の成果の検証結果を踏まえるものとし、拙速な判断を行わないこと。
- 2 都市部と離島・僻地間に医療格差が生じないよう万全の対策を講じること。
- 3 県立病院の看護師体制を7対1看護配置とし、医師・看護師の確保に努め、医療サービスの向上と休科・休床の解消を図ること。

上記のとおり決議する。

平成21年3月25日

沖 縄 県 議 会

沖縄県知事 あて

## 土木委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年2月10日(火曜日)

開 会 午前11時12分  
散 会 午後0時33分  
場 所 第3委員会室  
議 題

1 乙第41号議案 控訴の提起について(先議)

出 席

委 員 長	當 山 眞 市 君
副 委 員 長	照 屋 大 河 君
委 員	新 垣 良 俊 君
	嶺 井 光 君
	池 間 淳 君
	新 垣 哲 司 君
	高 嶺 善 伸 君
	嘉 陽 宗 儀 君
	新 垣 安 弘 君
	大 城 一 馬 君
	平 良 昭 一 君
	吉 田 勝 廣 君

説明員の職、氏名

土木建築部長	漢	那	政	弘	君
土木企画統括監	中	村		浩	君
都市計画・モノレール課長	儀	間	真	明	君

審査概要

乙第41号議案について土木建築部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、補償交渉の経緯と訴訟理由、収用委員会、原告及び判決のそれぞれの評価額、評価額に差が生じた理由、県の評価額が妥当だと判断した理由、県が参考とした取引事例の地目と現況、泡瀬干潟訴訟と今回の控訴事案の違い等について質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案1件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(2)

◎平成21年2月26日(木曜日)

開会	午後8時6分
散会	午後8時8分
場所	第3委員会室
議題	

1 審査日程について

出席

委員長	當	山	真	市	君
委員	新	垣	良	俊	君
	嶺	井		光	君
	池	間		淳	君
	新	垣	哲	司	君
	高	嶺	善	伸	君
	嘉	陽	宗	儀	君
	新	垣	安	弘	君
	大	城	一	馬	君
	平	良	昭	一	君
	吉	田	勝	廣	君

欠席

	照	屋	大	河	君
--	---	---	---	---	---

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成21年3月17日(火曜日)

開会	午前10時4分
散会	午後6時54分
場所	第3委員会室
議題	

- 1 乙第20号議案 沖縄県二級建築士免許等手数料条例の一部を改正する条例
- 2 乙第21号議案 沖縄県営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 3 乙第28号議案 訴えの提起について
- 4 乙第36号議案 指定管理者の指定について
- 5 乙第37号議案 指定管理者の指定について
- 6 乙第39号議案 公共下水道の幹線管渠等の設置に係る事業の執行に伴う負担金の徴収について
- 7 陳情平成20年第68号、同第96号の3、同第108号の3、同第115号、同第130号、同第133号、同第138号、同第152号、同第160号、同第183号、同第185号、同第202号の2、陳情第11号、第18号、第20号、第24号及び第35号から第37号まで
- 8 閉会中継続審査(調査)について

出席

委員長	當	山	真	市	君
副委員長	照	屋	大	河	君
委員	新	垣	良	俊	君
	嶺	井		光	君
	池	間		淳	君
	新	垣	哲	司	君
	高	嶺	善	伸	君
	嘉	陽	宗	儀	君
	新	垣	安	弘	君
	大	城	一	馬	君
	平	良	昭	一	君
	吉	田	勝	廣	君

説明員の職、氏名

土木建築部長	漢	那	政	弘	君
土木整備統括監	仲	田	文	昭	君
土木企画課長	上	原	兼	治	君
参事兼技術管理課長	比	嘉	和	夫	君
港湾課長	新	垣	盛	勇	君

都市計画・モノレール課長	儀間真明君
下水道課長	桑江良光君
建築指導課長	志村恵一郎君
住宅課長	喜屋武博行君

### 審査概要

乙第20号議案、乙第21号議案、乙第28号議案、乙第36号議案、乙第37号議案及び乙第39号議案について土木建築部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第20号議案については、県が指定する登録予定機関、申請手数料の見込み額、建築士の登録者数等について質疑が行われた。

次に、乙第21号議案については、多子世帯の定義と優先入居の実績、暴力団の判断方法、他都道府県に比べて条例制定が遅れた理由、県営住宅の役割、市町村からの県営住宅建設の要望と新規建設計画の状況等について質疑が行われた。

次に、乙第28号議案については、提訴の前に減免制度を適用した事例、減免制度の周知を行った時期、家庭状況への配慮や福祉事務所との連携の有無、判決後に分割で家賃を徴収することの可否、判決を不服として控訴された事例等について質疑が行われた。

次に、乙第36号議案については、従来の指定管

理者名、指定管理料の決定方法、提示した上限額、指定管理しなかった場合の経費等について質疑が行われた。

次に、乙第37号議案については、指定管理者に漏れた応募団体の点数の状況、前回と同じ指定管理者が選定される傾向がある理由、奥武山公園と奥武山総合運動場を1つの団体に管理運営させている理由等について質疑が行われた。

次に、乙第39号議案については、県代行制度で整備する大宜味村の終末処理場の維持費、大宜味村の負担額が大きい理由、大宜味村塩屋地区の下水道整備計画の有無、汚水処理整備計画の状況等について質疑が行われた。

次に、陳情19件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第37号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案6件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情19件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

## 土木委員会議案処理一覧表

イ 処理（7件）

（先議）

議案番号	議案名	議決の結果
乙第41号	控訴の提起について	多数決

議案番号	議案名	議決の結果
乙第20号	沖縄県二級建築士免許等手数料条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第21号	沖縄県営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	〃
乙第28号	訴えの提起について	全会一致 可決
乙第36号	指定管理者の指定について	〃
乙第37号	指定管理者の指定について	多数決

議案番号	議案名	議決の結果
乙第39号	公共下水道の幹線管渠等の設置に係る事業の執行に伴う負担金の徴収について	全会一致 可決

## 土木委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情2件）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第11号	平成20年 12月25日	建築確認手続の円滑化に関する陳情	社団法人 沖縄県建設 産業団体連合会 会長 呉屋 守將 外1人	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事）
第20号	平成21年 1月30日	真地久茂地線トンネル付近の住民に対する説明会開催を求める陳情	那覇市金城3-9-9 コーポ玉城201 玉城 直祐	〃	〃

## 土木委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第68号 東部海浜開発（泡瀬埋立）事業の中止を求める陳情
- 2 陳情平成20年第96号の3 軽油価格の高騰により存亡の危機に瀕しているトラック運送業界に関する陳情
- 3 陳情平成20年第108号の3 原油価格高騰対策に関する陳情
- 4 陳情平成20年第115号 港湾区域内の水域占用許可に関する陳情
- 5 陳情平成20年第130号 燃料高騰による車持ちダンプ労働者の低単価・労働条件の改善を求める陳情
- 6 陳情平成20年第133号 「住宅供給公社の共益費徴収業務」に関する陳情
- 7 陳情平成20年第138号 古島団地の建てかえに関する陳情
- 8 陳情平成20年第152号 公共工事の不払いに関する陳情
- 9 陳情平成20年第160号 那覇伊平屋航空路線開設に関する陳情
- 10 陳情平成20年第183号 泡瀬裁判の控訴断念を議決するよう求める陳情

- 11 陳情平成20年第185号 泡瀬干潟埋立事業公金支出差止訴訟判決に対する控訴を断念し泡瀬干潟の保全を求める陳情
- 12 陳情平成20年第202号の2 建設業界の窮状に関する陳情
- 13 陳情第18号 泡瀬干潟裁判の控訴費用及び泡瀬埋立関連の予算の削除に関する陳情
- 14 陳情第24号 公共事業の早期発注並びに建設工事入札における最低制限価格の引上げに関する陳情
- 15 陳情第35号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 16 陳情第36号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 17 陳情第37号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 18 道路、橋梁の整備事業について（所管事務調査）
- 19 港湾の整備事業について（所管事務調査）
- 20 空港の整備事業について（所管事務調査）
- 21 河川、海岸及び砂防の整備事業について（所管事務調査）
- 22 都市計画事業について（所管事務調査）
- 23 上下水道事業について（所管事務調査）
- 24 住宅環境の改善について（所管事務調査）
- 25 都市モノレールの整備事業について（所管事務調査）

調査)  
26 建築関係について(所管事務調査)

## 米軍基地関係特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年2月26日(木曜日)

開 会 午後8時13分  
散 会 午後8時17分  
場 所 第4委員会室  
議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長	渡嘉敷 喜代子 さん
副 委 員 長	桑 江 朝千夫 君
委 員	中 川 京 貴 君
	具 志 孝 助 君
	前 田 政 明 君
	上 原 章 君
	山 内 末 子 さん
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 満 君
	玉 城 義 和 君

欠 席

吉 元 義 彦 君
照 屋 大 河 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年3月23日(月曜日)

開 会 午前11時3分  
散 会 午後5時2分  
場 所 第4委員会室  
議 題

- 1 請願平成20年第1号、陳情平成20年第36号、同第88号、同第89号、同第94号、同第102号、同第132号、同第167号、同第204号、陳情第3号、第4号、第14号、第21号、第25号、第30号、第31号、第42号、第46号及び第47号
- 2 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計

画等米軍基地関係諸問題の調査及び対立の樹立(普天間飛行場燃料流出事故について)(追加議題)

3 閉会中継続審査(調査)について

出 席

委 員 長	渡嘉敷 喜代子 さん
副 委 員 長	桑 江 朝千夫 君
委 員	中 川 京 貴 君
	吉 元 義 彦 君
	具 志 孝 助 君
	照 屋 大 河 君
	前 田 政 明 君
	上 原 章 君
	山 内 末 子 さん
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 満 君
	玉 城 義 和 君

説明員の職、氏名

知 事 公 室 長	上 原 昭 君
基地防災統括監	平 良 宗 秀 君
基地対策課長	又 吉 進 君
文化環境部 環境企画統括監	友 利 弘 一 君
教育庁文化課長	千木良 芳 範 君
警察本部刑事部長	日 高 清 晴 君

審査概要

請願1件及び陳情18件について知事公室長、文化環境部環境企画統括監、教育庁文化課長及び警察本部刑事部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、普天間飛行場燃料流出事故について知事公室長及び文化環境部環境企画統括監からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、請願1件及び陳情18件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

なお、「金武町伊芸区流弾事故の真相究明に関する意見書」、「同抗議決議」、「普天間飛行場燃料流出事故に関する意見書」及び「同抗議決議」を別掲のとおり提出することになった。

## 米軍基地関係特別委員会陳情処理一覧表

イ 処理(5件)

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第3号	平成20年 12月18日	金武町字伊芸区流弾事件に関する陳情	金武町議会 議長 仲里 全孝	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第21号	平成21年 2月2日	金武町伊芸区流弾の全容解明に関する陳情	金武町 町長 儀武 剛	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事及び公安委員会)
第25号	平成21年 2月5日	F22A ラプター・F16戦闘機等外来機の飛来・訓練に関する陳情	嘉手納町議会 議長 田崎 博美	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第30号	平成21年 2月9日	金武町伊芸区流弾の全容解明に関する陳情	金武町 町長 儀武 剛	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事及び公安委員会)
第31号	平成21年 2月9日	米軍演習被弾事件に関する陳情	伊芸区 区長 池原 政文 外1人	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)

### 米軍基地関係特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 請願平成20年第1号 新基地建設に関する請願
- 2 陳情平成20年第36号 キャンプ・ハンセン内レンジ3射撃場建設の即時中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第88号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」の決議を求める陳情
- 4 陳情平成20年第89号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業に係るアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情
- 5 陳情平成20年第94号 キャンプ・ハンセン内への訓練用コンテナ搬入に関する陳情
- 6 陳情平成20年第102号 沖縄の米軍基地再編・新基地建設に反対する陳情
- 7 陳情平成20年第132号 辺野古新基地建設における大浦湾作業ヤード計画の撤回を防衛省に求める陳情
- 8 陳情平成20年第167号 第二次返還特措法の制定に関する陳情

- 9 陳情平成20年第204号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業等の中止を求める陳情
- 10 陳情第4号 米軍所属セスナ機(C172)墜落事故に関する陳情
- 11 陳情第14号 米軍所属セスナ機(C172)墜落事故に関する陳情
- 12 陳情第42号 「在沖米海兵隊のグアム移転に係る協定」に反対し、基地の無条件撤去に向けた日米両政府の協議を要求する意見書の採択を求める陳情
- 13 陳情第46号 「米軍再編協定」(「在沖米海兵隊のグアム移転に関する協定」)に反対する意見書の採択を求める陳情
- 14 陳情第47号 嘉手納基地の爆音被害に関する陳情
- 15 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立

## 金武町伊芸区流弾事故の真相究明に関する意見書

平成20年12月13日に金武町伊芸区の民家駐車場で発見された銃弾について、県警察は、米軍が使用している銃弾と弾しんが同種のものとの鑑定結果を公表したが、米軍及び米国政府関係機関は県民が納得できる具体的な理由を示さないまま、一方的に米海兵隊による訓練との関係を否定して、実弾射撃訓練を継続している。

このように、県民が求める真相究明と訓練の即時中止に真摯に対応しないことは到底許されるものではなく、県民は怒りと不満を増大させている。

このため、金武町民は、常に流弾の脅威を感じながら恐怖と不安の中での生活を強いられていること及びこのまま見過ごすと、過去の流弾事故のように真相が明らかにされないまいうやむやにされることなどの危機感から、去る3月1日に総決起大会を開催し、今回の米軍及び在沖米国総領事館の発言や行為に対し激しい怒りを示すとともに、すべての実弾射撃訓練の即時廃止、被弾事件の早期の全容解明並びにすべての実弾射撃訓練場の撤去を要求することを住民の総意として決定した。

金武町民が訴えている問題は、金武町だけの問題ではなく、狭隘な県土の中に全国の米軍専用施設面積の約75%に上る広大な米軍基地が集中する本県では、どこでも起こり得る問題で、また県民のだれでも被害に遭ってもおかしくない重大な問題であり、県民が一体となって早急に解決に向けて取り組むべき事案である。

よって、本県議会は、県民の生命、財産及び生活環境を守る立場から、今回の流弾事故を徹底的に究明して、県民に真相を明らかにするとともに、その間は実弾射撃訓練を中止するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年3月25日

内閣総理大臣  
外務大臣  
防衛大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣

沖 縄 県 議 会  
あて

## 金武町伊芸区流弾事故の真相究明に関する抗議決議

平成20年12月13日に金武町伊芸区の民家駐車場で発見された銃弾について、県警察は、米軍が使用している銃弾と弾しんが同種のものとの鑑定結果を公表したが、米軍及び米国政府関係機関は県民が納得できる具体的な理由を示さないまま、一方的に米海兵隊による訓練との関係を否定して、実弾射撃訓練を継続している。

このように、県民が求める真相究明と訓練の即時中止に真摯に対応しないことは到底許されるものではなく、県民は怒りと不満を増大させている。

このため、金武町民は、常に流弾の脅威を感じながら恐怖と不安の中での生活を強いられていること及びこのまま見過ごすと、過去の流弾事故のように真相が明らかにされないまいうやむやにされることなどの危機感から、去る3月1日に総決起大会を開催し、今回の米軍及び在沖米国総領事館の発言や行為に対し激しい怒りを示すとともに、すべての実弾射撃訓練の即時廃止、被弾事件の早期の全容解明並びにすべての実弾射撃訓練場の撤去を要求することを住民の総意として決定した。

金武町民が訴えている問題は、金武町だけの問題ではなく、狭隘な県土の中に全国の米軍専用施設面積の約75%に上る広大な米軍基地が集中する本県では、どこでも起こり得る問題で、また県民のだれでも被害に遭ってもおかしくない重大な問題であり、県民が一体となって早急に解決に向けて取り組むべき事案である。

よって、本県議会は、県民の生命、財産及び生活環境を守る立場から、今回の流弾事故を徹底的に究明して、県民に真相を明らかにするとともに、その間は実弾射撃訓練を中止するよう強く要求する。

上記のとおり決議する。

平成21年3月25日

沖 縄 県 議 会  
駐日米国大使  
在日米軍司令官  
在日米軍沖縄地域調整官  
在沖米国総領事

あて

## 普天間飛行場燃料流出事故に関する意見書

沖縄及び北方対策担当大臣 J

## 普天間飛行場燃料流出事故に関する抗議決議

去る3月3日、普天間飛行場北側の燃料タンクからジェット燃料約760リットルが流出する事故が発生した。

去る3月3日、普天間飛行場北側の燃料タンクからジェット燃料約760リットルが流出する事故が発生した。

米軍は、約半分は回収し、残りの半分が未回収ではあるものの、基地外への燃料流出は確認されていないとしているが、宜野湾市、県、沖縄防衛局への通報が2日後の3月5日とおくれたこと、同様な燃料流出事故が多発していること、流出量と回収量を修正、報告していることから、県民は米軍の管理及び通報体制のあり方に疑問を抱いている。

米軍は、約半分は回収し、残りの半分が未回収ではあるものの、基地外への燃料流出は確認されていないとしているが、宜野湾市、県、沖縄防衛局への通報が2日後の3月5日とおくれたこと、同様な燃料流出事故が多発していること、流出量と回収量を修正、報告していることから、県民は米軍の管理及び通報体制のあり方に疑問を抱いている。

また、県民の代表者である本県議会を初め県、宜野湾市が立入調査を求めたことに対し、人数を制限したり、写真撮影や土壌のサンプル採取を拒否するなど調査方法を制限しており、まことに遺憾である。

また、県民の代表者である本県議会を初め県、宜野湾市が立入調査を求めたことに対し、人数を制限したり、写真撮影や土壌のサンプル採取を拒否するなど調査方法を制限しており、まことに遺憾である。

本来、このような流出事故が発生した場合は、速やかに関係機関へ通報、連絡を行うとともに、環境汚染を防止するため万全の体制をしき、直ちに回収、防止対策を実施すべきである。

本来、このような流出事故が発生した場合は、速やかに関係機関へ通報、連絡を行うとともに、環境汚染を防止するため万全の体制をしき、直ちに回収、防止対策を実施すべきである。

よって、本県議会は、県民の生命、財産及び生活環境を守る立場から、今回の燃料流出事故に厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

よって、本県議会は、県民の生命、財産及び生活環境を守る立場から、今回の燃料流出事故に厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

### 記

### 記

- 1 燃料流出事故の原因を究明するとともに、環境への影響調査を行い、その結果を県民に公表すること。
- 2 事故の再発防止対策を講じるとともに、通報連絡体制の見直しと再構築を行うこと。
- 3 燃料保管及び給油体制の適正化を図るとともに、兵士を含む関係者への教育・訓練の徹底を図ること。
- 4 過去の燃料流出事故について、どのように処理、対応してきたか県民に明らかにすること。

- 1 燃料流出事故の原因を究明するとともに、環境への影響調査を行い、その結果を県民に公表すること。
- 2 事故の再発防止対策を講じるとともに、通報連絡体制の見直しと再構築を行うこと。
- 3 燃料保管及び給油体制の適正化を図るとともに、兵士を含む関係者への教育・訓練の徹底を図ること。
- 4 過去の燃料流出事故について、どのように処理、対応してきたか県民に明らかにすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

上記のとおり決議する。

平成21年3月25日

平成21年3月25日

沖縄県議会

沖縄県議会

内閣総理大臣  
外務大臣  
防衛大臣 } あて

駐日米国大使  
在日米軍司令官 } あて

## 観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 委員会記録

### (1)

◎平成21年2月26日(木曜日)

開 会 午後8時13分  
散 会 午後8時18分  
場 所 第5委員会室  
議 題

- 1 参考人招致について
- 2 審査日程について

#### 出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	辻 野 ヒロ子 さん
委 員	座喜味 一 幸 君
	新 垣 良 俊 君
	新 垣 哲 司 君
	仲宗根 悟 君
	高 嶺 善 伸 君
	玉 城 ノブ子 さん
	金 城 勉 君
	赤 嶺 昇 君
	平 良 昭 一 君

#### 審査概要

参考人招致について協議し、決定した。  
次に、審査日程について協議し、決定した。

### (2)

◎平成21年3月23日(月曜日)

開 会 午前11時2分  
散 会 午後4時5分  
場 所 第5委員会室  
議 題

- 1 参考人からの説明聴取について(沖縄観光の方向性と官民連携のあり方について)
- 2 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(平成21年度ビジットおきなわ計画につ

いて)

- 3 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(新石垣空港の整備事業の進捗状況について)

- 4 閉会中継続審査(調査)について

#### 出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	辻 野 ヒロ子 さん
委 員	座喜味 一 幸 君
	新 垣 良 俊 君
	新 垣 哲 司 君
	仲宗根 悟 君
	高 嶺 善 伸 君
	玉 城 ノブ子 さん
	金 城 勉 君
	赤 嶺 昇 君
	平 良 昭 一 君

#### 説明員の職、氏名

観光商工部長	仲 田 秀 光 君
参事監兼観光交流統括監	松 本 真 一 君
観光企画課長	新 垣 昌 頼 君
観光振興課長	呉 屋 幸 一 君
土木建築部長	漢 那 政 弘 君
新石垣空港統括監	根路銘 恵 一 君
道路街路課長	當 間 清 勝 君
新石垣空港課長	栄野川 盛 信 君
参 考 人	(沖縄観光の方向性と官民連携のあり方について)
琉球大学教授	平 良 一 彦 君

#### 審査概要

沖縄観光の方向性と官民連携のあり方について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、平成21年度ビジットおきなわ計画について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、新石垣空港の整備事業の進捗状況について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

# 観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

## 沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年2月26日(木曜日)

開 会 午後8時8分  
散 会 午後8時13分  
場 所 第6委員会室  
議 題

- 1 審査日程について

出 席

委 員 長	当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長	島 袋 大 君
委 員	浦 崎 唯 昭 君
	池 間 淳 君
	仲 村 未 央 さん
	渡久地 修 君
	糸 洲 朝 則 君
	上 里 直 司 君
	瑞慶覧 功 君
	當 間 盛 夫 君
	奥 平 一 夫 君

欠 席

仲 田 弘 毅 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年3月23日(月曜日)

開 会 午前11時2分  
散 会 午後2時27分  
場 所 第6委員会室

議 題

- 1 陳情平成20年第193号
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(沖縄21世紀ビジョン(仮称)策定の進捗状況について)
- 3 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(沖縄振興計画の総点検の進捗状況について)
- 4 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(那覇空港構想段階P Iの結果について)
- 5 閉会中継続審査(調査)について

出 席

委 員 長	当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長	島 袋 大 君
委 員	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	池 間 淳 君
	仲 村 未 央 さん
	渡久地 修 君
	糸 洲 朝 則 君
	上 里 直 司 君
	瑞慶覧 功 君
	當 間 盛 夫 君
	奥 平 一 夫 君

説明員の職、氏名

企 画 部 長	上 原 良 幸 君
企画調整課長	黒 島 師 範 君
交通政策課長	津 覇 隆 君

審査概要

陳情1件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、沖縄21世紀ビジョン(仮称)策定の進捗状況について、沖縄振興計画の総点検の進捗状況について及び那覇空港構想段階P Iの結果について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件を採決した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

# 沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成20年第193号 那覇空港拡張整備計画に関する陳情
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

## 予算特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年2月26日(木曜日)

開 会 午後8時24分  
散 会 午後8時47分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 委員長の互選
- 2 副委員長の互選
- 3 予算特別委員会運営要領について
- 4 理事の選任

出 席

委 員 長	奥 平 一 夫 君
副 委 員 長	新 垣 清 涼 君
委 員	島 袋 大 君
	中 川 京 貴 君
	桑 江 朝 千 夫 君
	座 喜 味 一 幸 君
	浦 崎 唯 昭 君
	仲 村 未 央 さん
	仲 宗 根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君
	前 田 政 明 君
	玉 城 ノブ子 さん
	當 山 眞 市 君
	金 城 勉 君
	上 里 直 司 君
	山 内 末 子 さん
	比 嘉 京 子 さん

當 間 盛 夫 君

欠 席

仲 田 弘 毅 君

審査概要

委員会条例第7条の規定により、議長が委員会を招集し、年長委員の当銘勝雄君が委員長に互選に関する職務を行い、指名推選により奥平一夫君が委員長に選任された。

次に、指名推選により副委員長に新垣清涼君が選任された。

次に、予算特別委員会運営要領について協議し、決定した。

次に、理事に島袋大君、当銘勝雄君、前田政明君、當山眞市君及び上里直司君が選任された。

(2)

◎平成21年2月27日(金曜日)

開 会 午前10時4分  
散 会 午後6時12分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 甲第24号議案 平成20年度沖縄県一般会計補正予算(第3号)
- 2 甲第25号議案 平成20年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 3 甲第26号議案 平成20年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計補正予算(第1号)
- 4 甲第27号議案 平成20年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算(第1号)
- 5 甲第28号議案 平成20年度沖縄県病院事業会計補正予算(第1号)
- 6 甲第29号議案 平成20年度沖縄県水道事業会計補正予算(第1号)
- 7 甲第30号議案 平成20年度沖縄県一般会計補正予算(第4号)

出 席

委 員 長	奥 平 一 夫 君
副 委 員 長	新 垣 清 涼 君
委 員	島 袋 大 君
	中 川 京 貴 君
	桑 江 朝 千 夫 君
	座 喜 味 一 幸 君
	仲 田 弘 毅 君

浦崎唯昭君  
 仲村未央さん  
 仲宗根悟君  
 当銘勝雄君  
 前田政明君  
 玉城ノブ子さん  
 當山眞市君  
 金城勉君  
 上里直司君  
 山内末子さん  
 比嘉京子さん  
 當間盛夫君

**説明の職、氏名**

知事公室長 上原昭君  
 総務部長 宮城嗣三君  
 税務課長 下地功君  
 管財課長 武内孝夫君  
 企画部長 上原良幸君  
 文化環境部長 知念建次君  
 環境保全課長 久田友弘君  
 福祉保健部長 伊波輝美さん  
 福祉・援護課長 呉屋禮子さん  
 健康増進課長 桃原利功君  
 農林水産部長 護得久友子さん  
 糖業農産課長 赤嶺勉君  
 村づくり計画課長 知念武君  
 農地水利課長 小山榮一君  
 農村整備課長 山内光雄君  
 森林緑地課長 長間孝君  
 観光商工部長 仲田秀光君  
 企業立地推進課長 上原俊次君  
 雇用労政課長 比嘉徹君  
 土木建築部長 漢那政弘君  
 土木企画課長 上原兼治君  
 海岸防災課長 田盛繁美君  
 都市計画・モノレール課長 儀間真明君  
 新石垣空港課長 栄野川盛信君  
 企業局長 花城順孝君  
 病院事業局長 知念清君  
 県立病院課長 新屋勉君  
 教育長 仲村守和君  
 警察本部刑務部会計課長 中井悟君

議会事務局長 長嶺伸明君

**審査概要**

甲第24号議案から甲第27号議案まで及び甲第30号議案の補正予算5件について総務部長から、甲第28号議案について病院事業局長から、甲第29号議案について企業局長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、不発弾等対策安全事業の補正内容、沖縄県不発弾等対策安全基金の活用方法及び運用基準、不発弾等対策における今後の国の責任のあり方、不発弾爆発被害と国家賠償法適用の可否、沖縄県不発弾等対策安全基金が対象とする被害の範囲、沖縄不発弾等対策協議会の活動状況、海中に存在する不発弾の処理方法、投資的経費の減額補正の理由、石油製品輸送等補助事業費増額補正の理由、道路財源の一般財源化の方向性、軽油引取税減額補正の理由、人件費の減額補正と行財政改革との関係、地域力向上推進事業の減額補正の理由、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の減額補正の理由、防衛施設周辺障害防止事業費の減額補正の理由、財産売払収入の減額補正の理由、法人事業税増額補正の内容、不動産取得税増額補正の内容、ゴルフ場利用税の増額補正の理由、課税対象となるゴルフ場数及び年間の利用者総数、ゴルフ場利用税収入における市町村への交付額の割合、ゴルフ場利用者における県外利用者・県内利用者の内訳、大型補正執行に向けた体制づくりの状況、定額給付金支給実施に向けた取り組み状況、今回の交付金の沖縄県配分額の根拠、騒音悪臭対策費及び基地公害対策費の補正理由、騒音測定器の耐用年数及び現行機種の種類、騒音測定器の機種変更の可否、栄野比局復活の可否、基地騒音測定結果に基づく米軍への要請状況、生活保護扶助費増額補正の内容、ケースワーカー1人当たりの担当世帯数、生活保護相談件数と申請件数、生活保護辞退届の状況、地域福祉推進事業の内容、妊婦検診支援基金事業の内容、離島住民の健康診査に対する助成制度の状況、介護福祉士等修学資金貸付事業の内容、ふるさと雇用再生特別交付金の雇用効果の目標、雇用再生特別事業基金活用事業の内容、民間からの事業公募予定の有無及び雇用効果の目標、緊急保証制度の実績、沖縄県緊急ジョブトレーニング事業の内容と対象人数、観光施設整備事業費の内容、観光緊急経済対策事業の内容、病院職員給与費増額補正の理由、

病院職員退職見込みの精度、各県立病院の普通退職数と退職理由、県立病院患者数減の理由、7対1看護体制に移行できない理由、病床休床による経営への影響、各県立病院の看護師欠員状況、地域活性化・生活対策臨時交付金による高額医療機器整備のめど、新山村等振興対策事業費の減額補正の理由、特産畑作振興対策事業の減額補正の内容、さとうきび生産振興対策事業費の減額補正の内容、食肉魚介類等検査機器整備事業の内容、与那国町における治山施設維持管理費の内容、残波岬防潮林の全滅に伴う復旧のめど、モズク消費拡大に向けた事業計画の有無、県営かんがい排水事業繰越額増額の理由、集落地域整備事業繰越額増額の理由、田園空間整備事業繰越額増額の理由、林業構造改善事業費減額補正の理由、林道開設費減額補正の理由、中部合同庁舎建設事業の入札方式、最低制限価格の設定方法、中部合同庁舎建設事業減額補正の理由、公共事業の入札方式を総合評価方式に変えた理由と総合評価方式の内容、繰越明許費補正の内容、中城湾港マリン・タウン整備事業の事業着手年度と完了予定年度、県単公園整備事業の内容、公園遊具の使用不能状況、黒島海岸整備事業の内容、観光支援道路の内容、新石垣空港ターミナルビル新会社への出資の状況、特別自由貿易地域振興費の内容、特別自由貿易地域の立地要件、特別自由貿易地域事業認定の内容と認定企業数、認定企業と進出企業の違い、常時雇用の定義と根拠、物流支援助成を受けている企業数と実績、税制優遇措置の活用状況、特別自由貿易地域内の分譲状況、特別自由貿易地域内の従業員数と正規・非正規雇用の割合、特別自由貿易地域整備事業の総事業費、基地関連犯罪防止対策事業の内容、図書館施設整備更新事業の内容、最近の少雨傾向に対する渇水対策の取り組み等について質疑が行われた。

(3)

◎平成21年3月2日(月曜日)

開 会 午後1時23分  
散 会 午後1時25分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 甲第24号議案 平成20年度沖縄県一般会計補正予算(第3号)

- 2 甲第25号議案 平成20年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 3 甲第26号議案 平成20年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計補正予算(第1号)
- 4 甲第27号議案 平成20年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算(第1号)
- 5 甲第28号議案 平成20年度沖縄県病院事業会計補正予算(第1号)
- 6 甲第29号議案 平成20年度沖縄県水道事業会計補正予算(第1号)
- 7 甲第30号議案 平成20年度沖縄県一般会計補正予算(第4号)

出 席

委 員 長	奥 平 一 夫 君
副 委 員 長	新 垣 清 涼 君
委 員	島 袋 大 君
	中 川 京 貴 君
	桑 江 朝 千 夫 君
	座 喜 味 一 幸 君
	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	仲 村 未 央 さん
	仲 宗 根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君
	前 田 政 明 君
	玉 城 ノブ子 さん
	當 山 眞 市 君
	金 城 勉 君
	上 里 直 司 君
	山 内 末 子 さん
	比 嘉 京 子 さん
	當 間 盛 夫 君

審査概要

甲第24号議案から甲第30号議案までの補正予算7件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(4)

◎平成21年3月5日(木曜日)

開 会 午前10時6分  
散 会 午後7時33分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計

予算

- 2 甲第2号議案 平成21年度沖縄県農業改良資金特別会計予算
- 3 甲第3号議案 平成21年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計予算
- 4 甲第4号議案 平成21年度沖縄県中小企業振興資金特別会計予算
- 5 甲第5号議案 平成21年度沖縄県下地島空港特別会計予算
- 6 甲第6号議案 平成21年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計予算
- 7 甲第7号議案 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計予算
- 8 甲第8号議案 平成21年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計予算
- 9 甲第9号議案 平成21年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計予算
- 10 甲第10号議案 平成21年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計予算
- 11 甲第11号議案 平成21年度沖縄県林業改善資金特別会計予算
- 12 甲第12号議案 平成21年度沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計予算
- 13 甲第13号議案 平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計予算
- 14 甲第14号議案 平成21年度沖縄県自由貿易地域特別会計予算
- 15 甲第15号議案 平成21年度沖縄県産業振興基金特別会計予算
- 16 甲第16号議案 平成21年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計予算
- 17 甲第17号議案 平成21年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計予算
- 18 甲第18号議案 平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計予算
- 19 甲第19号議案 平成21年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計予算
- 20 甲第20号議案 平成21年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計予算
- 21 甲第21号議案 平成21年度沖縄県病院事業会計予算
- 22 甲第22号議案 平成21年度沖縄県水道事業

会計予算

- 23 甲第23号議案 平成21年度沖縄県工業用水道事業会計予算

出席

委員長	奥平一夫君
副委員長	新垣清涼君
委員	島袋大君
	中川京貴君
	桑江朝千夫君
	座喜味一幸君
	仲田弘毅君
	浦崎唯昭君
	仲村未央さん
	仲宗根悟君
	当銘勝雄君
	前田政明君
	玉城ノブ子さん
	當山眞市君
	金城勉君
	上里直司君
	山内末子さん
	比嘉京子さん
	當間盛夫君

説明の職、氏名

知事公室長	上原昭君
秘書課長	山里清君
基地対策課長	又吉進君
防災危機管理課長	饒平名知成君
総務部長	宮城嗣三君
総務私学課長	真栄城香代子さん
人事課長	當間秀史君
人事課行政管理監	謝花喜一郎君
職員厚生課長	當間重美さん
財政課長	小橋川健二君
税務課長	下地功君
管財課長	武内孝夫君

審査概要

甲第1号議案から甲第23号議案までの23件について予算の総括説明及び総務部関係予算について総務部長から、知事公室関係予算について知事公室長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、不発弾対策のための法整備に向けた事務局体制と今後のスケジュール、不発弾探査の県及び市町村の財政負担の状況、不発弾処理の数値目標、民間

工事に対する不発弾探査事業の適用、沖縄県不発弾等安全対策基金条例の交付要綱制定状況、不発弾処理費用の財源、特定地域特別振興事業の内容と同事業名の由来、特定地域特別振興事業成立に至る経緯、事業対象地域数と対象人数、今後の事業展開の予定、旧軍飛行場用地の面積、沖縄特別振興対策調整費における特定地域特別振興事業の予算枠と算定基準、特定地域特別振興事業に沖縄特別振興対策調整費を充てることの是非、特定地域特別振興事業を特別枠で予算要求することの可否、旧軍飛行場用地問題は戦後処理であるとする事に対する県の見解、前回知事訪米と今回予定知事訪米の違い、知事訪米の要請内容と要請時期、日米地位協定見直しに関する委託調査の内容と委託先、消防広域化推進事業の内容、沖縄県内のはしご車の台数、はしご車購入費に対する県の補助状況、在沖米海兵隊グアム移転協定に対する県の見解、グアム移転協定実施に伴う在沖米海兵隊員等の減員数、嘉手納飛行場爆音被害の状況、嘉手納飛行場への外来機飛来状況、嘉手納基地周辺住宅防音工事助成対象区域見直し調査の進捗状況、防音工事対象基準の内容と基準見直しの国への要請状況、嘉手納ラプコンの返還スケジュール、嘉手納ラプコンふぐあい発生の原因、航空自衛隊那覇基地に係る騒音問題、駐留軍用地跡地利用促進事業の内容、国民保護計画の市町村計画策定状況と未策定市町村数、県税収納額の推移と減収の要因、自主財源割合の九州各県比較、県税の滞納件数と滞納額、自主財源確保の取り組み状況、法定外新税の取り組み状況、ふるさと納税の状況、県たばこ税の収納状況、航空機燃料譲与税の収納状況、県主要基金の状況、賦課徴収費の内容、所有者不明土地管理特別会計の内容、職員研修費の推移、若夏荘の廃止に至った経緯と今後の予定、若夏荘の累積赤字額、県三役の名刺作製費用とデザイン、県職員の健康管理の状況と対策等について質疑が行われた。

(5)

◎平成21年3月6日(金曜日)

開 会 午前10時4分  
散 会 午後6時32分  
場 所 第7委員会室  
議 題

1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計  
予算

出 席

委 員 長	奥 平 一 夫 君
副 委 員 長	新 垣 清 涼 君
委 員	島 袋 大 君
	中 川 京 貴 君
	桑 江 朝 千 夫 君
	座 喜 味 一 幸 君
	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	仲 村 未 央 さん
	仲 宗 根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君
	前 田 政 明 君
	玉 城 ノブ子 さん
	當 山 眞 市 君
	金 城 勉 君
	上 里 直 司 君
	山 内 末 子 さん
	比 嘉 京 子 さん
	當 間 盛 夫 君

説明の職、氏名

企 画 部 長	上 原 良 幸 君
企画調整統括監	上 里 至 君
地域・離島統括監	川 上 好 久 君
企画調整課長	黒 島 師 範 君
交通政策課長	津 覇 隆 君
科学技術振興課長	棚 原 政 忠 君
農 業 研 究 センター所長	喜 名 景 秀 君
森林資源研究 センター所長	具 志 堅 允 一 君
情報政策課長	松 堂 勇 君
地域・離島課長	館 圭 輔 君
市 町 村 課 長	新 垣 光 博 君
会 計 管 理 者	福 治 嗣 夫 君
監査委員事務局長	宮 城 清 志 君
人事委員会事務局長	伊 礼 幸 進 君
議 会 事 務 局 長	長 嶺 伸 明 君
総務部財政統括監	名 渡 山 司 君

審査概要

甲第1号議案について企画部長から説明を聴取した後、質疑に入り、那覇空港拡張整備に係るP

I 調査の結果、那覇空港拡張整備と自衛隊との共用使用問題、那覇空港の需要予測と1日の航空機発着回数、自衛隊機を除いた場合の需要予測、アジア・ゲートウェイ構想とANA国際貨物基地構想の関係、ANA国際貨物基地構想展開に伴う航空貨物増大の可能性、沖縄21世紀ビジョンをつくる必要性、沖縄振興計画の総点検と沖縄21世紀ビジョンの関連性、復帰後の沖縄振興予算の総額、沖縄県に投下された振興予算の本土への逆流額、沖縄振興計画の現時点における評価と課題、沖縄振興予算の推移、今後の沖縄振興計画における高率補助と特別措置の位置づけ、新たな沖縄振興策の検討状況、沖縄振興計画における環境問題の位置づけ、北部振興策の実績と評価、沖縄本島北部地区の人口推移と県民所得及び産業の状況、北部振興策対象自治体の財政状況、ビジョンフレーム調査費の内容、電子自治体推進事業費の内容、電子自治体構築のスケジュール、子供科学力養成事業の内容、県内におけるブロードバンドの普及率、県民のパソコン保有率、農業研究費の県単独事業と受託事業の具体的内容、薬草関係試験研究課題の内容、松くい虫天敵防除事業の内容と実施時期、研究課題の絞り込み手順、先端バイオ研究基盤高度化事業の内容、臨床研究連携基盤構築事業の内容、試験研究事業と沖縄科学技術大学院大学との連携、沖縄科学技術大学院大学整備事業の進捗状況と開学までのタイムスケジュール、沖縄科学技術大学院大学学生の募集方法、沖縄科学技術大学院大学周辺整備事業の進捗状況と今年度の予定、沖縄科学技術大学院大学周辺整備事業費減額の理由、インターナショナルスクールの3者覚書締結の経緯とうるま市議会へ報告がおくれた理由、モノレール導入と総合交通体系との関係、市町村合併の今後の展開、バス路線欠損額に対する補助内容、省エネ車両導入支援の内容、基幹バス実証実験延期の理由、鉄軌道導入検討の状況、1人当たり県民所得の3年間の推移と全国との比較、失業率の3年間の推移と全国との比較、生活保護の3年間の推移、自己破産の3年間の推移、県民の暮らしの実態と今後の対策、貧困と格差についての企画部長の認識、全国知事会負担金外8件の負担金の積算根拠と必要性、全国知事会の意義と開催回数、離島フェアの出店数・出店方法・来場者数及び収益の状況、離島フェア事業の委託先、離島

フェア事務費の増加理由、離島航路補助事業の内容、離島航路確保対策事業の内容、有村産業運行休止に伴う影響と対策、体験滞在交流推進事業の内容、自然・伝統文化を生かした交流促進事業の内容等について質疑が行われた。

(6)

◎平成21年3月9日(月曜日)

開 会 午前10時4分

散 会 午後7時52分

場 所 第7委員会室

議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第6号議案 平成21年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計予算
- 3 甲第21号議案 平成21年度沖縄県病院事業会計予算

出 席

委 員 長	奥 平 一 夫 君
副 委 員 長	新 垣 清 涼 君
委 員	中 川 京 貴 君
	桑 江 朝 千 夫 君
	座 喜 味 一 幸 君
	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	仲 村 未 央 さん
	仲 宗 根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君
	前 田 政 明 君
	玉 城 ノブ子 さん
	當 山 眞 市 君
	金 城 勉 君
	上 里 直 司 君
	山 内 末 子 さん
	比 嘉 京 子 さん
	當 間 盛 夫 君

欠 席

島 袋 大 君

説明の職、氏名

文化環境部長	知 念 建 次 君
県立芸術大学事務局長	長 田 勉 君
文化振興課長	松 田 雅 章 君

県民生活課長	譜久山 典 子 さん
環境政策課長	下 地 寛 君
環境保全課長	久 田 友 弘 君
環境整備課長	安 里 健 君
自然保護課長	上 原 隆 廣 君
福祉保健部長	伊 波 輝 美 さん
保健衛生統括監	高江洲 均 君
福祉保健部参事	久 田 裕 君
福祉・援護課長	呉 屋 禮 子 さん
青少年・児童 家庭課長	新 垣 郁 男 君
障害保健福祉課長	垣 花 芳 枝 さん
医務・国保課長	新 垣 盛 勝 君
健康増進課長	桃 原 利 功 君
薬務衛生課長	金 城 康 政 君
病院事業局長	知 念 清 君
病院事業局次長	小 川 和 美 君
県立病院課長	新 屋 勉 君
県立病院課 病院経営管理監	桃 原 幹 雄 君
北部病院長	大久保 和 明 君
中部病院長	平安山 英 盛 君
南部医療センター・ こども医療センター長	下 地 武 義 君
精和病院長	新 垣 米 子 さん
宮古病院長	安谷屋 正 明 君
八重山病院長	伊 江 朝 次 君
総務部財政統括監	名渡山 司 君

## 審査概要

甲第1号議案、甲第6号議案及び甲第21号議案の3件について文化環境部長、福祉保健部長及び病院事業局長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、産業廃棄物処理場に出した改善命令の内容と理由、改善命令発出に至る経緯、改善命令に対する業者からの回答状況、当該産業廃棄物処理場の面積及び深さ、木くず撤去の面積と深さ、クロルデンに対する改善命令の状況、業者の検査結果を県が公表した経緯、比抵抗検査の内容、クロルデン解析に時間がかかっている理由、離島におけるごみ処理の現況、地球温暖化防止計画の目標不達成の原因、米軍の地球温暖化対策の課題、地球温暖化防止再計画の取り組み状況、クリーンエネルギー導入の取り組み状況、県庁における低公害車の導入状況、地球温暖化防止と鉄軌道導入との関連、CO<sub>2</sub>の増加とレンタカー増加の関連、

宮古島市環境都市計画と今後の県の支援策、マングース根絶の目的、マングースの胃残渣物調査の結果、外来害鳥タイワンシロガシラ対策の状況、赤土によるサンゴ死滅状況調査の予定、財団法人おきなわ女性財団の雇いどめ問題と県のかかわり方、新嘉手納爆音訴訟判決に対する県の見解、糸満市喜屋武地区の騒音対策、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律の概要と県の目標達成状況、沖縄国際アジア音楽祭の取り組み状況と今後のスケジュール、沖縄国際アジア音楽祭の招聘対象国、沖縄市ミュージックタウンの活用状況と県の支援策、県立芸術大学関係予算減額の理由、県立芸術大学学科における県出身入学志願者ゼロの状況とその原因と対策、県立芸術大学生からの嘆願書に対する取り組み状況、第三者機関による調査委員会設置の検討状況、常勤カウンセラー設置の検討状況、方言・童謡に対する取り組み状況、通院患者リハビリテーション事業の実績と予算減額の理由、障害者自立支援法施行に伴う施設実態調査の状況、障害者自立支援法新体制への移行状況、保育所入所待機児童対策特別事業の実績、保育所施設改修費用の見込み額、病児・病後時保育事業の状況と利用児童数、発達障害児対策の取り組み状況、発達障害者支援センター増設の予定、がん対策基本計画の策定状況、がん対策予算の総額、がん対策推進条例の制定予定、沖縄県がん診療連携協議会の運営と県のかかわり、大規模児童クラブに対する補助金打ち切りの状況、与儀学童クラブ転居に対する県の対応、つどいの広場設置状況、県内自殺者数の推移、自殺防止対策の取り組み状況、沖縄県自殺対策連絡協議会の役割、沖縄赤十字病院の現況、沖縄赤十字病院施設整備事業における県内業者受注割合、慰霊等事業費の財源内訳、慰霊碑の管理・整備状況と戦後処理としての位置づけ、こども未来ゾーン運営補助金の位置づけ、こども未来ゾーン運営補助金の負担金化の可否、墓地整備を民間が行っていることに対する県の見解、沖縄県食肉センターにおける検査ミス事故のてんまつ、病豚肉流通に伴う損害賠償の状況、病院事業会計への一般会計繰入金の1床当たり額と5年間の推移、医業収益の5年間の推移、診療報酬改定に伴う病院収益への影響、公的医療に関する県の基本的認識、県立病院が基幹病院として果たしている役割、公的医療の継続

的提供に対する各病院長の見解、一般会計繰入金を全国並みに増額することの可否、県立病院の地方独立行政法人化に対する県の認識、一般会計繰入金の全国平均額との差額、県立病院における救急診療の内容と夜間救急診療体制、県立病院における不採算医療費用の総額、国立病院・市立病院と県立病院の役割の違い、各県立病院からの増員要求状況、7対1看護体制に対する県の認識、独立行政法人化に伴う医師派遣継続の可否、病院事業再建計画と独立行政法人化の関係、病院事業再建計画のチェック体制とチェック指標、一般会計繰入金の査定基準と今後の推移、病院事業不良債務38億円の要因と対策、県立病院給与比率の全国との比較、県立病院問題と福祉保健部のかかわり方、繰出金における補助費の状況、県立病院あり方説明会への参加職員数、共済年金追加負担額と離島増嵩費の累計額、県立病院の地方独立法人化決議の経緯、県立宮古病院移転に伴う病床面積、病院職員条例定数の変更と独立行政法人化の関係、県立病院あり方検討会に病院現場職員を参加させる方策、県立病院を独立行政法人化する場合の県議会議決の必要性等について質疑が行われた。

(7)

◎平成21年3月10日(火曜日)

開 会 午前10時0分  
散 会 午後8時32分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第2号議案 平成21年度沖縄県農業改良資金特別会計予算
- 3 甲第9号議案 平成21年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計予算
- 4 甲第10号議案 平成21年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計予算
- 5 甲第11号議案 平成21年度沖縄県林業改善資金特別会計予算

出 席

委 員 長 奥 平 一 夫 君  
副 委 員 長 新 垣 清 涼 君  
委 員 中 川 京 貴 君

桑 江 朝千夫 君  
座喜味 一 幸 君  
仲 田 弘 毅 君  
浦 崎 唯 昭 君  
仲 村 未 央 さん  
仲宗根 悟 君  
当 銘 勝 雄 君  
前 田 政 明 君  
玉 城 ノブ子 さん  
當 山 眞 市 君  
金 城 勉 君  
上 里 直 司 君  
比 嘉 京 子 さん  
當 間 盛 夫 君

欠 席

島 袋 大 君  
山 内 末 子 さん

説明の職、氏名

農 林 水 産 部 長	護 得 久 友 子 さん
流通政策課長	金 城 栄 子 さん
農政経済課長	砂 川 正 幸 君
営農支援課長	仲宗根 盛 和 君
園芸振興課長	山 城 毅 君
糖業農産課長	赤 嶺 勉 君
畜 産 課 長	赤 嶺 幸 信 君
村づくり計画課長	知 念 武 君
農地水利課長	小 山 榮 一 君
森林緑地課長	長 間 孝 君
水 産 課 長	金 城 明 律 君
漁港漁場課長	島 袋 義 彦 君
警 察 本 部 長	得 津 八 郎 君
警察本部警務部長	児 嶋 洋 平 君
警察本部生活安全部長	山入端 辰 次 君
警察本部刑事部長	日 高 清 晴 君
警察本部交通部長	古波蔵 正 君
総務部財政統括監	名渡山 司 君

審査概要

甲第1号議案、甲第2号議案及び甲第9号議案から甲第11号議案までの5件について農林水産部長及び警察本部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、伊江原支線の設置目的と事業概要、伊江I号支線の設置目的と事業概要、林道開設の目的、造林の目的、松くい虫被害木の利用状況、造林事業や林道開設事業が生態系に与える影

響、造林事業と世界遺産登録との関係、北部地域における林業の果たす役割、ヤンバルの森林が戦後復興に果たした役割、林道開設事業の補助率と補助基準、林道整備率の沖縄県と全国の比較、林道舗装率の沖縄県と全国の比較、林道のアスファルト舗装の必要性、造林事業の補助率と補助基準、復帰後から平成20年度までの造林事業費総額、造林事業の対象樹種、沖縄県の林道路線数と延長、沖縄本島北部地域の林道路線数と延長、復帰後から平成20年度までの林道整備事業費総額、林道改良事業の延長、林道舗装事業の延長、林道施設災害復旧費の予算額、林道事業費に占める災害復旧費の割合、全造林地における環境調査の必要性、若年木と老齢木の二酸化炭素吸収率の違い、沖縄本島北部のダム個数とかん水面積、子供たちとヤンバルの森とのかかわり方、林業に係る総予算額、林道開設の根拠計画、森林計画における環境配慮事項、林業家の平均年収、林道開設予定地における希少動物調査の実施状況、国頭地区における希少種数と保護対策、林道開設予定地の知事視察の予定、リュウキュウマツ1本の価格、農業従事者の人材育成の状況、農業高校卒業者の農業従事状況、沖縄農業における成功事例、沖縄県における耕作放棄地発生の要因、耕作放棄地活用の取り組み、農家におけるパソコン保有状況、農業におけるインターネットの活用状況、熱帯果樹の沖縄ブランド化の内容、沖縄ブランド豚事業の内容、アグーの登録商標の確立、アグー同士交配種とアグーと西洋豚交配種との差別化、両種の飼育期間と値段の比較、有機農法に対する取り組み状況、農業共済加入農家数の推移、農業共済加入に対する県の助成措置、農林水産予算12億円減に対する県の認識、沖縄県の食料自給率と自給率向上に向けた取り組み、ウチナー島野菜産地化事業の対象島野菜、県内農産物の流通の現状と課題、地産地消の取り組み状況、食料廃棄物の飼料化の取り組み状況、食品産地偽装問題に対する県の対応、特殊病害虫防除事業の内容、アリモドキゾウムシ根絶事業の実施状況、イモゾウムシ根絶事業の実施状況、根絶に要する期間、農業経営構造対策事業の内容、農業従事者数と専業農家の平均年収、ハウス等防災型施設の整備状況、畜産ふん尿処理の現状と対策、さとうきび経営安定化対策の実施状況、さとうきび作関係機械購入費補助の状況、農林水

産部における薬草生産振興策の実施状況、薬草製品化の事例、自然エネルギーを活用した環境に優しい省エネ型農産物施設のシステム導入事業の内容、WTOに対する県の対応、糸満市真栄平地区の冠水対策、平敷屋漁港の整備状況、過去に設置したパヤオの効果、表層型パヤオと中層型パヤオの違い、稚魚放流事業の内容、水産物流通総合センター整備当時の確認事項の内容と現状、沖縄県漁業協同組合連合会市場の糸満市への移転問題、麻薬・覚せい剤等の薬物乱用の実態と対策、サイバー犯罪の実態と対策、振り込め詐欺の実態と対策、暴走族対策とパトカーの出動回数、暴走行為をする少年の特徴、暴走族グループ数と検挙件数、沖縄県のDVの発生状況と検挙率、飲酒運転撲滅に向けた県警察本部長の決意、沖縄警察署跡地の利活用予定、沖縄県における変死体数と全国の比較、県警察の検視体制と検視官数、変死体の火葬費用の負担者、検視官の増員予定、那覇市安里3丁目交差点の道路改良予定、米軍犯罪の検挙率と夜間検挙の割合、沖縄警察署管内における米軍犯罪の検挙率等について質疑が行われた。

(8)

◎平成21年3月11日(水曜日)

開 会 午前10時1分  
散 会 午後7時23分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第3号議案 平成21年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計予算
- 3 甲第4号議案 平成21年度沖縄県中小企業振興資金特別会計予算
- 4 甲第12号議案 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計予算
- 5 甲第14号議案 平成21年度沖縄県自由貿易地域特別会計予算
- 6 甲第15号議案 平成21年度沖縄県産業振興基金特別会計予算

出 席

委 員 長 奥 平 一 夫 君  
副 委 員 長 新 垣 清 涼 君

委員	島袋大君
	中川京貴君
	桑江朝千夫君
	座喜味一幸君
	仲田弘毅君
	浦崎唯昭君
	仲村未央さん
	仲宗根悟君
	当銘勝雄君
	前田政明君
	玉城ノブ子さん
	當山眞市君
	金城勉君
	上里直司君
	山内末子さん
	比嘉京子さん
	當間盛夫君

**説明の職、氏名**

観光商工部長	仲田秀光君
参事監兼観光交流統括監	松本真一君
産業政策課長	上原勝則君
産業政策課副参事	湧川盛順君
新産業振興課長	武村勲君
商工振興課長	上與那原美和子さん
経営金融課長	比嘉清市君
情報産業振興課長	小嶺淳君
雇用労政課長	比嘉徹君
観光企画課長	新垣昌頼君
観光振興課長	呉屋幸一君
労働委員会参事監兼事務局長	比嘉久晶君
総務部財政統括監	名渡山司君

**審査概要**

甲第1号議案、甲第3号議案、甲第4号議案、甲第12号議案、甲第14号議案及び甲第15号議案の6件について観光商工部長及び労働委員会事務局長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、カジノ・エンターテイメント検討委員会に係る予算総額、同検討委員会の必要性、同検討委員会の構成と県職員のかかわり方、同検討委員会の検討内容と報告書の進捗状況、カジノに係る法整備の進捗状況、カジノ導入のメリットとデメリット、カジノの経済波及効果、カジノ建設に必要な予算

額、沖縄の豊かな自然とカジノの整合性、カジノの対象客層、カジノ導入と薬物依存との関係、県内パチンコ店の開業状況、カジノの違法性の認識、平成20年度入域観光客見込み数、沖縄県を初めて訪れる観光客とリピーターの割合、沖縄観光における平均滞在日数と投下金額、主な沖縄観光の目的、沖縄観光の満足度調査の内容、クルーズ船観光客の投下金額、沖縄観光誘客特別対策事業の内容、中長期滞在型観光の施策の有無、東部海浜開発リゾート計画に対する県の見解、国際観光戦略モデル事業の内容、高度観光人材育成モデル事業の内容、通訳案内士の登録者数、観光庁への県職員派遣状況、中国・韓国観光客誘致の取り組み状況、クルーズ船誘致の取り組み状況、ホエールウォッチング等に対する県の支援、ヤギや闘牛を活用した観光メニューの開発、リゾートウェディングに対する県の姿勢、沖縄観光と世界自然遺産登録との関係、資源エネルギー開発促進事業の内容、風力発電ガイドライン作成の必要性、太陽光発電導入補助金の金額と補助対象戸数算定の基準、沖縄県における売電の状況、沖縄産業支援センターの概要、株式会社沖縄産業振興センターの概要、天然ガス井管理費の内容、天然ガス開発の可能性、沖縄健康バイオテクノロジー開発研究センターの事業内容と製品開発の実績、バイオベンチャー企業研究開発支援事業の内容、地域ブランド構築推進事業の内容、泡盛データベース構築事業の内容、県内の泡盛酒造所数、泡盛の県外展開戦略、沖縄物産情報の発信方法、県内中小企業数と割合、大規模小売店舗の売上高の推移、全国における商店街活性化の成功事例、県内の空き店舗率の状況、沖縄国際映画祭に対する県の支援策と県ホームページへの掲載状況、日本青年会議所全国大会への県の支援策、沖縄駐留軍離職者対策センターの事業内容、米海兵隊グアム移転計画に伴う離職者対策、みんなでグッジョブ運動の進捗状況、4万人雇用創出の分野別目標人数、4万人雇用創出の目標達成状況、ミスマッチ対策による雇用予定数と積算根拠、県職業能力開発校における指導員公募の予定、無資格指導員の更新に対する県の対応、県職業能力開発校の正規・非正規職員の割合に対する県の認識、キャリア教育の開始時期、琉球大学非常勤講師雇いどめ問題に対する県及び労働委員会の認識、子育てママ就業支援プログラム

事業の内容、県内シルバー人材センター数と会員数、沖縄県キャリアセンターの3年間の利用実績、季節工の帰郷に伴う離職者対策、雇用再生特別事業基金活用事業の内容、沖縄県中小企業の振興に関する条例の地域へのおろし方、雇用・企業相談の県窓口設置の必要性、緊急雇用対策事業25億円の主なメニュー、BPO人材育成モデル事業の内容、雇用最適化支援事業の内容、建設産業就業者数の推移、職場訓練適応事業の実績と県助成の内容、同事業による職場定着の状況、ジョブコーチ制度の必要性、金融支援対策の内容、中小企業セーフティネット資金の活用実績、県の各種金融資金の貸付実績と制度周知の必要性、融資条件緩和の必要性、無担保無保証人融資制度の実績、指定管理者制度と人件費削減の懸念、公の施設における最低賃金法違反実態の改善状況、IT津梁パーク整備事業の進捗状況、IT津梁パーク整備事業の国庫負担割合と県負担財源、IT津梁パークの企業への広報活動状況と入居予定企業数、IT津梁パーク入居企業に対する優遇措置の内容、県出身者の派遣切りの状況、雇用保険制度改正の内容、雇用調整助成金制度の内容と実績、同制度周知の必要性、中小企業支援制度見直しの必要性、不当労働行為関連予算増額の理由、不当労働行為件数の推移、あっせん申し立て件数と公務関係あっせんの割合等について質疑が行われた。

(9)

◎平成21年3月12日(木曜日)

開 会 午前10時2分  
散 会 午後7時15分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第5号議案 平成21年度沖縄県下地島空港特別会計予算
- 3 甲第7号議案 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計予算
- 4 甲第13号議案 平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計予算
- 5 甲第16号議案 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計予算
- 6 甲第17号議案 平成21年度沖縄県中城湾港

マリン・タウン特別会計予算

- 7 甲第18号議案 平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計予算
- 8 甲第19号議案 平成21年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計予算
- 9 甲第20号議案 平成21年度沖縄県中城湾港(泡瀬地区)臨海部土地造成事業特別会計予算
- 10 甲第22号議案 平成21年度沖縄県水道事業会計予算
- 11 甲第23号議案 平成21年度沖縄県工業用水道事業会計予算

出 席

委 員 長	奥 平 一 夫 君
副 委 員 長	新 垣 清 涼 君
委 員	島 袋 大 君
	中 川 京 貴 君
	桑 江 朝 千 夫 君
	座 喜 味 一 幸 君
	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	仲 村 未 央 さん
	仲 宗 根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君
	前 田 政 明 君
	玉 城 ノブ子 さん
	當 山 眞 市 君
	金 城 勉 君
	上 里 直 司 君
	山 内 末 子 さん
	比 嘉 京 子 さん
	當 間 盛 夫 君

説明の職、氏名

土木建築部長	漢 那 政 弘 君
土木企画統括監	中 村 浩 君
土木企画課長	上 原 兼 治 君
参事兼技術管理課長	比 嘉 和 夫 君
道路街路課長	当 間 清 勝 君
道路管理課長	前 泊 勇 栄 君
河川課長	大 城 芳 樹 君
港湾課長	新 垣 盛 勇 君
都市計画・モノレール課長	儀 間 眞 明 君

都市計画・モノ レール課都市モ ノレール事業監	末 吉 幸 満 君
建築指導課長	志 村 恵一郎 君
建築指導課 副 参 事	比 嘉 悟 君
住宅課長	喜屋武 博 行 君
新石垣空港課長	栄野川 盛 信 君
企業局長	花 城 順 孝 君
配水管理課長	比 嘉 博 樹 君
総務部財政統括監	名渡山 司 君

## 審査概要

甲第1号議案、甲第5号議案、甲第7号議案、甲第13号議案、甲第16号議案から甲第20号議案まで、甲第22号議案及び甲第23号議案の11件について土木建築部長及び企業局長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑に入り、公共及び民間施設におけるアスベストの使用状況と処理状況、市町村有建築物におけるアスベストの使用状況と処理状況、住宅公社所有愛知団地の改修予定、県営住宅管理費増額の理由、県営住宅未収金の状況と改善策、竹富町東部リゾート開発許可の経緯と環境アセスメントの必要性、農連市場再開発事業の進捗状況、都市モノレール調査費の内容、鉄軌道導入を含む交通体系に対する土木建築部の姿勢、沖縄のみち自転車道の整備状況、公共事業の過去3年間の平均落札率、入札制度改革の取り組み状況、最低制限価格の見直しの必要性、建設談合賠償金請求に係る県の対応状況、那覇港及び中城湾港の役割、中城湾港東埠頭の整備状況、中城湾港西埠頭の目標取り扱い貨物量、旭橋市街地再開発事業の進捗状況、土木建築部予算76億円減の理由、道路改良費減額の理由と道路事業への影響、宮城島島内道路整備がおくれた理由、与勝半島一周道路南側路線整備の進捗状況、県道81号宜野湾北中城線拡幅工事の進捗状況、電線類地中化計画の概要、電線共同溝整備事業の補助率、道路改良事業に伴う電線類地中化事業の補助率、電線管理者の電線類地中化事業負担額、宮古空港駐車場有料化の取り組み状況、宮古空港内待機タクシー運転手のためのトイレ・待合所の整備計画、公共事業における諸経費率、平成21年度新規道路事業箇所概要、道路維持管理に係る予算総額、県道沿い植栽樹木の選定方針、沖縄西海岸道路の国・県の調整状況、

沖縄西海岸道路ルート選定の進め方、総合評価項目へのCPDS取り入れ検討状況、泡瀬地区埋立事業の国費・県費の総額、泡瀬地区土地利用計画見直しの進捗状況、泡瀬地区埋立訴訟第1審判決に対する県の見解、泡瀬地区埋立事業停止の予定、沖縄市の泡瀬地区土地購入費見込み額、泡瀬地区埋立工事中止が中城湾港新港地区の企業誘致に与える影響、泡瀬地区埋立事業の県内業者受注状況、泡瀬地区埋立工事中止の場合の影響、沖縄市の土地利用計画見直しに対する県の検証、泡瀬地区埋立事業公金支出差しどめの法的根拠、泡瀬地区土地利用計画見直しの見通し、土地利用計画における年間宿泊需要56万人及び宿泊施設計画1275室の根拠、判決を無視して泡瀬地区埋立事業を推進する理由、泡瀬地区埋立事業の経済的効果についての根拠、中城湾港新港地区の利用率、泡瀬干潟のラムサール条約登録についての県の見解、泡瀬地区埋立事業の平成21年度事業計画と事業費、泡瀬地区埋立事業公金差しどめ訴訟判決の内容、控訴理由の提出状況、泡瀬地区埋立事業に対する包括外部監査報告書の指摘内容、泡瀬地区埋立事業の推進経緯、泡瀬地区埋立事業に関する東門沖縄市長表明の内容、県と沖縄市長との直接対話の有無、泡瀬地区埋立事業第Ⅱ区域工事に対する県の認識、県における公共工事再評価の基準、泡瀬地区埋立事業を沖縄県公共事業評価監視委員会にかけるとの予定、外部要求による沖縄県公共事業評価監視委員会開催の可否、中城湾港新港地区護岸工事の進捗状況、旧県立博物館跡地利用の検討状況、街路樹剪定予算減額の理由、県管理高木街路樹の本数、平成21年度街路樹剪定予定本数、旧財団法人郵便貯金住宅等事業協会と県のかかわり、県から旧財団法人郵便貯金住宅等事業協会への精算人派遣の有無、精算人を派遣しなかった理由、那覇市安里交差点を直進可能にするための方策、安里川人道橋の河川上設置の可否、松山線拡幅工事と横断安全性の確保、風景づくり推進事業の内容、景観行政団体の必要性、沖縄らしい風景の具体例、景観条例を策定した市町村の状況、景観条例策定に係る課題、新石垣空港建設の進捗状況、新石垣空港モニタリング調査の内容、新石垣空港用地購入の進捗状況、新石垣空港物件補償費の内容、読谷村大湾東地区土地地区画整理事業の概要と地元からの要望内容、同土地地区画整理事業の所管省庁、

全国における水上公園の事例、国場川水系水に親しむ川づくり構想の内容、漫湖周辺河川公園ゾーン整備計画の概要、饒波川石火矢橋周辺整備計画の概要、国場川上流河川管理道路の整備状況、構造設計1級建築士及び設備設計1級建築士の定義と県内における人数、県内における設計事務所数、構造設計建築士等の育成計画、道路特定財源の一般財源化による県道路工事への影響、建設業者の新分野進出相談件数、米軍発注工事に係る県内業者優先発注の申し入れ状況、県道33号線と市道高原泡瀬線交換の進捗状況、都市モノレール整備事業の今後の展開、県営住宅の充足率、県営住宅の入居手続、ダム貯水率の状況と今後の給水見通し、観光客1000万人達成時の給水量の確保、現在のダム建設計画と水需要予測、沖縄本島北部水源地域に対する支援策の有無、水道水硬度改善の取り組み状況、離島の水需要確保に係る企業局の支援状況、新石川浄水場建設事業の事業期間と総事業費、新石川浄水場多目的広場の活用方法、新石川浄水場埋立工事が周辺海浜に与える影響、現石川浄水場の跡地利用計画、長田川取水ポンプ場周辺のボタンウキクサ繁茂と水質低下の関連等について質疑が行われた。

(10)

◎平成21年3月13日（金曜日）

開 会 午前10時2分  
散 会 午後8時9分  
場 所 第7委員会室  
議 題

1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計  
予算

出 席

委 員 長	奥 平 一 夫 君
副 委 員 長	新 垣 清 涼 君
委 員	島 袋 大 君
	中 川 京 貴 君
	桑 江 朝 千 夫 君
	座 喜 味 一 幸 君
	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	仲 村 未 央 さん
	仲 宗 根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君

前 田 政 明 君
玉 城 ノブ子 さん
當 山 眞 市 君
金 城 勉 君
上 里 直 司 君
山 内 末 子 さん
比 嘉 京 子 さん
當 間 盛 夫 君

#### 説明の職、氏名

土 木 建 築 部 長	漢 那 政 弘 君
教 育 長	仲 村 守 和 君
教育指導統括監	金 武 正 八 郎 君
教育管理統括監	岩 井 健 一 君
総 務 課 長	島 袋 道 男 君
財 務 課 長	平 敷 昭 人 君
施 設 課 長	前 原 昌 直 君
県立学校教育課長	喜 納 眞 正 君
義務教育課長	山 中 久 司 君
保健体育課長	諸 見 里 明 君
生涯学習振興課長	玉 栄 直 君
参事兼県立図書館長	平 安 名 栄 喜 君
文 化 課 長	千 木 良 芳 範 君
全国高校総体推進課長	大 城 勇 君
総務部財政統括監	名 渡 山 司 君

#### 審査概要

教育委員会の予算審査に入る前に、昨日、上里直司委員から土木建築部長に質疑のあった沖縄県公共事業評価監視委員会の審議基準問題及び旧財団法人郵便貯金住宅等事業協会の精算人問題については、答弁が保留となっていたことから、土木建築部長が答弁を行った。

次に、甲第1号議案について教育長から説明を聴取した後、質疑に入り、新垣家住宅東又窯倒壊についての県の認識、東又窯修復に要する費用と補助率、東又窯修復に向けた県の対応と今後の手順、新垣家母屋の修復保存の必要性、しまくとぅばの日に関する取り組み状況、小中高校における非常勤講師数と平均報酬額、小中高校における臨時的任用職員数と平均給与額、本務教員に対する臨時的任用職員の割合、学習支援等非常勤講師の役割、ジョブサポーター配置事業とキャリアサポーター配置事業の違い、外国青年招致事業による

招致人数、高校生の国外への留学派遣事業による  
派件人数、学校支援地域本部事業の内容、平成22  
年度全国高等学校総合体育大会の取り組み状況、  
全国高校総体の参加見込み数、観光最盛期におけ  
る全国高校総体関係者の交通機関・宿泊施設の確  
保の状況、全国高校総体の市町村運営体制と県  
のかかわり、選手強化対策事業の実施状況、全国  
高校総体への選手以外の高校生の参加の態様、全  
国高校総体総合開会式会場と熱中症対策、全国  
高校総体各競技場の整備状況、県スポーツ・レク  
レーション祭参加人数の推移と減少の理由、学  
校運動場の芝生化促進の取り組み状況、スクール  
カウンセラー・ソーシャルワーカー配置事業の実  
績、小中学校の不登校児童生徒数、生徒指導員  
補助員配置の可能性、高等学校の卒業生徒数、  
小学校の卒業予定児童数、高校進学率の目標と  
実績、大学進学率の目標と実績、高校卒業者の  
就職内定率、2学期制校と3学期制校における  
進学率の違い、学期制の違いによる部活動等へ  
の影響、秋田県との人事交流の状況、教育委員  
による平成20年度学校視察件数、発達障害児に  
関するアンケート調査の実施状況、国歌に関する  
教育長の認識、道徳教育に係る心のノート活用  
状況、養護教諭免許保持者数、水球ができるプ  
ールの必要条件、那覇高校体育館プールを水球  
用に整備することの可否、外国人子弟の公立学  
校受入状況、日本語指導員学校派遣の状況、育  
英会の運営状況、育英会の貸与対象範囲、学校  
教育におけるゴルフの位置づけ、県立高等学  
校用地取得事業の内容、県立高等学校敷地の借地  
状況と今後の取得見込み、小中高校における携  
帯電話対応状況、子供の携帯電話に係るトラブ  
ル防止対策の取り組み状況、教員免許更新制度  
導入の経緯、教員免許更新制度の概要、更新講  
習を受講しなかった場合の取り扱い、更新講習  
が受講できる大学、離島教員の受講機会の確保  
策、宮古・八重山地域における更新講座開設数、  
平成21年度の免許更新対象教員数と割合、教員  
免許更新講習の受講額、更新講習受講による教  
師不在に伴う学校現場混乱の懸念、臨時的任用  
職員等の免許更新の必要性、勤務実態調査の結  
果と改善策、教職員の悩み相談事業の内容、復職  
支援プログラムの内容、30人学級の導入対象学  
年、学校現場におけるパワーハラスメント・セ  
クシュアルハラスメントの状況と実態調査実施  
の有無、パワーハラス

メント調査における第三者機関設置の必要性と  
設置のめど、パワーハラスメントの現状認識と  
改善策、県立沖縄盲学校の併設型移行に係る意  
見交換会実施の有無、県立沖縄盲学校単独校の  
可能性、小中高校校舎の耐震化率と全国との比  
較、耐震化計画策定の必要性、改正建築基準法  
が学校校舎改修に与えた影響と対策、武道の必  
修科目化と武道場の整備状況、小中学校給食費  
の滞納状況と滞納理由、那覇市が学校給食費未  
納者に法的措置をとるといふことの現状認識、  
憲法第26条と学校給食費の関係に関する教育長  
の認識、給食費納付誓約書が子供に与える影  
響、就学援助制度の国庫補助制度回復の取り  
組み、就学援助受給者数の推移、小中高校にお  
ける父母の経済的負担状況、幼稚園就園奨励費  
補助受給者数の推移と補助率及び補助単価、人  
体の不思議展に関する教育長の見解、修学旅行  
に参加できなかった児童数、OECD加盟国にお  
ける高校授業料の状況、国際人権規約第13条  
の内容、高校授業料の滞納状況、県立高校中途退  
学者数と経済的理由による退学者数、授業料滞  
納による出席停止処分者数、高校授業料の減免  
状況、高校授業料滞納による卒業延期者の有無、  
2009沖縄伝統空手道世界大会継続の見込み、ア  
ジア青年の家事業と県のかかわり、学校裏サイ  
ト等の実態調査の状況、裏サイト民間監視者と  
の連携の有無と必要性、大人は知らないネット  
いじめ対処法講演会と県のかかわり、学習支援  
等非常勤講師の配置状況、学校図書充足率、学  
校図書館司書の配置状況、外国語指導助手の採  
用基準と採用方法、小中学校におけるALTの配  
置状況、ボリビア国への教員派遣事業の実績、  
特別活動の定義と特別活動参加者の出欠取り  
扱い状況、政策研究大学院大学派遣事業の内  
容と実績、学校教育の中での童歌の位置づけ、  
童歌採取団体の現状把握と支援策、県立高校  
卒業式が3月1日である根拠、県立高校卒業式  
を日曜日に設定することの可否、県立図書館運  
営費の推移、図書館運営費800万円減額の内  
訳、過去における基礎資料活用事業による整理  
図書数、南部工業高校と南部農林高校の再編  
統合の進捗状況、特別支援学校医療ケア体制  
整備事業の内容と課題、特別支援学校数と看護  
師未配置校数、特別支援学級開設の基準、全  
国体力・運動能力・運動習慣等調査における  
本県の結果と対策、睡眠時間と体力の関係、  
離島地域における臨

時的任用職員の割合、学校支援地域本部事業の具体的事例、放課後子ども教室推進事業の実績、戦争のために中学校を卒業できなかった方々の就学支援策、珊瑚舎スコーレ等民間団体への県援助の可否等について質疑が行われた。

(11)

◎平成21年3月16日(月曜日)

開 会 午前10時3分  
散 会 午後3時35分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第20号議案 平成21年度沖縄県中城湾港(泡瀬地区)臨海部土地造成事業特別会計予算
- 3 甲第21号議案 平成21年度沖縄県病院事業会計予算

出 席

委 員 長	奥 平 一 夫 君
副 委 員 長	新 垣 清 涼 君
委 員	島 袋 大 君
	中 川 京 貴 君
	桑 江 朝 千 夫 君
	座喜味 一 幸 君
	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	仲 村 未 央 さん
	仲宗根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君
	前 田 政 明 君
	玉 城 ノブ子 さん
	當 山 眞 市 君
	金 城 勉 君
	上 里 直 司 君
	山 内 末 子 さん
	比 嘉 京 子 さん
	當 間 盛 夫 君

説明の職、氏名

知 事	仲井眞 弘 多 君
文化環境部長	知 念 建 次 君
農林水産部長	護得久 友 子 さん
土木建築部長	漢 那 政 弘 君

審査概要

甲第1号議案、甲第20号議案及び甲第21号議案の3件について総括質疑に入り、まず初めに土木建築部長に対し、旧財団法人郵便貯金住宅等事業協会問題に係る精算人としての県職員派遣の状況、沖縄県公共事業評価監視委員会の審議基準問題に係る審議内容の決定方法について質疑が行われ、次に、知事に対し、旧軍飛行場問題について、特別調整費と沖縄振興計画の関係、県民の財産が強制徴収されたことなどに関する知事の見解と対応、事業主体に関する市町村と地主の考え方と知事の見解、病院事業問題について、経営状況、経営形態、定数、独立行政法人化、赤字の原因と対策、繰り入れ金、交付金の額、医師確保、独立法人化に関する現場の声と知事の考え、経営形態認識の違い、今後の取組方針、県立病院のあり方の基本構想取りまとめのタイミング、県営林道開設問題について、環境共生型社会の形成に関する知事の見解、中城湾港泡瀬地区埋立事業問題について、沖縄の価値ある自然の保存と承継、干潟を県民共通の財産とする考え、環境、経済的合理性、知事の判決に対する考え方、事業の必要性、埋立事業総点検の必要性と方法について質疑が行われた。

(12)

◎平成21年3月23日(月曜日)

開 会 午前10時7分  
散 会 午前10時46分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計予算
- 2 甲第2号議案 平成21年度沖縄県農業改良資金特別会計予算
- 3 甲第3号議案 平成21年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計予算
- 4 甲第4号議案 平成21年度沖縄県中小企業振興資金特別会計予算
- 5 甲第5号議案 平成21年度沖縄県下地島空港特別会計予算
- 6 甲第6号議案 平成21年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計予算
- 7 甲第7号議案 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計予算

- 8 甲第8号議案 平成21年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計予算
- 9 甲第9号議案 平成21年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計予算
- 10 甲第10号議案 平成21年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計予算
- 11 甲第11号議案 平成21年度沖縄県林業改善資金特別会計予算
- 12 甲第12号議案 平成21年度沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計予算
- 13 甲第13号議案 平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計予算
- 14 甲第14号議案 平成21年度沖縄県自由貿易地域特別会計予算
- 15 甲第15号議案 平成21年度沖縄県産業振興基金特別会計予算
- 16 甲第16号議案 平成21年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計予算
- 17 甲第17号議案 平成21年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計予算
- 18 甲第18号議案 平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計予算
- 19 甲第19号議案 平成21年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計予算
- 20 甲第20号議案 平成21年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計予算
- 21 甲第21号議案 平成21年度沖縄県病院事業会計予算
- 22 甲第22号議案 平成21年度沖縄県水道事業会計予算
- 23 甲第23号議案 平成21年度沖縄県工業用水道事業会計予算

仲宗根 悟 君  
 当 銘 勝 雄 君  
 前 田 政 明 君  
 玉 城 ノブ子 さん  
 當 山 眞 市 君  
 金 城 勉 君  
 上 里 直 司 君  
 山 内 末 子 さん  
 比 嘉 京 子 さん  
 當 間 盛 夫 君

#### 審査概要

議案の採決に先立ち、甲第1号議案に対して社民・護憲ネット、共産党及び改革の会所属委員3名からそれぞれ修正動議が提出され、採決の結果、そのうち2件については、別掲のとおり決定した。

次に、修正議決した部分を除く原案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第1号議案に対して社民・護憲ネット所属委員から附帶動議が提出された。

次に、甲第1号議案に対する附帶動議を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第12号議案、甲第14号議案、甲第16号議案、甲第17号議案及び甲第20号議案の5件に対し共産党所属委員から反対意見が表明され、甲第12号議案、甲第14号議案、甲第16号議案、甲第17号議案及び甲第20号議案の5件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第21号議案を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第2号議案から甲第11号議案まで、甲第13号議案、甲第15号議案、甲第18号議案、甲第19号議案、甲第22号議案及び甲第23号議案の16件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

#### 出席

委 員 長 奥 平 一 夫 君  
 副 委 員 長 新 垣 清 涼 君  
 委 員 島 袋 大 君  
 中 川 京 貴 君  
 桑 江 朝 千 夫 君  
 座 喜 味 一 幸 君  
 仲 田 弘 毅 君  
 浦 崎 唯 昭 君  
 仲 村 未 央 さん

## 予算特別委員会議案処理一覧表

イ 処理(30件)

(先議)

議案番号	議案名	議決の結果
甲第24号	平成20年度沖縄県一般会計補正予算(第3号)	全会一致 原案可決
甲第25号	平成20年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃
甲第26号	平成20年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計補正予算(第1号)	〃
甲第27号	平成20年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計補正予算(第1号)	〃
甲第28号	平成20年度沖縄県病院事業会計補正予算(第1号)	〃
甲第29号	平成20年度沖縄県水道事業会計補正予算(第1号)	〃
甲第30号	平成20年度沖縄県一般会計補正予算(第4号)	〃

議案番号	議案名	議決の結果
甲第1号	平成21年度沖縄県一般会計予算	委員長裁決 修正議決 (修正案別紙)
甲第2号	平成21年度沖縄県農業改良資金特別会計予算	全会一致 原案可決
甲第3号	平成21年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計予算	〃
甲第4号	平成21年度沖縄県中小企業振興資金特別会計予算	〃
甲第5号	平成21年度沖縄県下地島空港特別会計予算	〃
甲第6号	平成21年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計予算	〃
甲第7号	平成21年度沖縄県下水道事業特別会計予算	〃
甲第8号	平成21年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計予算	〃
甲第9号	平成21年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計予算	〃
甲第10号	平成21年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計予算	〃
甲第11号	平成21年度沖縄県林業改善資金特別会計予算	〃

議案番号	議案名	議決の結果
甲第12号	平成21年度沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計予算	多数 原案可決
甲第13号	平成21年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計予算	全会一致 原案可決
甲第14号	平成21年度沖縄県自由貿易地域特別会計予算	多数 原案可決
甲第15号	平成21年度沖縄県産業振興基金特別会計予算	全会一致 原案可決
甲第16号	平成21年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計予算	多数 原案可決
甲第17号	平成21年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計予算	〃
甲第18号	平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計予算	全会一致 原案可決
甲第19号	平成21年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計予算	〃
甲第20号	平成21年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計予算	多数 原案可決
甲第21号	平成21年度沖縄県病院事業会計予算	全会一致 原案可決
甲第22号	平成21年度沖縄県水道事業会計予算	〃
甲第23号	平成21年度沖縄県工業用水道事業会計予算	〃

(別紙)

甲第1号議案平成21年度沖縄県一般会計予算に対する修正案(社民・護憲ネット所属委員提出)  
平成21年度沖縄県一般会計予算の一部を次のように修正する。

第1条中「592,519,000千円」を「592,391,073千円」に改める。

第1表歳入歳出予算の一部を次のように改める。

第1表歳入歳出予算		
歳入		
款	項	金額
9 国庫支出金		145,458,691千円
	2 国庫補助金	99,314,214
12 繰入金		15,622,773千円
	2 基金繰入金	13,410,880
15 県債		82,958,500千円
	1 県債	82,958,500
歳入合計		592,391,073
歳出		
款	項	金額
6 農林水産業費		55,468,688千円
	3 林業費	2,581,603
歳出合計		592,391,073

(別紙)

甲第1号議案平成21年度沖縄県一般会計予算に対する修正案(共産党所属委員提出)  
平成21年度沖縄県一般会計予算の一部を次のように修正する。  
第1条中「592,519,000千円」を「591,928,730千円」に改める。  
第1表歳入歳出予算の一部を次のように改める。

第1表歳入歳出予算		
歳入		
款	項	金額
9 国庫支出金		145,398,366千円
	2 国庫補助金	99,253,889
12 繰入金		15,615,455千円
	2 基金繰入金	13,403,562
15 県債		82,563,800千円
	1 県債	82,563,800
歳入合計		591,928,730
歳出		
款	項	金額
8 土木費		81,351,996千円
	4 港湾費	8,979,207
歳出合計		591,928,730

(別紙)

甲第1号議案平成21年度沖縄県一般会計予算に対する附帯決議

特定地域特別振興事業(旧軍飛行場用地問題)は、戦後処理の一環であり、国の責任で根本的な問題・課題の解決が図られるよう県が引き続き国に働きかけること。

平成21年第3回沖縄県議会(定例会)

閉会中継続審査(調査)

## 総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年5月19日(火曜日)

開 会 午前10時16分  
散 会 午後0時16分  
場 所 第4委員会室  
議 題

- 1 総合開発及び地域振興について（沖縄科学技術大学院大学の実現について）
- 2 視察調査日程について

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	照 屋 守 之 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	糸 洲 朝 則 君
	新 垣 清 涼 君

欠 席

	浦 崎 唯 昭 君
	玉 城 義 和 君

説明員の職、氏名

企 画 部 長 川 上 好 久 君

審査概要

沖縄科学技術大学院大学の実現について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。  
次に、視察調査日程について協議し、決定した。

## 総務企画委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

平成21年5月19日（1日）

視察調査の場所

恩納村及びうるま市

視察調査事項

- 1 総合開発及び地域振興について（沖縄科学技術大学院大学の進捗状況について）

参 加 者

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	糸 洲 朝 則 君
	新 垣 清 涼 君

## 経済労働委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年5月14日(木曜日)

開 会 午前9時1分  
散 会 午前9時5分  
場 所 第1委員会室  
議 題

- 1 視察調査日程について

出 席

委 員 長	玉 城 ノブ子 さん
副 委 員 長	瑞慶覧 功 君
委 員	中 川 京 貴 君
	座喜味 一 幸 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	具 志 孝 助 君
	仲宗根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君
	渡久地 修 君
	前 島 明 男 君
	上 里 直 司 君

欠 席

	玉 城 満 君
--	---------

審査概要

視察調査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年6月8日(月曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午後0時12分

場 所 第1委員会室

議 題

1 参考人からの説明聴取について(陳情平成20年第186号について)

2 視察調査日程について

出 席

委 員 長 玉 城 ノブ子 さん

副 委 員 長 瑞慶覧 功 君

委 員 中 川 京 貴 君

座喜味 一 幸 君

辻 野 ヒロ子 さん

具 志 孝 助 君

仲宗根 悟 君

当 銘 勝 雄 君

渡久地 修 君

前 島 明 男 君

上 里 直 司 君

玉 城 満 君

説明員の職、氏名

参 考 人 (陳情平成20年第186号)

連合おきなわユニオン執行委員長 稲 福 史 君

参 考 人 ( " )

連合おきなわユニオン・浦添職業能力開発校非常勤組合執行委員長 中 村 直 君

補 助 者 ( " )

連合おきなわユニオン副執行委員長 比 嘉 朝 吉 君

審査概要

陳情平成20年第186号について、参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

## 経済労働委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

平成21年5月14日(1日)

視察調査の場所

豊見城市、糸満市、八重瀬町及びうるま市

視察調査事項

1 農林水産業について(農産物の地域販売・出荷施設及び畑地帯総合整備箇所について)

2 商・工・鉱業について(沖縄IT津梁パーク施設及び中城湾港新港地区工業団地の状況について)

参 加 者

委 員 長 玉 城 ノブ子 さん

副 委 員 長 瑞慶覧 功 君

委 員 中 川 京 貴 君

座喜味 一 幸 君

辻 野 ヒロ子 さん

具 志 孝 助 君

仲宗根 悟 君

当 銘 勝 雄 君

渡久地 修 君

前 島 明 男 君

上 里 直 司 君

(2)

視察調査の日時

平成21年6月8日(1日)

視察調査の場所

浦添市及びうるま市

視察調査事項

1 労働問題について(県立職業能力開発校の労働問題について)

参 加 者

委 員 長 玉 城 ノブ子 さん

副 委 員 長 瑞慶覧 功 君

委 員 中 川 京 貴 君

座喜味 一 幸 君

辻 野 ヒロ子 さん

具 志 孝 助 君

仲宗根 悟 君

当 銘 勝 雄 君

渡久地 修 君

前 島 明 男 君

上 里 直 司 君

玉 城 満 君

# 文教厚生委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年4月30日(木曜日)

開 会 午前10時3分  
散 会 午前11時59分  
場 所 第2委員会室  
議 題

- 1 医療及び保健衛生について(県立病院のあり方について及び医療現場の現状について)
- 2 視察調査日程について(追加議題)

出 席

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君

説明員の職、氏名

福祉保健部長	奥 村 啓 子 さん
医務課副参事	砂 川 靖 君
病院事業局長	知 念 清 君
病院事業統括監	小 川 和 美 君

審査概要

県立病院のあり方について及び医療現場の現状について福祉保健部長及び病院事業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年6月8日(月曜日)

開 会 午前10時4分  
散 会 午前10時10分  
場 所 第2委員会室  
議 題

- 1 教育及び学術文化について(国立沖縄青少年交流の家存続について)

出 席

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君

欠 席

仲 田 弘 毅 君

審査概要

国立沖縄青少年交流の家存続について協議した。  
なお、「国立沖縄青少年交流の家存続に関する意見書」を別掲のとおり提出することになった。

## 国立沖縄青少年交流の家存続 に関する意見書

国立沖縄青少年交流の家は、沖縄戦における米軍最初の上陸地で、かつ、集団自決が行われた渡嘉敷島の米軍ホークミサイル基地跡地に、昭和47年の沖縄本土復帰記念事業の一つとして設置された施設であり、その由来を生かして地域住民等の協力を得ながら青少年への平和学習の場として活用されてきた。

また、島の周辺海域は世界でも有数の透明度と美しいサンゴ礁を有しており、風光明媚な景観と、豊かな自然を生かしたキャンプや海洋研修などの場としても活用され、他地域では体験できない施設として貴重な役割を果たしてきた。

さらに、内閣府が進めるアジア青年の家事業で活用され、我が国とアジアを結ぶ国際交流拠点として重要な役割を果たすとともに、不登校児童・生徒を対象としたいきいき自然体験キャンプ事業など地域活性化の中核施設として活用されるなど、多様な役割と実績を担ってきた施設でもある。

ところで、政府は平成19年12月に閣議決定した独立行政法人整理合理化計画において、青少年交流の家については、保有と賃貸のコスト比較による経済合理性を考慮の上、青少年教育事業の実施状況や稼働率等をもとに有用性・有効性等を検証し、施設の

廃止・統合等必要な整理合理化を行うとしている。

このような方針がそのまま実行されると、稼働率が5割を切っている同施設は廃止につながりかねず、さらに全国的な少子化の流れや離島という地理的ハンディキャップが全く配慮されないことや、宿泊だけの稼働率で評価し、キャンプ場や野外活動プログラムとしての利用を考慮しないことなどを考え合わせると不公平感は否めない。

よって、国におかれては、国立沖縄青少年交流の家<sup>（注）</sup>の存続の検討に当たっては、閣議決定された独立行政法人整理合理化計画の方針に基づき全国画一的に行うのではなく、設立の経緯や地域事情等を踏まえて、慎重に検討されるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年6月16日

沖縄県議会

衆議院議長	} あて
参議院議長	
内閣総理大臣	
総務大臣	
財務大臣	
文部科学大臣	
行政改革担当大臣 沖縄及び北方対策担当大臣	

## 文教厚生委員会 委員派遣

(1)

### 視察調査の日時

平成21年4月15日(1日)

### 視察調査の場所

うるま市、北中城村及び浦添市

### 視察調査事項

教育及び学術文化について(施設の概要、現状と課題について)

### 参加者

委員長	赤嶺昇君
副委員長	西銘純恵さん
委員	佐喜真淳君 仲田弘毅君

仲村未央さん
渡嘉敷喜代子さん
上原章君
比嘉京子さん
奥平一夫君

(2)

### 視察調査の日時

平成21年4月16日(1日)

### 視察調査の場所

那覇市

### 視察調査事項

社会福祉及び社会保障について、教育及び学術文化について(施設の概要、現状と課題について)

### 参加者

委員長	赤嶺昇君
副委員長	西銘純恵さん
委員	佐喜真淳君 仲村未央さん 渡嘉敷喜代子さん 上原章君 比嘉京子さん 奥平一夫君

(3)

### 視察調査の日時

平成21年4月17日(1日)

### 視察調査の場所

那覇市

### 視察調査事項

消費者保護及び県民生活について、男女共同参画について、社会福祉及び社会保障について、教育及び学術文化について(施設の概要、現状と課題について)

### 参加者

委員長	赤嶺昇君
副委員長	西銘純恵さん
委員	佐喜真淳君 仲村未央さん 渡嘉敷喜代子さん 上原章君 比嘉京子さん 奥平一夫君

(4)

平 良 昭 一 君  
吉 田 勝 廣 君

**視察調査の日時**

平成21年5月29日(1日)

**視察調査の場所**

浦添市、読谷村、嘉手納町及び沖縄市

**視察調査事項**

社会福祉及び社会保障について、教育及び学術文化について(施設の概要、現状と課題について)

**参 加 者**

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君

(5)

**視察調査の日時**

自 平成21年6月2日 (2日間)  
至 平成21年6月3日

**視察調査の場所**

名護市、大宜味村、国頭村、今帰仁村、本部町及び宜野座村

**視察調査事項**

消費者保護及び県民生活について、社会福祉及び社会保障について、教育及び学術文化について(施設の概要、現状と課題について)

**参 加 者**

委 員 長	赤 嶺 昇 君
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君
委 員 外 議 員	玉 城 義 和 君

**土木委員会  
委員会記録**

(1)

◎平成21年6月8日(月曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午後11時35分

場 所 第3委員会室

**議 題**

1 道路、橋梁の整備事業について(直轄国道3事業の凍結について)

**出 席**

委 員 長	當 山 眞 市 君
副 委 員 長	照 屋 大 河 君
委 員	新 垣 良 俊 君
	嶺 井 光 君
	池 間 淳 君
	新 垣 哲 司 君
	嘉 陽 宗 儀 君
	新 垣 安 弘 君
	大 城 一 馬 君
	平 良 昭 一 君
	吉 田 勝 廣 君

**欠 席**

高 嶺 善 伸 君

**説明員の職、氏名**

土木建築部長	仲 田 文 昭 君
道路街路課長	新 里 末 守 君
道路街路課副参事	神 村 美 州 君

**審査概要**

直轄国道3事業の凍結について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

なお、「直轄国道3事業の凍結解除を求める意見書」を別掲のとおり提出することになった。

**直轄国道3事業の凍結解除を  
求める意見書**

道路は、豊かな県民生活の実現と県土の均衡ある

発展を図る上で基礎となる最も重要な社会基盤である。

特に、沖縄県は他都道府県のように鉄軌道があまねく整備されていなかったこともあって、空港、港湾等の交通拠点や、中心都市と市町村を結ぶ交通手段は専ら道路に大きく依存してきた。

このため、本県では、復帰後、これまで積極的に道路整備を進めてきたが、依然として本県の人口及び自動車台数当たりの道路延長は全国平均の6割程度であり、都市部を中心として深刻でかつ慢性的な交通混雑が発生している。その結果、道路延長1キロメートル当たりの交通渋滞による損失時間は、東京都、大阪府などに次いで全国6番目となっており、大きな損失をこうむっている状況にある。

このような陸上交通の課題を改善して、交通渋滞の緩和を図るとともに、県民生活、社会経済及び観光産業等における利便性の向上を図るため、本県では、官民挙げて沖縄自動車道と那覇空港自動車道、沖縄西海岸道路及び国道329号等の縦軸幹線道路と、これらを東西に結ぶ南部東道路、沖縄嘉手納線、宜野湾北中城線等の横軸幹線道路を有機的に連結する広域道路ネットワークを構築するよう努めてきた。

ところで、去る3月31日に国土交通省は、道路整備の効果が費用を下回ったとして12道県、18件の直轄国道の事業を一時凍結すると発表し、そのうち、本県では国道329号の与那原バイパスと南風原バイパス及び国道331号中山改良道路の3事業を対象とするとした。

今回、国土交通省が事業凍結の判断基準としたものは、ドライバーの費用便益計算であるが、この計算には企業誘致に伴う経済効果など数値にあらわれない多くの便益が抜け落ちており、到底納得できるものではない。また、沿線には本県の高度多機能の医療を担う南部医療センター・こども医療センター等地域住民の命と暮らしを支える重要な施設が数多くあり、全国一律の画一的な基準を重要視する余り地域事情を考慮しないものと言わざるを得ない。

よって、政府におかれては、県民の安心、安全な生活環境の確保及び県土の均衡ある発展を図る観点から、早急に事業凍結の判断基準を見直すとともに、直轄国道3事業の凍結を解除し、早急に当初計画どおり事業に着手されるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年6月16日

沖縄県議会

内閣総理大臣 }  
国土交通大臣 } あて  
沖縄及び北方対策担当大臣 }

平成21年第4回沖縄県議会(定例会)

# 総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年7月1日(水曜日)

開 会 午後7時23分  
散 会 午後7時26分  
場 所 第4委員会室  
議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	照 屋 守 之 君
	浦 崎 唯 昭 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	糸 洲 朝 則 君
	玉 城 義 和 君

欠 席

	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	新 垣 清 涼 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年7月2日(木曜日)

開 会 午前10時4分  
散 会 午後4時47分  
場 所 第4委員会室  
議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第1号)
- 2 乙第1号議案 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
- 3 乙第8号議案 沖縄県公安委員会委員の任命について
- 4 乙第9号議案 沖縄県収用委員会委員の任命について
- 5 乙第10号議案 専決処分の承認について

- 6 乙第11号議案 専決処分の承認について
- 7 陳情平成20年第83号、同第86号、同第87号、同第101号、同第127号、同第190号、同第191号、陳情第58号、第59号、第74号、第88号、第110号、第111号、第122号及び第128号

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	照 屋 守 之 君
	浦 崎 唯 昭 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	糸 洲 朝 則 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 義 和 君

説明員の職、氏名

総 務 部 長	兼 島 規 君
総 務 統 括 監	新 垣 光 博 君
総 務 私 学 課 長	真 栄 城 香 代 子 さん
人 事 課 長	當 間 秀 史 君
職 員 厚 生 課 長	仲 村 渠 重 政 君
財 政 課 長	小 橋 川 健 二 君
税 務 課 長	下 地 功 君
管 財 課 長	武 内 孝 夫 君
知 事 公 室 防 災 危 機 管 理 課 長	饒 平 名 知 成 君
企 画 部 企 画 調 整 課 副 参 事	川 満 誠 一 君
文 化 環 境 部 文 化 振 興 課 長	松 川 満 君
福 祉 保 健 部 障 害 保 健 福 祉 課 班 長	金 城 聡 君
福 祉 保 健 部 医 務 課 班 長	大 城 馨 君
福 祉 保 健 部 国 保 ・ 健 康 増 進 課 班 長	仲 宗 根 民 男 君
農 林 水 産 部 園 芸 振 興 課 班 長	仲 村 勝 君
農 林 水 産 部 糖 業 農 産 課 班 長	金 城 学 君
農 林 水 産 部 畜 産 課 畜 産 環 境 対 策 監	与 古 田 稔 君

農林水産部 水産課班長	新里勝也君
観光商工部企業 立地推進課長	安里肇君
観光商工部 雇用労政課長	湧川盛順君
観光商工部雇用 労政課副参事	又吉稔君
観光商工部 雇用労政課主幹	森田崇史君
観光商工部 観光振興課長	下地芳郎君
土木建築部土木 企画課事業管理監	茂上圭弘君
土木建築部道路 街路課副参事	神村美州君
土木建築部道路 管理課副参事	金城淳君
土木建築部 河川課班長	新垣澄夫君
土木建築部 住宅課班長	安里哲也君
教育庁生涯 学習振興課長	石垣安重君
教育庁文化課班長	萩尾俊章君

#### 審査概要

甲第1号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、補正予算の主な目的、国の臨時交付金における沖縄県への配分の算定方法、特別自由貿易地域振興費の事業内容、食肉センターの整備による輸出の可能性、分野別の雇用創出見込み数、不発弾処理促進費の内容と民間地域における不発弾探査の処理方法、県立芸術大学のエレベーター、空調設備等の整備状況、特定不妊治療助成事業の実績と県内医療機関の対応状況、国際漁業再編対策事業の内容、さとうきび経営安定化支援事業の内容と効果、観光客誘致緊急対策プロモーション事業の補正理由と検証の必要性、電線共同溝整備事業の整備箇所と優先順位、河川事業の内容、公共離島空港整備事業の内容と直轄負担金の国との調整方法、基金の積み増しと取り崩しの内容、社会保障費及び雇用関係予算と基金の関係、県立病院繰出金の内容、県立図書館資料の修復見直し等について質疑が行われた。

次に、乙第1号議案及び乙第8号議案から乙第11号議案までについて総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第1号議案につ

いては、長期優良住宅の定義及び沖縄県内での認定申請の状況について質疑が行われた。

乙第8号議案については、質疑なし。

乙第9号議案については、質疑なし。

乙第10号議案については、個人県民税の配当割及び株式等譲渡所得割に係る3パーセント軽減税率の特例措置を延長する理由について質疑が行われた。

乙第11号議案については、質疑なし。

次に、陳情15件について総務部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

#### (3)

#### ◎平成21年7月3日(金曜日)

開会 午前10時5分

散会 午前11時45分

場 所 第4委員会室

#### 議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第1号)
- 2 乙第1号議案 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
- 3 乙第6号議案 沖縄県警察の組織に関する条例の一部を改正する条例
- 4 乙第8号議案 沖縄県公安委員会委員の任命について
- 5 乙第9号議案 沖縄県収用委員会委員の任命について
- 6 乙第10号議案 専決処分の承認について
- 7 乙第11号議案 専決処分の承認について
- 8 陳情平成20年第44号から同第49号まで、同第52号、同第54号、同第58号、同第60号、同第65号、同第76号、同第83号、同第85号から同第87号まで、同第91号、同第96号、同第101号、同第108号、同第127号、同第144号、同第150号、同第165号、同第175号、同第190号、同第191号、同第196号、同第200号、陳情第15号、第17号、第19号、第27号から第29号まで、第38号、第58号、第59号、第66号、第69号、第74号、第85号から第88号まで、第100号、第103号、第104号、第110号、第111号、第120号、第122号及び第128号
- 9 閉会中継続審査(調査)について
- 10 審査日程について(追加議題)

**出席**

委員長	長	當間盛夫君
副委員長	長	山内末子さん
委員		島袋大君
		吉元義彦君
		照屋守之君
		浦崎唯昭君
		崎山嗣幸君
		新里米吉君
		前田政明君
		金城勉君
		糸洲朝則君
		新垣清涼君
		玉城義和君

**説明員の職、氏名**

知事公室長	上原良幸君
企画部長	川上好久君
企画調整統括監	平良敏昭君
警察本部警務部長	児嶋洋平君
警察本部交通部長	當銘健徳君
人事委員会事務局長	伊礼幸進君

**審査概要**

乙第6号議案について警察本部警務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、被疑者の取り調べの適正を確保するための監督の措置の具体的内容について質疑が行われた。

次に、陳情2件について警察本部警務部長及び警察本部交通部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情29件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情9件について知事公室長から、陳情1件について企画調整統括監からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について人事委員会事務局長から説明を聴取した。

次に、議案の採決に先立ち、乙第10号議案については、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案7件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情53件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別

掲のとおり決定した。

なお、離島の保全・支援等についてを議題として追加し、直ちに審査を行うことについて協議を行ったところ、意見の一致を見なかったが審査日程を変更して、7月7日の審査日程を追加し、審査を行うことについて意見の一致を見たため、決定した。

(4)

◎平成21年7月7日(火曜日)

開会 午前9時34分

散会 午前9時36分

場所 第4委員会室

**議題**

- 1 総合開発及び地域振興について（離島の保全・支援等について）

**出席**

委員長	長	當間盛夫君
副委員長	長	山内末子さん
委員		島袋大君
		吉元義彦君
		照屋守之君
		浦崎唯昭君
		新里米吉君
		前田政明君
		新垣清涼君
		玉城義和君
		崎山嗣幸君
		金城勉君
		糸洲朝則君

**欠席**

**審査概要**

離島の保全・支援等について、意見書の提出について協議を行ったが、意見の一致を見ることはできなかった。

## 総務企画委員会議案処理一覧表

イ 処理（7件）

議案番号	議案名	議決の結果
甲第1号	平成21年度沖縄県一般会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
乙第1号	沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	〃
乙第6号	沖縄県警察の組織に関する条例の一部を改正する条例	〃
乙第8号	沖縄県公安委員会委員の任命について	全会一致 同意
乙第9号	沖縄県収用委員会委員の任命について	〃
乙第10号	専決処分の承認について	多数 承認
乙第11号	専決処分の承認について	全会一致 承認

## 総務企画委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情6件）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第27号 （継続）	平成21年 2月9日	旧軍飛行場用地問題解決のための事業の早期実現を求める陳情	旧小禄飛行場字鏡水権利獲得期成会 会長 新崎 清光	採 択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事）
第28号 （継続）	平成21年 2月9日	旧日本軍飛行場用地問題の解決に向けた事業の早期実現を求める陳情	旧宮古海軍飛行場用地等問題解決促進地主会 会長 平良 恵孝 外3人	〃	〃
第29号 （継続）	平成21年 2月9日	病院事業局における臨床心理士の採用に関する陳情	沖縄県精神保健医療福祉連絡協議会 代表 中山 勲	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（人事委員会）
第85号	平成21年 4月30日	沖縄本島と南北両大東島間の海底光ケーブルの敷設に関する陳情	南大東村 村長 仲田 建匠 外1人	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事）
第86号	平成21年 4月30日	沖縄本島と南北両大東島間への海底光ケーブルの設置に関する陳情	南大東村議会 議長 新垣 湧司	〃	〃
第87号	平成21年 4月30日	沖縄本島と南北両大東島間への海底光ケーブルの設置に関する陳情	北大東村議会 議長 浅沼 達功	〃	〃

## 総務企画委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第44号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 2 陳情平成20年第45号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 3 陳情平成20年第46号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 4 陳情平成20年第47号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 5 陳情平成20年第48号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 6 陳情平成20年第49号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 7 陳情平成20年第52号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 8 陳情平成20年第54号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 9 陳情平成20年第58号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 10 陳情平成20年第60号 八重山航路の存続を求める陳情
- 11 陳情平成20年第65号 「旧軍飛行場問題解決に向けた沖振計特別枠の設置を求める意見書」の採択を求める陳情
- 12 陳情平成20年第76号 那覇市地域再生計画の実態調査及び那覇市に対する措置に関する陳情
- 13 陳情平成20年第83号 消費税の増税に反対する陳情
- 14 陳情平成20年第85号 先島航路並びに台湾航路存続と雇用確保を求める陳情
- 15 陳情平成20年第86号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 16 陳情平成20年第87号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 17 陳情平成20年第91号 那覇バスターミナル機能の維持に関する陳情
- 18 陳情平成20年第96号 軽油価格の高騰により存亡の危機に瀕しているトラック運送業界に関する陳情
- 19 陳情平成20年第101号 燃料価格高騰対策に関する陳情
- 20 陳情平成20年第108号 原油価格高騰対策に関する陳情
- 21 陳情平成20年第127号 原油・食料など生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める陳情
- 22 陳情平成20年第144号 地上警戒管制レーダーの配備中止を求める陳情
- 23 陳情平成20年第150号 航空自衛隊那覇基地へのF15戦闘機配備などの機能強化に反対し、那覇空港の民間専用化を求める意見書の可決を求める陳情
- 24 陳情平成20年第165号 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳情
- 25 陳情平成20年第175号 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情
- 26 陳情平成20年第190号 私学助成に関する意見書の提出を求める陳情
- 27 陳情平成20年第191号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 28 陳情平成20年第196号 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳情
- 29 陳情平成20年第200号 沖縄県行政オンブズマンの職務不履行に関する陳情
- 30 陳情第15号 水産海洋研究センターの喜屋武地域への早期移転整備に関する陳情
- 31 陳情第17号 沖縄警察署の沖縄市への存続を求める陳情
- 32 陳情第19号 沖縄県所在旧軍飛行場用地問題解決に関する陳情
- 33 陳情第38号 （仮称）沖縄県警察運転免許センター隣接地（未公募区画地）への協会用地取得に関する陳情
- 34 陳情第58号 琉球大学の外国語授業削減に関する陳情
- 35 陳情第59号 沖子連事務所の賃貸料免除に関する陳情
- 36 陳情第66号 自衛隊ヘリのキャンプ・ハンセン内レンジ4使用に関する陳情
- 37 陳情第69号 フェリー、旅客船の存続・港町活性化に関する陳情
- 38 陳情第74号 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情
- 39 陳情第88号 沖縄県東京宿泊所若夏荘の閉館に

- 関する陳情
- 40 陳情第100号 県道222号線への信号機・横断歩道設置に関する陳情
- 41 陳情第103号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 42 陳情第104号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 43 陳情第110号 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 44 陳情第111号 私立教育機関に関する陳情
- 45 陳情第120号 先島航路及び台湾航路における貨客船の早期再開を求める陳情
- 46 陳情第122号 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 47 陳情第128号 沖縄県庁舎や市町村庁舎の地震対策や漏水対策に関する陳情
- 48 広報、危機管理及び消防防災について（所管事務調査）
- 49 予算及び行財政について（所管事務調査）
- 50 県税及び公有財産について（所管事務調査）
- 51 市町村行財政について（所管事務調査）
- 52 県職員の給与について（所管事務調査）
- 53 学事について（所管事務調査）
- 54 県庁舎について（所管事務調査）
- 55 総合開発及び地域振興について（所管事務調査）
- 56 交通運輸及び通信について（所管事務調査）
- 57 土地利用対策について（所管事務調査）
- 58 警察行政について（所管事務調査）
- 59 自衛隊について（所管事務調査）

## 経済労働委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年6月24日(水曜日)

開 会 午後4時44分  
散 会 午後5時32分  
場 所 第1委員会室  
議 題

- 1 農林水産業について（さとうきび農業基本政策確立等のための取り組み等について）

出 席

委 員 長 玉 城 ノブ子 さん  
副 委 員 長 瑞慶覧 功 君  
委 員 中 川 京 貴 君  
座喜味 一 幸 君  
辻 野 ヒロ子 さん  
具 志 孝 助 君  
仲宗根 悟 君  
当 銘 勝 雄 君  
渡久地 修 君  
玉 城 満 君  
上 里 直 司 君

欠 席

前 島 明 男 君

説明員の職、氏名

農林水産部長 比 嘉 俊 昭 君

審査概要

さとうきび農業基本政策確立のための取り組み等について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

なお、「さとうきび農業基本政策確立等に関する意見書」を別掲のとおり提出することになった。

(2)

◎平成21年7月1日(水曜日)

開 会 午後7時18分  
散 会 午後7時21分  
場 所 第1委員会室

議 題

- 1 審査日程について

出 席

委 員 長 玉 城 ノブ子 さん  
副 委 員 長 瑞慶覧 功 君  
委 員 中 川 京 貴 君  
座喜味 一 幸 君  
辻 野 ヒロ子 さん  
具 志 孝 助 君  
仲宗根 悟 君  
当 銘 勝 雄 君  
渡久地 修 君  
前 島 明 男 君  
玉 城 満 君  
上 里 直 司 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成21年7月2日(木曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午後5時54分

場 所 第1委員会室

議 題

- 1 乙第4号議案 沖縄IT津梁パーク施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 2 陳情平成20年第80号、同第84号、同第135号、同第139号、同第143号、同第158号、同第186号、同第194号、同第198号、同第201号、陳情第39号、第48号、第53号、第70号、第74号の2、第92号、第115号、第122号の2、第123号、第126号、第127号、第129号及び第130号
- 3 閉会中継続審査(調査)について

出 席

委 員 長	玉 城 ノブ子 さん
副 委 員 長	瑞慶覧 功 君
委 員	中 川 京 貴 君
	座喜味 一 幸 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	具 志 孝 助 君
	仲宗根 悟 君
	当 銘 勝 雄 君
	渡久地 修 君
	前 島 明 男 君
	玉 城 満 君
	上 里 直 司 君

説明員の職、氏名

農林水産部長 比 嘉 俊 昭 君

糖業農産課長	山 城 毅 君
畜 産 課 長	赤 嶺 幸 信 君
村づくり計画課長	知 念 武 君
森林緑地課長	長 間 孝 君
水 産 課 長	勝 俣 亜 生 君
漁港漁場課長	小 山 榮 一 君
観光商工部長	勝 目 和 夫 君
新産業振興課長	武 村 勲 君
商工振興課長	嵩 原 安 伸 君
情報産業振興課長	米 須 清 光 君
雇用労政課長	湧 川 盛 順 君

審査概要

乙第4号議案について観光商工部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、指定管理対象施設の所在地、指定管理者制度への移行と公募の時期、現時点での中核機能支援施設への入居決定企業数、施設休館日等の対策、企業誘致に向けた県の取り組み内容、期待できる雇用効果等について質疑が行われた。

次に、陳情7件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情17件について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案1件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情23件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

### 経済労働委員会議案処理一覧表

イ 処理(1件)

議案番号	議 案 名	議 決 の 結 果
乙 第 4 号	沖縄IT津梁パーク施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	多 数 原 案 可 決

## 経済労働委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情11件）

陳情番号	受 理 年 月 日	件 名	陳 情 者 名	審査の 結 果	措 置
第135号 （継続）	平成20年 9月17日	宮古土地改良区における 適正な管理、運営に関する陳情	宮古土地改良区を考える会 共同代表 野原 重則 外2人	採 択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事）
第143号 （継続）	平成20年 9月24日	宮古土地改良区の運営改善に関する陳情	「ゆいの会」 代表 下地 金徳	〃	〃
第186号 （継続）	平成20年 11月27日	沖縄県立職業能力開発校の非常勤講師の雇用安定と均等待遇に基づく処遇改善を求める陳情	連合おきなわユニオン 執行委員長 比嘉 朝吉 外1人	〃	〃
第194号 （継続）	平成20年 12月2日	公契約に関する基本法の制定を求める意見書の可決を求める陳情	日本労働組合総連合会 沖縄県連合会（連合沖縄） 会長 仲村 信正	〃	〃
第70号	平成21年 3月18日	沖縄県虚偽報告「美ら海協力金の違法性調査」に関する陳情	宮古島市伊良部前里添3-2 長崎 毅	〃	〃
第74号 の 2	平成21年 3月27日	平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情	沖縄県離島振興協議会 会長 仲村 三雄 外1人	〃	〃
第92号	平成21年 5月21日	モズクの販売促進の予算措置に関する陳情	沖縄県漁業協同組合連合会 代表理事会長 並里 弘安 外1人	〃	〃
第115号	平成21年 6月22日	さとうきび農業基本政策確立に関する陳情	沖縄県さとうきび対策本部 本部長 赤嶺 勇 外1人	〃	〃
第122号 の 2	平成21年 6月24日	県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情	沖縄県労働組合総連合 議長 宮城 常和	〃	〃

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第126号	平成21年 6月25日	大規模集客施設に係る積極的な広域調整機能(規模縮小)の実施及び有効な立地規制ゾーニングの確立並びに中心市街地活性化策の一層の支援に関する陳情	沖縄市議会 議長 喜友名 朝清	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第127号	平成21年 6月25日	徴収済み「美ら海協力金」の保全に関する陳情	宮古島市伊良部前里添 3-2 長崎 毅	〃	〃

## 経済労働委員会閉会中継続 審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成20年第80号 楚洲仲尾線(楚洲支線)開設工事の中止を求める陳情
- 2 陳情平成20年第84号 ヤンバル林道事業の中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第139号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情
- 4 陳情平成20年第158号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情
- 5 陳情平成20年第198号 伊江島における黒糖工場建設問題に関する陳情
- 6 陳情平成20年第201号 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 7 陳情第39号 県営林道5路線(奥山線、伊楚支線、楚洲仲尾線、伊江I号支線、伊江原支線)の建設中止を求める陳情
- 8 陳情第48号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情
- 9 陳情第53号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情
- 10 陳情第123号 伊江島における黒糖工場建設に反対する陳情
- 11 陳情第129号 EMの講習会を開催することに関する陳情
- 12 陳情第130号 EMを基盤に、我が国の国際貢献の最前線基地を沖縄で引き受けることに関する陳情

- 13 農林水産業について(所管事務調査)
- 14 商・鉱・工業について(所管事務調査)
- 15 労働問題について(所管事務調査)
- 16 国内外の交流について(所管事務調査)

## さとうきび農業基本政策確立等 に関する意見書

さとうきびは、本県における農業の基幹作物であり、我が国の甘味資源の安定供給を図る観点から極めて重要な作物である。

また、さとうきび生産を支える甘蔗糖企業は、製糖を通して雇用機会を確保するなど、地域経済を支える重要な産業となっている。

このため、本県では、さとうきびの安定生産と甘蔗糖企業の経営安定を図るため、「さとうきび増産に向けた生産計画」に基づき、関係機関・団体が一体となって、品質取引の円滑な推進と機械化の促進、農地利用集積等によるさとうきびの担い手育成、優良品種の育成・普及、病虫害防除、畑地かんがいの整備等によるさとうきびの生産性・品質向上対策を積極的に進めるとともに、甘蔗糖企業の合理化についても鋭意取り組んでいるところである。

このような中であって、平成19年産から実施された新たなさとうきび経営安定対策は、一定の要件を満たす生産者に政策支援が行われ、さらに平成21年度までの3年間は、要件を満たさず特例要件を活用する生産者に対しても支援が行われているところである。

しかしながら、本県のさとうきび農家はその大部分が高齢、小規模農家であり、かつ、本則要件を満たしていない特例要件生産者であること、本県のさとうきび農家及び甘蔗糖企業を取り巻く自然、社会、経済及び生産等の諸条件は年々その厳しさを増してきていることなどの状況にある。

このため、本県では、これまで官民挙げて特例要件生産者から本則要件生産者への移行を目指すとともに、諸条件の克服に向けてさまざまな取り組みを行ってきたところであるが、依然として根本的な解決には至っていない状況である。

よって、政府におかれては、平成22年産のさとうきび価格・政策の確立に当たっては、本県さとうきび農家及び甘蔗糖企業の厳しい状況にかんがみ、一軒・一企業たりともつぶさないようにするため、さとうきび経営安定対策制度における経営規模要件や基幹作業の追加など生産実態に応じた対象要件を初め制度の根幹部分を抜本的に見直すとともに、その間は制度への移行を見合わせるよう、強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年6月26日

財 務 大 臣 } 沖 縄 県 議 会  
農 林 水 産 大 臣 } あて  
沖縄及び北方対策担当大臣 }

## 文教厚生委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年6月22日(月曜日)

開 会 午後2時3分

散 会 午後3時42分

場 所 第2委員会室

議 題

- 1 社会福祉及び社会保障について(石垣市の児童虐待問題について)

出 席

委 員 長 赤 嶺 昇 君

副 委 員 長 西 銘 純 恵 さん

委 員 桑 江 朝千夫 君

仲 村 未 央 さん

渡嘉敷 喜代子 さん

上 原 章 君

比 嘉 京 子 さん

奥 平 一 夫 君

欠 席

佐喜真 淳 君

仲 田 弘 毅 君

翁 長 政 俊 君

説明員の職、氏名

参事兼福祉  
保健企画課長

大 嶺 良 則 君

青 少 年 ・  
児童家庭課長

新 垣 郁 男 君

青少年・児童  
家庭課班長

真栄城 守 君

審査概要

石垣市の児童虐待問題について青少年・児童家庭課長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(2)

◎平成21年7月1日(水曜日)

開 会 午後7時21分

散 会 午後7時30分

場 所 第2委員会室

議 題

- 1 参考人招致について

- 2 審査日程について

出 席

委 員 長 赤 嶺 昇 君

副 委 員 長 西 銘 純 恵 さん

委 員 桑 江 朝千夫 君

佐喜真 淳 君

仲 田 弘 毅 君

翁 長 政 俊 君

仲 村 未 央 さん

渡嘉敷 喜代子 さん

上 原 章 君

比 嘉 京 子 さん

奥 平 一 夫 君

審査概要

参考人招致について協議し、決定した。

次に、審査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成21年7月2日(木曜日)

開 会 午前10時3分  
散 会 午後7時34分  
場 所 第2委員会室  
議 題

- 1 甲第3号議案 平成21年度沖縄県病院事業会計補正予算(第1号)
- 2 乙第2号議案 沖縄県介護支援専門員資格登録申請等手数料条例の一部を改正する条例
- 3 乙第3号議案 食品衛生法施行条例の一部を改正する条例
- 4 請願第2号、陳情平成20年第41号、同第43号、同第53号、同第78号、同第99号、同第122号の2、同第134号、同第148号、同第175号の2、同第184号、同第188号、同第192号、同第195号、陳情第2号、第8号、第9号、第13号、第16号、第22号、第23号、第26号、第32号、第40号、第41号、第44号、第50号、第52号、第60号から第62号まで、第67号、第68号、第72号、第73号、第74号の3、第80号、第84号、第89号、第99号、第108号、第110号の2、第113号、第116号、第124号及び第139号

出 席

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君

説明員の職、氏名

福祉保健部長	奥 村 啓 子 さん
保健衛生統括監	宮 里 達 也 君
高齢者福祉介護課長	金 城 武 君
青少年・児童家庭課長	新 垣 郁 男 君
障害保健福祉課長	垣 花 芳 枝 さん
医 務 課 長	新 垣 盛 勝 君

医務課副参事	砂 川 靖 君
国保・健康増進課長	上 原 真理子 さん
薬務衛生課長	国 吉 広 典 君
病院事業局長	知 念 清 君
病院事業統括監	小 川 和 美 君
県立病院課長	新 屋 勉 君
県立病院課経営企画監	桃 原 幹 雄 君

審査概要

乙第2号議案及び乙第3号議案について福祉保健部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第2号議案については、介護サービス情報公表制度の目的、調査員2名以上から1名以上への変更理由、手数料の改正状況と全国平均との比較、県内の介護事業者数の状況、介護事業者への負担の状況、調査の内容と公表の状況、介護手数料減免制度の有無等について質疑が行われた。

乙第3号議案については、条例改正の具体的な内容、福祉保健所への報告義務の有無、罰則の有無、輸入食品への対応状況、食中毒の発生状況、食品に関する営業許可件数等について質疑が行われた。

次に、甲第3号議案について病院事業局長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、地域離島医療確保モデル事業の内容、予算額の状況、県立八重山病院の耐震改修工事の完了予定日、本格的な建てかえ計画、招聘する医師の予定人数、医師不足の状況、医療機器の整備計画等について質疑が行われた。

次に、福祉保健部及び病院事業局関係の請願1件及び陳情45件について福祉保健部長及び病院事業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(4)

◎平成21年7月3日(金曜日)

開 会 午前10時2分  
散 会 午後6時51分  
場 所 第2委員会室  
議 題

- 1 参考人からの説明聴取について(陳情平成20年第100号、同第117号、陳情第12号及び第71号について)
- 2 参考人からの説明聴取について(陳情第33

号について)

3 参考人からの説明聴取について（陳情平成20年第201号の2について）

4 陳情平成20年第64号、同第72号、同第100号、同第117号、同第136号、同第137号、同第141号、同第149号、同第162号、同第175号の2、同第187号、同第192号、同第201号の2、陳情第5号、第6号、第12号、第33号、第34号、第63号、第64号、第71号、第74号の3、第107号及び第131号

**出席**

委員長	赤嶺昇君
副委員長	西銘純恵さん
委員	桑江朝千夫君
	佐喜真淳君
	仲田弘毅君
	翁長政俊君
	仲村未央さん
	渡嘉敷喜代子さん
	上原章君
	比嘉京子さん
	奥平一夫君

**説明員の職、氏名**

文化環境部長	知念建次君
環境整備課長	下地岳芳君
補助答弁者	
観光商工部産業政策課長	上原俊次君

参考人	(陳情平成20年第100号、陳情第12号及び第71号)
沖縄市登川自治会会長	小谷良博君
補助者	( " )
池原自治会会長	与那嶺増文君
補助者	( " )
知花自治会会長	田島清信君
補助者	( " )
実行委員	与那嶺正雄君
参考人	(陳情平成20年第117号)
倉敷ダム流域振興促進協議会会長	池原秀明君
補助者	( " )
倉敷ダム流域振興促進協議会副会長	内間秀太郎君
補助者	( " )
倉敷ダム流域振興促進協議会事務局長	仲宗根寛則君
参考人	( 陳 情 第 3 3 号 )

管理型産業廃棄物最終処分場建設反対実行委員会委員長	阿波根直則君
補助者	( " )
管理型産業廃棄物最終処分場建設反対実行委員会事務局長	川崎則明君
補助者	( " )
管理型産業廃棄物最終処分場建設反対実行委員会事務局員	伊佐眞政君
補助者	( " )
管理型産業廃棄物最終処分場建設反対実行委員会事務局員	國吉雅和君
参考人	(陳情平成20年第201号の2)
沖縄電力株式会社取締役副社長	佐久眞章君
補助者	( " )
沖縄電力株式会社吉の浦火力建設所長	高木直久君
補助者	( " )
沖縄電力株式会社環境部次長	池原朗君
補助者	( " )
沖縄電力株式会社環境部副長	島袋直一君
補助者	( " )
沖縄電力株式会社吉の浦か緑区建設所建設管理課長	屋宜誠君

**審査概要**

陳情平成20年第100号、同第117号、同第201号の2、陳情第12号、第33号及び第71号について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、文化環境部関係の陳情24件について文化環境部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(5)

**◎平成21年7月6日(月曜日)**

開会	午前10時4分
散会	午後7時31分

**場所** 第2委員会室

**議題**

- 1 甲第3号議案 平成21年度沖縄県病院事業会計補正予算(第1号)
- 2 乙第2号議案 沖縄県介護支援専門員資格登録申請等手数料条例の一部を改正する条例
- 3 乙第3号議案 食品衛生法施行条例の一部を改正する条例
- 4 請願第2号、陳情平成20年第35号、同第40

- 号、同第41号、同第43号、同第50号、同第53号、同第57号、同第59号、同第63号、同第64号、同第66号、同第67号、同第72号、同第78号、同第82号、同第90号、同第93号、同第99号、同第100号、同第105号、同第107号、同第110号、同第112号、同第117号、同第122号の2、同第124号、同第125号、同第134号、同第136号、同第137号、同第141号、同第142号、同第148号、同第149号、同第162号、同第175号の2、同第184号、同第187号から同第189号まで、同第192号、同第195号、同第199号、同第201号の2、陳情第2号、第5号、第6号、第8号、第9号、第12号、第13号、第16号、第22号、第23号、第26号、第32号から第34号まで、第40号、第41号、第43号、第44号、第50号、第52号、第57号、第60号から第65号まで、第67号、第68号、第71号から第73号まで、第74号の3、第80号、第81号、第83号、第84号、第88号の2、第89号、第91号、第94号、第95号、第97号から第99号まで、第105号から第108号まで、第110号の2、第112号、第113号、第116号、第117号、第122号の3、第124号、第131号から第133号まで及び第137号から第139号まで
- 5 教育及び学術文化について（中高一貫校の現状と今後のあり方について）
- 6 閉会中継続審査（調査）について
- 7 視察調査日程について

**出席**

委員長	赤嶺昇君
副委員長	西銘純恵さん
委員	桑江朝千夫君
	佐喜真淳君
	仲田弘毅君
	翁長政俊君
	仲村未央さん
	渡嘉敷喜代子さん

上原章君  
比嘉京子さん  
奥平一夫君

**説明員の職、氏名**

教育長	金武正八郎君
教育管理統括監	岩井健一君
総務課長	島袋道男君
総務課教育企画監	嘉数卓君
施設課長	前原昌直君
県立学校教育課長	諸見里明君
県立学校教育課副参事兼班長	與那覇健勇君
県立学校教育課主任指導主事	比嘉浩君
県立学校教育課指導主事	比嘉正二君
義務教育課長	上原敏彦君
保健体育課長	渡嘉敷通之君
文化課文化財班長	萩尾俊章君
本部高等学校長	知念正昭君
久米島高等学校長	宮平武君
伊良部高等学校長	奥間正英君
補助答弁者	
総務部総務私学課長	真栄城香代子さん

**審査概要**

教育委員会関係の陳情48件について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、中高一貫校の現状と今後のあり方について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案3件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、請願1件及び陳情106件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

**文教厚生委員会議案処理一覧表**

イ 処理（3件）

議案番号	議案名	議決の結果
甲第3号	平成21年度沖縄県病院事業会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決

議案番号	議案名	議決の結果
乙第2号	沖縄県介護支援専門員資格登録申請等手数料条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第3号	食品衛生法施行条例の一部を改正する条例	〃

### 文教厚生委員会請願・陳情処理一覧表

イ 処理（請願1件、陳情26件）

請願番号	受理年月日	件名	請願者名	紹介議員	審査の結果	措置
第2号	平成21年 3月10日	発達障害及び発達障害が疑われる「気になる」子供の早期発見・早期支援体制の整備に関する請願	沖縄県子どもの未来をつくる親の会連絡会 代表 新垣 道代 外5人	島袋 大 中川 京貴 浦崎 唯昭 座喜味一幸 照屋 守之 嶺井 光 新垣 良俊 新垣 哲司 具志 孝助 池間 淳 辻野ヒロ子 吉田 勝廣 新里 米吉 崎山 嗣幸 当銘 勝雄 大城 一馬 新垣 清涼 比嘉 京子 瑞慶覧 功 上里 直司 山内 末子 新垣 安弘 赤嶺 昇 當間 盛夫 平良 昭一 玉城 満 糸洲 朝則 金城 勉 前島 明男 當山 眞市 上原 章 前田 政明 玉城ノブ子 西銘 純恵 嘉陽 宗儀 渡久地 修 奥平 一夫 玉城 義和	採択	地方自治法第125条による措置 (知事)

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第35号 (継続)	平成20年 3月26日	石垣市における小学校低学年の30人以下学級の実現を求める陳情	石垣市議会 議長 入嵩西 整	採 択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(教育委員会)
第40号 (継続)	平成20年 4月16日	「30人以下学級」の早期実現を求める陳情	沖縄県女性団体連絡協議会 会長 安里 千恵子	〃	〃
第100号 (継続)	平成20年 8月4日	沖縄市登川・池原地区への産業廃棄物処理施設の集中抑止に関する陳情	沖縄市登川自治会 会長 小谷 良博 外2人	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第117号 (継続)	平成20年 8月22日	株式会社環境ソリューションの産業廃棄物処理焼却施設建設に反対する陳情	倉敷ダム流域振興促進協議会 会長 池原 秀明	〃	〃
第124号 (継続)	平成20年 8月28日	「30人以下学級完全実現」を求める陳情	沖縄県教職員組合 中央執行委員長 大浜 敏夫	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(教育委員会)
第141号 (継続)	平成20年 9月22日	アメラジアンの公的支援に関する陳情	特定非営利活動法人アメラジアンスクール・イン・オキナワ 代表理事代行 野入 直美	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事及び教育委員会)
第184号 (継続)	平成20年 11月26日	県立南部医療センター精神身体合併症病棟の拡充に関する陳情	沖縄県精神保健医療福祉連絡協議会 代表 中山 勲	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第2号 (継続)	平成20年 12月16日	学童保育に関する陳情	障害児の学童保育を実現する会 事務局長 大城喜代美 外1人	〃	〃
第12号 (継続)	平成20年 12月25日	産業廃棄物処理施設新炉建設阻止に関する陳情	沖縄市登川自治会 会長 小谷 良博	〃	〃
第16号 (継続)	平成21年 1月21日	地域子育て支援センター事業費の従来どおりの県負担を求める陳情	沖縄県地域子育て支援センター連絡協議会 会長 石川 キヨ子	〃	〃
第22号 (継続)	平成21年 2月2日	沖縄県精神科医療の施策に関する陳情	社団法人沖縄県精神障害者福祉会連合会 会長 平田 有功	〃	〃
第23号 (継続)	平成21年 2月3日	障害者福祉の増進に関する陳情	沖縄県身体障害者福祉協会 会長 上原 義雄 外19人	〃	〃

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第26号 (継続)	平成21年 2月5日	沖縄県精神科通院患者リハビリテーション事業に関する陳情	社団法人沖縄県精神障害者福祉会連合会 会長 平田 有功 外1人	採 択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知 事)
第34号 (継続)	平成21年 2月13日	株式会社沖広産業の管理型産業廃棄物最終処分場建設計画の撤回に関する陳情	読谷村 村長 安田 慶造	〃	〃
第40号 (継続)	平成21年 2月20日	県立南部医療センター精神身体合併症病棟の早期再開に関する陳情	沖縄精神神経学会 会長 近藤 毅	〃	〃
第44号 (継続)	平成21年 2月25日	沖縄県の障害者スポーツ振興に関する陳情	北京パラリンピック日本代表沖縄県選手を支援する会 代表 平田かおり	〃	〃
第62号 (継続)	平成21年 3月10日	地域子育て支援センター事業費の従来どおりの県負担を求める陳情	沖縄市地域子育て支援センター・たんぽぽ広場 園長 嘉陽 千恵子	〃	〃
第71号	平成21年 3月19日	株式会社環境ソリューションによる産業廃棄物処理施設建設の反対に関する陳情	沖縄市登川自治会 会長 小谷 良博 外2人	〃	〃
第73号	平成21年 3月27日	県立中部病院の医療機能の継続等に関する陳情	うるま市議会 議長 西野 一男	〃	〃
第74号 の 3	平成21年 3月27日	平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情	沖縄県離島振興協議会 会長 仲村 三雄 外1人	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知事及び教育委員会)
第81号	平成21年 4月16日	「30人以下学級」の早期実現を求める陳情	沖縄県女性団体連絡協議会 会長 宮平 叶子	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (教 育 委 員 会)
第83号	平成21年 4月20日	「国立沖縄青少年交流の家」存続に関する陳情	渡嘉敷村 村長 小嶺 安雄 外1人	〃	〃
第89号	平成21年 5月14日	ハンセン病療養所に関する陳情	宮古南静園入園者自治会 会長 宮里 光雄 外1人	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知 事)

陳情番号	受 理 年 月 日	件 名	陳 情 者 名	審査の 結 果	措 置
第 9 1 号	平成21年 5月20日	台湾東部と八重山諸島の 「観光経済圏」形成推進 に向けた課題に関する陳 情	沖縄県八重山市町会 会長 大濱 長照	採 択	会議規則第90条による地 方自治法第125条の措置 (教 育 委 員 会)
第 9 7 号	平成21年 5月29日	命と平和の語り部宮森「 630館」設置に関する陳情	命と平和の語り部宮森 「630館」設置委員会 会長 平良 嘉男	〃	〃
第 9 8 号	平成21年 6月1日	「30人以下学級完全実現」 のための陳情	沖縄県教職員組合 中央執行委員長 山本隆司	〃	〃

ロ 審査未了（3件）

陳情番号	受 理 年 月 日	件 名	陳 情 者 名
第 5 号 (継続)	平成20年 12月22日	八重瀬町世名城地域における産業廃棄物処理施設の建設 計画に反対する陳情	八重瀬町議会 議長 神谷 信吉
第 6 号 (継続)	平成20年 12月22日	八重瀬町世名城地域における産業廃棄物処理施設の建設 計画に反対する陳情	八重瀬町 町長 中村 信吉
第 4 3 号 (継続)	平成21年 2月24日	「人体の不思議展」県立博物館使用の中止を求める陳情	沖縄県民主医療機関連合会 会長 新垣 安男

## 文教厚生委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第41号 子供の医療費助成制度の  
拡充に関する陳情
- 2 陳情平成20年第43号 母子家庭等医療費助成の  
給付方法を償還払いから現物給付へ変更するこ  
とを求める陳情
- 3 陳情平成20年第50号 沖縄県立図書館八重山分  
館の存続に関する陳情
- 4 陳情平成20年第53号 ジストニア治療の健康保  
険適用拡大等治療環境の改善に関する意見書の提  
出を求める陳情
- 5 陳情平成20年第57号 2009年度政府教育予算の  
拡充を求める意見書の採択に関する陳情
- 6 陳情平成20年第59号 沖縄県立図書館八重山分  
館の存続を求める陳情
- 7 陳情平成20年第63号 サッカー専用スタジアム  
の早期建設に関する陳情
- 8 陳情平成20年第64号 「戦争のできる国民づく  
り」教育に反対する陳情
- 9 陳情平成20年第66号 沖縄県立図書館八重山分  
館の存続に関する陳情
- 10 陳情平成20年第67号 沖縄県立図書館八重山分  
館廃止に反対する陳情
- 11 陳情平成20年第72号 沖広産業の産業廃棄物安  
定型最終処分場内におけるクロルデン類等汚染の  
浄化と、営業許可の更新を認めないことを求める  
陳情
- 12 陳情平成20年第78号 子供の医療費助成制度の  
拡充に関する陳情
- 13 陳情平成20年第82号 沖縄県立図書館八重山分  
館の存続を求める陳情
- 14 陳情平成20年第90号 沖縄県立図書館八重山分  
館の存続を求める陳情
- 15 陳情平成20年第93号 沖縄県立図書館八重山分  
館の存続を求める陳情
- 16 陳情平成20年第99号 地域医療崩壊阻止のため  
の意見書提出を求める陳情

- 17 陳情平成20年第105号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 18 陳情平成20年第107号 沖縄県立図書館八重山分館の廃止撤回を求める陳情
- 19 陳情平成20年第110号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 20 陳情平成20年第112号 友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情
- 21 陳情平成20年第122号の2 沖縄県腎臓病患者連絡協議会の活動等に対する支援を求める陳情
- 22 陳情平成20年第125号 「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情
- 23 陳情平成20年第134号 認可外保育園支援のための振興対策調整費の使途に関する陳情
- 24 陳情平成20年第136号 浦添の美しい景観と安心・安全で安らぎのある生活環境を求める陳情
- 25 陳情平成20年第137号 サンゴの保護に関する陳情
- 26 陳情平成20年第142号 天然記念物の伐採に関する陳情
- 27 陳情平成20年第148号 地域医療・高度多機能な医療の確保に関する陳情
- 28 陳情平成20年第149号 産業廃棄物処理場の撤去を求める陳情
- 29 陳情平成20年第162号 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情
- 30 陳情平成20年第175号の2 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情
- 31 陳情平成20年第187号 沖縄美ら海再生に関する陳情
- 32 陳情平成20年第188号 命の尊厳を踏みにじる「後期高齢者医療制度」の廃止を求める陳情
- 33 陳情平成20年第189号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 34 陳情平成20年第192号 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
- 35 陳情平成20年第195号 医療提供体制確保と地域医療を守ることにに関する陳情
- 36 陳情平成20年第199号 沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情
- 37 陳情平成20年第201号の2 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 38 陳情第8号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 39 陳情第9号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 40 陳情第13号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 41 陳情第32号 身体障害者に関する手続等についての陳情
- 42 陳情第33号 読谷村産業廃棄物安定型最終処分場問題をめぐる行政処分に関する陳情
- 43 陳情第41号 県立病院の存続を求める陳情
- 44 陳情第50号 県立病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 45 陳情第52号 地域医療を守り、県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 46 陳情第57号 学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の使用促進に関する陳情
- 47 陳情第60号 県立八重山病院の地方独立行政法人化に反対する陳情
- 48 陳情第61号 医療提供体制確保を求める陳情
- 49 陳情第63号 ヤンバルの森全体の環境調査の実施と沖縄県アセス条例の改正を求める陳情
- 50 陳情第64号 うるま市宇赤野港原地域への産業廃棄物処理場建設に反対する陳情
- 51 陳情第65号 沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」として存続を求める陳情
- 52 陳情第67号 地域医療体制の強化を求める陳情
- 53 陳情第68号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 54 陳情第72号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 55 陳情第80号 県立病院の存続を求める陳情
- 56 陳情第84号 県立八重山病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 57 陳情第88号の2 沖縄学生会館の閉館に関する陳情
- 58 陳情第94号 新学習指導要領理科の実現へ向けての環境整備に関する陳情
- 59 陳情第95号 沖縄学生会館の再建に関する陳情
- 60 陳情第99号 利用者の人権、職員の権利、健康

- を守るために社会福祉法人「翠泉会」在宅複合型施設羽地苑の運営正常化・健全化を求める陳情
- 61 陳情第105号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 62 陳情第106号 県立高等学校編成整備実施計画に関する陳情
- 63 陳情第107号 「気候保護法(仮称)」の制定を求める陳情
- 64 陳情第108号 細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める陳情
- 65 陳情第110号の2 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 66 陳情第112号 特別支援教育のさらなる推進に関する陳情
- 67 陳情第113号 中部病院を初め県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 68 陳情第116号 介護サービス情報公表制度の見直しに関する陳情
- 69 陳情第117号 沖縄学生会館の再建を求める陳情
- 70 陳情第122号の3 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 71 陳情第124号 発達障害及び発達障害疑いの「気になる」子供の特別支援教育における支援体制整備に関する陳情
- 72 陳情第131号 EMで海や川の環境を守ることに  
関する陳情
- 73 陳情第132号 環境教育でEMを活用することに  
関する陳情
- 74 陳情第133号 沖縄県の学校施設の地震対策や  
湧水対策に関する陳情
- 75 陳情第137号 沖縄県立美術館の「展示拒否問題」  
に関する陳情
- 76 陳情第138号 沖縄県立博物館・美術館の大浦信  
行作品展示拒否事件に関する陳情
- 77 陳情第139号 学童保育の拡充に関する陳情
- 78 消費者保護及び県民生活について(所管事務調  
査)
- 79 県民文化について(所管事務調査)
- 80 青少年及び交通安全問題について(所管事務調  
査)
- 81 公害防止及び環境保全について(所管事務調査)
- 82 社会福祉及び社会保障について(所管事務調査)
- 83 医療及び保健衛生について(所管事務調査)
- 84 教育及び学術文化について(所管事務調査)

- 85 平和について(所管事務調査)
- 86 男女共同参画について(所管事務調査)

## 土木委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年7月1日(水曜日)

開 会 午後7時20分

散 会 午後7時22分

場 所 第3委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 當 山 眞 市 君

副 委 員 長 照 屋 大 河 君

委 員 新 垣 良 俊 君

嶺 井 光 君

池 間 淳 君

嘉 陽 宗 儀 君

大 城 一 馬 君

平 良 昭 一 君

新 垣 安 弘 君

吉 田 勝 廣 君

欠 席

新 垣 哲 司 君

高 嶺 善 伸 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年7月2日(木曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午後3時40分

場 所 第3委員会室

議 題

1 甲第2号議案 平成21年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算(第1号)

2 甲第4号議案 平成21年度沖縄県水道事業会計補正予算(第1号)

3 乙第5号議案 沖縄県自動車駐車場管理条例の一部を改正する条例

- 4 乙第7号議案 沖縄県土地開発公社定款の一部変更について
- 5 陳情平成20年第68号、同第96号の3、同第108号の3、同第115号、同第130号、同第133号、同第138号、同第152号、同第160号、同第183号、同第185号、同第202号の2、陳情第18号、第24号、第35号から第37号まで、第74号の4、第76号、第90号、第91号の2、第109号、第118号、第119号、第134号、第135号及び第140号
- 6 閉会中継続審査（調査）について

港湾課長 神田 豪 君  
 空港課長 与那覇 義博 君  
 下水道課長 宮城 光秋 君  
 住宅課長 渡久山 盛清 君  
 企業局長 宮城 嗣三 君  
 企業技術統括監 大城 康信 君

#### 審査概要

甲第2号議案、乙第5号議案及び乙第7号議案について土木建築部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、甲第2号議案については、質疑なし。

乙第5号議案については、県民広場地下駐車場の利用状況と収支状況、周辺の民間業者への圧迫の有無、二輪車の駐車スペースの設置による収入増の見込み額等について質疑が行われた。

乙第7号議案については、沖縄県土地開発公社定款の変更内容、借地権の設定状況、分譲対象の資産の内訳、先行取得の実績等について質疑が行われた。

次に、陳情27件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、甲第4号議案について企業局長から説明を聴取した後、質疑に入り、新石川浄水場建設による処理能力向上の程度、石川浄水場水の硬度の数値、市町村への供給施設の数、効率的な供給方法等について質疑が行われた。

次に、議案4件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情27件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

#### 出席

委員長 當山 眞市 君  
 副委員長 照屋 大河 君  
 委員 新垣 良俊 君  
 嶺井 光 君  
 池間 淳 君  
 新垣 哲司 君  
 高嶺 善伸 君  
 嘉陽 宗儀 君  
 大城 一馬 君  
 平良 昭一 君  
 新垣 安弘 君  
 吉田 勝廣 君

#### 説明員の職、氏名

土木建築部長 仲田 文昭 君  
 土木企画課長 喜瀬 普一郎 君  
 用地課長 狩俣 栄 君  
 道路街路課長 新里 末守 君  
 道路管理課長 前泊 勇栄 君  
 河川課長 小禄 茂徳 君

### 土木委員会議案処理一覧表

イ 処理（4件）

議案番号	議案名	議決の結果
甲第2号	平成21年度沖縄県下水道事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
甲第4号	平成21年度沖縄県水道事業会計補正予算（第1号）	〃
乙第5号	沖縄県自動車駐車場管理条例の一部を改正する条例	〃
乙第7号	沖縄県土地開発公社定款の一部変更について	全会一致 可決

## 土木委員会閉会中継続 審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成20年第68号 東部海浜開発(泡瀬埋立)事業の中止を求める陳情
- 2 陳情平成20年第96号の3 軽油価格の高騰により存亡の危機に瀕しているトラック運送業界に関する陳情
- 3 陳情平成20年第108号の3 原油価格高騰対策に関する陳情
- 4 陳情平成20年第115号 港湾区域内の水域占用許可に関する陳情
- 5 陳情平成20年第130号 燃料高騰による車持ちダンプ労働者の低単価・労働条件の改善を求める陳情
- 6 陳情平成20年第133号 「住宅供給公社の共益費徴収業務」に関する陳情
- 7 陳情平成20年第138号 古島団地の建てかえに関する陳情
- 8 陳情平成20年第152号 公共工事の不払いに関する陳情
- 9 陳情平成20年第160号 那覇伊平屋航空路線開設に関する陳情
- 10 陳情平成20年第183号 泡瀬裁判の控訴断念を議決するよう求める陳情
- 11 陳情平成20年第185号 泡瀬干潟埋立事業公金支出差止訴訟判決に対する控訴を断念し泡瀬干潟の保全を求める陳情
- 12 陳情平成20年第202号の2 建設業界の窮状に関する陳情
- 13 陳情第18号 泡瀬干潟裁判の控訴費用及び泡瀬埋立関連の予算の削除に関する陳情
- 14 陳情第24号 公共事業の早期発注並びに建設工事入札における最低制限価格の引上げに関する陳情
- 15 陳情第35号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 16 陳情第36号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 17 陳情第37号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 18 陳情第74号の4 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情

- 19 陳情第76号 県道、与那国島線祖納集落内217号線の拡張に関する陳情
- 20 陳情第90号 「豊崎プロジェクト」に関する陳情
- 21 陳情第91号の2 台湾東部と八重山諸島の「観光経済圏」形成推進に向けた課題に関する陳情
- 22 陳情第109号 公共工事に係る工賃の支払いに関する陳情
- 23 陳情第118号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 24 陳情第119号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 25 陳情第134号 沖縄県の公共の土木建築物でEMを活用することに関する陳情
- 26 陳情第135号 沖縄県の下水処理場(浄化センター)にEMを活用することに関する陳情
- 27 陳情第140号 泡瀬干潟埋立事業の中止の決議を可決することに関する陳情
- 28 道路、橋梁の整備事業について(所管事務調査)
- 29 港湾の整備事業について(所管事務調査)
- 30 空港の整備事業について(所管事務調査)
- 31 河川、海岸及び砂防の整備事業について(所管事務調査)
- 32 都市計画事業について(所管事務調査)
- 33 上下水道事業について(所管事務調査)
- 34 住宅環境の改善について(所管事務調査)
- 35 都市モノレールの整備事業について(所管事務調査)
- 36 建築関係について(所管事務調査)

## 米軍基地関係特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年7月1日(水曜日)

開 会 午後7時31分

散 会 午後7時33分

場 所 第4委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 渡嘉敷 喜代子 さん

副 委 員 長 桑 江 朝千夫 君

委 員 中 川 京 貴 君

吉 元 義 彦 君  
 具 志 孝 助 君  
 照 屋 大 河 君  
 前 田 政 明 君  
 上 原 章 君  
 玉 城 満 君  
 山 内 末 子 さん  
 玉 城 義 和 君

欠 席

新 垣 清 涼 君

**審査概要**

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年7月7日(火曜日)

開 会 午前10時5分

散 会 午後4時50分

場 所 第4委員会室

**議 題**

- 1 請願平成20年第1号、陳情平成20年第36号、同第88号、同第89号、同第94号、同第102号、同第132号、同第167号、同第204号、陳情第4号、第14号、第42号、第46号、第47号、第51号、第77号から第79号まで、第82号、第93号、第96号、第101号、第102号、第114号、第121号及び第125号

- 2 閉会中継続審査(調査)について

**出 席**

委 員 長 渡嘉敷 喜代子 さん  
 副 委 員 長 桑 江 朝千夫 君  
 委 員 中 川 京 貴 君  
 吉 元 義 彦 君  
 具 志 孝 助 君  
 照 屋 大 河 君

前 田 政 明 君  
 上 原 章 君  
 新 垣 清 涼 君  
 玉 城 満 君  
 山 内 末 子 さん  
 玉 城 義 和 君

**説明員の職、氏名**

知 事 公 室 長 上 原 良 幸 君  
 基地防災統括監 平 良 宗 秀 君  
 基地対策課長 又 吉 進 君  
 企 画 部 企 画 調 整 課 跡 地 対 策 監 名 嘉 真 稔 君  
 文 化 環 境 部 環 境 企 画 統 括 監 金 城 康 政 君  
 文 化 環 境 部 環 境 政 策 課 長 安 富 雅 之 君  
 文 化 環 境 部 自 然 保 護 課 長 久 田 友 弘 君  
 農 林 水 産 部 農 漁 村 基 盤 統 括 監 津 波 古 喜 正 君  
 土 木 建 築 部 土 木 整 備 統 括 監 当 間 清 勝 君  
 教 育 庁 文 化 課 長 大 城 慧 君  
 警 察 本 部 刑 事 部 長 仲 宗 根 孝 君

**審査概要**

請願1件及び陳情25件について知事公室長、企画部企画調整課跡地対策監、文化環境部環境企画統括監、農林水産部農漁村基盤統括監、土木建築部土木整備統括監、教育庁文化課長及び警察本部刑事部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、請願1件及び陳情25件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

**米軍基地関係特別委員会陳情処理一覧表**

イ 処理(11件)

陳情番号	受 理 年 月 日	件 名	陳 情 者 名	審 査 の 結 果	措 置
平成20年 第132号 (継続)	平成20年 9月11日	辺野古新基地建設における大浦湾作業ヤード計画の撤回を防衛省に求める陳情	大浦湾のユビエダサンゴを守る名護市民の会 平和丸基金 代表 大西 照雄	採 択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知 事)

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第4号 (継続)	平成20年 12月19日	米軍所属セスナ機(C172) 墜落事故に関する陳情	大宜味村議会 議長 宮城 功光	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事及び公安委員会)
第14号 (継続)	平成20年 12月26日	米軍所属セスナ機(C172) 墜落事故に関する陳情	伊平屋村議会 議長 名嘉 正明	〃	〃
第47号 (継続)	平成21年 2月27日	嘉手納基地の爆音被害に関する陳情	新嘉手納基地爆音訴訟原告団 会長 仲村 清勇	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第77号	平成21年 3月31日	米空軍F22Aラプター・航空自衛隊F15イーグル戦闘機による日米共同訓練等に対する陳情	嘉手納町議会 議長 田崎 博美	〃	〃
第78号	平成21年 4月8日	不発弾処理中の爆発事故に関する陳情	名護市議会 議長 島袋 権勇	〃	〃
第93号	平成21年 5月21日	キャンプ・ハンセン内における山火事に対する陳情	金武町議会 議長 仲里 全孝	〃	〃
第96号	平成21年 5月27日	実弾射撃訓練による山火事に関する陳情	名護市議会 議長 島袋 権勇	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事及び教育委員会)
第101号	平成21年 6月4日	米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に関する陳情	うるま市 市長 島袋 俊夫	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第102号	平成21年 6月5日	米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する陳情	うるま市議会 議長 西野 一男	〃	〃
第121号	平成21年 6月24日	米軍演習による流弾事件に関する陳情	金武町議会 議長 仲里 全孝	〃	〃

## 米軍基地関係特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 請願平成20年第1号 新基地建設に関する請願
- 2 陳情平成20年第36号 キャンプ・ハンセン内レンジ3射撃場建設の即時中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第88号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」の決議を求める

## 陳情

- 4 陳情平成20年第89号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業に係るアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情
- 5 陳情平成20年第94号 キャンプ・ハンセン内への訓練用コンテナ搬入に関する陳情
- 6 陳情平成20年第102号 沖縄の米軍基地再編・新基地建設に反対する陳情

- 7 陳情平成20年第167号 第二次返還特措法の制定  
に関する陳情
- 8 陳情平成20年第204号 普天間飛行場代替施設  
(新基地) 建設事業等の中止を求める陳情
- 9 陳情第42号 「在沖米海兵隊のグアム移転に係  
る協定」に反対し、基地の無条件撤去に向けた日  
米両政府の協議を要求する意見書の採択を求める  
陳情
- 10 陳情第46号 「米軍再編協定」(「在沖米海兵隊  
のグアム移転に関する協定」)に反対する意見書の  
採択を求める陳情
- 11 陳情第51号 米軍実弾射撃訓練被弾事件に関す  
る陳情
- 12 陳情第79号 ヘリパッド建設反対に関する陳情
- 13 陳情第82号 在沖繩米海兵隊のグアム「移転」  
に関する協定及び新基地の建設に反対する陳情
- 14 陳情第114号 辺野古新基地建設を押しつける  
「在沖海兵隊グアム移転協定」に関する陳情
- 15 陳情第125号 「普天間」代替基地建設工事等  
の中止を求める陳情
- 16 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等  
米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立

仲宗根 悟 君  
玉 城 ノブ子 さん  
平 良 昭 一 君  
新 垣 安 弘 君  
  
新 垣 哲 司 君  
高 嶺 善 伸 君  
金 城 勉 君

欠 席

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年7月7日(火曜日)

開 会 午前10時3分

散 会 午後0時10分

場 所 第5委員会室

議 題

- 1 陳情第75号、第136号及び第141号
- 2 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並び  
にこれらに関連する諸問題の調査及び対策の  
樹立(新石垣空港整備事業の進捗状況につい  
て)
- 3 閉会中継続審査(調査)について

観光振興・新石垣空港  
建設促進特別委員会  
委員会記録

(1)

◎平成21年7月1日(水曜日)

開 会 午後7時33分

散 会 午後7時35分

場 所 第5委員会室

議 題

- 1 審査日程について

委員の異動

6月16日の会議において、赤嶺昇君の辞任が許  
可され、新垣安弘君が委員に選任された。

出 席

委 員 長 比 嘉 京 子 さん  
副 委 員 長 辻 野 ヒロ子 さん  
委 員 座喜味 一 幸 君  
新 垣 良 俊 君

出 席

委 員 長 比 嘉 京 子 さん  
副 委 員 長 辻 野 ヒロ子 さん  
委 員 座喜味 一 幸 君  
新 垣 良 俊 君  
新 垣 哲 司 君  
仲宗根 悟 君  
高 嶺 善 伸 君  
玉 城 ノブ子 さん  
金 城 勉 君  
平 良 昭 一 君  
新 垣 安 弘 君

説明員の職、氏名

観光商工部長 勝 目 和 夫 君  
観光企画課長 新 垣 昌 頼 君  
土木建築部長 仲 田 文 昭 君  
新石垣空港統括監 新 垣 盛 勇 君  
道路街路課長 新 里 末 守 君  
新石垣空港課長 栄野川 盛 信 君

## 審査概要

陳情2件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、新石垣空港整備事業の進捗状況について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情3件を採決した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

## 観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 陳情第75号 新空港の名称を「八重山空港」とすることに關する陳情
- 2 陳情第136号 EMを新しい観光資源として導入することに關する陳情
- 3 陳情第141号 沖縄県の政策を新しい観光資源として導入することに關する陳情
- 4 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに關連する諸問題の調査及び対策の樹立

## 沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年7月1日(水曜日)

開 会 午後7時31分

散 会 午後7時36分

場 所 第6委員会室

議 題

- 1 審査日程について

委員の異動

6月16日の会議において、當間盛夫君の辞任が許可され、赤嶺昇君が委員に選任された。

出 席

委 員 長 当 銘 勝 雄 君

副 委 員 長 島 袋 大 君  
委 員 仲 田 弘 毅 君  
浦 崎 唯 昭 君  
池 間 淳 君  
仲 村 未 央 さん  
渡久地 修 君  
糸 洲 朝 則 君  
瑞慶覽 功 君  
赤 嶺 昇 君  
上 里 直 司 君  
奥 平 一 夫 君

## 審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年7月7日(火曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午後2時32分

場 所 第6委員会室

議 題

- 1 陳情平成20年第193号及び陳情第74号の5
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに關連する諸問題の調査及び対策の樹立(沖縄21世紀ビジョン(仮称)策定の進捗状況について)
- 3 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに關連する諸問題の調査及び対策の樹立(沖縄振興計画の総点検の進捗状況について)
- 4 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに關連する諸問題の調査及び対策の樹立(那覇空港設計計画段階の内容について)
- 5 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに關連する諸問題の調査及び対策の樹立(那覇空港に係る公租公課等の軽減要望について)
- 6 閉会中継続審査(調査)について
- 7 視察調査日程について(追加議題)

出 席

委 員 長 当 銘 勝 雄 君  
副 委 員 長 島 袋 大 君  
委 員 仲 田 弘 毅 君  
浦 崎 唯 昭 君

池 間 淳 君  
仲 村 未 央 さん  
渡久地 修 君  
糸 洲 朝 則 君  
瑞慶覧 功 君  
赤 嶺 昇 君  
上 里 直 司 君  
奥 平 一 夫 君

#### 説明員の職、氏名

企 画 部 長 川 上 好 久 君  
企画調整統括監 平 良 敏 昭 君  
企画調整課長 桃 原 利 功 君  
交通政策課長 津 覇 隆 君

#### 審査概要

陳情2件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、沖縄21世紀ビジョン（仮称）策定の進捗状況について、沖縄振興計画の総点検の進捗状況について、那覇空港施設計画段階の内容について及び那覇空港に係る公租公課等の軽減要望について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情2件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

## 沖 縄 振 興 ・ 那 覇 空 港 整 備 促 進 特 別 委 員 会 閉 会 中 継 続 審 査 ( 調 査 ) 事 件 一 覧

- 1 陳情平成20年第193号 那覇空港拡張整備計画に関する陳情
- 2 陳情第74号の5 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情
- 3 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

平成21年第4回沖縄県議会(定例会)

閉会中継続審査(調査)

## 文教厚生委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年8月24日(月曜日)

開 会 午前10時3分  
散 会 午後0時13分  
場 所 第2委員会室  
議 題

- 1 医療及び保健衛生について(新型インフルエンザ問題について)

出 席

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君

欠 席

翁 長 政 俊 君

説明員の職、氏名

福祉保健部長	奥 村 啓 子 さん
保健衛生統括監	宮 里 達 也 君
参事兼福祉保健企画課長	大 嶺 良 則 君
青少年・児童家庭課長	新 垣 郁 男 君
病院事業局長	知 念 清 君
南部医療センター・ こども医療センター 院 長	大久保 和 明 君
教育庁保健体育課長	渡嘉敷 通 之 君

審査概要

医療及び保健衛生についてに係る新型インフルエンザ問題について福祉保健部長及び病院事業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

## 文教厚生委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

平成21年8月4日(1日)

視察調査の場所

読谷村、うるま市及び沖縄市

視察調査事項

- 1 公害防止及び環境保全について(産業廃棄物安定型最終処分場の現状について)
- 2 教育及び学術文化について(命と平和の語り部宮森「630館」設置構想について)
- 3 公害防止及び環境保全について(産業廃棄物処理施設の現状について)
- 4 教育及び学術文化について(施設の概要、現状と課題について)

参 加 者

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
委員外議員	當 山 眞 市 君

## 沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

自 平成21年7月21日 (2日間)  
至 平成21年7月22日

視察調査の場所

那覇市及び宮古島市

視察調査事項

- 1 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整

備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立について（那覇空港の国際貨物基地構想及び下地島空港の利活用策について）

参 加 者

委 員 長	当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長	島 袋 大 君
委 員	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	池 間 淳 君
	仲 村 未 央 さん
	渡久地 修 君
	糸 洲 朝 則 君
	瑞慶覧 功 君
	奥 平 一 夫 君
	赤 嶺 昇 君
	上 里 直 司 君
委 員 外 議 員	座喜味 一 幸 君

（7月22日のみ参加）

平成21年第5回沖縄県議会(定例会)

# 総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年10月6日(火曜日)

開 会 午後5時7分  
散 会 午後5時9分  
場 所 第4委員会室  
議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	照 屋 守 之 君
	浦 崎 唯 昭 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	糸 洲 朝 則 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 義 和 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年10月7日(水曜日)

開 会 午前10時2分  
散 会 午後4時13分  
場 所 第4委員会室  
議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第2号)
- 2 乙第1号議案 沖縄県高校生修学支援基金条例
- 3 乙第2号議案 沖縄県行政機関設置条例の一部を改正する条例
- 4 乙第3号議案 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
- 5 乙第18号議案 沖縄県収用委員会予備委員の任命について

6 陳情平成20年第83号、同第86号、同第87号、同第101号、同第127号、同第190号、同第191号、陳情第58号、第59号、第74号、第88号、第110号、第111号、第122号、第128号及び第174号

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	照 屋 守 之 君
	浦 崎 唯 昭 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	糸 洲 朝 則 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 義 和 君

説明員の職、氏名

総 務 部 長	兼 島 規 君
総 務 統 括 監	新 垣 光 博 君
財 政 統 括 監	黒 島 師 範 君
総務私学課長	真栄城 香代子 さん
財 政 課 長	小橋川 健 二 君
税 務 課 長	下 地 功 君
知事公室防災 危機管理課長	饒平名 知 成 君
企 画 部 企 画 調整課副参事	川 満 誠 一 君
文 化 環 境 部 文化振興課長	松 川 満 君
福 祉 保 健 部 福祉・援護課班長	伊 波 盛 治 君
福祉保健部青少年 ・児童家庭課班長	大 城 行 雄 君
福祉保健部障害 保健福祉課班長	金 城 聡 君
福祉保健部国保・ 健康増進課班長	仲宗根 民 男 君
福 祉 保 健 部 薬務衛生課班長	與那原 良 克 君
農 林 水 産 部 畜 産 課 畜産環境対策監	与古田 稔 君
農 林 水 産 部 森林緑地課班長	宮 城 訥 君

農林水産部 水産課班長	新里勝也君
観光商工部 商工振興課長	高原安伸君
土木建築部 港湾課班長	宮城三男君
土木建築部建築 指導課副参事	内間安彦君
教育庁施設課班長	照屋敏雄君

### 審査概要

甲第1号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、県立芸術大学の移転予定学部、建てかえ対象建物の築年数、移転の必要性、県立芸術大学の将来的なあり方の検討、沖縄県安心こども基金及び沖縄県保育所入所待機児童対策特別事業基金を活用した事業効果見込み、これまで実施してきた6月補正予算と今回の9月補正予算における経済危機対策関連費による効果、政府が補正予算を凍結した場合の対応策、自殺対策事業の課題と実施状況、ホームレス巡回相談の実施状況、住宅手当緊急特別措置事業の内容、県立学校における太陽光システムの設置予定状況、新沖縄スタイル情報発信事業の内容、予算編成の手続過程、林道事業予算における予算編成権限者の責任と内容、森林保全木材利用促進基金事業の内容、市街地再開発事業費の内容、防災情報システム更新事業の内容、中城湾港（新港地区）整備事業特別会計繰出金の事業内容、食肉センター病畜豚枝肉の出荷事故の原因と対策等について質疑が行われた。

次に、乙第1号議案から乙第3号議案まで及び乙第18号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第1号議案については、経済的理由の具体的な基準、対象となる県内私立高等学校数、今回の減免基準と従来の減免基準との違い、新政権による高校授業料無償化が実施された場合の今回の基金の存続見通し等について質疑が行われた。

乙第2号議案については、中部合同庁舎に入居する県の出先機関の数、駐車場の確保、これまでの6機関の家賃総額、移転に関する県民への周知状況等について質疑が行われた。

乙第3号議案については、条例改正における新規規定の追加の有無について質疑が行われた。

乙第18号議案については、質疑なし。

次に、陳情16件について総務部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(3)

◎平成21年10月8日(木曜日)

開会 午前10時3分  
散会 午後3時55分  
場所 第4委員会室  
議題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第2号)
- 2 乙第1号議案 沖縄県高校生修学支援基金条例
- 3 乙第2号議案 沖縄県行政機関設置条例の一部を改正する条例
- 4 乙第3号議案 沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例
- 5 乙第11号議案 沖縄県警察関係手数料条例の一部を改正する条例
- 6 乙第13号議案 財産の取得について
- 7 乙第18号議案 沖縄県収用委員会予備委員の任命について
- 8 陳情平成20年第44号から同第49号まで、同第52号、同第54号、同第58号、同第60号、同第65号、同第76号、同第83号、同第85号から同第87号まで、同第91号、同第96号、同第101号、同第108号、同第127号、同第144号、同第150号、同第165号、同第175号、同第190号、同第191号、同第196号、同第200号、陳情第15号、第17号、第19号、第38号、第58号、第59号、第66号、第69号、第74号、第88号、第91号の2、第100号、第103号、第104号、第110号、第111号、第120号、第122号、第128号、第143号、第144号、第146号、第147号、第156号、第171号、第174号及び第175号
- 9 交通運輸及び通信について(鉄軌道について)
- 10 閉会中継続審査(調査)について

### 出席

委員	長	當間盛夫君
副委員	長	山内末子さん
委員		島袋大君
		吉元義彦君
		照屋守之君

浦崎唯昭君  
 崎山嗣幸君  
 新里米吉君  
 前田政明君  
 金城勉君  
 糸洲朝則君  
 新垣清涼君  
 玉城義和君

**説明員の職、氏名**

知事公室長 上原良幸君  
 基地防災統括監 平良宗秀君  
 基地対策課長 又吉進君  
 企画部長 川上好久君  
 交通政策課長 津覇隆君  
 文化環境部県民生活課副参事 伊波芳規君  
 警察本部警務部長 磯丈男君  
 警察本部生活安全部長 山入端辰次君  
 警察本部交通部長 當銘健徳君  
 警察本部刑事部参事官兼地域課長 石新政英君

**審査概要**

乙第11号議案及び乙第13号議案について警察本部生活安全部長及び警察本部刑事部参事官から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第11号議案については、認知機能検査を行う理由、検査対象者、銃砲刀剣類所持等取締法改正の社会的背景、県内の銃砲所持者数等について質疑が行われた。

乙第13号議案については、沖縄県警察緊急配備支援システム路上装置の設置目的、設置場所、住民監視等の目的に使われる可能性の有無、プライバシー侵害の可能性の有無、装置の設置による効果の内容、特定の業者かつ随意契約となった経緯、他業者の入札参加の見通し等について質疑が行われた。

次に、陳情2件について警察本部警務部長及び警察本部交通部長から説明を聴取した。

次に、陳情31件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、鉄軌道について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情11件について知事公室長から説明を聴取し、陳情1件について交通政策課長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、甲第1号議案及び乙第13号議案については、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案7件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、甲第1号議案に対して社民・護憲ネット所属委員から附帶動議が提出された。

次に、甲第1号議案に対する附帶動議を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情56件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

**総務企画委員会議案処理一覧表**

イ 処理（7件）

議案番号	議案名	議決の結果
甲第1号	平成21年度沖縄県一般会計補正予算（第2号）	多数 原案可決
乙第1号	沖縄県高校生修学支援基金条例	全会一致 原案可決
乙第2号	沖縄県行政機関設置条例の一部を改正する条例	〃
乙第3号	沖縄県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	〃

議案番号	議案名	議決の結果
乙第11号	沖縄県警察関係手数料条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第13号	財産の取得について	多数 可決
乙第18号	沖縄県収用委員会予備委員の任命について	全会一致 同意

(別紙)

甲第1号議案「平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第2号)」に対する附帯決議

県立芸術大学においては、今後のあり方についての計画が策定されず、十分議論されていない。その中で、美術工芸学部 of 校舎を農業試験場跡地に移転・整備する案が先行している。学識経験者を含めた第三者委員会を早急に立ち上げ、議論を進めることにより今後のあり方についての計画を取りまとめることとし、補正予算の執行に当たっては、これに留意の上、慎重に進めること。

## 総務企画委員会陳情処理一覧表

イ 処理(陳情2件)

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第74号 (継続)	平成21年 3月27日	平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情	沖縄県離島振興協議会 会長 仲村 三雄 外1人	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第146号	平成21年 7月13日	特定地域特別振興事業(読谷村産業連携地域活性化事業)の早期事業導入に関する陳情	読谷飛行場用地所有権回復地主会 会長 照屋 勝男	〃	〃

ロ 審査未了(陳情1件)

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名
第17号 (継続)	平成21年 1月28日	沖縄警察署の沖縄市への存続を求める陳情	沖縄市議会 議長 喜友名 朝清

## 総務企画委員会閉会中継続 審査(調査)事件一覧

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 陳情平成20年第44号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情</li> <li>2 陳情平成20年第45号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情</li> <li>3 陳情平成20年第46号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>4 陳情平成20年第47号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情</li> <li>5 陳情平成20年第48号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情</li> <li>6 陳情平成20年第49号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情</li> <li>7 陳情平成20年第52号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情</li> <li>8 陳情平成20年第54号 有村産業株式会社の航路</li> </ol> |
|--|---|

- と職員雇用等の確保を求める陳情
- 9 陳情平成20年第58号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情
- 10 陳情平成20年第60号 八重山航路の存続を求める陳情
- 11 陳情平成20年第65号 「旧軍飛行場問題解決に向けた沖振計特別枠の設置を求める意見書」の採択を求める陳情
- 12 陳情平成20年第76号 那覇市地域再生計画の実態調査及び那覇市に対する措置に関する陳情
- 13 陳情平成20年第83号 消費税の増税に反対する陳情
- 14 陳情平成20年第85号 先島航路並びに台湾航路存続と雇用確保を求める陳情
- 15 陳情平成20年第86号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 16 陳情平成20年第87号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 17 陳情平成20年第91号 那覇バスターミナル機能の維持に関する陳情
- 18 陳情平成20年第96号 軽油価格の高騰により存亡の危機に瀕しているトラック運送業界に関する陳情
- 19 陳情平成20年第101号 燃料価格高騰対策に関する陳情
- 20 陳情平成20年第108号 原油価格高騰対策に関する陳情
- 21 陳情平成20年第127号 原油・食料など生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める陳情
- 22 陳情平成20年第144号 地上警戒管制レーダーの配備中止を求める陳情
- 23 陳情平成20年第150号 航空自衛隊那覇基地へのF15戦闘機配備などの機能強化に反対し、那覇空港の民間専用化を求める意見書の可決を求める陳情
- 24 陳情平成20年第165号 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳情
- 25 陳情平成20年第175号 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情
- 26 陳情平成20年第190号 私学助成に関する意見書の提出を求める陳情
- 27 陳情平成20年第191号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 28 陳情平成20年第196号 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳情
- 29 陳情平成20年第200号 沖縄県行政オンブズマンの職務不履行に関する陳情
- 30 陳情第15号 水産海洋研究センターの喜屋武地域への早期移転整備に関する陳情
- 31 陳情第19号 沖縄県所在旧軍飛行場用地問題解決に関する陳情
- 32 陳情第38号 (仮称) 沖縄県警察運転免許センター隣接地(未公募区画地)への協会用地取得に関する陳情
- 33 陳情第58号 琉球大学の外国語授業削減に関する陳情
- 34 陳情第59号 沖子連事務所の賃貸料免除に関する陳情
- 35 陳情第66号 自衛隊ヘリのキャンプ・ハンセン内レンジ4使用に関する陳情
- 36 陳情第69号 フェリー、旅客船の存続・港町活性化に関する陳情
- 37 陳情第88号 沖縄県東京宿泊所若夏荘の閉館に関する陳情
- 38 陳情第91号の2 台湾東部と八重山諸島の「観光経済圏」形成推進に向けた課題に関する陳情
- 39 陳情第100号 県道222号線への信号機・横断歩道設置に関する陳情
- 40 陳情第103号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 41 陳情第104号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 42 陳情第110号 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 43 陳情第111号 私立教育機関に関する陳情
- 44 陳情第120号 先島航路及び台湾航路における貨客船の早期再開を求める陳情
- 45 陳情第122号 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 46 陳情第128号 沖縄県庁舎や市町村庁舎の地震対策や漏水対策に関する陳情
- 47 陳情第143号 水産海洋研究センターの喜屋武地域への早期移転整備に関する陳情
- 48 陳情第144号 旧軍飛行場用地問題解決の継続審議に関する陳情
- 49 陳情第147号 八重山への自衛隊誘致及び配備に反対する陳情
- 50 陳情第156号 沖縄県水産海洋研究センターの本

部町への誘致に関する陳情

上 里 直 司 君

- 51 陳情第171号 暮らし支える行政サービスの拡充を求める陳情
- 52 陳情第174号 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 53 陳情第175号 改正国籍法に関する陳情
- 54 広報、危機管理及び消防防災について（所管事務調査）
- 55 予算及び行財政について（所管事務調査）
- 56 県税及び公有財産について（所管事務調査）
- 57 市町村行財政について（所管事務調査）
- 58 県職員の給与について（所管事務調査）
- 59 学事について（所管事務調査）
- 60 県庁舎について（所管事務調査）
- 61 総合開発及び地域振興について（所管事務調査）
- 62 交通運輸及び通信について（所管事務調査）
- 63 土地利用対策について（所管事務調査）
- 64 警察行政について（所管事務調査）
- 65 自衛隊について（所管事務調査）

**審査概要**

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年10月7日(水曜日)

開 会 午前10時1分

散 会 午後4時16分

場 所 第1委員会室

**議 題**

- 1 乙第10号議案 沖縄県森林保全及び木材利用促進特例基金条例
- 2 陳情平成20年第80号、同第84号、同第139号、同第158号、同第198号、同第201号、陳情第39号、第48号、第53号、第123号、第129号、第130号、第150号、第174号の2、第176号、第177号、第180号、第182号及び第183号
- 3 閉会中継続審査（調査）について

**出 席**

- 委 員 長 玉 城 ノブ子 さん
- 副 委 員 長 瑞慶覧 功 君
- 委 員 中 川 京 貴 君
- 座喜味 一 幸 君
- 辻 野 ヒロ子 さん
- 具 志 孝 助 君
- 仲宗根 悟 君
- 当 銘 勝 雄 君
- 渡久地 修 君
- 前 島 明 男 君
- 玉 城 満 君
- 上 里 直 司 君

**経済労働委員会  
委員会記録**

(1)

◎平成21年10月6日(火曜日)

開 会 午後5時10分

散 会 午後5時12分

場 所 第1委員会室

**議 題**

- 1 審査日程について

**出 席**

- 委 員 長 玉 城 ノブ子 さん
- 副 委 員 長 瑞慶覧 功 君
- 委 員 中 川 京 貴 君
- 座喜味 一 幸 君
- 辻 野 ヒロ子 さん
- 具 志 孝 助 君
- 仲宗根 悟 君
- 当 銘 勝 雄 君
- 渡久地 修 君
- 前 島 明 男 君
- 玉 城 満 君

**説明員の職、氏名**

- 農林水産部長 比 嘉 俊 昭 君
- 農政経済課長 東 崎 信 哉 君
- 営農支援課長 本 永 忠 久 君
- 糖業農産課長 山 城 毅 君
- 森林緑地課長 長 間 孝 君
- 水産課長 勝 俣 亜 生 君
- 観光商工部長 勝 目 和 夫 君
- 経営金融課長 比 嘉 清 市 君

**審査概要**

乙第10号議案について農林水産部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、基金活用事業の主な内容、各市町村への事業配分方法、林道

問題との関連、デイゴヒメコバチの被害状況、里山再生対策事業の対象地域、防除技術の開発状況、基金の総額と事業内訳等について質疑が行われた。

次に、陳情15件について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情4件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案1件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情19件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

なお、「所得税法第56条の廃止を求める意見書」及び「WTO、EPA及びFTAの交渉に関する意見書」を別掲のとおり提出することになった。

## 経済労働委員会議案処理一覧表

イ 処理（1件）

議案番号	議案名	議決の結果
乙第10号	沖縄県森林保全及び木材利用促進特例基金条例	全会一致 原案可決

## 経済労働委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情3件）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第176号	平成21年 9月29日	所得税法第56条の廃止を求める陳情	沖商連婦人部協議会 会長 喜友名 洋子	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事）
第177号	平成21年 9月29日	沖縄の農業発展と農家の暮らしを守る陳情	名護民主商工会 会長 仲本 興真	〃	〃
第180号	平成21年 9月30日	EPA・FTA推進路線の見直しを求め、米FTAの推進に反対する陳情	沖縄県農民組合連合会 会長 中村 康範	〃	〃

## 経済労働委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第80号 楚洲仲尾線（楚洲支線）開設工事の中止を求める陳情
- 2 陳情平成20年第84号 ヤンバル林道事業の中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第139号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情
- 4 陳情平成20年第158号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情
- 5 陳情平成20年第198号 伊江島における黒糖工場建設問題に関する陳情
- 6 陳情平成20年第201号 吉の浦火力発電所電源開

発に伴う海域環境調査に関する陳情

- 7 陳情第39号 県営林道5路線（奥山線、伊楚支線、楚洲仲尾線、伊江I号支線、伊江原支線）の建設中止を求める陳情
- 8 陳情第48号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情
- 9 陳情第53号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情
- 10 陳情第123号 伊江島における黒糖工場建設に反対する陳情
- 11 陳情第129号 EMの講習会を開催することに関する陳情
- 12 陳情第130号 EMを基盤に、我が国の国際貢献の最前線基地を沖縄で引き受けることに関する陳

情

- 13 陳情第150号 「八重山戦争マラリア犠牲者慰霊之碑」敷地内のアカキナノキ原状回復及びキナ展示林の設置に関する陳情
- 14 陳情第174号の2 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 15 陳情第182号 「美ら海協力金」リーフレットの回収に関する陳情
- 16 陳情第183号 「美ら海協力金」強制徴収に伴う観光被害抑止に関する陳情
- 17 農林水産業について（所管事務調査）
- 18 商・鉱・工業について（所管事務調査）
- 19 労働問題について（所管事務調査）
- 20 国内外の交流について（所管事務調査）

## 所得税法第56条の廃止を求める意見書

中小業者は、地域経済の担い手として、日本経済の発展に貢献してきた。その中小零細業者を支えている家族従業員の「働き分」（自家労賃）は、所得税法第56条により「配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に参入しない」と定められており、必要経費として認められていない。

これは、事業主の所得から控除される働き分が白色申告制度によることが多いためであるが、その場合は、配偶者で86万円、家族の場合で50万円が控除されることになるため、家族従業者はこのわずかな控除を所得とせざるを得ず、社会的にも経済的にも全く自立が困難な状況となっている。このため、家業を手伝いたくても手伝えないことになり、後継者不足の一因ともなっている。

一方、青色申告にした場合は、専従者として給与の支払いを受けることができ、必要経費と認められることになるため、同じ労働に対して大きな矛盾を生み出している。

また、民法、労働法及び社会保障の観点から見た場合に、家族従業員の人権の保障上の問題も生じている。

そのため、ドイツ、フランス、アメリカなど世界の主要国では、「自家労賃は必要経費」として認めており、近年、我が国でも見直しを求める機運が高ま

っている。

よって、政府におかれては、所得税法第56条を早急に廃止するよう要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年10月15日

沖縄県議会

内閣総理大臣 }  
財務大臣 } あて  
法務大臣 }  
沖縄及び北方対策担当大臣 }

## WTO、EPA及びFTAの交渉に関する意見書

米国と欧州連合（EU）、ブラジル、インドなど世界貿易機関（WTO）の有力加盟国は、難航している新多角的貿易交渉（ドーハ・ラウンド）を妥結させるため、年内にジュネーブで閣僚会議を開催して農業などの交渉を最終局面へ進めるとともに、貿易の円滑化等の課題を進展させるとしている。

これに対し政府は、これまでWTO交渉の2007年中の妥結に向け積極的に取り組むこととし、経済連携協定（EPA）及び自由貿易協定（FTA）についても幅広い分野で質の高い締結を目指すこととしてきた。この方針は去る9月に発足した新政権においても受け継がれ、国内農業・農村の振興などは損なわないものの、EPA及びFTAの交渉はこれまで同様に積極的に推進するとしている。

仮に、政府方針どおりWTO交渉が推進されると、2国間・地域間の協定であるEPA及びFTAの交渉も推進されることとなり、大部分の農産物で関税が撤廃され、その結果、我が国の農業は壊滅的な状況に陥ることが懸念されている。

また、本県農業においても基幹作物であるさとうきびを初め重要な位置を占めている畜産業が壊滅的な影響を受けることが憂慮されている。

よって、政府におかれては、我が国及び本県農業の安定かつ継続的な営農を進めるため、EPA及びFTA交渉を行わないことを含め、慎重に対応するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年10月15日

沖 縄 県 議 会

内閣総理大臣	} あて
外務大臣	
財務大臣	
農林水産大臣	
経済産業大臣	
内閣官房長官 沖縄及び北方対策担当大臣	

文教厚生委員会  
委員会記録

(1)

◎平成21年10月6日(火曜日)

開 会 午後5時7分  
散 会 午後5時16分  
場 所 第2委員会室  
議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君

欠 席

翁 長 政 俊 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年10月7日(水曜日)

開 会 午前10時4分  
散 会 午後6時52分  
場 所 第2委員会室  
議 題

- 1 乙第5号議案 沖縄県社会福祉施設等耐震化等臨時特例基金条例
- 2 乙第6号議案 沖縄県介護基盤緊急整備等臨時特例基金条例
- 3 乙第7号議案 沖縄県介護職員処遇改善等臨時特例基金条例
- 4 乙第8号議案 沖縄県安心こども基金条例の一部を改正する条例
- 5 乙第9号議案 沖縄県自殺対策緊急強化基金条例
- 6 乙第15号議案 病畜肉の流通事故に関する和解等について
- 7 乙第16号議案 損害賠償額の決定について
- 8 乙第19号議案 専決処分の承認について
- 9 陳情平成20年第41号、同第43号、同第53号、同第78号、同第99号、同第122号の2、同第134号、同第148号、同第175号の2、同第188号、同第192号、同第195号、陳情第8号、第9号、第13号、第32号、第41号、第50号、第52号、第60号、第61号、第67号、第68号、第72号、第80号、第84号、第99号、第108号、第110号の2、第113号、第116号、第124号、第139号、第148号、第149号、第152号、第153号、第159号、第162号、第173号及び第178号

出 席

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君

説明員の職、氏名

福祉保健部長	奥 村 啓 子 さん
保健衛生統括監	宮 里 達 也 君
福祉・援護課長	呉 屋 禮 子 さん
高齢者福祉介護課長	金 城 武 君
青少年・児童家庭課長	新 垣 郁 男 君

障害保健福祉課長	垣花芳枝さん
国保・健康増進課長	上原真理子さん
病院事業局長	知念清君
病院事業統括監	小川和美君
県立病院課長	新屋勉君
県立病院課医療企画監	安慶田英樹君
県立病院課看護企画監	嘉手苺常さん

#### 審査概要

乙第5号議案から乙第9号議案まで、乙第15号議案及び乙第19号議案について福祉保健部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第5号議案については、基金の積立額の状況、事業の内容、社会福祉施設の整備件数の状況、事業の採択方法、民間譲渡された県立社会福祉施設の現状等について質疑が行われた。

乙第6号議案については、基金の積立額の状況、事業の内容、介護基盤緊急整備事業の見通し、スプリンクラーの設置義務基準の内容と施設の状況、自動火災通報装置の設置状況等について質疑が行われた。

乙第7号議案については、基金の積立額の状況、対象事業所数及び対象介護職員数の状況、処遇改善の見通し、事業申請の状況、事業の周知の状況、処遇改善計画と支払いの確認方法、介護報酬の実態と離職の状況等について質疑が行われた。

乙第8号議案については、基金の積立総額の状況、待機児童の状況、待機児童の解消の見通し、潜在的待機児童解消の目標、沖縄特別振興対策調整費を活用した保育所入所待機児童対策特別事業基金との関係、待機児童解消に向けた市町村との調整状況等について質疑が行われた。

乙第9号議案については、基金の積立額の状況、事業の内容、事業の執行計画の状況、うつ病対策の状況、うつ病デイケア事業の実施状況、自殺危険地区の対策等について質疑が行われた。

乙第15号議案については、質疑なし。

乙第19号議案については、質疑なし。

次に、乙第16号議案について病院事業局長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、タミフルの備蓄状況、本格的な流行に向けた薬品の対応状況、新型インフルエンザの罹患予測、重症患者が急増した場合の対策等について質疑が行われ

た。

次に、福祉保健部及び病院事業局関係の陳情41件について福祉保健部長及び病院事業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(3)

#### ◎平成21年10月8日(木曜日)

開会 午前10時4分

散会 午後5時34分

場 所 第2委員会室

#### 議 題

- 1 社会福祉及び社会保障について(沖縄県発達障害児(者)支援体制整備計画について)
- 2 乙第4号議案 沖縄県地球温暖化対策等臨時特例基金条例
- 3 陳情平成20年第64号、同第72号、同第136号、同第137号、同第149号、同第162号、同第175号の2、同第187号、同第192号、同第201号の2、陳情第33号、第63号、第64号、第107号、第131号、第150号の2、第162号及び第170号

#### 出 席

委 員 長	赤 嶺 昇 君
副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	比 嘉 京 子 さん
	奥 平 一 夫 君

#### 説明員の職、氏名

文化環境部長	知 念 建 次 君
平和・男女共同参画課長	瑞慶村 むつみ さん
県民生活課長	譜久山 典 子 さん
環境政策課長	安 富 雅 之 君
環境整備課長	下 地 岳 芳 君
福祉保健部長	奥 村 啓 子 さん
福祉・援護課班長	伊 波 盛 治 君
青少年・児童家庭課長	新 垣 郁 男 君
障害保健福祉課長	垣 花 芳 枝 さん

補助答弁者

観光商工部 産業政策課班長	安里厚君
観光商工部 経営金融課長	比嘉清市君
教育庁 県立学校教育課 特別支援教育監	東風平朝淳君
教育庁 義務教育課長	上原敏彦君
警察本部生活 安全部生活 保安課指導官	糸数昌宏君

審査概要

沖縄県発達障害児（者）支援体制整備計画について福祉保健部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、乙第4号議案について文化環境部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、基金の積立額の状況、廃棄物適性処理推進のための事業の実施状況、PCB汚染物の保管状況、海岸漂着物対策事業の対象市町村の状況等について質疑が行われた。

次に、文化環境部関係の陳情18件について文化環境部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(4)

◎平成21年10月9日（金曜日）

開 会 午前10時4分  
散 会 午後4時52分  
場 所 第2委員会室  
議 題

- 1 乙第4号議案 沖縄県地球温暖化対策等臨時特例基金条例
- 2 乙第5号議案 沖縄県社会福祉施設等耐震化等臨時特例基金条例
- 3 乙第6号議案 沖縄県介護基盤緊急整備等臨時特例基金条例
- 4 乙第7号議案 沖縄県介護職員処遇改善等臨時特例基金条例
- 5 乙第8号議案 沖縄県安心子ども基金条例の一部を改正する条例
- 6 乙第9号議案 沖縄県自殺対策緊急強化基金条例
- 7 乙第15号議案 病畜肉の流通事故に関する和解等について

- 8 乙第16号議案 損害賠償額の決定について
- 9 乙第19号議案 専決処分の承認について
- 10 陳情平成20年第41号、同第43号、同第50号、同第53号、同第57号、同第59号、同第63号、同第64号、同第66号、同第67号、同第72号、同第78号、同第82号、同第90号、同第93号、同第99号、同第105号、同第107号、同第110号、同第112号、同第122号の2、同第125号、同第134号、同第136号、同第137号、同第142号、同第148号、同第149号、同第162号、同第175号の2、同第187号から同第189号まで、同第192号、同第195号、同第199号、同第201号の2、陳情第8号、第9号、第13号、第32号、第33号、第41号、第50号、第52号、第57号、第60号、第61号、第63号から第65号まで、第67号、第68号、第72号、第80号、第84号、第88号の2、第94号、第95号、第99号、第105号から第108号まで、第110号の2、第112号、第113号、第116号、第117号、第122号の3、第124号、第131号から第133号まで、第137号から第139号まで、第142号、第145号、第148号、第149号、第150号の2、第152号、第153号、第155号、第159号、第160号、第162号、第170号、第173号及び第178号

- 11 閉会中継続審査（調査）について
- 12 視察調査日程について（追加議題）
- 13 本委員会所管事務の見直し及び所管がえの申し出について（追加議題）

出席

委員 長	赤嶺昇君
副委員 長	西銘純恵さん
委員	桑江朝千夫君
	佐喜真淳君
	仲田弘毅君
	翁長政俊君
	渡嘉敷喜代子さん
	上原章君
	比嘉京子さん
	奥平一夫君

欠席

仲村未央さん

説明員の職、氏名

教 育 長	金武正八郎君
-------	--------

教育管理統括監 岩 井 健 一 君  
 参 事 瑞慶覧 長 行 君  
 施 設 課 長 前 原 昌 直 君  
 県立学校教育課長 諸見里 明 君  
 義務教育課長 上 原 敏 彦 君  
 保健体育課長 渡嘉敷 通 之 君  
 生涯学習振興課長 石 垣 安 重 君  
 文 化 課 長 大 城 慧 君  
 補助答弁者  
 総 務 部 真栄城 香代子 さん  
 総務私学課長

#### 審査概要

教育委員会関係の陳情42件について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案9件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情91件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

次に、本委員会所管事務の見直し及び所管がえの申し出について協議し、決定した。

### 文教厚生委員会議案処理一覧表

#### イ 処理（9件）

議案番号	議 案 名	議 決 の 結 果
乙 第 4 号	沖縄県地球温暖化対策等臨時特例基金条例	全 会 一 致 原 案 可 決
乙 第 5 号	沖縄県社会福祉施設等耐震化等臨時特例基金条例	〃
乙 第 6 号	沖縄県介護基盤緊急整備等臨時特例基金条例	〃
乙 第 7 号	沖縄県介護職員処遇改善等臨時特例基金条例	〃
乙 第 8 号	沖縄県安心こども基金条例の一部を改正する条例	〃
乙 第 9 号	沖縄県自殺対策緊急強化基金条例	〃
乙 第 15 号	病畜肉の流通事故に関する和解等について	全 会 一 致 可 決
乙 第 16 号	損害賠償額の決定について	〃
乙 第 19 号	専決処分の承認について	全 会 一 致 承 認

## 文教厚生委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情5件）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第124号	平成21年 6月25日	発達障害及び発達障害疑いの「気になる」子供の特別支援教育における支援体制整備に関する陳情	沖縄県子どもの未来をつくる親の会連絡会 会長 新垣 道代 外7人	採 択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事及び教育委員会）
第150号 の 2	平成21年 7月21日	「八重山戦争マラリア犠牲者慰霊之碑」敷地内のアカキナノキ原状回復及びキナ展示林の設置に関する陳情	八重山戦争マラリア遺族会 会長 篠原 武夫	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知 事）
第152号	平成21年 7月30日	宮古南静園の将来構想実現に向けての陳情	「ともに語る・宮古南静園の将来構想シンポジウム」実行委員会 委員長 宮里 光雄	〃	〃
第155号	平成21年 8月6日	平成22年度美咲特別支援学校幼稚部にすべての入学希望者を受け入れることに関する陳情書	沖縄県立美咲特別支援学校幼稚部 保護者代表 金城 千賀子	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（教 育 委 員 会）
第173号	平成21年 9月28日	県立南部医療センター心の診療科の早期再開及び専門医師の常駐を求める陳情	那覇市首里鳥堀町5-55-3 県営鳥堀市街地住宅1棟307 城間 正美	〃	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知 事）

### 文教厚生委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第41号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 2 陳情平成20年第43号 母子家庭等医療費助成の給付方法を償還払いから現物給付へ変更することを求める陳情
- 3 陳情平成20年第50号 沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情
- 4 陳情平成20年第53号 ジストニア治療の健康保険適用拡大等治療環境の改善に関する意見書の提

出を求める陳情

- 5 陳情平成20年第57号 2009年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情
- 6 陳情平成20年第59号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 7 陳情平成20年第63号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 8 陳情平成20年第64号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情
- 9 陳情平成20年第66号 沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情
- 10 陳情平成20年第67号 沖縄県立図書館八重山分館廃止に反対する陳情

- 11 陳情平成20年第72号 沖広産業の産業廃棄物安定型最終処分場内におけるクロルデン類等汚染の浄化と、営業許可の更新を認めないことを求める陳情
- 12 陳情平成20年第78号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 13 陳情平成20年第82号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 14 陳情平成20年第90号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 15 陳情平成20年第93号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 16 陳情平成20年第99号 地域医療崩壊阻止のための意見書提出を求める陳情
- 17 陳情平成20年第105号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 18 陳情平成20年第107号 沖縄県立図書館八重山分館の廃止撤回を求める陳情
- 19 陳情平成20年第110号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 20 陳情平成20年第112号 友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情
- 21 陳情平成20年122号の2 沖縄県腎臓病患者連絡協議会の活動等に対する支援を求める陳情
- 22 陳情平成20年第125号 「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情
- 23 陳情平成20年第134号 認可外保育園支援のための振興対策調整費の使途に関する陳情
- 24 陳情平成20年第136号 浦添の美しい景観と安心・安全で安らぎのある生活環境を求める陳情
- 25 陳情平成20年第137号 サンゴの保護に関する陳情
- 26 陳情平成20年第142号 天然記念物の伐採に関する陳情
- 27 陳情平成20年第148号 地域医療・高度多機能な医療の確保に関する陳情
- 28 陳情平成20年第149号 産業廃棄物処理場の撤去を求める陳情
- 29 陳情平成20年第162号 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情
- 30 陳情平成20年第172号の2 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情
- 31 陳情平成20年第187号 沖縄美ら海再生に関する陳情
- 32 陳情平成20年第188号 命の尊厳を踏みにじる「後期高齢者医療制度」の廃止を求める陳情
- 33 陳情平成20年第189号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 34 陳情平成20年第192号 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
- 35 陳情平成20年第195号 医療提供体制確保と地域医療を守ることにに関する陳情
- 36 陳情平成20年第199号 沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情
- 37 陳情平成20年第201号の2 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
- 38 陳情第8号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 39 陳情第9号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 40 陳情第13号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 41 陳情第32号 身体障害者に関する手続等についての陳情
- 42 陳情第33号 読谷村産業廃棄物安定型最終処分場問題をめぐる行政処分に関する陳情
- 43 陳情第41号 県立病院の存続を求める陳情
- 44 陳情第50号 県立病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 45 陳情第52号 地域医療を守り、県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 46 陳情第57号 学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の使用促進に関する陳情
- 47 陳情第60号 県立八重山病院の地方独立行政法人化に反対する陳情
- 48 陳情第61号 医療提供体制確保を求める陳情
- 49 陳情第63号 ヤンバルの森全体の環境調査の実施と沖縄県アセス条例の改正を求める陳情
- 50 陳情第64号 うるま市宇赤野港原地域への産業廃棄物処理場建設に反対する陳情
- 51 陳情第65号 沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」として存続を求める陳情
- 52 陳情第67号 地域医療体制の強化を求める陳情
- 53 陳情第68号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療

- 提供体制確保を求める陳情
- 54 陳情第72号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 55 陳情第80号 県立病院の存続を求める陳情
- 56 陳情第84号 県立八重山病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 57 陳情第88号の2 沖縄学生会館の閉館に関する陳情
- 58 陳情第94号 新学習指導要領理科の実現へ向けての環境整備に関する陳情
- 59 陳情第95号 沖縄学生会館の再建に関する陳情
- 60 陳情第99号 利用者の人権、職員の権利、健康を守るために社会福祉法人「翠泉会」在宅複合型施設羽地苑の運営正常化・健全化を求める陳情
- 61 陳情第105号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 62 陳情第106号 県立高等学校編成整備実施計画に関する陳情
- 63 陳情第107号 「気候保護法(仮称)」の制定を求める陳情
- 64 陳情第108号 細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める陳情
- 65 陳情第110号の2 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 66 陳情第112号 特別支援教育のさらなる推進に関する陳情
- 67 陳情第113号 中部病院を初め県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 68 陳情第116号 介護サービス情報公表制度の見直しに関する陳情
- 69 陳情第117号 沖縄学生会館の再建を求める陳情
- 70 陳情第122号の3 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 71 陳情第131号 EMで海や川の環境を守ることに  
関する陳情
- 72 陳情第132号 環境教育でEMを活用することに  
関する陳情
- 73 陳情第133号 沖縄県の学校施設の地震対策や  
洪水対策に関する陳情
- 74 陳情第137号 沖縄県立美術館の「展示拒否問題」  
に関する陳情
- 75 陳情第138号 沖縄県立博物館・美術館の大浦信  
行作品展示拒否事件に関する陳情
- 76 陳情第139号 学童保育の拡充に関する陳情
- 77 陳情第142号 「30人以下学級」完全実現のため  
の陳情
- 78 陳情第145号 県立久米島高等学校園芸科の存続  
に関する陳情
- 79 陳情第148号 県立中部病院の独立行政法人化に  
反対する陳情
- 80 陳情第149号 県民のセーフティネットとしての  
県立病院を守り沖縄県立北部病院産婦人科の完全  
再開を求める陳情
- 81 陳情第153号 地域医療を崩壊させる県立病院の  
独立行政法人化に反対する陳情
- 82 陳情第159号 細菌性髄膜炎を予防するHib(へ  
モフィルスインフルエンザ菌b型)ワクチンの公費  
負担による接種を求める陳情
- 83 陳情第160号 「大浦湾チリビシのアオサング群  
集」の天然記念物指定に関する陳情
- 84 陳情第162号 改正貸金業法の早期完全施行等を  
求める意見書を政府等に提出することを求める陳  
情
- 85 陳情第170号 核兵器の廃絶と恒久平和を求める  
意見書及び決議の採択に関する陳情
- 86 陳情第178号 次世代育成支援対策後期行動計画  
策定に対する陳情
- 87 消費者保護及び県民生活について(所管事務調  
査)
- 88 県民文化について(所管事務調査)
- 89 青少年及び交通安全問題について(所管事務調  
査)
- 90 公害防止及び環境保全について(所管事務調査)
- 91 社会福祉及び社会保障について(所管事務調査)
- 92 医療及び保健衛生について(所管事務調査)
- 93 教育及び学術文化について(所管事務調査)
- 94 平和について(所管事務調査)
- 95 男女共同参画について(所管事務調査)

# 土木委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年10月6日(火曜日)

開 会 午後5時6分  
散 会 午後5時11分  
場 所 第3委員会室  
議 題

- 1 付託がえの申し出について
- 2 審査日程について

出 席

委 員 長	當 山 眞 市 君
副 委 員 長	照 屋 大 河 君
委 員	新 垣 良 俊 君
	嶺 井 光 君
	池 間 淳 君
	嘉 陽 宗 儀 君
	大 城 一 馬 君
	平 良 昭 一 君
	新 垣 安 弘 君
	吉 田 勝 廣 君

欠 席

	新 垣 哲 司 君
	高 嶺 善 伸 君

審査概要

平成21年6月16日付け付託された陳情第91号の2台湾東部と八重山諸島の「観光経済圏」形成推進に向けた課題に関する陳情の付託がえの申し出について協議し、決定した。

次に、審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年10月7日(水曜日)

開 会 午前10時3分  
散 会 午後5時53分  
場 所 第3委員会室  
議 題

- 1 甲第2号議案 平成21年度沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計補正予算(第1号)
- 2 甲第3号議案 平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計補正予算(第1号)

- 3 乙第12号議案 財産の取得について
- 4 乙第14号議案 訴えの提起について
- 5 乙第17号議案 流域下水道の建設事業執行に伴う負担金の徴収についての議決内容の一部変更について
- 6 陳情平成20年第68号、同第96号の3、同第108号の3、同第115号、同第130号、同第133号、同第138号、同第152号、同第160号、同第183号、同第185号、同第202号の2、陳情第18号、第24号、第35号から第37号まで、第74号の4、第76号、第90号、第109号、第118号、第119号、第134号、第135号、第140号、第157号、第158号、第165号、第166号、第168号、第172号、第174号の3、第179号及び第181号
- 7 閉会中継続審査(調査)について
- 8 視察調査日程について

出 席

委 員 長	當 山 眞 市 君
副 委 員 長	照 屋 大 河 君
委 員	新 垣 良 俊 君
	嶺 井 光 君
	池 間 淳 君
	新 垣 哲 司 君
	高 嶺 善 伸 君
	嘉 陽 宗 儀 君
	大 城 一 馬 君
	平 良 昭 一 君
	新 垣 安 弘 君
	吉 田 勝 廣 君

説明員の職、氏名

土木建築部長	仲 田 文 昭 君
建築都市統括監	新 里 榮 治 君
土木企画課長	喜 瀬 普 一 郎 君
河川課長	小 祿 茂 徳 君
港湾課長	神 田 豪 君
空港課長	与 那 覇 義 博 君
下水道課長	宮 城 光 秋 君
建築指導課長	當 銘 健 一 郎 君
住宅課長	渡 久 山 盛 清 君

審査概要

甲第2号議案、甲第3号議案、乙第12号議案、乙第14号議案及び乙第17号議案について土木建築部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、甲第2号議案については、今回の整備の内容、

上屋の面積と集積可能となる貨物量、今年度内の予算執行の可否と必要性、臨時交付金の割合、西ふ頭の貨物取り扱い状況等について質疑が行われた。

甲第3号議案については、質疑なし。

乙第12号議案については、入札・仮契約までの過程の状況、入札参加業者数と落札率、予定価格の設定方法、現存の化学消防車の能力、新たに1台配備する理由等について質疑が行われた。

乙第14号議案については、家賃滞納の理由、生活困窮者に対する減免制度の内容、減免制度の周知や滞納額徴収のため実施している対応策、滞納者における母子世帯の割合、平成20年度の収入再認定件数が多い理由、判決後退去するまでの家賃加算の有無、指定管理者と県の役割分担の状況、入居対象者における家賃のランクづけの内容等について質疑が行われた。

乙第17号議案については、市町村の公共下水道の整備率と接続率、市町村の接続率を高めるため

の取り組み内容、与那原町が大幅な計画の見直しを行っている理由、浄化センターの処理のふぐあいで沿岸域に放流された事故の有無、下水道に係るランドデザインの内容、与那原町マリントウンの土地利用計画の進捗状況等について質疑が行われた。

次に、陳情35件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、甲第2号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案5件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情35件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

## 土木委員会議案処理一覧表

イ 処理（5件）

議案番号	議案名	議決の結果
甲第2号	平成21年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計補正予算（第1号）	多数 原案可決
甲第3号	平成21年度沖縄県駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
乙第12号	財産の取得について	全会一致 可決
乙第14号	訴えの提起について	〃
乙第17号	流域下水道の建設事業執行に伴う負担金の徴収についての議決内容の一部変更について	〃

## 土木委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情3件）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第96号の3 （継続）	平成20年 7月28日	軽油価格の高騰により存亡の危機に瀕しているトラック運送業界に関する陳情	社団法人 沖縄県トラック協会 会長 多良間 朝時	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第108号の3 (継続)	平成20年 8月12日	原油価格高騰対策に関する陳情	石垣市議会 議長 入嵩西 整	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置(知事)
第130号 (継続)	平成20年 9月3日	燃料高騰による車持ちダンプ労働者の低単価・労働条件の改善を求める陳情	全日本建設交運一般労働組合沖縄県本部 執行委員長 東江 勇 外1人	〃	〃

## 土木委員会閉会中継続 審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成20年第68号 東部海浜開発(泡瀬埋立)事業の中止を求める陳情
- 2 陳情平成20年第115号 港湾区域内の水域占用許可に関する陳情
- 3 陳情平成20年第133号 「住宅供給公社の共益費徴収業務」に関する陳情
- 4 陳情平成20年第138号 古島団地の建てかえに関する陳情
- 5 陳情平成20年第152号 公共工事の不払いに関する陳情
- 6 陳情平成20年第160号 那覇伊平屋航空路線開設に関する陳情
- 7 陳情平成20年第183号 泡瀬裁判の控訴断念を議決するよう求める陳情
- 8 陳情平成20年第185号 泡瀬干潟埋立事業公金支出差止訴訟判決に対する控訴を断念し泡瀬干潟の保全を求める陳情
- 9 陳情平成20年第202号の2 建設業界の窮状に関する陳情
- 10 陳情第18号 泡瀬干潟裁判の控訴費用及び泡瀬埋立関連の予算の削除に関する陳情
- 11 陳情第24号 公共事業の早期発注並びに建設工事入札における最低制限価格の引上げに関する陳情
- 12 陳情第35号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 13 陳情第36号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 14 陳情第37号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 15 陳情第74号の4 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情
- 16 陳情第76号 県道、与那国島線祖納集落内217号線の拡張に関する陳情
- 17 陳情第90号 「豊崎プロジェクト」に関する陳情
- 18 陳情第109号 公共工事に係る工賃の支払いに関する陳情
- 19 陳情第118号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 20 陳情第119号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 21 陳情第134号 沖縄県の公共の土木建築物でEMを活用することに関する陳情
- 22 陳情第135号 沖縄県の下水処理場(浄化センター)にEMを活用することに関する陳情
- 23 陳情第140号 泡瀬干潟埋立事業の中止の決議を可決することに関する陳情
- 24 陳情第157号 開南交差点に面するポケットパーク設置に関する陳情
- 25 陳情第158号 県道222号線拡幅整備事業(開南バス停付近)の一部変更に関する陳情
- 26 陳情第165号 文書での回答が公務員としての務めであることに関する陳情
- 27 陳情第166号 宅地建物取引業法第36条及び関連法案に関する陳情
- 28 陳情第168号 中城湾港泡瀬地区埋立事業の早期完成と東部海浜開発事業の推進に関する陳情
- 29 陳情第172号 泡瀬干潟埋立中止に向けた取り組みに関する陳情
- 30 陳情第174号の3 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 31 陳情第179号 Aクラス業者に対する県の損害賠

償請求に関する陳情

- 32 陳情第181号 安謝川河川改修工事に伴う福祉施設運営に支障がないよう求める陳情
- 33 道路、橋梁の整備事業について（所管事務調査）
- 34 港湾の整備事業について（所管事務調査）
- 35 空港の整備事業について（所管事務調査）
- 36 河川、海岸及び砂防の整備事業について（所管事務調査）
- 37 都市計画事業について（所管事務調査）
- 38 上下水道事業について（所管事務調査）
- 39 住宅環境の改善について（所管事務調査）
- 40 都市モノレールの整備事業について（所管事務調査）
- 41 建築関係について（所管事務調査）

## 米軍基地関係特別委員会 委員会記録

（1）

◎平成21年10月6日（火曜日）

開 会 午後5時17分  
散 会 午後5時20分  
場 所 第4委員会室  
議 題

- 1 審査日程について

### 委員の異動

9月18日の会議において、玉城義和君の辞任が許可され、吉田勝廣君が委員に選任された。

### 出 席

委 員 長	渡嘉敷	喜代子	さん
副 委 員 長	桑 江	朝千夫	君
委 員	中 川	京 貴	君
	吉 元	義 彦	君
	具 志	孝 助	君
	照 屋	大 河	君
	前 田	政 明	君
	上 原	章	君
	新 垣	清 涼	君
	玉 城	満	君
	山 内	末 子	さん
	吉 田	勝 廣	君

## 審査概要

審査日程について協議し、決定した。

（2）

◎平成21年10月13日（火曜日）

開 会 午前10時5分  
散 会 午後6時0分  
場 所 第4委員会室  
議 題

- 1 請願平成20年第1号、陳情平成20年第36号、同第88号、同第89号、同第94号、同第102号、同第167号、同第204号、陳情第42号、第46号、第51号、第79号、第82号、第114号、第125号、第151号、第154号、第161号、第163号、第167号、第169号及び第185号から第187号まで
- 2 閉会中継続審査（調査）について
- 3 視察調査日程について（追加議題）
- 4 参考人招致について（追加議題）

### 出 席

委 員 長	渡嘉敷	喜代子	さん
副 委 員 長	桑 江	朝千夫	君
委 員	中 川	京 貴	君
	吉 元	義 彦	君
	具 志	孝 助	君
	照 屋	大 河	君
	前 田	政 明	君
	上 原	章	君
	新 垣	清 涼	君
	玉 城	満	君
	山 内	末 子	さん
	吉 田	勝 廣	君

### 説明員の職、氏名

知事公室長	上 原	良 幸	君
基地対策課長	又 吉		進 君
企 画 部 企画調整課	名嘉真		稔 君
跡地対策監			
文化環境部 環境企画統括監	金 城	康 政	君
文化環境部 環境政策課長	安 富	雅 之	君
農 林 水 産 部 農漁村基盤統括監	津波古	喜 正	君
土 木 建 築 部 土木整備統括監	当 間	清 勝	君
教育庁文化課長	大 城		慧 君

### 審査概要

請願1件及び陳情23件について知事公室長、企画部企画調整課跡地対策監、文化環境部環境企画統括監、農林水産部農漁村基盤統括監、土木建築部土木整備統括監、教育庁文化課長及び警察本部刑事部参事官兼刑事企画課長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、請願1件及び陳情23件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

次に、視察調査日程について協議し、決定した。

次に、参考人招致について協議した結果、参考人招致を行わないこととなった。

## 米軍基地関係特別委員会 閉会中継続審査（調査）事件一覧

- 1 請願平成20年第1号 新基地建設に関する請願
- 2 陳情平成20年第36号 キャンプ・ハンセン内レンジ3射撃場建設の即時中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第88号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」の決議を求める陳情
- 4 陳情平成20年第89号 普天間飛行場代替施設（新基地）建設事業に係るアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情
- 5 陳情平成20年第94号 キャンプ・ハンセン内への訓練用コンテナ搬入に関する陳情
- 6 陳情平成20年第102号 沖縄の米軍基地再編・新基地建設に反対する陳情
- 7 陳情平成20年第167号 第二次返還特措法の制定に関する陳情
- 8 陳情平成20年第204号 普天間飛行場代替施設（新基地）建設事業等の中止を求める陳情
- 9 陳情第42号 「在沖米海兵隊のグアム移転に係る協定」に反対し、基地の無条件撤去に向けた日米両政府の協議を要求する意見書の採択を求める陳情
- 10 陳情第46号 「米軍再編協定」（「在沖米海兵隊のグアム移転に関する協定」）に反対する意見書の

採択を求める陳情

- 11 陳情第51号 米軍実弾射撃訓練被弾事件に関する陳情
- 12 陳情第79号 ヘリパッド建設反対に関する陳情
- 13 陳情第82号 在沖米海兵隊のグアム「移転」に関する協定及び新基地の建設に反対する陳情
- 14 陳情第114号 辺野古新基地建設を押しつける「在沖海兵隊グアム移転協定」に関する陳情
- 15 陳情第125号 「普天間」代替基地建設工事等の中止を求める陳情
- 16 陳情第151号 在沖米軍人の基地内居住義務化と基地内住宅の建設計画の中止を求める陳情
- 17 陳情第154号 日米地位協定にかかわる裁判権放棄の日米密約の公表と破棄を日本政府に求める意見書採択の陳情
- 18 陳情第161号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」を含む4項目の決議を求める陳情
- 19 陳情第163号 米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する陳情
- 20 陳情第167号 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に関する陳情
- 21 陳情第169号 「普天間基地の即時閉鎖・辺野古新基地建設反対！9・18県民集会」決議に関する陳情
- 22 陳情第185号 県当局に「普天間」代替基地建設事業（埋立事業）に係るアセス評価書についても県アセス審査会に審査させることを求める陳情
- 23 陳情第186号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセス評価書作成前の事業者見解の提出・公表と公聴会開催を求める陳情
- 24 陳情第187号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセスメントの検証を求める陳情
- 25 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立

# 観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年10月6日(火曜日)

開 会 午後5時19分  
散 会 午後5時23分  
場 所 第5委員会室  
議 題

- 1 参考人招致について
- 2 審査日程について

出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	辻 野 ヒロ子 さん
委 員	座喜味 一 幸 君
	新 垣 良 俊 君
	仲宗根 悟 君
	玉 城 ノブ子 さん
	金 城 勉 君
	平 良 昭 一 君
	新 垣 安 弘 君

欠 席

	新 垣 哲 司 君
	高 嶺 善 伸 君

審査概要

参考人招致について協議し、決定した。  
次に、審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年10月13日(火曜日)

開 会 午前10時6分  
散 会 午後3時3分  
場 所 第5委員会室  
議 題

- 1 参考人からの説明聴取について(陳情第184号について)
- 2 陳情第75号、第136号、第141号及び第184号
- 3 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(新石垣空港整備事業の進捗状況について)

4 閉会中継続審査(調査)について

出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	辻 野 ヒロ子 さん
委 員	座喜味 一 幸 君
	新 垣 良 俊 君
	新 垣 哲 司 君
	仲宗根 悟 君
	玉 城 ノブ子 さん
	金 城 勉 君
	平 良 昭 一 君
	新 垣 安 弘 君

欠 席

	高 嶺 善 伸 君
--	-----------

説明員の職、氏名

観光商工部長	勝 目 和 夫 君
参事監兼 観光交流統括監	知 念 英 信 君
土木建築部長	仲 田 文 昭 君
新石垣空港統括監	新 垣 盛 勇 君
参 事	滝 澤 裕 君
新石垣空港課長	栄野川 盛 信 君
参 考 人	( 陳 情 第 1 8 4 号 )
沖縄県ハイヤー・ タクシー協会会長	金 城 宏 孝 君
補 助 者	( " " )
	津波古 修 君

審査概要

陳情第184号について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情3件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、新石垣空港整備事業の進捗状況について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情4件を採決した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

# 観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 陳情第75号 新空港の名称を「八重山空港」とすることに関する陳情
- 2 陳情第136号 EMを新しい観光資源として導入することに関する陳情
- 3 陳情第141号 沖縄県の政策を新しい観光資源として導入することに関する陳情
- 4 陳情第184号 レンタカーの台数規制に関する陳情
- 5 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

## 沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年10月6日(火曜日)

開 会 午後5時17分

散 会 午後5時20分

場 所 第6委員会室

議 題

- 1 審査日程について

### 委員の異動

9月18日の会議において、瑞慶覧功君の辞任が許可され、玉城義和君が委員に選任された。

### 出席

委 員 長	当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長	島 袋 大 君
委 員	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	池 間 淳 君
	仲 村 未 央 さん
	渡久地 修 君
	糸 洲 朝 則 君
	奥 平 一 夫 君
	赤 嶺 昇 君
	上 里 直 司 君
	玉 城 義 和 君

### 審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年10月13日(火曜日)

開 会 午前10時3分

散 会 午後3時16分

場 所 第6委員会室

議 題

- 1 陳情平成20年第198号及び陳情第74号の5
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(沖縄21世紀ビジョン(仮称)策定の進捗状況について)
- 3 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(沖縄振興計画の総点検の進捗状況について)
- 4 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(那覇空港施設計画段階の結果について)
- 5 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立(那覇空港に係る公租公課等の軽減要望について)
- 6 閉会中継続審査(調査)について
- 7 参考人招致について(追加議題)

### 出席

委 員 長	当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長	島 袋 大 君
委 員	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	池 間 淳 君
	仲 村 未 央 さん
	渡久地 修 君
	糸 洲 朝 則 君
	赤 嶺 昇 君
	上 里 直 司 君
	玉 城 義 和 君

### 欠席

奥 平 一 夫 君

### 説明員の職、氏名

企 画 部 長 川 上 好 久 君

企画調整統括監 平 良 敏 昭 君  
交通政策課長 津 覇 隆 君

### 審査概要

陳情 2 件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、沖縄21世紀ビジョン（仮称）策定の進捗状況について、沖縄振興計画の総点検の進捗状況について、那覇空港施設計画段階の結果について及び那覇空港に係る公租公課等の軽減要望について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情 2 件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

次に、参考人招致について協議し、決定した。

なお、「那覇空港に係る公租公課の軽減を求める意見書」を別掲のとおり提出することになった。

## 沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成20年第193号 那覇空港拡張整備計画に関する陳情
- 2 陳情第74号の5 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情
- 3 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

## 那覇空港に係る公租公課の軽減 を求める意見書

那覇空港は、離島県である本県にとって、県民生活や経済活動を支える重要な社会基盤であるとともに、本県が目指す国際交流・物流拠点の形成を実現する上でも不可欠な施設である。

このたび、那覇空港を拠点としてアジアを舞台に国際貨物ハブ事業が展開されることとなっており、今後、本格的な国際物流拠点の形成が大いに期待される。

また、国際的な観光地を目指して、アジア諸国を

初めとする外国人観光客のさらなる増加を図る必要がある。

この点、本県が、我が国の国際航空物流拠点及び観光拠点として成功するためには、那覇空港が近隣アジア諸国の空港と比べても遜色のない魅力を持つ空港となる必要がある。

については、政府におかれては、那覇空港の国際競争力を高めるため、下記の措置を早急に講じられるよう強く要請する。

### 記

- 1 国内線貨物便の航空機燃料税を旅客便並みの本則の2分の1にすること。
- 2 国際線の着陸料を国内線並みの本則の6分の1にすること。
- 3 国際線の航行援助施設利用料を国内線並みの本則の6分の1にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年10月15日

内閣総理大臣  
国土交通大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣

沖 縄 県 議 会  
} あて

## 決算特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年10月6日（火曜日）

開 会 午後5時28分  
散 会 午後5時39分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 委員長の互選
- 2 副委員長の互選
- 3 認定第1号 平成20年度沖縄県一般会計決算の認定について
- 4 認定第2号 平成20年度沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について
- 5 認定第3号 平成20年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
- 6 認定第4号 平成20年度沖縄県中小企業振興

資金特別会計決算の認定について

- 7 認定第5号 平成20年度沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
- 8 認定第6号 平成20年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について
- 9 認定第7号 平成20年度沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
- 10 認定第8号 平成20年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について
- 11 認定第9号 平成20年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
- 12 認定第10号 平成20年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 13 認定第11号 平成20年度沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について
- 14 認定第12号 平成20年度沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 15 認定第13号 平成20年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について
- 16 認定第14号 平成20年度沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について
- 17 認定第15号 平成20年度沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について
- 18 認定第16号 平成20年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計決算の認定について
- 19 認定第17号 平成20年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について
- 20 認定第18号 平成20年度沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 21 認定第19号 平成20年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認定について
- 22 認定第20号 平成20年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 23 認定第21号 平成20年度沖縄県病院事業会計決算の認定について
- 24 認定第22号 平成20年度沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 25 認定第23号 平成20年度沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について
- 26 閉会中継続審査について
- 27 決算特別委員会運営要領について
- 28 理事の選任について

出席

委員長	比嘉京子さん
副委員長	前田政明君
委員	吉元義彦君
	新垣良俊君
	照屋守之君
	辻野ヒロ子さん
	嶺井光君
	新垣哲司君
	仲村未央さん
	崎山嗣幸君
	新里米吉君
	渡久地修君
	上原章君
	前島明男君
	新垣清涼君
	玉城満君
	山内末子さん

審査概要

委員会条例第7条の規定により、議長が委員会を召集し、年長委員の前島明男君が委員長の互選に関する職務を行い、指名推選により比嘉京子さんが委員長に選任された。

次に、指名推選により前田政明君が副委員長に選任された。

次に、認定第1号から認定第23号までの審査について協議した結果、別掲のとおり閉会中継続審査に付することに決定した。

次に、決算特別委員会運営要領について協議し、決定した。

次に、理事に照屋守之君、仲村未央さん及び上原章君の3人が選任された。

## 決算特別委員会閉会中 継続審査(調査)事件一覧

- 1 認定第1号 平成20年度沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 認定第2号 平成20年度沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について
- 3 認定第3号 平成20年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
- 4 認定第4号 平成20年度沖縄県中小企業振興資金

特別会計決算の認定について

- 5 認定第5号 平成20年度沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
- 6 認定第6号 平成20年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について
- 7 認定第7号 平成20年度沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
- 8 認定第8号 平成20年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について
- 9 認定第9号 平成20年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
- 10 認定第10号 平成20年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 11 認定第11号 平成20年度沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について
- 12 認定第12号 平成20年度沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 13 認定第13号 平成20年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について
- 14 認定第14号 平成20年度沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について
- 15 認定第15号 平成20年度沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について
- 16 認定第16号 平成20年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計決算の認定について
- 17 認定第17号 平成20年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について
- 18 認定第18号 平成20年度沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 19 認定第19号 平成20年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認定について
- 20 認定第20号 平成20年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 21 認定第21号 平成20年度沖縄県病院事業会計決算の認定について
- 22 認定第22号 平成20年度沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 23 認定第23号 平成20年度沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について

平成21年第5回沖縄県議会(定例会)

閉会中継続審査(調査)

## 文教厚生委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年11月25日(水曜日)

開 会 午後3時15分  
散 会 午後5時7分  
場 所 第2委員会室  
議 題

- 1 教育及び学術文化について(中学生による  
集団暴行事件について)

出 席

委 員 長	赤 嶺	昇 君
副 委 員 長	西 銘	純 恵 さん
委 員	桑 江	朝千夫 君
	佐喜真	淳 君
	仲 田	弘 毅 君
	翁 長	政 俊 君
	仲 村	未 央 さん
	渡嘉敷	喜代子 さん
	上 原	章 君
	比 嘉	京 子 さん
	奥 平	一 夫 君

説明員の職、氏名

教 育 長	金 武	正八郎 君
義務教育課長	上 原	敏 彦 君
生涯学習振興課長	石 垣	安 重 君
補助答弁者		
警察本部生活 安全部少年課長	平 良	英 喜 君

審査概要

中学生による 集団暴行事件について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

## 土木委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

自 平成21年11月9日 (6日間)  
至 平成21年11月14日

視察調査の場所

ベトナム(ホーチミン市及びハノイ市)

視察調査事項

- 1 在ホーチミン日本国総領事館(ホーチミン市の概要、道路、港湾、空港等のインフラ整備の概況等について)
- 2 ジェトロ・ホーチミン事務所(ホーチミン市における道路、港湾、空港等の整備及び物流拠点等について)
- 3 ホーチミン市人民委員会(ホーチミン市の概要、道路、港湾、空港等のインフラ整備の概況等について)
- 4 サイゴン港湾公社(サイゴン港の概要と特徴、物流拠点としての役割と効果等について)
- 5 在ベトナム日本国大使館(ハノイ市の概要、道路、橋梁、港湾、空港等のインフラ整備の概況等について)
- 6 ジャイカ・ベトナム事務所(ベトナムにおける代表的な道路、橋梁、港湾、空港等のインフラ整備の概況等について)
- 7 ハノイ市人民委員会(ハノイ市の概要、道路、橋梁、空港等のインフラ整備の概況等について)
- 8 バイチャイ橋(バイチャイ橋の現況について)

参 加 者

委 員 長	當 山	眞 市 君
副 委 員 長	照 屋	大 河 君
委 員	新 垣	良 俊 君
	嶺 井	光 君
	池 間	淳 君
	高 嶺	善 伸 君
	嘉 陽	宗 儀 君
	平 良	昭 一 君
	吉 田	勝 廣 君

## 米軍基地関係特別委員会 委員派遣

(1)

視察調査の日時

平成21年11月19日(1日)

視察調査の場所

東村(北部訓練場ヘリパッド移設予定地及び貴重

植物移植先)

## 視察調査事項

- 1 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題（北部訓練場ヘリパッド移設予定地及び貴重植物移植先現況調査について）

## 参加者

委員長	渡嘉敷 喜代子 さん
副委員長	桑 江 朝千夫 君
委員	中 川 京 貴 君
	吉 元 義 彦 君
	具 志 孝 助 君
	前 田 政 明 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 満 君
	山 内 末 子 さん

## 決算特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年10月19日(月曜日)

開 会	午前10時1分
散 会	午後5時29分
場 所	第7委員会室
議 題	

- 1 平成21年第5回議会認定第1号 平成20年度沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成21年第5回議会認定第2号 平成20年度沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について
- 3 平成21年第5回議会認定第3号 平成20年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
- 4 平成21年第5回議会認定第4号 平成20年度沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について
- 5 平成21年第5回議会認定第5号 平成20年度沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
- 6 平成21年第5回議会認定第6号 平成20年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について

- 7 平成21年第5回議会認定第7号 平成20年度沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
- 8 平成21年第5回議会認定第8号 平成20年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について
- 9 平成21年第5回議会認定第9号 平成20年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
- 10 平成21年第5回議会認定第10号 平成20年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 11 平成21年第5回議会認定第11号 平成20年度沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について
- 12 平成21年第5回議会認定第12号 平成20年度沖縄県中城湾港（新港地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 13 平成21年第5回議会認定第13号 平成20年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について
- 14 平成21年第5回議会認定第14号 平成20年度沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について
- 15 平成21年第5回議会認定第15号 平成20年度沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について
- 16 平成21年第5回議会認定第16号 平成20年度沖縄県中城湾港（新港地区）整備事業特別会計決算の認定について
- 17 平成21年第5回議会認定第17号 平成20年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について
- 18 平成21年第5回議会認定第18号 平成20年度沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 19 平成21年第5回議会認定第19号 平成20年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認定について
- 20 平成21年第5回議会認定第20号 平成20年度沖縄県中城湾港（泡瀬地区）臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 21 平成21年第5回議会認定第21号 平成20年度沖縄県病院事業会計決算の認定について
- 22 平成21年第5回議会認定第22号 平成20年度沖縄県水道事業会計決算の認定について

23 平成21年第5回議会認定第23号 平成20年度  
 沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について

出 席

委員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	前 田 政 明 君
委 員	吉 元 義 彦 君
	新 垣 良 俊 君
	照 屋 守 之 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	嶺 井 光 君
	新 垣 哲 司 君
	仲 村 未 央 さん
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	渡久地 修 君
	上 原 章 君
	前 島 明 男 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 満 君
	山 内 末 子 さん

説明員の職、氏名

会 計 管 理 者	名 渡 山 司 君
企 業 局 長	宮 城 嗣 三 君
病 院 事 業 局 長	知 念 清 君
代 表 監 査 委 員	又 吉 春 三 君

審査概要

平成21年第5回議会認定第1号から同認定第23号までについて会計管理者、病院事業局長及び企業局長からそれぞれ決算概要の説明、代表監査委員から決算審査概要の説明を聴取した後、質疑に入り、平成20年度歳入歳出決算の内容、監査側から行政側に対する財政運営等に係る提言手法の有無、監査委員による県外先進地視察調査の有無、違約金73億3269万円の収入未済の原因、違約金が談合した特A業者だけではなく共同企業体構成員のA業者にも及ぶ理由、個人県民税収納率アップのための監査委員のアドバイスまたは提言の有無、工事以外の最低制限価格制度導入の導入状況、病院事業に関する決算審査意見の説明、県立病院事業経営に対する病院事業局との意見交換内容、代表監査委員及び会計管理者の本県の財政状況の見直しに対する所見、決算に対する各部局長との意見交換またはヒアリングの実施状況、沖縄県の財政の中期見通しの収支不足の試算の内容、沖縄県

行財政改革プランの成果、新たな行財政改革の推進方法、県民サービスに関連する問題点、自動車税のコンビニエンスストア納付の実績及び自動車税以外への拡充検討状況、監査を行うことによる効果、泡瀬地区埋立事業裁判において地方自治法第2条第14項違反の判決が出たことに対する代表監査委員の所見、定期監査における病院、電気、工業用水及び埋立事業に対する意見の有無、包括外部監査を含めた監査の生かし方に対する代表監査委員の所見、病院事業会計への一般会計からの繰入金、構造的赤字体質を背負う病院事業に対する代表監査委員の所見、平成20年度決算における繰り出し基準内・外の不採算医療分補てん額、他会計補助金の前年度比マイナスに対する代表監査委員の所見、泡瀬沖埋立事業に係る平成20年度の決算額、国・県の総事業費及びこれまでの執行額、監査委員監査の主体性の放棄、包括外部監査人と県監査委員のチェック機能の相違、包括外部監査に対する県監査委員の評価、平成16年包括外部監査人の指摘に係る県執行部の対応に対する代表監査委員の所見、平成20年度会計検査院の实地検査の状況、過去の会計検査院指摘事項の県監査への反映状況、会計検査院指摘事項のとりまとめ部署の確認、1年間の現金出納額、平成20年度現金預金の運用方法及び実績、33基金の運用型ごとの分類と金額、基金の運用方法、裁判で合理性に欠けるとい判決が出た事業に対する監査の必要性、林道事業の便益計算書または算定基準に対する監査実施状況、県議会や新聞紙上で問題になっている事案に対する特別監査の実施、基金の必要性の検討状況、監査委員及び事務局体制の強化の必要性、一般会計及び特別会計の予算執行率に対する認識及び課題、予算積算根拠に関する監査の実施に対する代表監査委員の所見、行政監査の実施方法、大型公共工事の費用対効果の監査実施、病院事業会計の純粹の赤字額、病院事業会計の医業収益の全国比較、1病床当たりで比較する理由、基礎年金拠出金に要する一般会計繰り出し金の増加理由、体制不足による病院の赤字問題に対する監査の認識、沖縄県行財政改革プランが成果を上げている根拠、個別状況の計画と実績、使用料・手数料の見直し計画及び達成額の確認、地方交付税及び国庫支出金が増加した理由、平成20年度一般会計・特別会計決算が黒字の要因、沖縄県財政の

中期見通しと平成20年度決算の整合性、健全化判断比率の報告書及び健全化審査意見書の目的、平成20年度自主財源向上の取り組みの実績、自主財源の取り組みの中心的部署、県の事業棚卸しに対する代表監査委員の所見、監査意見の県行政運営への反映状況、非合法のカジノ誘致を目的とする調査費に予算措置することに対する代表監査委員の所見、監査体制の充実・整備、事業計画への監査の実施、公務員による公金横領等の監査指摘、沖縄県財政の中期見通しと行財政改革との関係、中期見通し試算表と決算額との県債残高の差の理由、1260億円の収支不足の圧縮または事業効率化方策、包括外部監査制度導入の意義及び効果、包括外部監査指摘案件の県政運営への反映状況、包括外部監査報告書に対する代表監査委員及び会計管理者の所感、政策的補助金への監査の実施状況、平成15年度包括外部監査テーマ補助金の監査結果の措置状況及び公表時期、包括外部監査で効果のない補助金と指摘された事業への認識、監査の立場から事業者が説明責任を果たすよう指導することの必要性、新行財政改革プランの中での補助金検討計画等について質疑が行われた。

(2)

◎平成21年10月20日(火曜日)

開 会 午前10時1分  
散 会 午後5時13分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 平成21年第5回議会認定第21号 平成20年度  
沖縄県病院事業会計決算の認定について

出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	前 田 政 明 君
委 員	吉 元 義 彦 君
	新 垣 良 俊 君
	照 屋 守 之 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	嶺 井 光 君
	新 垣 哲 司 君
	仲 村 未 央 さん
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	渡久地 修 君

上 原 章 君  
前 島 明 男 君  
新 垣 清 涼 君  
玉 城 満 君  
山 内 末 子 さん

説明員の職、氏名

病院事業局長	知 念 清 君
病院事業統括監	小 川 和 美 君
県立病院課長	新 屋 勉 君
県立病院課 経営企画監	桃 原 幹 雄 君
県立病院課 医療企画監	安慶田 英 樹 君
県立病院課 看護企画監	嘉手苺 常 さん
県立病院課 総務企画監	武 田 智 君
県立病院課 整備企画監	大 城 新 光 君
県立病院課副参事	幸 地 東 君
北部病院長	大 城 清 君
中部病院長	平安山 英 盛 君
南部医療センター・ こども医療センター長	大久保 和 明 君
精和病院長	新 垣 米 子 さん
宮古病院副院長	上 原 哲 夫 君
八重山病院長	伊 江 朝 次 君

審査概要

開会後、病院事業局長への質疑に入り、自治体病院の役割、沖縄県病院事業の経営状況と経営再建計画の進捗状況、一般会計からの繰入金金の3年間の推移、7対1看護体制導入の意義と見通し、7対1看護体制の導入による収益増加見込み、平成20年度未収金の対前年度比増加と債権回収サービス業者への委託による減少との関係、医師・看護師不足による休床の現状、正規・非正規も含めた県立病院の職員数、現在の定数及びその設定時期、定数内での10対1看護体制の適正運用の可否、10対1看護体制で不足する看護師数、医師等の時間外労働の実態及び労働基準法との関係、県立病院の三六協定締結の状況、臨床研修医の待遇・処遇の状況、現行研修医体制を維持するための中部病院長の所見、病院事業局単独定数条例策定の検討状況、小児救急電話相談事業の病院事業局及び南部医療センター・こども医療センター院長の認識、医師等医療スタッフの慢性的不足人数及び安

定的運営に必要な人数、医師確保の重要性への認識、平成20年度中の医師離職数及びその理由、医師安定確保対策の内容、(仮称)沖縄県医師安定確保基金創設への所見、企業債の借りかえによる節減効果、利率5%以上の企業債残高、その利息額及び借りかえによる節減効果、高金利借りかえ制度の有無、平成20年度未収金発生件数及び金額、未収金発生防止体制の状況、無料低額診療事業導入の検討状況、県立病院の現状に対する所見、病院事業アドバイザーの役割、県立病院経営再建計画3年後の展望、病院職員の意識改革の状況、各病院長の課題及び問題への取り組み状況、公立病院改革ガイドラインに対する所見、病床規模縮小による7対1看護体制の導入の可能性、医師1人当たり診療収入の減少理由、県立宮古病院の建て直しの進捗状況、国頭村営安田診療所の再開時期等、平成20年度決算での費用縮減額、医業損失の改善額、平成20年度決算で経営改善できた要因及びこれまで改善できなかった要因、平成20年度決算で不良債務が解消した要因、不良債務及び未収金対策、負担金交付金減の理由、1床当たり繰入金比率が全国平均を下回り県の標準財政規模に対する他会計繰入金比率が全国平均を上回っている理由、一般会計から病院事業会計への繰出金額に対する認識、医師1人当たりの診療収入を算定する医師数のうち研修医数の全国比較、小児救急電話相談事業の必要性及び評価等、小児救急電話相談事業の受け手となる医師・看護師の確保方法及び電話相談への懸念、経営再建計画に係る外部評価システムの導入状況、産婦人科医が不足する根本的な原因及び具体的対策、医師の報酬等労働条件を他都道府県と比較しての満足度、産婦人科医のリスク軽減及び新人医師養成対策の状況、医療と経営との分離に対する所見、経営再建計画の3つの数値目標の内容、3年間の年次計画、医師奨学金制度の宮古・八重山病院勤務医師枠の有無、離島の離島の医療確保策、7対1看護体制整備のための看護師確保策、育児中の看護師が働きやすい職場環境づくり、院内保育所設置及び夜勤回避の検討状況、県立病院勤務条件付き看護師養成奨学金制度検討の有無、医者及び看護師の離職に対する各病院長の所見、平成20年度の経費縮減内容、経営改善計画の立案者、各病院へのESCO事業導入計画、債権回収サービス業者への委託料増加

の理由、総利用患者数が対前年度比3万759人の減に対する認識、医療政策に対する所見、八重山病院及び中部病院の休床の状況、沖縄県職員定数条例改正の時期、休床に対する各病院長の所感、医師及び看護師の全国向け公募状況、病院長の経営責任の拡大に伴う取り組み内容、沖縄県病院事業損益計算書のその他医業外収益の内容、その他医業外収益増収計画の検討状況、病院内売店及び食堂・喫茶店収入の仕分け先、医療と経営とを両輪で動かすための外部意見の取り込み状況、病院事業局長及び各院長の経営健全化に向けた職員の意識改革への取り組み状況、未収金管理システムの内容、債権回収サービス外部委託の内容及び実績、経営改革会議のメンバー及び会議内容等、宮古・八重山病院の入院・外来の予定量及び実績、宮古・八重山病院の病床利用率70%未満の理由、離島医療行政についての所見、離島勤務医師・看護師への優遇措置の実施状況、宮古病院改築工事の進捗状況、八重山病院耐震調査及び工事の実施状況、八重山病院老朽化に伴う改築または移転の時期、後発医薬品の採用拡大策及び患者等のクレームの有無、県立の枠にとらわれない医師の労働環境整備に関する新聞記事に対する所感、北部病院の入院・外来予定量及び実績の増減理由、病院事業の当初予算と決算に対する所見、医業収益・費用及び医業損失の当初計画額及び決算額の状況、月次決算の実施状況、新年度経営計画の立て方、3年後の最終利益目標を立てた経営方法の導入、7対1看護体制の平成22年度スタートの確認、7対1看護体制による職員の過重負担の軽減策及び収益の試算結果等について質疑が行われた。

(3)

◎平成21年10月21日(水曜日)

開 会 午前10時1分  
散 会 午後3時16分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 平成21年第5回議会認定第22号 平成20年度 沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 2 平成21年第5回議会認定第23号 平成20年度 沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について

出 席

委 員 長 比 嘉 京 子 さん

副委員長	前田政明君
委員	吉元義彦君
	新垣良俊君
	照屋守之君
	辻野ヒロ子さん
	嶺井光君
	新垣哲司君
	仲村未央さん
	崎山嗣幸君
	新里米吉君
	渡久地修君
	上原章君
	前島明男君
	新垣清涼君
	玉城満君
	山内末子さん

#### 説明員の職、氏名

企業局長	宮城嗣三君
企業企画統括監	金城敏樹君
企業技術統括監	大城康信君
総務企画課長	慶田本正二君
総務企画課財務監	宮城一彦君
配水管理課長	名渡山兼男君
建設計画課長	東恩納宏君
水質管理事務所長	赤嶺永正君

#### 審査概要

開会後、企業局長への質疑に入り、平成20年度奥間ダム建設関連支出額及び合計額、奥間ダム建設計画撤退までの経緯、撤退決定に対する地元または県民の評価、一度始めた公共事業はとまらないという意見に対する見解、過去の需要予測に対する反省点及び教訓、公共施設等地下貯水池の設置による雨水の上水利用等の新たな水源開発研究計画または実績の有無、1立方メートル当たりの料金の全国比と全国平均より高い理由、給水原価が前年度より上昇した理由、水道料金値上げの可能性、導水管または送水管を利用した小型水力発電の計画または実績の有無、小型水力発電の効果及び研究価値に対する所見、渇水化への対応と見通し、断水の可能性の有無、水源確保と安定供給の確認、効果的な雨水利用による節水対策、おいしい水の提供、中止した奥間ダム建設費の水道料金算入状況、県企業局水道料金値上げによる市町村及び家庭生活に与える影響への配慮の必要性、

奥間ダム費用便益0.04算出の原因、奥間ダム建設計画への水道事業者の撤退に伴う国の対応方針、工業用水道事業当初計画の内容、工業用水道事業需要予測を下方修正した理由、特別自由貿易地域への進出予定企業数、特別自由貿易地域の過大な事業見積りによる工業用水道事業の赤字への影響、工業用水受水企業の増加予測、工業用水道事業供給実績と当初計画の比較、行政の事業計画の立て方、現在建設中のダム数等、水需要見通しとダム建設の関係、新政権によるダム建設凍結等の県内への影響、経営健全化48項目の取り組み状況、入札制度改革の目標及び達成度、電子入札制度の実施状況、特別損失及び支払利息等の減少要因、有収水量の減少理由及び対策、節水に対する具体的な取り組み、子供たちへの節水教育について教育委員会とのタイアップ状況、決算不用額約2億円の背景、水道事業会計及び工業用水道事業会計の預金運用状況、危機管理マニュアルによる管理及び対策の状況、平成20年度中の送水管等事故件数、環境施策の取り組みと効果、ゲリラ豪雨等対策のマニュアル化の状況及び対策、全体的なテロ対策、浄水場の事故対策、水道管及び導水管破損による異物混入対策、西系列と東系列の水質平準化の状況、沖縄本島と離島で水道料金が違う理由、多目的ダムの建設促進及び西系列水源開発事業の推進の理由、西系列12河川のある取水町村との水利権の関係及び年間費用、決算審査意見書貸借対照表の無形固定資産の水利権及びダム使用権の内容、民間的な経営手法の内容、収益的支出及び資本的支出の人件費及び委託料の減の理由、離島における水道事業の所管、企業局が離島市町村の水道事業を応援する制度の検討、上水道事業と下水道事業の統一の検討、雨水と湧水の活用状況、職員1人当たり営業収益が全国平均の2分の1の理由及び今後の取り組み、建設工事等の全体予算、工期及び進捗状況、設計価格の事前公表と入札結果の状況、県ホームページでの入札結果未公表の理由、マッピングシステム導入の検討状況、企業局へのESCO事業導入予定、水道週間等における企業局のイベント内容及び水の祭典等の開催、新石川浄水場平成22年度完成後の給水量比較と県全体給水量に占める割合、新石川浄水場多目的広場管理のうま市との連携、新石川浄水場の一般開放と危機管理体制、新石川浄水場建設に伴う埋

め立てに係る環境調査実施状況、現石川浄水場の跡地利用計画、次期企業局経営健全化計画における雨水及び地下水対策に関する検討状況、海水淡水化施設の運転実績及び生産コスト、海水淡水化施設の離島への導入予定の有無、施設の責任分界及び譲渡に係る企業局の方針の内容、合併市町村のメーター設置の考え、合併した南城市及びうるま市の境界から責任分界点までの移設延長距離、施設の更新に要する改築費用、合併時における将来の財政負担発生の説明の有無、施設譲渡に係る方針の中止または凍結の可能性、企業局の方針に対するアンケート結果の内容、合併市町村の財政負担に対する県企業局の支援、座間味村の厳しい水事情に対する所感、工業用水道事業会計の平成20年度決算累積赤字額、給水原価が供給単価を上回る料金設定の根拠及び背景等、他都道府県での他会計からの繰り入れ状況、施設能力の引き下げによる累積赤字の解消見込み、日量3万立方メートルの達成年度見込み、沖縄県監査委員指摘の工業用水道事業と水道用水供給事業と一体となった経営健全化策を推進しているという表現の意味、水道事業会計の自己資本比率が全国比より20ポイント以上も高い理由及び背景、沖縄振興特別措置法に基づく高率補助の終了が水道事業会計に与える影響及び延長の必要性、各市町村の水道料金設定基準及び方法、他会計から水道事業会計への繰り入れによる水道料金県内一律化の検討状況、水道事業及び工業用水道事業における運営形態の見直しまたは独立行政法人化に向けた検討状況、平成20年度水道事業及び工業用水道事業会計決算での経営状況に対する基本的な認識、第7次企業局経営健全化計画の平成20年度実施状況報告書の実績が目標をはるかに超えている理由、第7次企業局経営健全化計画の年次的定員管理計画の内容、平成20年度奥間ダム関連決算額県負担分13億円の確認、ダムに頼らない施策の内容、奥間ダム建設事業からの撤退による影響、米軍北部訓練場に隣接する新川ダム及び福地ダムの水質管理状況等について質疑が行われた。

(4)

◎平成21年10月22日(木曜日)

開 会 午前10時1分  
散 会 午後5時26分

場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 平成21年第5回議会認定第1号 平成20年度沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成21年第5回議会認定第8号 平成20年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について

出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	前 田 政 明 君
委 員	吉 元 義 彦 君
	新 垣 良 俊 君
	照 屋 守 之 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	嶺 井 光 君
	新 垣 哲 司 君
	仲 村 未 央 さん
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	渡久地 修 君
	上 原 章 君
	前 島 明 男 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 満 君
	山 内 末 子 さん

説明員の職、氏名

知 事 公 室 長	上 原 良 幸 君
基地対策課長	又 吉 進 君
返還問題対策課長	町 田 優 君
防災危機管理課長	饒平名 知 成 君
総 務 部 長	兼 島 規 君
財 政 課 長	小橋川 健 二 君
税 務 課 長	下 地 功 君
行政改革推進課長	仲 本 朝 久 君
企 画 部 長	川 上 好 久 君
交通政策課長	津 覇 隆 君
科学技術振興課長	田 中 建 治 君
情報政策課長	松 堂 勇 君
市町村課長	山 里 清 君
会 計 管 理 者	名渡山 司 君
監査委員事務局長	宮 城 清 志 君
人事委員会事務局長	伊 礼 幸 進 君
議会事務局長	遊 佐 信 雄 君

審査概要

平成21年第5回議会認定第1号、同認定第8号について知事公室長、総務部長、企画部長、会計管理者、人事委員会事務局長、監査委員事務局長及び議会事務局長からそれぞれ決算概要の説明を聴取した後、質疑に入り、普天間飛行場移設先に関する米国国防総省高官発言に対する県の所見、総理大臣発言についての県の所見、名護市と県との今後の協議・連携のあり方、基地内イベントに起因する騒音問題、普天間飛行場の県外・国外移設への所見、普天間飛行場の閉鎖状態及び訓練移転の要請の意志、知事公約である普天間飛行場3年での閉鎖に向けての予算総額及び新たなアクションプラン、平成20年度大規模駐留軍用地跡地利用推進費の成果物、旧軍飛行場用地問題関連の那覇市鏡水地区及び宮古島市3地域の事業費、特定地域特別振興事業の予算規模のめど、那覇市大嶺地区及び読谷村の他地区への対応状況、旧軍飛行場用地補償問題の特別枠要請の意思、米軍普天間飛行場代替施設環境アセスメントの欠陥の指摘に対する知事公室長の所見、沖縄へのオスプレイ配備計画報道に対する知事公室長の所見、環境アセスメントのやり直しを沖縄防衛局に求めるまたは意見を求める考えの有無、県民大会へ知事メッセージを出す予定の有無、副知事対応の可能性、涉外関係主要都道府県知事連絡協議会での知事訪米の目的、訪問先及び面談相手、今年1月の知事訪米の成果、普天間飛行場移設に関する日米合意への認識、石垣市への不発弾保管庫の設置予定、第11管区海上保安部及び自衛隊との急患輸送に関する意見交換会の有無及び内容、基地の提供義務者の確認、知事訪米の日程及び目的、県は普天間飛行場の名護市辺野古への移設推進との報道への所見、三党連立政権から県外移設案が提示された場合の県の対応方法、鳩山総理大臣の名護市長選挙後まで判断保留することに対する所感、米国政府の50メートル沖合移動容認報道に対する県の対応方法、普天間飛行場の移設に関する沖縄県の考え方の公表の意図、県議会新基地建設反対決議を受け野党または県民によく理解されていない知事の考え方とは、名護市辺野古につくる施設は新基地ではなく代替施設という認識か、知事は県内移設容認か、ゲーツ米国防長官の50メートル沖合移動容認発言への知事の姿勢、普天間飛行場の名護市辺野古移設関連事業の予算額、普天間飛行場の返還に關す

る県の考え方、普天間飛行場を名護市辺野古に移設する最大の障害、知事発言とゲーツ米国防長官発言の関係性、ジュゴンの複数年調査の実施要求、駐留軍用地跡地利用促進費の執行残の理由、国際情勢の変化に対する知事公室長の所見、普天間飛行場移設問題への県民の審判に対する認識、知事の県内移設容認論が県民及び日米両政府に与える影響、県外移設の日米両政府への知事要請の有無、SACO推進者の普天間飛行場の移設なき全面返還論への認識、辺野古新基地建設に反対する県民大会への知事公室長の所感、知事公室の役割及び機能の拡充、知事訪米時の面談相手、沖縄防衛局に対する環境影響評価知事意見書の構成及び内容、沖縄県環境影響評価審査会答申の知事の解釈、沖縄県と米国が組んで日本政府に県内移設を迫っているという認識の有無、平成20年度予算・決算の目標及び実績、沖縄県財政の中期見通しと平成20年度決算との比較及び総括結果、平成20年度自主財源確保の取り組み状況と実績、県独自の新税導入への取り組み状況、県有施設における自動販売機設置への入札の導入、職員提案制度の効果及び成果、提案採用後の処遇、事業仕分け取り組み状況と評価委員の構成内容、平成21年度補正予算の凍結が県に与える影響、県税徴収チームの構成、県民税不納欠損額の内訳、事業税不納欠損の内容、チャンプルー事業部設置の進捗状況、平成20年度包括外部監査結果報告書の補助金のあり方を受けて総務部長の所感、新行財政改革プランにおける削減目標、財政調整基金と減債基金の状況、個人県民税の収入未済額が大きい原因、不動産取得税の収入未済額の件数と面積、指定自動車教習所2カ所の自動車台数、納税額及び減免の可能性、座間味村、伊是名村及び伊平屋村が早期健全化団体に認定された理由及び県の支援、平成20年度決算の特徴と評価、収支不足の状況、行財政改革プランの進捗状況、実績及び成果、県税の徴収体制、自動車税以外のコンビニエンスストア納付の検討状況、退職手当債の今後の発行予定、財政調整基金、減債基金及び県有施設整備基金の主要3基金の残高、(款)総務費の退職手当の不用額、退職手当基金の残高、包括外部監査結果報告での指摘事項における公社等外郭団体の退職手当引当金不足についての総務部の認識及び対処策、病院事業局定数条例の改正

に対する総務部長の所見、林道事業問題の処理内容、カジノ調査費予算削除の検討、沖縄科学技術大学院大学関連補正予算のカットによる影響、沖縄科学技術大学院大学の教授の採用状況、南北大東島への地上デジタル放送用ケーブルの予算措置状況、新石垣空港建設予算の措置状況、那覇空港滑走路増設に対する新政権の考え方、先端バイオ研究基盤高度化事業の内容、ゲノムシーケンサーによる解析の一般利用の可否、沖縄ゲノム研究推進協議会の研究テーマ選定方法、離島の水問題・対策、マップセンターの進捗状況、日本の領海と排他的経済水域の中で沖縄県に關係する面積及び割合、定額給付金の各市町村の給付状況及び県内経済効果、海洋深層水事業関連支出の内容、海洋深層水の分水決定方法、海洋深層水取水施設の本島内建設予定の有無、市町村合併支援事業予算の使途、平成20年度道州制の取り組み、沖縄道州制懇話会の動き、道州制に関する新政権の動き、先島地区地上デジタルテレビ放送推進事業の実施状況及び不用理由、受信機普及率向上への県の取り組み状況、離島航路補助制度の現状、沖縄県民の翼としてのJTAの役割と使命、JTAに対する株式増資の可否、1967年の日本航空と沖縄提携先企業との合弁会社契約書第7条への所見、デジタル放送電波の供給責任者または義務者、県内難視聴地域の把握及び県の支援状況、南城市が提案する知念半島傾斜地の中継局を久高島に移動させる方法でエリアを広げるといふことへの支援の可否、臨床研究連携基盤構築事業の執行残が大きい理由、公共交通活性化推進事業の執行状況、基幹バスの社会実験が延期になった理由及び課題等について質疑が行われた。

(5)

◎平成21年10月23日(金曜日)

開 会 午前10時3分  
散 会 午後5時51分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 平成21年第5回議会認定第1号 平成20年度沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成21年第5回議会認定第6号 平成20年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について

## 出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	前 田 政 明 君
委 員	吉 元 義 彦 君
	新 垣 良 俊 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	嶺 井 光 君
	新 垣 哲 司 君
	仲 村 未 央 さん
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	渡久地 修 君
	上 原 章 君
	前 島 明 男 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 満 君
	山 内 末 子 さん

## 欠 席

照 屋 守 之 君

## 説明員の職、氏名

文化環境部長	知 念 建 次 君
文化振興課長	松 川 満 君
県民生活課長	譜久山 典 子 さん
環境政策課長	安 富 雅 之 君
環境保全課長	西 浜 完 治 君
環境整備課長	下 地 岳 芳 君
自然保護課長	久 田 友 弘 君
福祉保健部長	奥 村 啓 子 さん
福祉保健企画課長	大 嶺 良 則 君
福祉・援護課長	呉 屋 禮 子 さん
高齢者福祉介護課長	金 城 武 君
青少年・児童家庭課長	新 垣 郁 男 君
障害保健福祉課長	垣 花 芳 枝 さん
医務課長	新 垣 盛 勝 君
医務課副参事	砂 川 靖 君
医務課班長	糸 数 公 君
国保・健康増進課長	上 原 真理子 さん
薬務衛生課長	国 吉 宏 典 君

## 審査概要

平成21年第5回議会認定第1号、同認定第6号について文化環境部長、福祉保健部長からそれぞれ決算概要の説明を聴取した後、質疑に入り、公

共関与産業廃棄物最終処分場整備計画の進捗状況、赤土等流出防止対策事業の現状と効果、全県調査の実施時期、サンゴ礁生態系保全事業の内容、名護市辺野古基地建設予定地へのオスプレイ配備に伴う環境影響調査の必要性、自然・環境保全に対する文化環境部長の所感、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会の活動内容及び県のかかわり、地域の島クトゥバの調査・収集の必要性、沖縄国際アジア音楽祭の事業主体と進捗状況、環境影響評価準備書の不備に対する知事意見の内容、薩摩の琉球侵攻400年関連事業の内容、公共関与事業推進費地域説明会未実施の理由、残余容量期間で整備できない場合の対応方法、先進事例視察場所、廃棄物処理施設の設置による植物に与える影響の有無、赤土等流出防止対策事業のハード部門との連携、産業廃棄物税基金繰入金の内容、民間最終処分場の残余容量、最終処分場建設候補地は名護市、本部町、浦添市の陸上か海上埋め立てか、離島における海岸漂着ごみの把握状況、市町村の漂着ごみの回収処理に対する県の支援、漂流漂着ごみの国内削減方策モデル事業の概要と成果、漂着ごみ問題に関する県の市町村への指導等、普天間飛行場代替施設へのオスプレイ配備による環境アセスメントへの影響、公共関与事業推進費の中の産業廃棄物対策費の執行率が悪い理由、岩手県及び東広島市等先進地視察での建設費または維持管理費の状況、建設費への国庫補助の有無、先進県と同様施設の県内での建設可能性、公共関与整備事業予算の次年度以降の執行内容、名護市辺野古沿岸域の一連の環境アセスメントの進め方に対する文化環境部長の所感、事業内容の修正が必要となった場合の対処方法、環境影響評価方法書に住民が意見を述べる機会の保障、沖合移動幅50メートルの環境アセスメントにおける意味、環境アセスメントに対する知事意見は県内移設前提で求めた意見か、オスプレイの性能、安全性一過去の事故及びヘリコプターと比べて騒音の大きさ、オスプレイ配備による騒音の知事意見での想定状況、評価前提変更に伴うやり直し要求の有無、マングース捕獲事業の目的及び実績、ヤンバル貴重生物の密猟の実態、環境アセスメントについての知事意見の内容、沖縄県環境影響審査会の答申と知事意見との相違点、当該事業が環境に影響を与えるとする具体的な理由、ジュゴン複数年調査の必要性への認識、

知事意見に住民の追加要望があることを明記した趣旨、科学的知見に基づく環境影響評価に対する知事意見の立場、知事意見を科学的に実施する場合の期間、事業者により実現可能な範囲内の趣旨、知事意見の記述内容と知事の県内移設容認との関係、生物多様性条約に基づく第10回締約国会議の内容、琉球諸島の世界自然遺産登録の進捗状況、大浦湾のアオサンゴ群への認識、泡瀬干潟のラムサール条約登録の可能性、那覇市大嶺海岸の現状認識、CO<sub>2</sub>削減への取り組み状況、浦添大公園の自然環境保全地域指定の可能性、産業廃棄物対策のための警察官配置の効果、看護関係人材育成及び確保対策、離島での水不足対策、平成21年度及び平成22年度の保育所創設及び増改築予定数及び予算額、自殺予防事業の総予算額、新型インフルエンザワクチンの医療従事者への優先接種の状況、県内のエイズ患者及びHIV感染者の人数及び傾向、中学生・高校生に対するエイズ教育の実施、福祉保健所でのエイズ夜間検査の現状、女性特有のがん検診及び検診率の状況、休日または夜間検診事業の実施状況、児童虐待に対する福祉保健部長の所見、児童虐待認知件数、母子保健推進員及び民生委員の数、救急医療用ヘリコプター活用事業の実績、MESHサポートに対する福祉保健部長の所感、医師修学資金等貸与事業の内容及び実績、高齢者介護施設への入所待機者数、家族介護の状況調査の実施、広域型特別養護老人ホームの整備、経済対策による小規模特別養護老人ホーム繰り上げ整備、医療費助成の現物給付方式の導入、地域に合った認可外保育施設の認可化基準の国への要請、平成20年度生活保護扶助費の種類別の人数及び金額、平成20年度生活保護扶助費決算額の対前年度比較、介護保険料普通徴収収納率の低下要因、41市町村の介護保険料等減免取り組み状況、介護労働者の求人倍率、要介護認定者の介護サービス利用率、老老介護の負担軽減策、保育所入所待機児童解消対策事業による認可保育所の創設または増改築市町村名、子育て家庭の就労支援モデル事業の実施市町村名、事業効果及び不用額発生理由、安心こども基金の活用事業23施設630人の市町村別内訳、新すこやか保育事業の平成20年度実績及び不用理由、平成21年度の予定施設数及び処遇向上予定児童数、平成20年度病児・病後児保育事業の実施箇所、決算額及び那覇市内実施病院、

平成21年度目標28カ所の整備ができない事情、安心こども基金と待機児童解消特別対策事業基金を使つての待機児童解消目標数値5400人の確認、実施計画及び実施状況等、沖縄特別振興対策調整費を使つての市町村保育所運営費への助成の可否、児童相談所への一時保護所の設置、職員及び嘱託員の増員予定、保育対策事業費の過去3年の執行率が悪い理由、貧困の定義、日本及び沖縄の貧困率、全国及び県内医療機関の未収金額、県内多重債務者の実態とその解消対策、自己破産件数及びその対策、福祉保健部の貧困解消のための取り組み状況、無料低額診療事業の内容、全国及び沖縄県での実施状況、県内で実施していない理由、県立病院医師不足への認識と福祉保健部の取り組み状況、県立病院医師確保基金創設への所見、林道建設事業に関する文化環境部の意見内容及び農林水産部の回答内容、県立浦添看護学校の民営化問題、看護師不足の状況、県立病院7対1看護体制導入の場合の不足人数、看護師不足の原因と需給予測の関係、県立病院を守るための看護師の養成、医師・看護師の確保対策、平成20年度未認可保育所認可化促進の成果及び目標値、沖縄県保育所入所待機児童対策特別事業基金の使途基準の緩和、新すこやか保育事業の財源内訳、認可外保育施設への支援拡充、地域がん診療拠点病院設置の成果、がん対策アクションプラン策定の目的及びがん患者関係者からの要望への対応方針、地域医療再生計画及び基金の内容、子育て応援特別手当の県内対象者数、金額、執行停止理由及び県内各市町村への影響、更正保護施設の有無、収容人員及び入居期間、増設・増築予定、健康増進推進費予算増額の必要性等について質疑が行われた。

(6)

◎平成21年10月26日(月曜日)

開 会 午前10時2分  
散 会 午後7時40分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 平成21年第5回議会認定第1号 平成20年度  
沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成21年第5回議会認定第2号 平成20年度  
沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定につい

て

- 3 平成21年第5回議会認定第3号 平成20年度  
沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
- 4 平成21年第5回議会認定第4号 平成20年度  
沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について
- 5 平成21年第5回議会認定第9号 平成20年度  
沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
- 6 平成21年第5回議会認定第10号 平成20年度  
沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 7 平成21年第5回議会認定第11号 平成20年度  
沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について
- 8 平成21年第5回議会認定第12号 平成20年度  
沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 9 平成21年第5回議会認定第14号 平成20年度  
沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について
- 10 平成21年第5回議会認定第15号 平成20年度  
沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について

出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	前 田 政 明 君
委 員	吉 元 義 彦 君
	新 垣 良 俊 君
	照 屋 守 之 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	嶺 井 光 君
	新 垣 哲 司 君
	仲 村 未 央 さん
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	渡久地 修 君
	上 原 章 君
	前 島 明 男 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 満 君
	山 内 末 子 さん

説明員の職、氏名

農林水産部長	比嘉俊昭君
流通政策課長	島田勉君
農政経済課長	東崎信哉君
営農支援課長	本永忠久君
糖業農産課長	山城毅君
畜産課長	赤嶺幸信君
村づくり計画課長	知念武君
農村整備課長	山内光雄君
森林緑地課長	長間孝君
水産課長	勝俣亜生君
観光商工部長	勝目和夫君
産業政策課長	上原俊次君
産業政策課副参事	新垣秀彦君
企業立地推進課長	安里肇君
雇用労政課長	湧川盛順君
観光企画課長	新垣昌頼君
観光振興課長	下地芳郎君
交流推進課長	宮城信之君
労働委員会事務局長	比嘉久晶君

## 審査概要

平成21年第5回議会認定第1号から同認定第4号まで、同認定第9号から同認定第12号まで、同認定第14号及び同認定第15号について農林水産部長、観光商工部長及び労働委員会事務局長からそれぞれ決算概要の説明を聴取した後、質疑に入り、おきなわ熱帯果樹ブランド確立事業で平成15年度、平成16年度に海外から導入した熱帯果樹の品目・品種及び新品目、マンゴーの産地偽装対策、薬用作物の中の戦略品目、耕作放棄地対策事業の渡名喜村のヤマブドウ栽培、おきなわブランド豚供給対策事業の内容、さとうきび1トン当たりの現在価格及び新製品開発プロジェクト、ヤシガニ乱獲対策及びその所管部、ヤブガラシの繁殖方法、除草剤の開発状況及び予算措置状況、県外のヤブガラシ分布及び被害状況、平成20年度農林水産業予算及び事業評価、平成20年度決算を踏まえた農林水産部の課題、新政権の補正予算削減による影響、新政権の戸別所得補償制度の効果と前政権との違い、沖縄農業の課題の戸別所得補償制度への反映、農業経営基盤強化促進法による4町村の基本構想策定状況、耕作放棄地の多い市町村及びその割合、県の耕作放棄地実態調査の実施状況、台風18号による南北大東島での農業関係被害額及び農地防風林被害状況、農地防風林の整備計画、久米島町大

原地区海岸保全事業による防潮林整備計画及び委託先、久米島町におけるイモゾウムシ及びアリモドキゾウムシの根絶事業の状況、シークワサー価格の低下要因及び対策、カンキツグリーンング病対策、東村の総合農産加工施設に対する県の支援、新規就農者の年ごとの人数及び年齢、農業改良普及員の定員の推移及び県の考え方、沖縄県の農業粗生産額の推移と農業改良普及員の減少との関連、普及だよりの発刊状況、構造改善事業で整備した鉄骨ハウス等の利用状況、松くい虫防除対策、台風13号による農作物被害への支援内容及び割合、離島漁業再生支援交付金事業の内容、次年度継続可能性、補助率、平成21年度実施予定市町村教及び平成22年度要求額、与那国町屠畜場再開の進捗状況、八重山食肉センターの早期改築、老廃牛への助成額の増額、農林水産部の主要施策における酪農の位置づけ、旧乳用牛育成センターの役割及び現在の体制、沖縄県酪農農業協同組合への委託の可否、乳用牛の年間更新頭数、県産牛及び県外産牛の内訳、自家育成に対する支援金額、さとうきび経営安定対策に係る対象者要件の見直し、米軍制限水域の解除の状況、南城市大城ダム改修工事の工法及び進捗状況、雄樋川維持管理の取り組み状況、沖縄県土地改良事業団体連合会の形態、沖縄県土地改良事業団体連合会退職給付引当金の不足問題、平成18年度から平成20年度までの国頭村への森林整備事業の補助金総額及び対象面積、高率補助と林業振興、木材関係及び特用林産関係の林業粗生産額、県産材の利用内容及び割合、収穫伐採のための林道整備、ヤンバルの森の国指定を保護区への格上げ、琉球弧の森林保全について環境部局との連携及び認識、グリーン・ツーリズム総合戦略事業の内容と総合戦略、漁協信用事業統合促進利子補給事業の趣旨と決算額の内訳、那覇地区漁業協同組合と読谷村漁業協同組合の平成21年度補助金削減の理由、伊江原支線と伊江I号支線の費用対効果算出基礎資料の保存問題、林道事業全面中止の考えの有無、高率補助と林道事業の相関関係、沖縄県の農家数、農業人口、生産量、耕地面積及び県内食料自給率の復帰時と現在の比較、耕地面積のうち田と畑の割合、さとうきびを除いた食料自給率、米の食料自給率、農家数と農業人口が激減した理由、沖縄県の農業振興に対する農林水産部長の所感、県内食料自給率を50

%まで引き上げた場合の必要農業従事者数、県内食料自給率向上対策の内容、学校給食で地産地消に取り組む場合の課題、農業協同組合の農家に対する貸付件数及び競売件数の割合、農業協同組合の貸しはがし問題と県の指導監督状況、林道事業問題の反省内容及び今後の方向、林道事業の着工見合わせに係る造林事業の中断、造林事業便益計算書の見直し及び皆伐方式の見直し、ひもつき補助金の見直しを国に要請する考えの有無、沖縄北部地域森林計画の見直し、費用対効果の再計算方法、防火帯便益計算の内容、水源涵養林便益の係数の使い方、沿岸漁業改善資金の執行率の低い要因、応募件数及び実行件数、制度周知のための今後の取り組み、おきなわ就農促進ゆいまーるモデル事業での研修受講者20名の就農状況及び今年度目標、新規就農支援体制の状況、林道建設事業の中断路線数、費用対効果再計算結果の議会報告の有無、ウリミバエ根絶宣言後の事業内容、ウリミバエ不妊虫が植物に与える影響、ミカンコミバエ誘殺板の薬効、沖縄観光コンベンションビューロー補助事業費のうち海外事務所事業費、限定通訳案内士最終合格者の内訳、企業誘致事業の実績、マリンバイオ産業創出事業の内容、オニヒトデ対策、平成20年度観光費の予算及び決算額、観光客総数、そのうちの外国人数並びに国別総数、ここ5年間の動向及び推移、知事公約観光客1000万人の達成見通し及び観光商工部長の所見、航空業界の観光業界へ与える影響、観光商工部長の考える沖縄観光の一番の魅力・アピール点、カジノ・エンターテインメント検討事業による経済効果及び雇用効果、この事業の実効性及び採算性、「我が国におけるカジノ・エンターテインメント導入に向けての基本方針」の新政権における取扱方針、カジノ・エンターテインメント施設建設場所、カジノのマイナス効果解消策、韓国カンウォンランドの視察調査、カジノ・エンターテインメント導入に対する県民意見及び今後の事業展開方策、財団法人沖縄観光コンベンションビューローの退職給付引当金不足問題、リゾートウエディング関連民間事業者に対する補助金、平成20年度の企業誘致件数及び新たな雇用人数、平成20年度経済対策の効果、新型インフルエンザの観光客及び修学旅行への影響、国際会議誘致活動の内容、実績及び誘致方法、沖縄IT津梁パーク施設への入居企業数、中核機

能支援施設B棟の計画内容及び金型賃貸工場の内容、中国市場への戦略的観光誘客・企業誘致プロモーションの展開、県内ホテル従業員雇用実態調査の結果に対する観光商工部長の所見、2016年度観光客1000万人達成のための方策、観光誘致対策事業費の平成16年度から平成20年度までの決算額及び予算減少理由、離島観光に対する観光商工部長の所見、雇用最適化支援事業の平成20年度執行率の低さを踏まえ次年度の取り組み状況、伯耆移住100周年記念建設補助事業執行率15%の理由、福建・沖縄友好会館の利用状況及び今後の対策、海外事務所の設置状況、特別自由貿易地域への企業進出状況、雇用最適化支援事業及び就職困難者総合支援事業の執行率の低い理由、建築技能士の職種転換受講者数、失業率全国並み達成への年次目標、沖縄県の完全失業率と失業者数、雇用情勢見通し及び雇用対策の内容、全国と沖縄県の完全失業者数の中の世帯主の割合、誘致企業のうちコールセンター数、特別自由貿易地域の当初目的及び見込み企業数、対象業種、認定企業数、認定要件及び恩恵、認定要件を満たしている企業数、特別自由貿易地域内の海外輸出企業数及び輸出実績、土地の分譲状況、賃貸工場使用料の滞納及び回収状況、中城湾港新港地区西埠頭及び東埠頭の利用状況、沖縄県工業用水道事業会計の赤字原因及び一般会計からの繰入額、特別自由貿易地域の一般工業地域への転用、カジノ法案が通るめど、地方財政上の税金の使い方、観光客数以外の観光関連の数値目標及び実績、目標に届かなかった理由、中国及びアジア地域からの誘客の取り組み状況、中国富裕層観光客の訪沖状況及び取り組み、地域限定通訳案内士試験実施事業の合格者22人の内訳、今後の計画及び目標数値、観光人材育成センター関連事業の内容、外国人観光客へのアンケート調査の実施状況及び取り組み事例、核世代再チャレンジ雇用支援事業の執行率が低い理由、平成21年度の予算額及び執行率、相談・受付窓口及び県民への周知方法等、来年の新卒者の内定状況と対策、美ら島沖縄大使の増員、沖縄観光コンベンションビューロー運営事業費の県派遣職員数、常勤役員及びプロパー職員数、MICE誘致・開催推進事業の実績及び経済波及効果、法律的に認められていないカジノの調査に公的資金を投入することに対する観光商工部長の所見、カジノエンターテイ

ンメント導入調査の総予算等について質疑が行われた。

(7)

◎平成21年10月27日(火曜日)

開 会 午前10時1分  
散 会 午後6時38分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 平成21年第5回議会認定第1号 平成20年度  
沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成21年第5回議会認定第5号 平成20年度  
沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
- 3 平成21年第5回議会認定第7号 平成20年度  
沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
- 4 平成21年第5回議会認定第13号 平成20年度  
沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定に  
ついて
- 5 平成21年第5回議会認定第16号 平成20年度  
沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計  
決算の認定について
- 6 平成21年第5回議会認定第17号 平成20年度  
沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の  
認定について
- 7 平成21年第5回議会認定第18号 平成20年度  
沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 8 平成21年第5回議会認定第19号 平成20年度  
沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認  
定について
- 9 平成21年第5回議会認定第20号 平成20年度  
沖縄県中城湾港(泡瀬地区)臨海部土地造成事  
業特別会計決算の認定について

出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	前 田 政 明 君
委 員	吉 元 義 彦 君
	新 垣 良 俊 君
	照 屋 守 之 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	嶺 井 光 君
	新 垣 哲 司 君
	仲 村 未 央 さん
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君

渡久地	修 君
上 原	章 君
前 島	明 男 君
新 垣	清 涼 君
玉 城	満 君
山 内	末 子 さん

説明員の職、氏名

土木建築部長	仲 田 文 昭 君
土木企画課長	喜 瀬 普一郎 君
道路街路課長	新 里 末 守 君
道路管理課長	前 泊 勇 栄 君
河 川 課 長	小 禄 茂 徳 君
海岸防災課長	田 盛 繁 美 君
港 湾 課 長	神 田 豪 君
港湾課港湾開発監	比 嘉 幸 雄 君
空 港 課 長	与那覇 義 博 君
都市計画・ モノレール課長	儀 間 真 明 君
住 宅 課 長	渡久山 盛 清 君
新石垣空港課長	栄野川 盛 信 君
警 察 本 部 長	黒 木 慶 英 君
警察本部警務部長	磯 丈 男 君
警察本部生活安全部長	山入端 辰 次 君
刑事部参事官 兼刑事企画課長	石 新 政 英 君
警察本部交通部長	當 銘 健 徳 君

審査概要

平成21年第5回議会認定第1号、同認定第5号、同認定第7号、同認定第13号、同認定第16号から同認定第20号までについて土木建築部長及び警察本部長からそれぞれ決算概要の説明を聴取した後、質疑に入り、泡瀬地区埋立事業裁判の経緯及び上告断念の理由、今後の県の対応方針、沖縄市の土地利用計画見直しに対する県のかかわり、泡瀬地区埋立事業に係る工事の一時中止に係る今後の対応、港湾環境整備事業の沖縄県公共事業評価監視委員会における再評価、埋立工事中断による環境への影響及び対応方針、下地島空港の活用状況と今後の活用計画、復帰当時の屋良覚書の内容、国道449号バイパス工事の進捗状況及び供用開始年度、旧国道449号歩道拡幅工事の進捗状況及び完成時期、屋部橋及び西屋部川の河川改修工事の進捗状況及び完成時期、名護市呉我地内国道505号拡幅工事の進捗状況及び完成時期、土木使用料収入未

済額発生理由のうち家賃滞納理由、土木貸付金元利収入未済額の主な理由、土地区画整理組合貸付金元利収入未済の理由、土木建築部関係不用額の主な発生理由、(項)都市計画費(目)土地区画整理費と(目)公園費の翌年度繰越額の内容、南部東道路整備事業の起点と終点、一般国道507号八重瀬道路改築事業の実施設計の内容、国道329号バイパスの起点から東部消防署津嘉山出張所間の整備状況、県道久米島一周線道路改築事業の整備状況と完了予定、建設産業活性化支援事業効果のうち新分野進出相談件数及び農水産業または畜産業への進出相談件数、儀間川総合開発事業及びタイ原ダム整備の見直しの有無、沖縄県建設産業ビジョンにおける建設業の将来像と施策の基本方向、中城湾埋立事業で投じた国及び県の事業費、完了までの金額、埋立事業裁判の判決結果の解釈、県や沖縄市の裁判へのかかわり方、今後の沖縄市との協議等、国及び県の進行中の事業への影響、工事中断による投下予算の問題、土地利用計画の変更に当たり国・県・沖縄市の連携状況、新政権の公共工事予算の見直しにおける地方空港整備予算の確保見通し、新石垣空港整備事業予算執行残の理由、新空港建設工事の進捗状況と今後のスケジュール、新空港ターミナルビル建設の進捗状況及び地元業者への分離分割発注の可能性、新石垣空港アクセス道路建設の進捗状況、八重山地域の電線類地中化事業の進捗状況及び今後の計画、県道白浜南風見線の整備状況、与那国町田原川の2級河川格上げ指定の状況、与那国町祖納港沖合の防波堤整備の進捗状況、竹富町新城島上地港防波堤整備工事の進捗状況及び総工費、南城市山里地区地すべり災害の状況及び対策、南部東道路の着工見通し、那覇広域都市計画区域マスタープランの進捗状況及び住民説明会での意見内容、南城市での風致地区説明会の開催状況及び面積基準等、雄樋川改良計画の見通し、国道の地方道移管の状況、県道糸満与那原線の国道格上げの可能性、公営住宅の建設計画及び需給見通し、平和の道の予算確保状況及び整備計画、那覇奥武山線及び奥武山米須線の整備状況、不当・違法な公金支出とされる予算の状況、違法ではない人件費や調査に係る支出予定額、埋立免許変更手続に係る時間の見込み、事業継続を決定した判断の基準、事業優先順位決定の手法の是非、泡瀬地区埋立事業

に係る公金支出の地方自治法及び地方財政法違反の認識、経済的合理性を持った土地利用計画を作成する確信と自信の有無、県が土地利用計画の見直しに入った時期、包括外部監査意見に対する県の対応及び認識、旧財団法人郵便貯金住宅等事業協会古島団地の現状認識及び県の対応、中城村熱田地区地すべり対策事業の執行率が悪い理由、中城湾港マリンタウンプロジェクト整備事業の繰越理由、北中城村のアーサへの影響調査実施状況、泡瀬地区埋立工事への公金差しとめ判決への土木建築部長の所見、今回上告しない理由及び事業継続の根拠、公共事業再評価制度、泡瀬地区埋立事業の国、沖縄県及び沖縄市の事業目的、泡瀬地区埋立事業裁判の判決の中身、泡瀬地区埋立事業に関する国、県及び沖縄市の総事業費、沖縄県の復帰後の埋立面積と比率及びその全国比、復帰時と現在の県土面積、そのうち沖縄本島の面積及び今後の計画、平成20年度の県発注工事の件数と金額、そのうち分離分割発注の件数と金額及び比率、分離分割発注による雇用効果、国発注公共工事の地元優先発注の件数及び金額、そのうち分離分割発注の件数と割合、分離分割発注への今後の取り組み方針、那覇市のコンクリート、アスファルト及び建築物などに覆われている面積及び率、道路の雨水浸透槽及び雨水ますの整備状況、沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業の土地分譲の状況、中城湾港マリンタウンプロジェクト西原与那原地区の土地分譲の状況、公金差しとめ請求の判決確定の影響、判決文中での埋立事業再開の根拠、土地利用計画の見直しに関する支出の可否、那覇港及び中城湾港新港地区の港湾行政の中での位置づけ及び役割、那覇港湾のトランシップの目標と現状、那覇港湾整備事業の計画及び実績予算総額、国際航路の現状、9号及び10号バースの平成20年度実績、11号バースを含めた新たなバース建設計画、国場川、安里川河川改修事業の繰り越し要因、土木建築部の執行体制の見直し、建設産業活性化支援事業の相談体制及び事例、平成20年度の県内建設業者の登録及び抹消数、建設業と地域の元気回復事業の内容及び応募業者の取り下げ理由、宜野湾市仮設港の管理状況と開発予定、風景づくり推進事業の内容及び取り組み市町村数及びプロセス、中城湾泡瀬地区埋立工事の中断による契約業者への影響、1審判決後から控訴審決定

までの県の執行額、争いのある公共事業での公金支出の道義的責任、中城湾港新港地区管理組合の設置見通し、中城湾港リサイクルポートの現状と課題、本土業者による保管施設用地での禁止行為問題、泡瀬埋立事業の正式名称の確認—中城湾港泡瀬地区公有水面埋立事業、マスコミ等に対し正式名称での報道依頼の有無、建築業者に対する公正取引委員会の課徴金の総額、県が建設業者に請求している賠償金総額等、土木建築部長の賠償金問題に対する所見、交番機能充実強化事業の内容、交番相談員の選任方法、プライバシーの保護対策及び罰則規定の有無、交番の不在対策、放置駐車車両違約金収入未済額の発生理由、自主防犯ボランティア団体の現状と活性化策、沖縄県飲酒運転根絶条例制定後の取り組み状況と今後の推進方策、ちゅうらちな—安全・安心アカデミーの効果と今後の推進方策、防犯ボランティア団体の活動内容、警察本部長の沖縄に対する所見、カジノに対する警察本部長の所見、国会でのカジノに関する法改正の動き、駐車違反金の収入未済額が年々倍加している要因及び今後の取り組み、駐車違反件数の沖縄県と全国との比較、公安委員会繰越額の内訳、非行少年等の検挙、補導件数が前年度より増加した要因、少年の非行防止対策の取り組み状況、平成20年度の信号機設置要望と実績、交差点事故防止の取り組み状況、沖縄署移転後の跡地利用策等について質疑が行われた。

(8)

◎平成21年10月28日(水曜日)

開 会 午前10時2分  
散 会 午後7時54分  
場 所 第7委員会室  
議 題

1 平成21年第5回議会認定第1号 平成20年度  
沖縄県一般会計決算の認定について

出 席

委 員 長 比 嘉 京 子 さん  
副 委 員 長 前 田 政 明 君  
委 員 吉 元 義 彦 君  
新 垣 良 俊 君  
照 屋 守 之 君

辻 野 ヒロ子 さん  
嶺 井 光 君  
新 垣 哲 司 君  
仲 村 未 央 さん  
崎 山 嗣 幸 君  
新 里 米 吉 君  
渡久地 修 君  
上 原 章 君  
前 島 明 男 君  
新 垣 清 涼 君  
玉 城 満 君  
山 内 末 子 さん

#### 説明員の職、氏名

副 知 事 仲 里 全 輝 君  
教 育 長 金 武 正八郎 君  
総 務 課 長 島 袋 道 男 君  
財 務 課 長 平 敷 昭 人 君  
施 設 課 長 前 原 昌 直 君  
県立学校教育課長 諸見里 明 君  
義務教育課長 上 原 敏 彦 君  
保健体育課長 渡嘉敷 通 之 君  
生涯学習振興課長 石 垣 安 重 君  
文 化 課 長 大 城 慧 君  
全国高校総体  
推 進 課 長 大 城 勇 君

#### 審査概要

教育委員会の決算審査に先立ち、知事が基地問題に関する政府要請のため明日の総括質疑に出席できないことについて理事会を開催し対応を協議した。その結果、執行部に釈明を求めることで意見が一致した。

その後、仲里副知事からこの間の経緯と考え方について説明を受けた。

平成21年第5回議会認定第1号について教育長から決算概要の説明を聴取した後、質疑に入り、学力及び体力と生活習慣との関連に対する教育長の認識、沖縄県における児童・生徒の生活実態調査の実施状況、県内小・中学校における就学援助を受けている児童・生徒数、学校給食費総額に対する未納額の割合、全児童・生徒に占める未納者の割合、子ども手当の未納給食費への充当の可否、給食費未納の主な理由及び構成率、本県児童・生徒の学力の状況及び全国的な位置づけ、その目標設定、学力向上の取り組み及び課題、少人数学級

の導入と学力との関係、今年度からの秋田県との教員交流、子供の学力向上のための教職員組合との連携、特別支援教育理解推進事業の説明と成果、久米島・中部農林・南風原高等学校への特別支援分教室の設置、子どもの生活リズム形成支援事業導入の背景及び家庭の役割との関係、発達障害との関連、留学支援事業の目的と成果、中学生の修学旅行地の九州から台湾への見直し、高度僻地修学旅行費に係る補助の対象、サッカースタジアム整備計画の進捗状況、県立図書館八重山・宮古分館の役割、廃止の理由、直近の蔵書数と貸出冊数、入館者数、廃止反対の地元の声への認識、移動図書館等の継続実施、貴重な郷土資料の保存・充実、県立図書館八重山分館の耐力度調査結果、今後の地元説明会開催予定、知事公約30人学級の拡充、義務教育費国庫負担率の拡充、南部農林高等学校と南部工業高等学校の統合問題、世界空手道大会の継続開催、空手歴史館の建設予定、特別支援学級の設置状況及び充足率、来年の全国高等学校総合体育大会沖縄大会の北部地区での開催競技、開催市町村及び支援状況、大会運営基金の状況、高校生ライトアップ事業の実績と効果、中途退学率の県全体での改善状況、中途退学の原因、子ども生活リズム形成支援事業の継続実施、保護者や関係者の教育研修の必要性に対する教育長の所見、沖縄県立水産高等学校校長と野球部監督との関係、平成20年度県内高校授業料の決算額と未納金の総額、減免をされている生徒数、減免額の総額、高校授業料無償化制度への教育長の評価、教育庁関係の事務負担、父母負担の軽減効果または影響、授業料減免の原資の使い方、沖縄水産高等学校の学校長と野球部監督との関係、全国高校総体準備・開催事業の未執行の理由、特別支援学校の分教室の理念及び目的、久米島・中部農林・南風原3高等学校の特別支援学校分教室の生徒数、教職員数及びカリキュラム、その進捗状況、3高等学校の教職員に対する説明及び協議等の内容、3高等学校の教職員または来年入学対象者の保護者または父母等の意向、現場が準備不足のまま来年4月に実施する理由及び1年先送りできない理由、特別支援教育の一貫性を持った指導・支援体制の確立状況、県立高等学校での部活動の位置づけ及び効果、美咲特別支援学校の幼稚部の継続、定数枠の拡大、小・中・高等学校ごとに老朽化で

改築が必要な学校数、うち現在の沖縄振興計画内で整備する学校数、沖縄振興計画に間に合わなくて沖縄振興計画の後になる学校数、小・中学校、高等学校の沖縄振興計画での補助率、全国の補助率、沖縄振興計画の高率補助が切れた場合の負担増額、小・中学校、高等学校のクーラーの設置状況、小・中学校と高等学校の教員の定数の中で正規とそれ以外の教員の数、国指定重要文化財新垣家の修復状況、高校授業料の減免の現状、授業料滞納による出席停止、高等学校の授業料無償化、美術館の基本理念、沖縄県立現代美術館の基本計画の内容及び反映状況、アトミックサンシャインの中へin沖縄-日本国平和憲法第九条下における戦後美術の問題、天皇メッセージの内容及びその感想、歳入歳出決算概要説明資料の収入未済額12億8200万円余りの中身と要因、財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団の奨学金の延滞状況及び増加要因、支払い猶予や緩和の状況、特別支援学校幼稚部の増設等の問題、全国高等学校総合体育大会の競技会場奥武山運動公園硬式テニスコートの整備状況、新型インフルエンザの影響及び対策、発達障害を含む特別な教育的支援を必要とする児童・生徒数、平成20年度学校給食費未納金額と人数、全生徒に対する率及びその傾向、学校給食費全額公費負担の可否、平成20年度病気休職取得教員の数、教職員のメンタルヘルス対策、メンタルヘルス相談事業の内容及び効果、宜野湾市瑞慶覧地区海軍病院建設予定地の文化財調査結果及び保護予定、建物建設による普天間神宮内洞窟への影響の可能性、全国高等学校総合体育大会の開催ムードの醸成、高校生隻腕ボクサーのボクシング競技参加の検討状況、県内小・中・高等学校におけるPTCAの導入状況、成果及び課題、沖縄の歴史、文化を扱った授業の実施状況、文化財としてのシマクトゥバの継承予定及びその方法、教職員研修の種類及び内容、体罰の定義または解釈、学校公用車の車両保険の内容、教育長の教育に対する哲学またはモットー、平成20年度の教職員の不祥事件数、原因分析及び対策、教育委員会懲戒免職処分公表に関する内規の改定の背景及びその具体的な内容、その後の不祥事への対応状況、留学支援事業の派遣国、留学生派遣事業での派遣人数及び成果、留学事業の成果、高校受験における新型インフルエンザ対策、キャリア教育の推進事業の成

果と課題、キャリアサポーターの選任方法とその役割、今後の展開方向等について質疑が行われた。

(9)

◎平成21年10月29日(木曜日)

開 会 午前10時2分  
散 会 午前10時11分  
場 所 第7委員会室  
議 題

- 1 平成21年第5回議会認定第1号 平成20年度  
沖縄県一般会計決算の認定について
- 2 平成21年第5回議会認定第2号 平成20年度  
沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について
- 3 平成21年第5回議会認定第3号 平成20年度  
沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について
- 4 平成21年第5回議会認定第4号 平成20年度  
沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について
- 5 平成21年第5回議会認定第5号 平成20年度  
沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について
- 6 平成21年第5回議会認定第6号 平成20年度  
沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について
- 7 平成21年第5回議会認定第7号 平成20年度  
沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について
- 8 平成21年第5回議会認定第8号 平成20年度  
沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について
- 9 平成21年第5回議会認定第9号 平成20年度  
沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について
- 10 平成21年第5回議会認定第10号 平成20年度  
沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 11 平成21年第5回議会認定第11号 平成20年度  
沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について
- 12 平成21年第5回議会認定第12号 平成20年度  
沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 13 平成21年第5回議会認定第13号 平成20年度

沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について

- 14 平成21年第5回議会認定第14号 平成20年度  
沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について
- 15 平成21年第5回議会認定第15号 平成20年度  
沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について
- 16 平成21年第5回議会認定第16号 平成20年度  
沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計決算の認定について
- 17 平成21年第5回議会認定第17号 平成20年度  
沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について
- 18 平成21年第5回議会認定第18号 平成20年度  
沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について
- 19 平成21年第5回議会認定第19号 平成20年度  
沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認定について
- 20 平成21年第5回議会認定第20号 平成20年度  
沖縄県中城湾港(泡瀬地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について
- 21 平成21年第5回議会認定第21号 平成20年度  
沖縄県病院事業会計決算の認定について
- 22 平成21年第5回議会認定第22号 平成20年度  
沖縄県水道事業会計決算の認定について
- 23 平成21年第5回議会認定第23号 平成20年度  
沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について

出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	前 田 政 明 君
委 員	吉 元 義 彦 君
	新 垣 良 俊 君
	照 屋 守 之 君
	辻 野 ヒロ子 さん
	嶺 井 光 君
	新 垣 哲 司 君
	仲 村 未 央 さん
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	渡久地 修 君
	上 原 章 君
	前 島 明 男 君
	新 垣 清 涼 君

玉 城 満 君  
山 内 末 子 さん

号、認定第17号及び同認定第20号を採決した結果、別掲のとおり決定した。

**審査概要**

議案の採決に先立ち、平成21年第5回議会認定第1号、同認定第12号、同認定第16号、同認定第17号及び同認定第20号に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、平成21年第5回議会認定第2号から同認定第11号まで、同認定第13号から同認定第15号まで、同認定第18号、同認定第19号及び同認定第21号から同認定第23号までの決算18件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、同認定第1号、同認定第12号、同認定第16

**決算特別委員会決算処理一覧表**

イ 処理(23件)

認定番号	決 算 名	議 決 の 結 果
平成21年第5回議会認定第1号	平成20年度沖縄県一般会計決算の認定について	多 数 認 定
平成21年第5回議会認定第2号	平成20年度沖縄県農業改良資金特別会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
平成21年第5回議会認定第3号	平成20年度沖縄県小規模企業者等設備導入資金特別会計決算の認定について	〃
平成21年第5回議会認定第4号	平成20年度沖縄県中小企業振興資金特別会計決算の認定について	〃
平成21年第5回議会認定第5号	平成20年度沖縄県下地島空港特別会計決算の認定について	〃
平成21年第5回議会認定第6号	平成20年度沖縄県母子寡婦福祉資金特別会計決算の認定について	〃
平成21年第5回議会認定第7号	平成20年度沖縄県下水道事業特別会計決算の認定について	〃
平成21年第5回議会認定第8号	平成20年度沖縄県所有者不明土地管理特別会計決算の認定について	〃
平成21年第5回議会認定第9号	平成20年度沖縄県沿岸漁業改善資金特別会計決算の認定について	〃
平成21年第5回議会認定第10号	平成20年度沖縄県中央卸売市場事業特別会計決算の認定について	〃
平成21年第5回議会認定第11号	平成20年度沖縄県林業改善資金特別会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
平成21年第5回議会認定第12号	平成20年度沖縄県中城湾港(新港地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について	多 数 認 定

認定番号	決 算 名	議決の結果
平成21年 第5回議会 認定第13号	平成20年度沖縄県宜野湾港整備事業特別会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
平成21年 第5回議会 認定第14号	平成20年度沖縄県自由貿易地域特別会計決算の認定について	〃
平成21年 第5回議会 認定第15号	平成20年度沖縄県産業振興基金特別会計決算の認定について	〃
平成21年 第5回議会 認定第16号	平成20年度沖縄県中城湾港(新港地区)整備事業特別会計決算の認定について	多 数 認 定
平成21年 第5回議会 認定第17号	平成20年度沖縄県中城湾港マリン・タウン特別会計決算の認定について	〃
平成21年 第5回議会 認定第18号	平成20年度沖縄県駐車場事業特別会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
平成21年 第5回議会 認定第19号	平成20年度沖縄県公共用地先行取得事業特別会計決算の認定について	〃
平成21年 第5回議会 認定第20号	平成20年度沖縄県中城湾港(泡瀬地区)臨海部土地造成事業特別会計決算の認定について	多 数 認 定
平成21年 第5回議会 認定第21号	平成20年度沖縄県病院事業会計決算の認定について	全 会 一 致 認 定
平成21年 第5回議会 認定第22号	平成20年度沖縄県水道事業会計決算の認定について	〃
平成21年 第5回議会 認定第23号	平成20年度沖縄県工業用水道事業会計決算の認定について	〃

平成21年第6回沖縄県議会(定例会)

# 総務企画委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年11月26日(木曜日)

開 会 午後1時17分  
散 会 午後3時2分  
場 所 第4委員会室  
議 題

- 1 乙第1号議案 沖縄県職員の給与に関する  
条例等の一部を改正する条例(先議)
- 2 乙第2号議案 沖縄県教育長の給与、勤務  
時間その他の勤務条件に関する条例等の一  
部を改正する条例(先議)
- 3 陳情第198号

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	照 屋 守 之 君
	浦 崎 唯 昭 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 義 和 君

欠 席

糸 洲 朝 則 君

説明員の職、氏名

総 務 部 長 兼 島 規 君  
人 事 課 長 當 間 秀 史 君

審査概要

乙第1号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取し、続いて陳情1件について総務部長から説明を聴取した後、質疑に入り、乙第1号議案については、特例措置減額前の給与と比較した今回の人事委員会勧告の妥当性、給与削減の遡及適用と不利益不遡及の原則との関係、九州各県で遡及しない勧告を行った県の有無、今回の給与減額に伴う緩和措置の検討の有無、沖縄県のラスパイレース指数の推移、九州各県で特例措置減額の緩

和措置を行っている県の状況、人事委員会勧告制度の問題点、中期見通し時点と現時点の県の財政状況の違い、職員団体との交渉回数、勧告実施と地方交付税の関係、勧告に基づく給与減による県経済への影響、削減に伴う県経済への影響等について質疑が行われた。

次に、乙第2号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、今回の条例改正によって他の職員等へ及ぼす影響に対する考慮の有無、副知事及び教育長の特例措置による減額の内容等について質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第1号議案については、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案2件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、乙第1号議案に対して社民・護憲ネット所属委員から附帶動議が提出された。

次に、乙第1号議案に対する附帶動議を採決した結果、別掲のとおり決定した。

(2)

◎平成21年12月10日(木曜日)

開 会 午後5時53分  
散 会 午後5時55分  
場 所 第4委員会室  
議 題

- 1 審査日程について

出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	照 屋 守 之 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 義 和 君

欠 席

浦 崎 唯 昭 君  
金 城 勉 君  
糸 洲 朝 則 君

## 審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成21年12月11日(金曜日)

開 会 午前10時3分

散 会 午後3時15分

場 所 第4委員会室

## 議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第3号)
- 2 乙第3号議案 沖縄県職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例
- 3 乙第4号議案 沖縄県職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 4 乙第5号議案 沖縄県議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
- 5 乙第6号議案 沖縄県税条例の一部を改正する条例
- 6 乙第11号議案 県が管理する所有者不明土地に係る増改築許可申立事件の和解について
- 7 乙第13号議案 指定管理者の指定について
- 8 乙第21号議案 当せん金付証券の発売について
- 9 乙第25号議案 沖縄県教育委員会委員の任命について
- 10 陳情平成20年第83号、同第86号、同第87号、同第101号、同第127号、同第190号、同第191号、陳情第58号、第59号、第88号、第110号、第111号、第122号、第128号、第174号及び第198号

## 出 席

委 員 長	當 間 盛 夫 君
副 委 員 長	山 内 末 子 さん
委 員	島 袋 大 君
	吉 元 義 彦 君
	照 屋 守 之 君
	浦 崎 唯 昭 君
	崎 山 嗣 幸 君
	新 里 米 吉 君
	前 田 政 明 君
	金 城 勉 君

新 垣 清 涼 君

玉 城 義 和 君

## 欠 席

糸 洲 朝 則 君

## 説明員の職、氏名

総 務 部 長	兼 島 規 君
総 務 統 括 監	新 垣 光 博 君
人 事 課 長	當 間 秀 史 君
財 政 課 長	小 橋 川 健 二 君
税 務 課 長	下 地 功 君
管 財 課 長	武 内 孝 夫 君
知事公室防災 危機管理課班長	大 濱 靖 君
企 画 部 情報政策課長	松 堂 勇 君
企画部中村課長	山 里 清 君
福 祉 保 健 部 福祉・援護課長	呉 屋 禮 子 君
福祉保健部青少年 ・児童家庭課班長	真 栄 城 守 君
福 祉 保 健 部 医 務 課 班 長	糸 数 公 君
福祉保健部国保・ 健康増進課班長	島 袋 富 美 子 君
農 林 水 産 部 畜 産 課 班 長	池 村 薫 君
農 林 水 産 部 農 地 水 利 課 班 長	棚 原 武 三 君
土 木 建 築 部 道 路 管 理 課 副 参 事	金 城 淳 君
教育庁県立学校教育 課副参事兼班長	黒 島 忠 君
教育庁生涯学習 振 興 課 班 長	屋 良 朝 俊 君
教育庁文化課主幹	盛 本 勲 君

## 審査概要

甲第1号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、生活保護援護費の補正額及びその内訳、生活保護世帯人員の増加見込み、沖縄県青少年の家等の社会教育施設の役割、青少年の家を指定管理する理由、青少年の家の指定管理者が自主企画で事業を行う場合における利用料金無料化の可能性、当該時期における繰越明許費の補正計上理由、全国瞬時警報システム整備事業の内容、今回の補正予算における緊急経済対策事業の内訳、人材育成費の内容、電線類地中化事業の繰越理由、新型インフルエンザ感染症

予防費の内容、妊婦等に対する新型インフルエンザワクチンの安全性と接種費用補助の基準、地方交付税の補正増の理由、中央児童相談所及び一時保護所運営費の補正増の理由、国の補正予算執行停止の法的根拠と県に与える影響内容、青少年の家指定管理に伴う経費節減効果と事業計画書を議会に提出できない理由、個人情報保護と議会審査における情報開示のかかわり、未熟児養育医療事業の内容、県指定文化財に対する補助基準、地上デジタル放送受信者支援基金積み立てと事業実施の関係、定住自立圏等民間投資促進交付金事業の内容等について質疑が行われた。

次に、乙第3号議案から乙第6号議案まで、乙第11号議案、乙第13号議案、乙第21号議案及び乙第25号議案について総務部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第3号議案については、退職手当の全部または一部を支給しないとする処分の対象行為の内容、条例改正を行う背景、沖縄県における該当事例、裁判で無罪になった場合の取り扱い、遺族に退職金返還を命じることの是非、遺族が返還を拒否した場合の取り扱い、退職金の性格等について質疑が行われた。

乙第4号議案については、条例改正の趣旨、知事部局の医師手当を廃止し、病院事業局の医師手当を残す理由、医師手当の額、条例改正に伴う影響の額と人員数、県立病院医師への影響度等について質疑が行われた。

乙第5号議案については、質疑なし。

乙第6号議案については、住民税の控除対象となる寄附金の内容、条例の改正理由、寄附金控除による税の減収に対する国の補てん措置の有無、法人県民税の超過課税の対象事業所及び対象となる県内法人、県外法人の数等について質疑が行われた。

乙11号議案については、当該所有者不明土地に対する課税状況及び無償貸与の有無について質疑が行われた。

乙13号議案については、公文書館の役割、1期目の指定管理者の業務実績に対する評価、指定管理に移行したことによる経費節減効果、指定管理者と地方自治法の兼業禁止規定との関係、指定管理者の募集方法、3期目以降の他の応募者の見込み等について質疑が行われた。

乙第21号議案については、県内における宝くじ

発売額の増額及び沖縄県独自の宝くじ発行の可能性について質疑が行われた。

乙第25号議案については、質疑なし。

次に、陳情16件について総務部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(4)

◎平成21年12月14日(月曜日)

開 会 午前10時2分

散 会 午後1時36分

場 所 第4委員会室

議 題

- 1 甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計補正予算(第3号)
- 2 乙第3号議案 沖縄県職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例
- 3 乙第4号議案 沖縄県職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 4 乙第5号議案 沖縄県議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
- 5 乙第6号議案 沖縄県税条例の一部を改正する条例
- 6 乙第7号議案 沖縄県地上デジタル放送受信者支援基金条例
- 7 乙第11号議案 県が管理する所有者不明土地に係る増改築許可申立事件の和解について
- 8 乙第13号議案 指定管理者の指定について
- 9 乙第21号議案 当せん金付証票の発売について
- 10 乙第25号議案 沖縄県教育委員会委員の任命について
- 11 陳情平成20年第44号から同第49号まで、同第52号、同第54号、同第58号、同第60号、同第65号、同第76号、同第83号、同第85号から同第87号まで、同第91号、同第96号、同第101号、同第108号、同第127号、同第144号、同第150号、同第165号、同第175号、同第190号、同第191号、同第196号、同第200号、陳情第15号、第19号、第38号、第58号、第59号、第66号、第69号、第88号、第91号の2、第100号、第103号、第104号、第110号、第111号、第120号、第122号、第128号、第143号、第144号、

第147号、第156号、第171号、第174号、第175号、第198号、第201号及び第202号

警察本部交通部長 當 銘 健 徳 君

12 閉会中継続審査（調査）について

審査概要

出席

委員長 當 間 盛 夫 君  
副委員長 山 内 末 子 さん  
委員 島 袋 大 君  
吉 元 義 彦 君  
照 屋 守 之 君  
浦 崎 唯 昭 君  
崎 山 嗣 幸 君  
新 里 米 吉 君  
前 田 政 明 君  
金 城 勉 君  
新 垣 清 涼 君  
玉 城 義 和 君

乙第7号議案について企画部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、沖縄県における地上デジタルテレビ放送受信機（地デジ）の普及率及び全国の普及率との比較、沖縄県の地デジ普及率が低い理由、普及率促進のための当該基金活用の有無について質疑が行われた。

次に、陳情32件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情9件について知事公室長から説明を聴取し、陳情1件について企画調整統括監から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について警察本部交通部長から説明を聴取し、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、甲第1号議案及び乙第4号議案については、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案10件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情56件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

欠席

糸 洲 朝 則 君

説明員の職、氏名

知事公室長 上 原 良 幸 君  
基地防災統括監 平 良 宗 秀 君  
基地対策課長 又 吉 進 君  
企画部長 川 上 好 久 君  
企画調整統括監 平 良 敏 昭 君

総務企画委員会議案処理一覧表

イ 処理（12件）

（先議）

議案番号	議 案 名	議 決 の 結 果
乙 第 1 号	沖縄県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	多 数 原 案 可 決
乙 第 2 号	沖縄県教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例等の一部を改正する条例	全 会 一 致 原 案 可 決

議案番号	議 案 名	議 決 の 結 果
甲 第 1 号	平成21年度沖縄県一般会計補正予算（第3号）	多 数 原 案 可 決
乙 第 3 号	沖縄県職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例	全 会 一 致 原 案 可 決
乙 第 4 号	沖縄県職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	多 数 原 案 可 決

議案番号	議案名	議決の結果
乙第5号	沖縄県議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第6号	沖縄県税条例の一部を改正する条例	〃
乙第7号	沖縄県地上デジタル放送受信者支援基金条例	〃
乙第11号	県が管理する所有者不明土地に係る増改築許可申立事件の和解について	全会一致 可決
乙第13号	指定管理者の指定について	〃
乙第21号	当せん金付証券の発売について	〃
乙第25号	沖縄県教育委員会委員の任命について	全会一致 同意

(別紙)

乙第1号議案沖縄県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例に対する附帯決議

- 今回の給与条例等の一部改正が、平成20年3月に県が沖縄県人事委員会の勧告によらずに独自に実施した特例条例による一般職の職員の給与の減額措置とあわせて実施された場合、実際の公民格差が反映されず職員の家計経済に大きな影響を与えることになることから、沖縄県人事委員会の「特例条例による給与の減額措置について、諸情勢が整い次第、早期に解消されることを望むものである」との報告を尊重し、実質的な損失分を補うため、次回の議会において、特例条例による一般職の職員の給与の減額の緩和措置を講じるよう努めること。
- 今後、沖縄県職員労働組合等関係する職員団体と誠意をもって対応すること。

## 総務企画委員会閉会中継続 審査(調査)事件一覧

- |  |   |
|--|---|
| 1 陳情平成20年第44号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | と職員雇用等の確保を求める陳情   |
| 2 陳情平成20年第45号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 8 陳情平成20年第54号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情                |
| 3 陳情平成20年第46号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 9 陳情平成20年第58号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情                |
| 4 陳情平成20年第47号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 10 陳情平成20年第60号 八重山航路の存続を求める陳情                           |
| 5 陳情平成20年第48号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 11 陳情平成20年第65号 「旧軍飛行場問題解決に向けた沖振計特別枠の設置を求める意見書」の採択を求める陳情 |
| 6 陳情平成20年第49号 有村産業株式会社の航路と職員雇用等の確保を求める陳情 | 12 陳情平成20年第76号 那覇市地域再生計画の実態調査及び那覇市に対する措置に関する陳情          |
| 7 陳情平成20年第52号 有村産業株式会社の航路                | 13 陳情平成20年第83号 消費税の増税に反対する陳情                            |
|  | 14 陳情平成20年第85号 先島航路並びに台湾航路存続と雇用確保を求める陳情                 |
|  | 15 陳情平成20年第86号 「消費税増税反対」決議                              |

を求める陳情

- 16 陳情平成20年第87号 「消費税増税反対」決議を求める陳情
- 17 陳情平成20年第91号 那覇バスターミナル機能の維持に関する陳情
- 18 陳情平成20年第96号 軽油価格の高騰により存亡の危機に瀕しているトラック運送業界に関する陳情
- 19 陳情平成20年第101号 燃料価格高騰対策に関する陳情
- 20 陳情平成20年第108号 原油価格高騰対策に関する陳情
- 21 陳情平成20年第127号 原油・食料など生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める陳情
- 22 陳情平成20年第144号 地上警戒管制レーダーの配備中止を求める陳情
- 23 陳情平成20年第150号 航空自衛隊那覇基地へのF15戦闘機配備などの機能強化に反対し、那覇空港の民間専用化を求める意見書の可決を求める陳情
- 24 陳情平成20年第165号 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳情
- 25 陳情平成20年第175号 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情
- 26 陳情平成20年第190号 私学助成に関する意見書の提出を求める陳情
- 27 陳情平成20年第191号 沖縄県の私学助成に関する陳情
- 28 陳情平成20年第196号 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳情
- 29 陳情平成20年第200号 沖縄県行政オンブズマンの職務不履行に関する陳情
- 30 陳情第15号 水産海洋研究センターの喜屋武地域への早期移転整備に関する陳情
- 31 陳情第19号 沖縄県所在旧軍飛行場用地問題解決に関する陳情
- 32 陳情第38号 (仮称) 沖縄県警察運転免許センター隣接地(未公募区画地)への協会用地取得に関する陳情
- 33 陳情第58号 琉球大学の外国語授業削減に関する陳情
- 34 陳情第59号 沖子連事務所の賃貸料免除に関する陳情
- 35 陳情第66号 自衛隊ヘリのキャンプ・ハンセン

内レンジ4使用に関する陳情

- 36 陳情第69号 フェリー、旅客船の存続・港町活性化に関する陳情
- 37 陳情第88号 沖縄県東京宿泊所若夏荘の閉館に関する陳情
- 38 陳情第91号の2 台湾東部と八重山諸島の「観光経済圏」形成推進に向けた課題に関する陳情
- 39 陳情第100号 県道222号線への信号機・横断歩道設置に関する陳情
- 40 陳情第103号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 41 陳情第104号 海運・フェリー・旅客船の航路存続と船員の雇用対策に関する陳情
- 42 陳情第110号 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 43 陳情第111号 私立教育機関に関する陳情
- 44 陳情第120号 先島航路及び台湾航路における貨客船の早期再開を求める陳情
- 45 陳情第122号 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 46 陳情第128号 沖縄県庁舎や市町村庁舎の地震対策や漏水対策に関する陳情
- 47 陳情第143号 水産海洋研究センターの喜屋武地域への早期移転整備に関する陳情
- 48 陳情第144号 旧軍飛行場用地問題解決の継続審議に関する陳情
- 49 陳情第147号 八重山への自衛隊誘致及び配備に反対する陳情
- 50 陳情第156号 沖縄県水産海洋研究センターの本部町への誘致に関する陳情
- 51 陳情第171号 暮らし支える行政サービスの拡充を求める陳情
- 52 陳情第174号 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 53 陳情第175号 改正国籍法に関する陳情
- 54 陳情第198号 沖縄県の給与条例改正に関する陳情
- 55 陳情第201号 永住外国人への地方参政権付与を日本政府に求める意見書を可決しないよう求める陳情
- 56 陳情第202号 レンタカー台数規制のための県条例制定等に関する陳情
- 57 広報、危機管理及び消防防災について(所管事務調査)

- 58 予算及び行財政について（所管事務調査）
- 59 県税及び公有財産について（所管事務調査）
- 60 市町村行財政について（所管事務調査）
- 61 県職員の給与について（所管事務調査）
- 62 学事について（所管事務調査）
- 63 県庁舎について（所管事務調査）
- 64 総合開発及び地域振興について（所管事務調査）
- 65 交通運輸及び通信について（所管事務調査）
- 66 土地利用対策について（所管事務調査）
- 67 警察行政について（所管事務調査）
- 68 自衛隊について（所管事務調査）

（２）

◎平成21年12月10日（木曜日）

開 会 午後 5 時52分

散 会 午後 5 時53分

場 所 第 1 委員会室

議 題

- 1 審査日程について

出 席

委 員 長 玉 城 ノブ子 さん

副 委 員 長 瑞慶覧 功 君

委 員 中 川 京 貴 君

座喜味 一 幸 君

辻 野 ヒロ子 さん

具 志 孝 助 君

仲宗根 悟 君

当 銘 勝 雄 君

渡久地 修 君

前 島 明 男 君

上 里 直 司 君

欠 席

玉 城 満 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

（３）

◎平成21年12月11日（金曜日）

開 会 午前10時 2 分

散 会 午後 5 時 0 分

場 所 第 1 委員会室

議 題

- 1 甲第 2 号議案 平成21年度沖縄県自由貿易地域特別会計補正予算（第 1 号）
- 2 乙第14号議案 指定管理者の指定について
- 3 乙第15号議案 指定管理者の指定について
- 4 乙第16号議案 指定管理者の指定について
- 5 乙第22号議案 県営土地改良事業の執行に伴う負担金の徴収について
- 6 陳情平成20年第80号、同第84号、同第139号、同第158号、同第198号、同第201号、陳情第39号、第48号、第53号、第123号、第129号、第130号、第150号、第174号の 2、第182号、第183号、第191号、第194号、第209号、第211号、第212号及び第214号
- 7 閉会中継続審査（調査）について

## 経済労働委員会 委員会記録

（１）

◎平成21年12月 8 日（火曜日）

開 会 午後 7 時21分

散 会 午後 7 時46分

場 所 第 1 委員会室

議 題

- 1 労働問題について（駐留軍等労働者の給与水準見直しについて）

出 席

委 員 長 玉 城 ノブ子 さん

副 委 員 長 瑞慶覧 功 君

委 員 中 川 京 貴 君

座喜味 一 幸 君

辻 野 ヒロ子 さん

具 志 孝 助 君

仲宗根 悟 君

当 銘 勝 雄 君

渡久地 修 君

前 島 明 男 君

玉 城 満 君

上 里 直 司 君

審査概要

駐留軍等労働者の給与水準見直しについて観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

なお、「駐留軍等労働者の給与水準見直しに関する意見書」を別掲のとおり提出することになった。

## 出席

委員長	玉城	ノブ子	さん
副委員長	瑞慶覧	功	君
委員	中川	京貴	君
	座喜味	一幸	君
	辻野	ヒロ子	さん
	具志	孝助	君
	仲宗根	悟	君
	当銘	勝雄	君
	渡久地	修	君
	前島	明男	君
	玉城	満	君
	上里	直司	君

## 説明員の職、氏名

農林水産部長	比嘉	俊昭	君
農漁村基盤統括監	津波	古喜	正君
村づくり計画課長	知念	武	君
農地水利課長	桃原	喜邦	君
森林緑地課長	長間	孝	君
水産課長	勝俣	亜生	君
観光商工部長	勝目	和夫	君
産業振興統括監	久場	長武	君
新産業振興課長	武村	勲	君
企業立地推進課長	安里	肇	君
企報産業振興課長	米須	清光	君
雇用労政課長	湧川	盛順	君

## 審査概要

甲第2号議案、乙第14号議案から乙第16号議案までについて観光商工部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、甲第2号議案については、債務負担行為限度額の今回と前回との差額及び増減の理由、それによる自由貿易地域入居企業に与える影響の有無、指定管理業務に施設の修繕や補修なども含むのか等について質疑が行われた。

乙第14号議案については、指定管理予定団体の実績評価、農業研究センター、水産海洋研究センターなどの県の試験研究機関、株式会社トロピカルテクノセンター及び沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターの違い、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センターの必要性、これまでの研究成果、入居企業と入居外企業との施設利用方法の違い、今回申請団体が1社しかなかった経緯等について質疑が行われた。

乙第15号議案については、現在の沖縄自由貿易

地域入居企業数、そのうち事業認定を受けている企業数、沖縄振興特別措置法が規定する税制上の優遇措置を受けている企業数、沖縄自由貿易地域管理運営共同企業体の内容、カボタージュ規制の緩和が実施された場合の影響度、自由貿易地域の本来の制度がうまく生かされていない理由等について質疑が行われた。

乙第16号議案については、指定管理者に施設管理だけではなく企業に対する施設入居のPR活動等を行わせることの可否、現時点の沖縄IT津梁パーク施設への企業の入居状況、指定管理者制度運用委員会のあり方、今後の指定管理対象施設の範囲、特別自由貿易地域の分譲率等について質疑が行われた。

次に、陳情7件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、乙第22号議案について農林水産部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、土地改良事業のあり方及び予算執行方法の検証、県営土地改良事業の計画内容、現時点での達成率、他地域の土地改良事業の事例、事業実施に係る申請方法、農家の負担割合、土地改良後の耕作放棄割合等について質疑が行われた。

次に、陳情15件について農林水産部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第16号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案5件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情22件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

## 経済労働委員会議案処理一覧表

イ 処理（5件）

議案番号	議案名	議決の結果
甲第2号	平成21年度沖縄県自由貿易地域特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
乙第14号	指定管理者の指定について	全会一致 可決
乙第15号	指定管理者の指定について	〃
乙第16号	指定管理者の指定について	多数 可決
乙第22号	県営土地改良事業の執行に伴う負担金の徴収について	全会一致 可決

## 経済労働委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情3件）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第150号 （継続）	平成21年 7月21日	「八重山戦争マラリア犠牲者慰霊之碑」敷地内のアカキナノキ原状回復及びキナ展示林の設置に関する陳情	八重山戦争マラリア遺族会 会長 篠原 武夫	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事）
第209号	平成21年 12月3日	駐留軍等労働者の給与水準見直しに関する陳情	全駐留軍労働組合 沖縄地区本部 執行委員長 與那覇 栄蔵	〃	〃
第214号	平成21年 12月4日	駐留軍等労働者の給与水準見直しに関する陳情	沖縄駐留軍労働組合 執行委員長 島仲 正晴	〃	〃

## 経済労働委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- |   |  |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 陳情平成20年第80号 楚洲仲尾線（楚洲支線）開設工事の中止を求める陳情</li> <li>2 陳情平成20年第84号 ヤンバル林道事業の中止を求める陳情</li> <li>3 陳情平成20年第139号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情</li> <li>4 陳情平成20年第158号 沖縄県の森林の整備・林業の振興に関する陳情</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>5 陳情平成20年第198号 伊江島における黒糖工場建設問題に関する陳情</li> <li>6 陳情平成20年第201号 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情</li> <li>7 陳情第39号 県営林道5路線（奥山線、伊楚支線、楚洲仲尾線、伊江I号支線、伊江原支線）の建設中止を求める陳情</li> <li>8 陳情第48号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情</li> <li>9 陳情第53号 ヤンバルの森林・林業の活性化に関する陳情</li> </ol> |
|---|--|

- 10 陳情第123号 伊江島における黒糖工場建設に反対する陳情
- 11 陳情第129号 EMの講習会を開催することに関する陳情
- 12 陳情第130号 EMを基盤に、我が国の国際貢献の最前線基地を沖縄で引き受けることに関する陳情
- 13 陳情第174号の2 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 14 陳情第182号 「美ら海協力金」リーフレットの回収に関する陳情
- 15 陳情第183号 「美ら海協力金」強制徴収に伴う観光被害抑止に関する陳情
- 16 陳情第191号 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 17 陳情第194号 平成21年度中城湾港（新興地区）振興に関する陳情
- 18 陳情第211号 「美ら海協力金」の社会問題化を予防することに関する陳情
- 19 陳情第212号 沖縄県不当陳情処理に関する陳情
- 20 農林水産業について（所管事務調査）
- 21 商・鉱・工業について（所管事務調査）
- 22 労働問題について（所管事務調査）
- 23 国内外の交流について（所管事務調査）

また、本県には、現在、約9000人の駐留軍等労働者がおり、本県就業者数の約1.5パーセントを占めていることから、県経済や雇用の維持・安定に大きな影響を与えることになるものと思われる。

なお、これまで駐留軍等労働者の賃金と労働条件は、雇用主である日本政府と労働組合との労使交渉による合意と同時に、使用者である米国政府と日本政府との協議及び合意により決定及び実施されてきたものであるが、今回、事業仕分けにより給与水準の見直しを行うことになれば、長年積み上げてきた労使交渉やシステム等を無視することになり、憲法第28条及び労働基準法で保障された労働基本権を政府が否定することになりかねないものである。

よって、政府におかれては、憲法等で保障されている労働基本権を否定するような形で駐留軍等労働者の給与水準の引き下げにつながる措置を行わないよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月10日

沖 縄 県 議 会

内 閣 総 理 大 臣	}	あて
外 務 大 臣		
財 務 大 臣		
防 衛 大 臣		
行 政 刷 新 担 当 大 臣		
沖 縄 及 び 北 方 対 策 担 当 大 臣		

## 駐留軍等労働者の給与水準見直しに関する意見書

去る11月26日、政府の行政刷新会議の事業仕分けにおいて、駐留軍等労働者の給与水準を地域別賃金に準じて見直すよう意見がまとめられた。

意見のとおり実施されると、1人当たりの県民所得が全国平均のわずか7割弱しかなく、また最低賃金が全国一低いという極めて厳しい本県の賃金水準に合わせて見直しが行われることになる。

この結果、今回の見直しは、単に駐留軍等労働者の生活に大きな影響を与えるだけではなく、県内労働者の賃金低下への引き金となって地域経済の低迷を招き、ひいては県経済にとって大きな打撃となり、他県との格差がさらに拡大することが懸念されている。

## 文教厚生委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年12月10日（木曜日）

開 会 午後5時51分

散 会 午後6時00分

場 所 第2委員会室

議 題

1 審査日程について

出 席

委 員 長 赤 嶺 昇 君

副 委 員 長 西 銘 純 恵 さん

委 員 桑 江 朝千夫 君

佐喜真 淳 君  
 仲 田 弘 毅 君  
 翁 長 政 俊 君  
 仲 村 未 央 さん  
 渡嘉敷 喜代子 さん  
 上 原 章 君  
 奥 平 一 夫 君  
 比 嘉 京 子 さん

**審査概要**

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年12月11日(金曜日)

開 会 午前10時1分  
 散 会 午後8時40分  
 場 所 第2委員会室  
 議 題

- 1 乙第19号議案 指定管理者の指定について
- 2 乙第20号議案 指定管理者の指定について
- 3 陳情平成20年第50号、同第57号、同第59号、同第63号、同第64号、同第66号、同第67号、同第72号、同第82号、同第90号、同第93号、同第105号、同第107号、同第110号、同第112号、同第125号、同第136号、同第137号、同第142号、同第149号、同第162号、同第175号の2、同第187号、同第189号、同第192号、同第199号、同第201号の2、陳情第33号、第57号、第63号から第65号まで、第88号の2、第94号、第95号、第105号から第107号まで、第110号の2、第112号、第117号、第122号の3、第131号から第133号まで、第137号、第138号、第142号、第145号、第160号、第162号、第170号、第178号、第190号、第191号の2、第192号、第193号、第196号、第197号、第203号から第206号まで、第210号及び第213号
- 4 教育及び学術文化について(教師による体罰問題について)(追加議題)

**出 席**

委 員 長 赤 嶺 昇 君  
 副 委 員 長 西 銘 純 恵 さん  
 委 員 桑 江 朝千夫 君  
 佐喜真 淳 君  
 仲 田 弘 毅 君  
 翁 長 政 俊 君

仲 村 未 央 さん  
 渡嘉敷 喜代子 さん  
 上 原 章 君  
 奥 平 一 夫 君  
 比 嘉 京 子 さん

**説明員の職、氏名**

文化環境部長 知 念 建 次 君  
 平和・男女共同参画課長 瑞慶村 むつみ さん  
 県民生活課副参事 具志堅 ナエ子 さん  
 環境政策課長 安 富 雅 之 君  
 環境整備課長 下 地 岳 芳 君  
 教 育 長 金 武 正八郎 君  
 教育管理統括監 岩 井 健 一 君  
 総 務 課 長 島 袋 道 男 君  
 財 務 課 長 平 敷 昭 人 君  
 施 設 課 長 前 原 昌 直 君  
 福 利 課 長 武 内 正 幸 君  
 県立学校教育課長 諸見里 明 君  
 県立学校教育課特別支援教育監 東風平 朝 淳 君  
 義務教育課長 上 原 敏 彦 君  
 生涯学習振興課長 石 垣 安 重 君  
 補助答弁者  
 警 察 本 部 金 城 久 男 君  
 生 活 安 全 部  
 生 活 安 全 課 長

**審査概要**

乙第19号議案及び乙第20号議案について教育長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第19号議案については、指定管理に伴う経費の縮減の状況、事業内容の低下の有無、施設利用料金の設定と減免措置の状況、施設稼働率の状況等について質疑が行われた。

乙第20号議案については、県立名護青少年の家及び県立糸満青少年の家の同一団体へ指定管理する理由、施設利用者の指定管理導入に対する理解、契約の方法等について質疑が行われた。

次に、教育委員会関係の陳情49件について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、教師による体罰問題について教育長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、文化環境部関係の陳情20件について文化環境部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(3)

◎平成21年12月14日(月曜日)

開 会 午前10時1分

散 会 午後5時28分

場 所 第2委員会室

議 題

- 1 乙第8号議案 沖縄県医療施設耐震化臨時特例基金条例
- 2 乙第19号議案 指定管理者の指定について
- 3 乙第20号議案 指定管理者の指定について
- 4 陳情平成20年第41号、同第43号、同第50号、同第53号、同第57号、同第59号、同第63号、同第64号、同第66号、同第67号、同第72号、同第78号、同第82号、同第90号、同第93号、同第99号、同第105号、同第107号、同第110号、同第112号、同第122号の2、同第125号、同第134号、同第136号、同第137号、同第142号、同第148号、同第149号、同第162号、同第175号の2、同第187号から同第189号まで、同第192号、同第195号、同第199号、同第201号の2、陳情第8号、第9号、第13号、第32号、第33号、第41号、第50号、第52号、第57号、第60号、第61号、第63号から第65号まで、第67号、第68号、第72号、第80号、第84号、第88号の2、第94号、第95号、第99号、第105号から第108号まで、第110号の2、第112号、第113号、第116号、第117号、第122号の3、第131号から第133号まで、第137号から第139号まで、第142号、第145号、第148号、第149号、第153号、第159号、第160号、第162号、第170号、第178号、第189号、第190号、第191号の2、第192号、第193号、第196号、第197号、第200号、第203号から第206号まで、第210号及び第213号
- 5 閉会中継続審査(調査)について
- 6 参考人招致について(追加議題)
- 7 ハンセン病療養所の将来構想実現等に関する意見書の提出について
- 8 改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書の提出について(追加議題)
- 9 核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書及び同決議の提出について(追加議題)

出 席

委 員 長 赤 嶺 昇 君

副 委 員 長	西 銘 純 恵 さん
委 員	桑 江 朝千夫 君
	佐喜真 淳 君
	仲 田 弘 毅 君
	翁 長 政 俊 君
	仲 村 未 央 さん
	渡嘉敷 喜代子 さん
	上 原 章 君
	奥 平 一 夫 君
	比 嘉 京 子 さん

説明員の職、氏名

福祉保健部長	奥 村 啓 子 さん
保健衛生統括監	宮 里 達 也 君
高齢者福祉介護課長	金 城 武 君
青少年・児童家庭課長	新 垣 郁 男 君
障害保健福祉課長	垣 花 芳 枝 さん
医務課長	新 垣 盛 勝 君
医務課副参事	砂 川 靖 君
国保・健康増進課長	上 原 真理子 さん
病院事業局長	知 念 清 君
病院事業統括監	小 川 和 美 君
県立病院課看護企画監	嘉手苺 常 さん

審査概要

乙第8号議案について福祉保健部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、県内における災害拠点病院の指定状況、救命救急センター及び二次救急医療機関の指定状況、補助対象となる病院の箇所数、補助対象施設の選定方法、事業の実施要望の少ない理由、基準病床と現病床の状況等について質疑が行われた。

次に、福祉保健部関係及び病院事業局関係の陳情41件について福祉保健部長及び病院事業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第19号議案及び乙第20号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案3件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情100件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別

掲のとおり決定した。

次に、参考人招致について協議し、決定した。

なお、「ハンセン病療養所の将来構想実現等に関する意見書」、「改正貸金業法の早期完全施行等を

求める意見書」、「核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書」及び「同決議」を別掲のとおり提出することになった。

## 文教厚生委員会議案処理一覧表

イ 処理（3件）

議案番号	議案名	議決の結果
乙第8号	沖縄県医療施設耐震化臨時特例基金条例	全会一致 原案可決
乙第19号	指定管理者の指定について	多数決
乙第20号	指定管理者の指定について	〃

## 文教厚生委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情3件）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第162号	平成21年 9月9日	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める陳情	沖縄県司法書士会 会長 崎間 敏 外1人	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置（知事）
第170号	平成21年 9月24日	核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書及び決議の採択に関する陳情	日本労働組合総連合会 沖縄県連合会（連合沖縄） 会長 仲村 信正	〃	〃
第206号	平成21年 12月1日	株式会社エコテック・オキナワによる産業廃棄物処理施設建設反対に関する陳情	沖縄市東部自治会連絡会 会長 桑江 良哲	〃	〃

## 文教厚生委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- 1 陳情平成20年第41号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
- 2 陳情平成20年第43号 母子家庭等医療費助成の給付方法を償還払いから現物給付へ変更することを求める陳情
- 3 陳情平成20年第50号 沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情
- 4 陳情平成20年第53号 ジストニア治療の健康保

険適用拡大等治療環境の改善に関する意見書の提出を求める陳情

- 5 陳情平成20年第57号 2009年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情
- 6 陳情平成20年第59号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
- 7 陳情平成20年第63号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 8 陳情平成20年第64号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情
- 9 陳情平成20年第66号 沖縄県立図書館八重山分

- 館の存続に関する陳情
- 10 陳情平成20年第67号 沖縄県立図書館八重山分館廃止に反対する陳情
  - 11 陳情平成20年第72号 沖広産業の産業廃棄物安定型最終処分場内におけるクロルデン類等汚染の浄化と、営業許可の更新を認めないことを求める陳情
  - 12 陳情平成20年第78号 子供の医療費助成制度の拡充に関する陳情
  - 13 陳情平成20年第82号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
  - 14 陳情平成20年第90号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
  - 15 陳情平成20年第93号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
  - 16 陳情平成20年第99号 地域医療崩壊阻止のための意見書提出を求める陳情
  - 17 陳情平成20年第105号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
  - 18 陳情平成20年第107号 沖縄県立図書館八重山分館の廃止撤回を求める陳情
  - 19 陳情平成20年第110号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情
  - 20 陳情平成20年第112号 友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情
  - 21 陳情平成20年第122号の2 沖縄県腎臓病患者連絡協議会の活動等に対する支援を求める陳情
  - 22 陳情平成20年第125号 「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情
  - 23 陳情平成20年第134号 認可外保育園支援のための振興対策調整費の使途に関する陳情
  - 24 陳情平成20年第136号 浦添の美しい景観と安心・安全で安らぎのある生活環境を求める陳情
  - 25 陳情平成20年第137号 サングの保護に関する陳情
  - 26 陳情平成20年第142号 天然記念物の伐採に関する陳情
  - 27 陳情平成20年第148号 地域医療・高度多機能な医療の確保に関する陳情
  - 28 陳情平成20年第149号 産業廃棄物処理場の撤去を求める陳情
  - 29 陳情平成20年第162号 「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情
  - 30 陳情平成20年第175号の2 第58回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情
  - 31 陳情平成20年第187号 沖縄美ら海再生に関する陳情
  - 32 陳情平成20年第188号 命の尊厳を踏みにじる「後期高齢者医療制度」の廃止を求める陳情
  - 33 陳情平成20年第189号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
  - 34 陳情平成20年第192号 第60回九州地区地域婦人大会及び平成20年度全地婦連九州ブロック会議の決議に関する陳情
  - 35 陳情平成20年第195号 医療提供体制確保と地域医療を守ることにに関する陳情
  - 36 陳情平成20年第199号 沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情
  - 37 陳情平成20年第201号の2 吉の浦火力発電所電源開発に伴う海域環境調査に関する陳情
  - 38 陳情第8号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
  - 39 陳情第9号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
  - 40 陳情第13号 地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
  - 41 陳情第32号 身体障害者に関する手続等についての陳情
  - 42 陳情第33号 読谷村産業廃棄物安定型最終処分場問題をめぐる行政処分に関する陳情
  - 43 陳情第41号 県立病院の存続を求める陳情
  - 44 陳情第50号 県立病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
  - 45 陳情第52号 地域医療を守り、県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
  - 46 陳情第57号 学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の使用促進に関する陳情
  - 47 陳情第60号 県立八重山病院の地方独立行政法人化に反対する陳情
  - 48 陳情第61号 医療提供体制確保を求める陳情
  - 49 陳情第63号 ヤンバルの森全体の環境調査の実施と沖縄県アセス条例の改正を求める陳情
  - 50 陳情第64号 うるま市宇赤野港原地域への産業廃棄物処理場建設に反対する陳情
  - 51 陳情第65号 沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」として存続を求める陳情

- 52 陳情第67号 地域医療体制の強化を求める陳情
- 53 陳情第68号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 54 陳情第72号 県立宮古病院を初め県立病院の地方独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 55 陳情第80号 県立病院の存続を求める陳情
- 56 陳情第84号 県立八重山病院の独立行政法人化に反対し、地域医療を守り医療提供体制確保を求める陳情
- 57 陳情第88号の2 沖縄学生会館の閉館に関する陳情
- 58 陳情第94号 新学習指導要領理科の実現へ向けての環境整備に関する陳情
- 59 陳情第95号 沖縄学生会館の再建に関する陳情
- 60 陳情第99号 利用者の人権、職員の権利、健康を守るために社会福祉法人「翠泉会」在宅複合型施設羽地苑の運営正常化・健全化を求める陳情
- 61 陳情第105号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情
- 62 陳情第106号 県立高等学校編成整備実施計画に関する陳情
- 63 陳情第107号 「気候保護法(仮称)」の制定を求める陳情
- 64 陳情第108号 細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める陳情
- 65 陳情第110号の2 公私の格差是正と制度等に関する陳情
- 66 陳情第112号 特別支援教育のさらなる推進に関する陳情
- 67 陳情第113号 中部病院を初め県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 68 陳情第116号 介護サービス情報公表制度の見直しに関する陳情
- 69 陳情第117号 沖縄学生会館の再建を求める陳情
- 70 陳情第122号の3 県がワーキングプアをなくす先頭に立ち、非正規等の待遇改善を求める陳情
- 71 陳情第131号 EMで海や川の環境を守ることにに関する陳情
- 72 陳情第132号 環境教育でEMを活用することにに関する陳情
- 73 陳情第133号 沖縄県の学校施設の地震対策や洪水対策に関する陳情
- 74 陳情第137号 沖縄県立美術館の「展示拒否問題」に関する陳情
- 75 陳情第138号 沖縄県立博物館・美術館の大浦信行作品展示拒否事件に関する陳情
- 76 陳情第139号 学童保育の拡充に関する陳情
- 77 陳情第142号 「30人以下学級」完全実現のための陳情
- 78 陳情第145号 県立久米島高等学校園芸科の存続に関する陳情
- 79 陳情第148号 県立中部病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 80 陳情第149号 県民のセーフティネットとしての県立病院を守り沖縄県立北部病院産婦人科の完全再開を求める陳情
- 81 陳情第153号 地域医療を崩壊させる県立病院の独立行政法人化に反対する陳情
- 82 陳情第159号 細菌性髄膜炎を予防するHib(ヘモフィルスインフルエンザ菌b型)ワクチンの公費負担による接種を求める陳情
- 83 陳情第160号 「大浦湾チリビシのアオサング群集」の天然記念物指定に関する陳情
- 84 陳情第178号 次世代育成支援対策後期行動計画策定に対する陳情
- 85 陳情第189号 細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化を早期に求める陳情
- 86 陳情第190号 男女共同参画の活動拠点施設「宜野湾市人材育成交流センターめぶき」の増築等への財政的支援に関する陳情
- 87 陳情第191号の2 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 88 陳情第192号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合計画案に反対し、現行どおり単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 89 陳情第193号 ブラジルに現存する古典的な沖縄三線の鑑定に関する陳情
- 90 陳情第196号 子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情
- 91 陳情第197号 「第61回九州地区地域婦人大会」並びに「平成21年度全地婦連九州ブロック会議」決議に基づく陳情
- 92 陳情第200号 平成21年度軽費老人ホーム事務費補助金削減見直しに関する陳情

- 93 陳情第203号 県立南部農林高等学校と県立南部工業高等学校の再編統合に反対し、単独「農業高校」としての継承、発展、充実を求める陳情
- 94 陳情第204号 「労働安全衛生委員会」の設置を求める陳情
- 95 陳情第205号 幼稚園教育の制度改善に関する陳情
- 96 陳情第210号 子供と向き合うゆとりを学校に取り戻すための陳情
- 97 陳情第213号 県立特別支援高等学校への分教室設置に関する陳情
- 98 消費者保護及び県民生活について（所管事務調査）
- 99 県民文化について（所管事務調査）
- 100 青少年及び交通安全問題について（所管事務調査）
- 101 公害防止及び環境保全について（所管事務調査）
- 102 社会福祉及び社会保障について（所管事務調査）
- 103 医療及び保健衛生について（所管事務調査）
- 104 教育及び学術文化について（所管事務調査）
- 105 平和について（所管事務調査）
- 106 男女共同参画について（所管事務調査）

## ハンセン病療養所の将来構想実現等に関する意見書

ハンセン病については、らい予防法の廃止やハンセン病問題の解決の促進に関する法律の公布・施行等により、国立療養所の入所者やハンセン病罹患経験者に対する偏見や差別の解消、名誉回復、社会参画の道が開かれるようになった。

特に、法律で「患者であった者等の受けた被害の回復」や「差別その他権利の侵害の禁止」、「入所者の生活環境が地域社会から孤立することなく、安心して豊かな生活を営むことができるよう配慮されなければならない」こと等を基本理念として掲げたこと並びに療養所等における療養及び生活の保障や社会復帰の支援、日常生活及び社会生活の援助等を国等の責務として明確に位置づけたことなどは大きな前進であり、高く評価されるものである。

その一方で、去る3月と5月に、名護市と宮古南

静園の明日を考える検討委員会が、国立療養所沖縄愛楽園と同宮古南静園の将来のあり方などに関する将来構想をそれぞれ策定し、国等に要請を行ったことは、国立療養所沖縄愛楽園及び同宮古南静園において、入所者の高齢化が進展していること、入所者数が減少していること、将来的な入所者に対する保健・医療等のサービス低下等が懸念されていること、終生在園の保障が確保されていないこと、退所者への療養所における保険診療による入院利用が措置されていないこと、ハンセン病に対する偏見や差別が存在していること、地域社会との共生が進んでいないことなどの問題点・課題が依然として残されているためである。

よって、国におかれては、法律の周知徹底を図り、ハンセン病に対する偏見や差別を解消するとともに、ハンセン病患者等が安心してハンセン病及びその後遺症、その他関連疾患の治療を受けることができ、豊かな生活を営むことができるよう下記の事項の実現に強力に取り組まれることを要請する。

### 記

- 1 名護市と宮古南静園の明日を考える検討委員会が策定した将来構想を、国立療養所長が策定する療養所の利用に関する指針に反映させるとともに、その将来構想の実現に向けた推進体制を整備すること。
- 2 入所者の終生在園保障を実現するため、両園の医療施設を存続させるとともに、医療技術の整備と看護・介護体制の充実努めること。
- 3 ハンセン病療養所における保険診療による退所者入院制度の整備に取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月18日

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 沖縄及び北方対策担当大臣	}	沖縄県議会     あて
--	---	-----------------------------

## 改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

経済、生活苦での自殺者が年間7000人に達し、自己破産者も18万人を超え、多重債務者が200万人を超えるなどの深刻な多重債務問題を解決するため、平成18年12月に改正貸金業法が成立し、出資法の上限金利の引き下げ、年収入の3分の1を超える過剰貸付契約の禁止（総量規制）などを内容とする同法が完全施行される予定である。

改正貸金業法の成立後、政府は多重債務者対策本部を設置して、①多重債務相談窓口の拡充、②セーフティネット貸し付けの充実、③ヤミ金融の撲滅、④金融経済教育を柱とする多重債務問題改善プログラムを策定し、官民が連携して多重債務対策に取り組んだ結果、多重債務者が大幅に減少し、平成20年の自己破産者数も13万人を下回るなど着実に成果を上げている。

一方、消費者金融の一部では成約率が低下し、借りたい人が借りられなくなるという事態が生じている。また、昨今の経済危機や一部商工ローン業者の倒産などにより、資金調達に制限された中小企業者の倒産が増加しているが、これらを理由として、改正貸金業法の完全施行の延期や貸金業者に対する規制の緩和を求める動きが見られる。

しかしながら、1990年代における山一証券株式会社、株式会社北海道拓殖銀行の破綻などに象徴されるいわゆるバブル崩壊後の経済危機の際に、貸金業者に対する不十分な規制により商工ローンや消費者金融が大幅に貸し付けを延ばし、その結果、1998年には自殺者が3万人を超え、自己破産者も10万人を突破するなど多重債務問題が深刻化するなどの社会問題が惹起された。

このようなことをかんがみた場合、改正貸金業法の完全施行の先延ばしや金利規制などの貸金業者に対する規制緩和は、再び自殺者や自己破産者、多重債務者の急増を招きかねず許されるべきものではない。現在、多重債務者のために必要とされる施策は、相談体制の拡充、セーフティネット貸し付けの充実及びヤミ金融の撲滅などである。

よって、国におかれては、地方消費者行政の充実及び多重債務問題の解決が喫緊の課題であることを踏まえ、下記の施策を早急に講じられるよう強く要

望する。

記

- 1 改正貸金業法を早期に完全施行すること。
- 2 地方自治体における多重債務相談体制を整備するため、相談員の人件費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の充実を支援すること。
- 3 個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸し付けをさらに充実させること。
- 4 ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月18日

沖縄県議会

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
総務大臣  
財務大臣  
厚生労働大臣  
経済産業大臣  
国家公安委員会委員長  
金融担当大臣  
消費者及び食品安全担当大臣  
沖縄及び北方対策担当大臣

あて

## 核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ。この訴えは、唯一の被爆国であり、核兵器廃絶と恒久平和を願う私たち日本国民の心からの叫びである。

とりわけ去る大戦で筆舌に尽くしがたい苦しみと悲しみを味わった沖縄県民は、平和の尊厳並びに人類を破滅に導く核兵器の廃絶を強く求めてきた。

しかしながら、いまだに核兵器は地球上に約2万1000発も存在し、人類は核兵器の恐怖から解放されていない。これは核兵器不拡散条約（NPT）で核兵器国と定められている米国、ロシア、英国、フランス及び中国を初めNPTの非締結国であるインド、パキスタン及びイスラエル、さらには核兵器開発につながるウラン濃縮を行っているイランや核実験を実施した北朝鮮が依然として核を外交カードとして

信奉していることによるものと思われる。

このような中、去る4月、オバマ米国大統領は「核兵器のない世界」を目指すとし、核政策の転換を訴えており、今や核兵器を取り巻く環境は大きく変動しようとしている。

よって、国におかれては、核兵器の廃絶と恒久平和実現のため、被爆65周年となる2010年に開催されるNPT運用検討会議において実効ある核兵器廃絶の合意がなされるよう下記の事項に強力に取り組まれることを強く要請する。

記

1 非核三原則を堅持するとともに、広島市、長崎市を初め国外22カ国、国内33自治体が参加する平和市長会議が2020年までに核兵器の廃絶を目指すとして提唱した「2020ビジョン」を支持し、核兵器廃絶のための国際交渉の速やかな開始などその実現に向けて取り組むこと。

2 非核兵器地帯構想が世界平和の維持に重要な意義を有していることに考慮し、東南アジア非核兵器地帯条約など5地帯で締結がなされている非核兵器地帯条約が世界各地で実現するよう外交努力に努めること。

特に、朝鮮半島と日本を含めた北東アジア非核兵器地帯条約の締結を早急に検討すること。

3 NPTの遵守及び加盟の促進、包括的核実験禁止条約の早期発効、核実験モラトリアムの継続、兵器用核分裂性物質生産禁止条約の交渉開始及び早期妥結に全力で取り組むこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月18日

沖 縄 県 議 会

衆 議 院 議 長 }  
参 議 院 議 長 } あて  
内 閣 総 理 大 臣 }  
外 務 大 臣 }  
沖縄及び北方対策担当大臣 }

### 核兵器の廃絶と恒久平和を求め る決議

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ。この訴えは、唯一の被爆国であ

り、核兵器廃絶と恒久平和を願う私たち日本国民の心からの叫びである。

とりわけ去る大戦で筆舌に尽くしがたい苦しみと悲しみを味わった沖縄県民は、平和の尊さ並びに人類を破滅に導く核兵器の廃絶を強く求めてきた。

しかしながら、いまだに核兵器は地球上に約2万1000発も存在し、人類は核兵器の恐怖から解放されていない。これは核兵器不拡散条約（NPT）で核兵器国と定められている米国、ロシア、英国、フランス及び中国を初めNPTの非締結国であるインド、パキスタン及びイスラエル、さらには核兵器開発につながるウラン濃縮を行っているイランや核実験を実施した北朝鮮が依然として核を外交カードとして信奉していることによるものと思われる。

このような中、去る4月、オバマ米国大統領は「核兵器のない世界」を目指すとし、核政策の転換を訴えており、今や核兵器を取り巻く環境は大きく変動しようとしている。

よって、本県議会は、ここに改めて世界の恒久平和を希求する県民の心を内外に明らかにするため、県民の総意として「世界の非核・平和」を実現するための取り組みを率先して行うことを宣言する。

以上、決議する。

平成21年12月18日

沖 縄 県 議 会

### 土木委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年12月10日(木曜日)

開 会 午後5時52分

散 会 午後6時8分

場 所 第3委員会室

議 題

1 参考人招致について

2 視察調査日程について

3 審査日程について

出 席

委 員 長 當 山 眞 市 君

副 委 員 長 照 屋 大 河 君

委 員 新 垣 良 俊 君

嶺 井 光 君  
池 間 淳 君  
新 垣 哲 司 君  
高 嶺 善 伸 君  
嘉 陽 宗 儀 君  
大 城 一 馬 君  
新 垣 安 弘 君  
吉 田 勝 廣 君

欠 席

平 良 昭 一 君

**審査概要**

参考人招致について協議し、決定した。  
次に、視察調査日程について協議し、決定した。  
次に、審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年12月11日(金曜日)

開 会 午前10時2分  
散 会 午後5時20分  
場 所 第3委員会室  
議 題

1 参考人からの説明聴取について

**出席**

委 員 長 當 山 眞 市 君  
副 委 員 長 照 屋 大 河 君  
委 員 新 垣 良 俊 君  
嶺 井 光 君  
池 間 淳 君  
新 垣 哲 司 君  
高 嶺 善 伸 君  
嘉 陽 宗 儀 君  
大 城 一 馬 君  
平 良 昭 一 君  
新 垣 安 弘 君  
吉 田 勝 廣 君

**説明員の職、氏名**

参 考 人 (陳情第179号)  
有限会社伊礼組 伊 禮 朝 昭 君  
代表取締役 ( )  
補 助 者 ( )  
株式会社丸新 新 里 剛 君  
建設専務取締役 ( )  
補 助 者 ( )  
株式会社前田 前 田 克 也 君  
開発常務取締役

参 考 人 (陳情第199号)  
社団法人沖縄県 照 屋 義 実 君  
建設業協会副会長  
補 助 者 ( )  
社団法人沖縄県 比 嘉 森 廣 君  
建設業協会理事  
補 助 者 ( )  
社団法人沖縄県 比 嘉 啓 文 君  
建設業協会理事  
補 助 者 ( )  
社団法人沖縄県 小 谷 和 幸 君  
建設業協会常務 理事兼事務局長  
補 助 者 ( )  
大 城 榮 君

**審査概要**

陳情第179号及び第199号について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

(3)

◎平成21年12月14日(月曜日)

開 会 午前10時2分  
散 会 午後4時25分  
場 所 第3委員会室  
議 題

- 1 乙第9号議案 沖縄県景観形成条例の一部を改正する条例
- 2 乙第10号議案 工事請負契約について
- 3 乙第12号議案 車両損傷事故に関する和解等について
- 4 乙第17号議案 指定管理者の指定について
- 5 乙第18号議案 指定管理者の指定について
- 6 乙第23号議案 県道の路線の一部廃止について
- 7 乙第24号議案 公共下水道の幹線管渠等の設置に係る事業の執行に伴う負担金の徴収について
- 8 陳情平成20年第68号、同第115号、同第133号、同第138号、同第152号、同第160号、同第183号、同第185号、同第202号の2、陳情第18号、第24号、第35号から第37号まで、第74号の4、第76号、第90号、第109号、第118号、第119号、第134号、第135号、第140号、第157号、第158号、第165号、第166号、第168号、第172号、第174号の3、第179号、第181号、第188号、第191号の3、第194号の2及び第199号

## 9 閉会中継続審査（調査）について

### 出席

委員長	當山眞市君
副委員長	照屋大河君
委員	新垣良俊君
	嶺井光君
	池間淳君
	新垣哲司君
	高嶺善伸君
	嘉陽宗儀君
	大城一馬君
	平良昭一君
	新垣安弘君
	吉田勝廣君

### 説明員の職、氏名

土木建築部長	仲田文昭君
土木企画課長	喜瀬普一郎君
参事兼技術管理課長	比嘉和夫君
道路街路課長	新里末守君
道路管理課長	前泊勇栄君
河川課長	小禄茂徳君
港湾課長	神田豪君
都市計画・モノレール課長	儀間真明君
下水道課長	宮城光秋君
建築指導課長	當銘健一郎君
企業局長	宮城嗣三君

### 審査概要

乙第9号議案、乙第10号議案、乙第12号議案、乙第17号議案、乙第18号議案、乙第23号議案及び乙第24号議案について土木建築部長から提案理由の説明を聴取した後、質疑に入り、乙第9号議案については、景観形成条例の実効性、景観行政団体の数及び景観計画の策定数、市町村に景観計画を策定させる際の目標期限、複数の市町村にまたがる場合の実施方法、都市計画区域と景観地区との関係、景観形成条例と都市マスタープランとの関係等について質疑が行われた。

乙第10号議案については、事業の完成見込み、予定価格、落札率及び入札参加業者数、JVの出資比率と県内業者の参加状況、下地島一般県道の区域決定の時期、乗瀬橋の区域決定の進捗状況、離島市町村における資材単価の設定方法、公共工

事による経済波及効果を高めるための取り組み内容等について質疑が行われた。

乙第12号議案については、グレーチングの管理状況、危険性の認識と事前通報の有無等について質疑が行われた。

乙第17号議案については、指定管理者の応募説明会に参加した業者数、選定の経緯と地元企業育成に係る取り組み内容、配点基準の決定方法、管理運営経費、固定納付金及び剰余納付金の内容、管理運営経費を上下7%の範囲内とした根拠、指定管理者制度運用委員会委員の任期等について質疑が行われた。

乙第18号議案については、選定の経緯及び理由、選定における財政力の考慮の有無等について質疑が行われた。

乙第23号議案については、県道を市町村道に移管する場合の基本的な理由、移管までの経緯、市町村道に移管したい旧道の数と移管計画の有無等について質疑が行われた。

乙第24号議案については、質疑なし。

次に、陳情36件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について企業局長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、議案の採決に先立ち、乙第17号議案及び乙第18号議案に対して、共産党所属委員から反対の意見が表明された。

次に、議案7件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、陳情36件を採決した結果、別掲のとおり決定した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

なお、「県内建設業の安定に関する要請決議」を別掲のとおり提出することになった。

## 土木委員会議案処理一覧表

イ 処理（7件）

議案番号	議案名	議決の結果
乙第9号	沖縄県景観形成条例の一部を改正する条例	全会一致 原案可決
乙第10号	工事請負契約について	全会一致 可決
乙第12号	車両損傷事故に関する和解等について	〃
乙第17号	指定管理者の指定について	多数 可決
乙第18号	指定管理者の指定について	〃
乙第23号	県道の路線の一部廃止について	全会一致 可決
乙第24号	公共下水道の幹線管渠等の設置に係る事業の執行に伴う負担金の徴収について	〃

## 土木委員会陳情処理一覧表

イ 処理（陳情2件）

陳情番号	受理年月日	件名	陳情者名	審査の結果	措置
第179号 （継続）	平成21年 9月30日	Aクラス業者に対する県の損害賠償請求に関する陳情	有限会社 伊礼組 代表取締役 伊禮 朝 昭 外9人	採択	会議規則第90条による地方自治法第125条の措置 (知事)
第199号	平成21年 11月25日	沖縄県が請求する損害賠償額の軽減に関する陳情	社団法人 沖縄県建設 業協会 会長 呉屋 守将	〃	〃

### 土木委員会閉会中継続 審査（調査）事件一覧

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 陳情平成20年第68号 東部海浜開発（泡瀬埋立）事業の中止を求める陳情</li> <li>2 陳情平成20年第115号 港湾区域内の水域占用許可に関する陳情</li> <li>3 陳情平成20年第133号 「住宅供給公社の共益費徴収業務」に関する陳情</li> <li>4 陳情平成20年第138号 古島団地の建てかえに関する陳情</li> <li>5 陳情平成20年第152号 公共工事の不払いに関する</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>る陳情</li> <li>6 陳情平成20年第160号 那覇伊平屋航空路線開設に関する陳情</li> <li>7 陳情平成20年第183号 泡瀬裁判の控訴断念を議決するよう求める陳情</li> <li>8 陳情平成20年第185号 泡瀬干潟埋立事業公金支出差止訴訟判決に対する控訴を断念し泡瀬干潟の保全を求める陳情</li> <li>9 陳情平成20年第202号の2 建設業界の窮状に関する陳情</li> <li>10 陳情第18号 泡瀬干潟裁判の控訴費用及び泡瀬埋立関連の予算の削除に関する陳情</li> </ol> |
|--|--|

- 11 陳情第24号 公共事業の早期発注並びに建設工事入札における最低制限価格の引上げに関する陳情
- 12 陳情第35号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 13 陳情第36号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 14 陳情第37号 東部海浜開発事業の早期完成に関する陳情
- 15 陳情第74号の4 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情
- 16 陳情第76号 県道、与那国島線祖納集落内217号線の拡張に関する陳情
- 17 陳情第90号 「豊崎プロジェクト」に関する陳情
- 18 陳情第109号 公共工事に係る工賃の支払いに関する陳情
- 19 陳情第118号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 20 陳情第119号 安謝川河川改修工事に関する陳情
- 21 陳情第134号 沖縄県の公共の土木建築物でEMを活用することに関する陳情
- 22 陳情第135号 沖縄県の下水処理場（浄化センター）にEMを活用することに関する陳情
- 23 陳情第140号 泡瀬干潟埋立事業の中止の決議を可決することに関する陳情
- 24 陳情第157号 開南交差点に面するポケットパーク設置に関する陳情
- 25 陳情第158号 県道222号線拡幅整備事業（開南バス停付近）の一部変更に関する陳情
- 26 陳情第165号 文書での回答が公務員としての務めであることに関する陳情
- 27 陳情第166号 宅地建物取引業法第36条及び関連法案に関する陳情
- 28 陳情第168号 中城湾港泡瀬地区埋立事業の早期完成と東部海浜開発事業の推進に関する陳情
- 29 陳情第172号 泡瀬干潟埋立中止に向けた取り組みに関する陳情
- 30 陳情第174号の3 「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」等を活用した中小業者支援に関する陳情
- 31 陳情第181号 安謝川河川改修工事に伴う福祉施設運営に支障がないよう求める陳情
- 32 陳情第188号 中城湾港新港地区東埠頭の早期整備促進及び定期船の就航強化促進に関する陳情

- 33 陳情第191号の3 じん肺被災者の早期救済を図る「トンネルじん肺基金」の創設とじん肺やアスベスト被害の根絶を求める陳情
- 34 陳情第194号の2 平成21年度中城湾港(新港地区)振興に関する陳情
- 35 道路、橋梁の整備事業について（所管事務調査）
- 36 港湾の整備事業について（所管事務調査）
- 37 空港の整備事業について（所管事務調査）
- 38 河川、海岸及び砂防の整備事業について（所管事務調査）
- 39 都市計画事業について（所管事務調査）
- 40 上下水道事業について（所管事務調査）
- 41 住宅環境の改善について（所管事務調査）
- 42 都市モノレールの整備事業について（所管事務調査）
- 43 建築関係について（所管事務調査）

## 県内建設業の安定に関する要請 決議

平成18年3月、公正取引委員会が行った排除措置命令及び課徴金納付命令に端を発する県発注工事の談合問題に関し、当該建設業者は、談合の事実を認め、既に課徴金を支払ったところである。

また、県も、当該建設業者に対し、指名停止措置、営業停止処分及び損害賠償金請求等所要の措置を講じたところであるが、当該建設業者から賠償金の免除や減免を求める申し立てが那覇簡易裁判所にあり、現在、調停中である。

申し立てを行った背景として、県内建設業は中小零細企業が多く経営基盤が脆弱であるとともに、近年の公共事業の減少に加え、サブプライムローン問題やリーマンショック等による世界経済の打撃の影響を受け、みずからの努力では回復不可能な瀕死の状態に経営が追い込まれていること、請求を受けた建設業者の中には既に倒産に追い込まれた業者も出ていること、損害賠償金請求がそのまま実施された場合、さらに倒産する建設業者がふえることが見込まれることなどを挙げている。

ところで、本県の経済構造を見ると、県内総生産額に占める建設業生産額が約10%、全産業就業者に占める建設業就業者の割合が約12%となっており、県内建設業は県経済において大きな役割を果たして

いる。

このため、建設業者の倒産が相次ぐと、その影響は従業員や下請企業、関連業者まで波及するだけでなく、失業者の増加、景気停滞など県経済に極めて深刻な事態をもたらすことが懸念される。

よって、県におかれては、県内建設業の安定を図る観点から、現在進められている調停作業が円滑に行われ、県内建設業者の経営状況を十分踏まえた結果となるよう配慮することを強く要請する。

上記のとおり決議する。

平成21年12月18日

沖 縄 県 議 会

沖 縄 県 知 事 あて

## 土木委員会 委員派遣

(1)

### 視察調査の日時

平成21年12月11日 (1日)

### 視察調査の場所

那覇市

### 視察調査事項

河川、海岸及び砂防の整備事業について(安謝川河川改修工事の現況調査(陳情第118号、第119号及び第181号について))

### 参 加 者

委 員 長	當 山 眞 市 君
副 委 員 長	照 屋 大 河 君
委 員	新 垣 良 俊 君
	嶺 井 光 君
	池 間 淳 君
	新 垣 哲 司 君
	嘉 陽 宗 儀 君
	大 城 一 馬 君
	平 良 昭 一 君
	新 垣 安 弘 君
	吉 田 勝 廣 君

## 米軍基地関係特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年11月30日(月曜日)

開 会 午前10時33分

散 会 午後0時14分

場 所 第4委員会室

### 議 題

- 1 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立(米軍人車両によるひき逃げ事件について)

### 出 席

委 員 長	渡 嘉 敷 喜 代 子 さん
副 委 員 長	桑 江 朝 千 夫 君
委 員	中 川 京 貴 君
	吉 元 義 彦 君
	具 志 孝 助 君
	照 屋 大 河 君
	前 田 政 明 君
	上 原 章 君
	新 垣 清 涼 君
	玉 城 満 君
	山 内 末 子 さん
	吉 田 勝 廣 君

### 説明員の職、氏名

基地防災統括監 平 良 宗 秀 君

警察本部交通部長 當 銘 健 徳 君

### 審査概要

米軍人車両によるひき逃げ事件について知事公室基地防災統括監及び警察本部交通部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

なお、「米軍人車両によるひき逃げ事件に関する意見書」及び「同抗議決議」を別掲のとおり提出することになった。

(2)

◎平成21年12月10日(木曜日)

開 会 午後6時10分

散 会 午後6時12分

場 所 第4委員会室

### 議 題

- 1 審査日程について

## 出席

委員長	渡嘉敷 喜代子 さん
副委員長	桑江 朝千夫 君
委員	中川 京貴 君
	吉元 義彦 君
	具志 孝助 君
	照屋 大河 君
	前田 政明 君
	上原 章 君
	新垣 清涼 君
	山内 末子 さん
	吉田 勝廣 君

## 欠席

玉城 満 君

## 審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(3)

◎平成21年12月16日(水曜日)

開会 午前10時5分

散会 午後3時45分

場所 第4委員会室

## 議題

- 1 請願平成20年第1号、陳情平成20年第36号、同第88号、同第89号、同第94号、同第102号、同第167号、同第204号、陳情第42号、第46号、第51号、第79号、第82号、第114号、第125号、第151号、第154号、第161号、第163号、第167号、第169号、第185号から第187号まで、第195号、第207号及び第208号
- 2 閉会中継続審査(調査)について

## 出席

委員長	渡嘉敷 喜代子 さん
副委員長	桑江 朝千夫 君
委員	中川 京貴 君
	吉元 義彦 君
	具志 孝助 君
	照屋 大河 君
	前田 政明 君
	上原 章 君
	新垣 清涼 君
	玉城 満 君
	山内 末子 さん
	吉田 勝廣 君

## 説明員の職、氏名

知事公室長	上原 良幸 君
基地対策課長	又吉 進 君
企画部 企画調整課 跡地対策監	名嘉真 稔 君
文化環境部 環境企画統括監	金城 康政 君
文化環境部 環境保全課長	西浜 完治 君
農林水産部 農漁村基盤統括監	津波古 喜正 君
土木建築部 土木整備統括監	当間 清勝 君
教育庁文化課長	大城 慧 君
警察本部刑事部長	仲宗根 孝 君

## 審査概要

請願1件及び陳情26件について知事公室長、企画部企画調整課跡地対策監、文化環境部環境企画統括監、農林水産部農漁村基盤統括監、土木建築部土木整備統括監、教育庁文化課長及び警察本部刑事部長からそれぞれ説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、請願1件及び陳情26件を採決した。

次に、閉会中継続審査(調査)については、別掲のとおり決定した。

## 米軍基地関係特別委員会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 請願平成20年第1号 新基地建設に関する請願
- 2 陳情平成20年第36号 キャンプ・ハンセン内レンジ3射撃場建設の即時中止を求める陳情
- 3 陳情平成20年第88号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」の決議を求める陳情
- 4 陳情平成20年第89号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業に係るアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情
- 5 陳情平成20年第94号 キャンプ・ハンセン内への訓練用コンテナ搬入に関する陳情
- 6 陳情平成20年第102号 沖縄の米軍基地再編・新基地建設に反対する陳情

- 7 陳情平成20年第167号 第二次返還特措法の制定に関する陳情
- 8 陳情平成20年第204号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業等の中止を求める陳情
- 9 陳情第42号 「在沖米海兵隊のグアム移転に係る協定」に反対し、基地の無条件撤去に向けた日米両政府の協議を要求する意見書の採択を求める陳情
- 10 陳情第46号 「米軍再編協定」(「在沖米海兵隊のグアム移転に関する協定」)に反対する意見書の採択を求める陳情
- 11 陳情第51号 米軍実弾射撃訓練被弾事件に関する陳情
- 12 陳情第79号 ヘリパッド建設反対に関する陳情
- 13 陳情第82号 在沖繩米海兵隊のグアム「移転」に関する協定及び新基地の建設に反対する陳情
- 14 陳情第114号 辺野古新基地建設を押しつける「在沖海兵隊グアム移転協定」に関する陳情
- 15 陳情第125号 「普天間」代替基地建設工事等の中止を求める陳情
- 16 陳情第151号 在沖米軍人の基地内居住義務化と基地内住宅の建設計画の中止を求める陳情
- 17 陳情第154号 日米地位協定にかかわる裁判権放棄の日米密約の公表と破棄を日本政府に求める意見書採択の陳情
- 18 陳情第161号 「高江区周辺域におけるヘリパッド建設中止と計画撤回」を含む4項目の決議を求める陳情
- 19 陳情第163号 米国原子力潜水艦のホワイトビーチ寄港に反対する陳情
- 20 陳情第167号 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に関する陳情
- 21 陳情第169号 「普天間基地の即時閉鎖・辺野古新基地建設反対! 9・18県民集会」決議に関する陳情
- 22 陳情第185号 県当局に「普天間」代替基地建設事業(埋立事業)に係るアセス評価書についても県アセス審査会に審査させることを求める陳情
- 23 陳情第186号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセス評価書作成前の事業者見解の提出・公表と公聴会開催を求める陳情
- 24 陳情第187号 「普天間」代替基地建設事業に係るアセスメントの検証を求める陳情
- 25 陳情第195号 在沖米軍基地の機能強化及び新たな

な基地建設に反対する陳情

- 26 陳情第207号 米国原子力軍艦のホワイト・ビーチ寄港に関する陳情
- 27 陳情第208号 米国原子力潜水艦のホワイト・ビーチ寄港に反対する陳情
- 28 軍使用土地、基地公害、演習、跡地利用計画等米軍基地関係諸問題の調査及び対策の樹立

## 米軍人車両によるひき逃げ事件に関する意見書

去る11月7日、読谷村楚辺の旧米軍読谷補助飛行場の外周道路でひき逃げによる死体が見つかり、県民に大きな衝撃を与えている。

被害者は、早朝の散歩中に被害に遭ったものと見られているが、遺体が路側帯わきの雑木林を二、三メートル入ったところで見つかっており、「ひき逃げの場合、被害者は前後に飛ぶが、横に飛ぶことは考えにくい」ことを考えると、事件発生の場所と遺体発見場所の関係が極めて不自然であり、事件発覚を恐れて遺体を隠した可能性も考えられる状況である。

ところで、容疑者の米兵は、車を運転していたことは認めたものの「人をひいたかどうかはわからない」、「木にぶつかってフロントガラスにひびが入り、車を降りて確認したが何もなかった」と話し、事件との関係を否認しているが、その後の捜査で容疑者が運転していた車両から被害者の血痕や毛髪が検出されると「はねたかもしれない」との認識も示しているとのことである。

その一方で、容疑者は、当初は県警察の任意の事情聴取に応じていたが、13日以降は供述を拒否し14日以降は出頭も拒否しており、捜査が行き詰った状態となっている。

ひき逃げ事件は極めて悪質な事件であり、到底許すことはできないものであるが、ましてや被害者を隠して放置したのであれば看過することはできない重大な事件であることから、日米地位協定で規定する「殺人など凶悪事件」に十分該当する事件として日米両政府は真摯に対処すべきである。

よって、本県議会は、県民の生命、人権及び安全を守る立場から、米兵による今回のひき逃げ事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに措置されるよう強く要請する。

記

- 1 米軍に対し具体的な捜査協力依頼を行い、早急に容疑者の事情聴取が可能になるよう取り計らうこと。
- 2 米軍に対し早急に犯罪通報を行うとともに、起訴前であっても身柄の引き渡しを要求すること。
- 3 米軍人・軍属等の綱紀粛正を徹底的に行うよう求めること。
- 4 被害者の遺族に対する謝罪と完全な補償を早急に行うこと。
- 5 起訴前の容疑者の身柄引渡しを初め日米地位協定の抜本的な見直しを早急に行うとともに、基地の整理・縮小を促進すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月3日

沖 縄 県 議 会

内閣総理大臣 }  
 外務大臣 } あて  
 防衛大臣 }  
 沖縄及び北方対策担当大臣 }

## 米軍人車両によるひき逃げ事件に関する抗議決議

去る11月7日、読谷村楚辺の旧米軍読谷補助飛行場の外周道路でひき逃げによる死体が見つかり、県民に大きな衝撃を与えている。

被害者は、早朝の散歩中に被害に遭ったものと見られているが、遺体が路側帯わきの雑木林を二、三メートル入ったところで見つかっており、「ひき逃げの場合、被害者は前後に飛ぶが、横に飛ぶことは考えにくい」ことを考えると、事件発生の場所と遺体発見場所の関係が極めて不自然であり、事件発覚を恐れて遺体を隠した可能性も考えられる状況である。

ところで、容疑者の米兵は、車を運転していたことは認めたものの「人をひいたかどうかはわからない」、「木にぶつかってフロントガラスにひびが入り、車を降りて確認したが何もなかった」と話し、事件との関係を否認しているが、その後の捜査で容疑者が運転していた車両から被害者の血痕や毛髪が検出されると「はねたかもしれない」との認識も示しているとのことである。

その一方で、容疑者は、当初は県警察の任意の事情聴取に応じていたが、13日以降は供述を拒否し14日以降は出頭も拒否しており、捜査が行き詰った状態となっている。

ひき逃げ事件は極めて悪質な事件であり、到底許すことはできないものであるが、ましてや被害者を隠して放置したのであれば看過することはできない重大な事件であることから、日米地位協定で規定する「殺人など凶悪事件」に十分該当する事件として日米両政府は真摯に対処すべきである。

よって、本県議会は、県民の生命、人権及び安全を守る立場から、米兵による今回のひき逃げ事件に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに措置されるよう強く要求する。

記

- 1 事件の真相を解明するため、県警察等からの捜査協力に真摯に対応するとともに、容疑者の事情聴取に関して米軍で取り組める具体的な方策を直ちに実施すること。
- 2 県警察からの犯罪通報及び身柄引き渡し要求に対しては、真摯に対応し起訴前であっても身柄を引き渡すこと。
- 3 米軍人・軍属等の綱紀粛正を徹底的に行うこと。
- 4 被害者の遺族に対する謝罪と完全な補償を早急に行うこと。
- 5 起訴前の容疑者の身柄引渡しを初め日米地位協定の抜本的な見直しを早急に行うとともに、基地の整理・縮小を促進すること。

上記のとおり決議する。

平成21年12月3日

沖 縄 県 議 会

駐日米国大使 }  
 在日米軍司令官 } あて  
 在日米軍沖縄地域調整官 }  
 在沖米国総領事 }

# 観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年12月10日(木曜日)

開 会 午後6時11分  
散 会 午後6時15分  
場 所 第5委員会室  
議 題

- 1 参考人招致について
- 2 審査日程について

出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	辻 野 ヒロ子 さん
委 員	座喜味 一 幸 君
	新 垣 良 俊 君
	仲宗根 悟 君
	高 嶺 善 伸 君
	玉 城 ノブ子 さん
	新 垣 安 弘 君

欠 席

	新 垣 哲 司 君
	金 城 勉 君
	平 良 昭 一 君

審査概要

参考人招致について協議し、決定した。  
次に、審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年12月16日(水曜日)

開 会 午前10時2分  
散 会 午後3時7分  
場 所 第5委員会室  
議 題

- 1 参考人からの説明聴取について（沖縄観光の現状と課題について）
- 2 陳情第75号、第136号及び第141号
- 3 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（沖縄観光の現状と課題について）
- 4 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の

樹立（新石垣空港整備事業の進捗状況について）

5 閉会中継続審査（調査）について

出 席

委 員 長	比 嘉 京 子 さん
副 委 員 長	辻 野 ヒロ子 さん
委 員	座喜味 一 幸 君
	新 垣 良 俊 君
	新 垣 哲 司 君
	仲宗根 悟 君
	高 嶺 善 伸 君
	玉 城 ノブ子 さん
	金 城 勉 君
	平 良 昭 一 君
	新 垣 安 弘 君

説明員の職、氏名

観光商工部長	勝 目 和 夫 君
参事監兼観光交流統括監	知 念 英 信 君
観光企画課観光まちづくり調整監	村 山 剛 君
観光振興課長	下 地 芳 郎 君
土木建築部長	仲 田 文 昭 君
新石垣空港統括監	新 垣 盛 勇 君
道路街路課長	新 里 末 守 君
空港課班長	嘉手納 良 文 君
新石垣空港課長	栄野川 盛 信 君

参 考 人 (沖縄観光の現状と課題について)  
沖繩観光の未来を  
を考える会会長 新 垣 安 男 君

補 助 者 ( " )

沖繩観光の未来を  
を考える会副会長 白 石 武 博 君

補 助 者 ( " )

沖繩観光の未来を  
を考える会副会長 中 村 聡 君

審査概要

沖縄観光の現状と課題について参考人から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情2件について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、沖縄観光の現状と課題について観光商工部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情1件について土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、新石垣空港整備事業の進捗状況について

土木建築部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情3件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

## 観光振興・新石垣空港 建設促進特別委員会 閉会中継続審査（調査）事件一覧

- 1 陳情第75号 新空港の名称を「八重山空港」とすることに関する陳情
- 2 陳情第136号 EMを新しい観光資源として導入することに関する陳情
- 3 陳情第141号 沖縄県の政策を新しい観光資源として導入することに関する陳情
- 4 観光の振興及び新石垣空港の建設促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

## 沖縄振興・那覇空港 整備促進特別委員会 委員会記録

(1)

◎平成21年12月10日(木曜日)

開 会 午後5時59分

散 会 午後6時2分

場 所 第6委員会室

議 題

- 1 審査日程について

出 席

委 員 長	当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長	島 袋 大 君
委 員	仲 田 弘 毅 君
	仲 村 未 央 さん
	渡久地 修 君
	奥 平 一 夫 君
	赤 嶺 昇 君
	上 里 直 司 君
	玉 城 義 和 君

欠 席

浦 崎 唯 昭 君
池 間 淳 君
糸 洲 朝 則 君

審査概要

審査日程について協議し、決定した。

(2)

◎平成21年12月16日(水曜日)

開 会 午前10時4分

散 会 午後2時10分

場 所 第6委員会室

議 題

- 1 陳情平成20年第193号及び陳情第74号の5
- 2 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（沖縄21世紀ビジョン（仮称）策定の進捗状況について）
- 3 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（沖縄振興計画の総点検の進捗状況について）
- 4 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立（那覇空港国際物流拠点形成の推進について）
- 5 閉会中継続審査（調査）について

出 席

委 員 長	当 銘 勝 雄 君
副 委 員 長	島 袋 大 君
委 員	仲 田 弘 毅 君
	浦 崎 唯 昭 君
	池 間 淳 君
	仲 村 未 央 さん
	渡久地 修 君
	糸 洲 朝 則 君
	奥 平 一 夫 君
	赤 嶺 昇 君
	上 里 直 司 君
	玉 城 義 和 君

出 席

糸 洲 朝 則 君

説明員の職、氏名

企 画 部 長 川 上 好 久 君

## 審査概要

陳情2件について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、沖縄21世紀ビジョン（仮称）策定の進捗状況について、沖縄振興計画の総点検の進捗状況について及び那覇空港国際物流拠点形成の推進について企画部長から説明を聴取した後、質疑が行われた。

次に、陳情2件を採決した。

次に、閉会中継続審査（調査）については、別掲のとおり決定した。

## 沖 縄 振 興 ・ 那 覇 空 港 整 備 促 進 特 別 委 員 会 閉会中継続審査(調査)事件一覧

- 1 陳情平成20年第193号 那覇空港拡張整備計画に関する陳情
- 2 陳情第74号の5 平成21年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」に関する陳情
- 3 新たな沖縄振興計画の策定及び那覇空港の整備促進並びにこれらに関連する諸問題の調査及び対策の樹立

## 議案の会期別委員会別付託・処理内訳

平成21年沖縄県議会委員会別議案処理一覧表（年間）

区 分  委員会別	委員会別付託内訳							合 計	委員会別処理内訳						
	予 算	条 例	議 決 事 件	決 算	意 見 書	決 議	調 査 の 件		可 決	否 決	同 意	承 認	修 正 議 決	審 査 未 了	議 決 不 要
総務企画	3	26(1)	15					44(1)	37(1)		5	2			
経済労働	1	8	7					16	16						
文教厚生	1	17	7					25	24		1				
土木	4	4	15					23	23						
米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別															
沖縄振興・那覇空港整備促進特別															
予算特別	30							30	29			1			
決算特別				23				23				23(23)			
合計	39	55(1)	44	23				161(1)	129(1)		5	26	1		

(注意) カッコ内は内数であり、前年からの継続である。

平成21年第1回沖縄県議会（臨時会）議案処理一覧表

区 分  委員会別	委員会別付託内訳							合 計	委員会別処理内訳						
	予 算	条 例	議 決 事 件	決 算	意 見 書	決 議	調 査 の 件		可 決	否 決	同 意	承 認	修 正 議 決	審 査 未 了	議 決 不 要
総務企画		1(1)						1(1)	1(1)						
経済労働															
文教厚生															
土木															
米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別															
沖縄振興・那覇空港整備促進特別															
予算特別															
決算特別															
合計		1						1	1						

(注意) カッコ内は内数であり、前定例会からの継続である。

平成21年第3回沖縄県議会（定例会）議案処理一覧表

区 分  委員会別	委員会別付託内訳							合 計	委員会別処理内訳						
	予 算	条 例	議 決 事 件	決 算	意 見 書	決 議	調 査 の 件		可 決	否 決	同 意	承 認	修 正 議 決	審 査 未 了	議 決 不 要
総務企画		12	5					17	16		1				
経済労働		6	3					9	9						
文教厚生		8	2					10	10						
土木		2	5					7	7						
米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 沖縄振興・那覇空港整備促進特別															
予算特別 決算特別	30							30	29			1			
合計	30	28	15					73	71	1		1			

（注意）別に、議員提出の意見書4件及び決議3件は委員会付託を省略し可決した。

平成21年第4回沖縄県議会（定例会）議案処理一覧表

区 分  委員会別	委員会別付託内訳							合 計	委員会別処理内訳						
	予 算	条 例	議 決 事 件	決 算	意 見 書	決 議	調 査 の 件		可 決	否 決	同 意	承 認	修 正 議 決	審 査 未 了	議 決 不 要
総務企画	1	2	4					7	3		2	2			
経済労働		1						1	1						
文教厚生	1	2						3	3						
土木	2	1	1					4	4						
米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 沖縄振興・那覇空港整備促進特別															
予算特別 決算特別															
合計	4	6	5					15	11		2	2			

（注意）別に、議員提出の意見書3件及び決議1件は委員会付託を省略し可決した。

平成21年第5回沖縄県議会（定例会）議案処理一覧表

区 分  委員会別	委員会別付託内訳							合 計	委員会別処理内訳						
	予 算	条 例	議 決 事 件	決 算	意 見 書	決 議	調 査 の 件		可 決	否 決	同 意	承 認	修 正 議 決	審 査 未 了	議 決 不 要
総務企画	1	4	2					7	6		1				
経済労働		1						1	1						
文教厚生		6	3					9	8		1				
土木	2		3					5	5						
米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 沖縄振興・那覇空港整備促進特別															
予算特別 決算特別				23				23							23
合計	3	11	8	23				45	20		1	1			23

（注意）別に、議員提出の条例1件及び意見書3件は委員会付託を省略し可決した。

平成21年第6回沖縄県議会（定例会）議案処理一覧表

区 分  委員会別	委員会別付託内訳							合 計	委員会別処理内訳						
	予 算	条 例	議 決 事 件	決 算	意 見 書	決 議	調 査 の 件		可 決	否 決	同 意	承 認	修 正 議 決	審 査 未 了	議 決 不 要
総務企画	1	7	4					12	11		1				
経済労働	1		4					5	5						
文教厚生		1	2					3	3						
土木		1	6					7	7						
米軍基地関係特別 観光振興・新石垣空港建設促進特別 沖縄振興・那覇空港整備促進特別															
予算特別 決算特別				23(23)				23(23)				23(23)			
合計	2	9	16	23				50	26		1	23			

（注意）カッコ内は内数であり、前定例会からの継続である。

別に、議員提出の条例2件及び意見書5件並びに決議3件は委員会付託を省略し可決した。

請願・陳情の会期別委員会別付託・処理内訳

平成21年沖縄県議会委員会別請願・陳情処理一覧表（年間）

区 分  委員会別	請 願								陳 情								
	付託内訳			処理内訳					付託内訳			処理内訳					
	前 年 継 続	今 年 計		採 択	不 採 択	審 査 未 了	継 続 審 査	取 り 下 げ	前 年 継 続	付 託 替 年	今 年 計		採 択	不 採 択	審 査 未 了	継 続 審 査	取 り 下 げ
総務企画									35	1	38	74	12		6	56	
経済労働									10		29	39	20			19	
文教厚生		4	4	4					49		92	141	41		3	97	
土木									12	-1	30	41	7			34	
米軍基地関係特別	1		1				1		8		34	42	16			26	
観光振興・新石垣空港建設促進特別											4	4			1	3	
沖縄振興・那覇空港整備促進特別									1		1	2				2	
合計	1	4	5	4			1		115		228	343	96		10	237	

平成21年第3回沖縄県議会（定例会）請願・陳情処理一覧表

区 分  委員会別	請 願								陳 情								
	付託内訳			処理内訳					付託内訳			処理内訳					
	前 回 継 続	今 回 計		採 択	不 採 択	審 査 未 了	継 続 審 査	取 り 下 げ	前 回 継 続	付 託 替 回	今 回 計		採 択	不 採 択	審 査 未 了	継 続 審 査	取 り 下 げ
総務企画									35		13	48	4		5	39	
経済労働									10		6	16	3			13	
文教厚生		4	4	3			1		49		29	78	7			71	
土木									12		7	19	2			17	
米軍基地関係特別	1		1				1		8		10	18	5			13	
観光振興・新石垣空港建設促進特別																	
沖縄振興・那覇空港整備促進特別									1			1				1	
合計	1	4	5	3			2		115		65	180	21		5	154	

平成21年第4回沖縄県議会（定例会）請願・陳情処理一覧表

区 分  委員会別	請 願							陳 情								
	付託内訳			処理内訳				付託内訳			処理内訳					
	前 回 継 続	今 回	計	採 択	不 採 択	審 査 未 了	継 続 審 査	取 り 下 げ	前 回 継 続	付 託 替 回	今 回	計	採 択	不 採 択	審 査 未 了	継 続 審 査
総務企画									39		14	53	6			47
経済労働									13		10	23	11			12
文教厚生	1		1	1					71		35	106	26		3	77
土木									17		10	27				27
米軍基地関係特別	1		1				1		13		12	25	11			14
観光振興・新石垣空港建設促進特別											3	3				3
沖縄振興・那覇空港整備促進特別									1		1	2				2
合 計	2		2	1			1		154		85	239	54		3	182

平成21年第5回沖縄県議会（定例会）請願・陳情処理一覧表

区 分  委員会別	請 願							陳 情								
	付託内訳			処理内訳				付託内訳			処理内訳					
	前 回 継 続	今 回	計	採 択	不 採 択	審 査 未 了	継 続 審 査	取 り 下 げ	前 回 継 続	付 託 替 回	今 回	計	採 択	不 採 択	審 査 未 了	継 続 審 査
総務企画									47	1	8	56	2		1	53
経済労働									12		7	19	3			16
文教厚生									77		14	91	5			86
土木									27	-1	9	35	3			32
米軍基地関係特別	1		1				1		14		9	23				23
観光振興・新石垣空港建設促進特別									3		1	4				4
沖縄振興・那覇空港整備促進特別									2			2				2
合 計	1		1				1		182		48	230	13		1	216

平成21年第6回沖縄県議会（定例会）請願・陳情処理一覧表

区 分  委員会別	請 願								陳 情								
	付託内訳			処理内訳					付託内訳			処理内訳					
	前 回 継 続	今 回	計	採 択	不 採 択	審 査 未 了	継 続 審 査	取 り 下 げ	前 回 継 続	付 託 替 回	今 回	計	採 択	不 採 択	審 査 未 了	継 続 審 査	取 り 下 げ
総務企画									53		3	56				56	
経済労働									16		6	22	3			19	
文教厚生									86		14	100	3			97	
土木									32		4	36	2			34	
米軍基地関係特別	1		1				1		23		3	26				26	
観光振興・新石垣空港建設促進特別									4			4		1		3	
沖縄振興・那覇空港整備促進特別									2			2				2	
合計	1		1				1		216		30	246	8		1	237	

# 会期別委員会日等一覽

## 会 期 別 委 員 会 日 等 一 覧 表

回	種別	会 期	開会中の委員会(日数)	閉会中の委員会(日数)	委員派遣
平成20年	第4回 例 議 年 会	定 20年 11.28 ～ 12.19		総 企 1.7 1.15 1.20 (3日) 文 厚 1.19 (1日)	総 企 1.15 経 労 1.18 ～ 1.23 文 厚 1.19 観光・新石 1.27 ～ 1.30
平成21年	第3回 例 議 年 会	定 2.10 ～ 3.25	総 企 2.26 3.2 3.17 3.18 (4日) 経 労 2.26 3.2 3.17 (3日) 文 厚 2.26 3.2 3.17 3.18 3.19 (5日) 土 木 2.10 2.26 3.17 (3日) 軍 特 2.26 3.23 (2日) 観光・新石 2.26 3.23 (2日) 沖振・那覇 2.26 3.23 (2日) 予 算 2.26 2.27 3.2 3.5 3.6 3.9 3.10 3.11 3.12 3.13 3.16 3.23 (12日)	総 企 5.19 (1日) 経 労 5.14 6.8 (2日) 文 厚 4.30 6.8 (2日) 土 木 6.8 (1日)	総 企 5.19 経 労 5.14 6.8 文 厚 4.15 4.16 4.17 5.29 6.2 ～ 6.3
平成21年	第4回 例 議 年 会	定 6.16 ～ 7.9	総 企 7.1 7.2 7.3 7.7 (4日) 経 労 6.24 7.1 7.2 (3日) 文 厚 6.22 7.1 7.2 7.3 7.6 (5日) 土 木 7.1 7.2 (2日) 軍 特 7.1 7.7 (2日) 観光・新石 7.1 7.7 (2日) 沖振・那覇 7.1 7.7 (2日)	文 厚 8.24 (1日)	文 厚 8.4 沖振・那覇 7.21 ～ 7.22
平成21年	第5回 例 議 年 会	定 9.18 ～ 10.15	総 企 10.6 10.7 10.8 (3日) 経 労 10.6 10.7 (2日) 文 厚 10.6 10.7 10.8 10.9 (4日) 土 木 10.6 10.7 (2日) 軍 特 10.6 10.13 (2日) 観光・新石 10.6 10.13 (2日) 沖振・那覇 10.6 10.13 (2日) 決 算 10.6 (1日)	文 厚 11.25 (1日) 決 算 10.19 10.20 10.21 10.22 10.23 10.26 10.27 10.28 10.29 (9日)	土 木 11.9 ～ 11.14 軍 特 11.19
平成21年	第6回 例 議 年 会	定 11.26 ～ 12.18	総 企 11.26 12.10 12.11 12.14 (4日) 経 労 12.8 12.10 12.11 (3日) 文 厚 12.10 12.11 12.14 (3日) 土 木 12.10 12.11 12.14 (3日) 軍 特 11.30 12.10 12.16 (3日) 観光・新石 12.10 12.16 (2日) 沖振・那覇 12.10 12.16 (2日)		土 木 12.11

会派別常任・議会運営・特別委員一覽

# 会派別・委員会別委員一覧表

平成21年9月18日現在

◎は委員長 ○は副委員長

会派	定数	自 民 党	社民・護憲初	共 産 党	公明県民会議	社大・結の会	改革の会	民 主 党	無 所 属
委員会		(16人)	(8人)	(5人)	(5人)	(5人)	(4人)	(3人)	(2人)
総務企画	13人	島袋大 吉元義彦 照屋守之 浦崎唯昭	崎山嗣幸 新里米吉	前田政明	金城勉 糸洲朝則	新垣清涼	◎當間盛夫	○山内末子	玉城義和
経済労働	12人	中川京貴 座喜味一幸 辻野ヒロ子 具志孝助	仲宗根悟 当銘勝雄	◎渡久地修 ◎玉城ノブ子	前島明男	○瑞慶覧功	玉城満	上里直司	
文教厚生	11人	桑江朝千夫 佐喜真淳 仲田弘毅 翁長政俊	○仲村未央 渡嘉敷喜代子	○西銘純恵	上原章	奥平一夫 比嘉京子	◎赤嶺昇		
土木	12人	新垣良俊 嶺井光 池間淳 新垣哲司	○照屋大河 高嶺善伸	嘉陽宗儀	◎當山眞市	大城一馬	平良昭一	新垣安弘	吉田勝廣
議会運営	13人	○佐喜真淳 照屋守之 嶺井光 翁長政俊	崎山嗣幸 新里米吉	渡久地修 前田政明	當山眞市 前島明男	大城一馬	當間盛夫	新垣安弘	
関係軍特別地	12人	中川京貴 ○桑江朝千夫 吉元義彦 具志孝助	照屋大河 ◎渡嘉敷喜代子	前田政明	上原章	新垣清涼	玉城満	山内末子	吉田勝廣
空港建設促進特別	11人	座喜味一幸 新垣良俊 ○辻野ヒロ子 新垣哲司	仲宗根悟 高嶺善伸	玉城ノブ子	金城勉	◎比嘉京子	平良昭一	新垣安弘	
空港整備促進特別	12人	○島袋大 仲田弘毅 浦崎唯昭 池間淳	○仲村未央 ◎当銘勝雄	渡久地修	糸洲朝則	奥平一夫	赤嶺昇	上里直司	玉城義和

委員会関係条例・規則等

# 沖縄県議会委員会条例

	昭和47年5月15日	条例第61号
改正	昭和49年3月29日	条例第21号
	昭和51年7月2日	条例第23号
	昭和54年7月30日	条例第26号
	昭和58年3月31日	条例第25号
	昭和59年3月31日	条例第14号
	昭和59年6月28日	条例第18号
	昭和61年4月3日	条例第18号
	平成3年7月12日	条例第17号
	平成4年6月26日	条例第41号
	平成5年9月28日	条例第20号
	平成9年12月26日	条例第36号
	平成11年12月27日	条例第57号
	平成16年12月28日	条例第51号
	平成17年3月4日	条例第1号
	平成18年3月31日	条例第36号
	平成19年3月30日	条例第29号

## (常任委員会の設置)

**第1条** 議会に常任委員会を置く。

## (常任委員会の名称、委員定数及び所管)

**第2条** 常任委員会の名称、委員の定数及び所管は、次のとおりとする。

- (1) 総務企画委員会 13人  
知事公室、総務部、企画部、出納事務局、公安委員会、選挙管理委員会、人事委員会及び監査委員に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項
- (2) 経済労働委員会 12人  
農林水産部、観光商工部、労働委員会、海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会に関する事項
- (3) 文教厚生委員会 11人  
文化環境部、福祉保健部、病院事業局及び教育委員会に関する事項
- (4) 土木委員会 12人  
土木建築部、企業局及び収用委員会に関する事項

## (議会運営委員会の設置)

**第2条の2** 議会に議会運営委員会を置く。

2 議会運営委員会の委員の定数は、13人とする。

## (特別委員会の設置)

**第3条** 特別委員会は、必要がある場合において議会の議決で置く。

2 特別委員会の委員の定数は、議会の議決で決める。

## (委員の各派割当選任)

**第4条** 常任委員、議会運営委員及び特別委員（以下「委員」という。）は、各派の所属議員数の比率により、各派に割り当てて選任する。ただし、議会運営委員及び特別委員の選任については特別の事情があるときは、各派の所属議員数の比率による割当てをしないことができる。

2 前項の規定により委員が選任された後、各派の所属議員数に異動があつたため、委員の各派割当数を変更する必要があるときは、その任期にかかわらず、議長は、議会の議決を経て委員を変更することができる。ただし、閉会中においては、議長が変更することができる。

3 前項ただし書の規定により委員を変更したときは、議長は、その旨を次の議会に報告しなければならない。

## (委員の選任方法)

**第5条** 委員は、議長が会議にはかつて指名する。ただし、閉会中においては、議長が指名することができる。

2 議長は、常任委員の申出があるときは、会議にはかつて当該委員の委員会の所属を変更することができる。ただし、閉会中においては、議長が変更することができる。

3 第1項ただし書の規定により委員を指名したとき及び前項ただし書の規定により委員の所属を変更したときは、議長は、その旨を次の議会に報告しなければならない。

## (委員長及び副委員長)

**第6条** 常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会（以下「委員会」という。）に委員長及び副委員長1人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員会において互選する。

3 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。

## (委員長及び副委員長がともにないときの互選)

**第7条** 委員長及び副委員長がともにないときは、議長が委員会の招集日時及び場所を定めて、委員長の互選を行なわせる。

2 前項の互選に関する職務は、年長の委員が行なう。

## (委員長の議事整理、秩序保持権)

**第8条** 委員長は、委員会の議事を整理し、秩序を保持する。

(委員長の職務代行)

**第9条** 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長が委員長の職務を行なう。

2 委員長及び副委員長とともに事故があるときは、年長の委員が委員長の職務を行なう。

(委員長、副委員長の辞任)

**第10条** 委員長及び副委員長が辞任しようとするときは、委員会の許可を得なければならない。

(議会運営委員及び特別委員の辞任)

**第11条** 議会運営委員及び特別委員が辞任しようとするときは、議会の許可を得なければならない。ただし、閉会中においては、議長が許可することができる。

2 前項ただし書の規定により議会運営委員及び特別委員の辞任を許可したときは、議長は、その旨を次の議会に報告しなければならない。

(招集)

**第12条** 委員会は、委員長が招集する。

2 委員の定数の半数以上の者から審査又は調査すべき事件を示して招集の請求があつたときは、委員長は、委員会を招集しなければならない。

(定足数)

**第13条** 委員会は、委員の定数の半数以上の委員が出席しなければ会議を開くことができない。ただし、第15条(委員長及び委員の除斥)の規定による除斥のため半数に達しないときは、この限りでない。

(表決)

**第14条** 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

2 前項の場合においては、委員長は、委員として議決に加わることができない。

(委員長及び委員の除斥)

**第15条** 委員長及び委員は、自己若しくは父母、祖父母、配偶者、子孫若しくは兄弟姉妹の一身上に関する事件又は自己若しくはこれらの者の従事する業務に直接の利害関係のある事件については、その議事に参与することができない。ただし、委員会の同意があつたときは、会議に出席し、発言することができる。

(傍聴の取扱)

**第16条** 委員会は、議員のほか、委員長の許可を得た者が傍聴することができる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、傍聴人の退場を命ずることができる。

(秘密会)

**第17条** 委員会は、その議決で秘密会とすることができる。

(出席説明の要求)

**第18条** 委員会は、審査又は調査のため、知事、教育委員会の委員長、選挙管理委員会の委員長、人事委員会の委員長、公安委員会の委員長、労働委員会の委員及び監査委員その他法律に基づく委員会の代表者又は委員並びにその委任又は囑託を受けた者に対し、説明のため出席を求めようとするときは、議長を経てしなければならない。

(議事妨害及び離席の禁止)

**第19条** 何人も、会議中は、みだりに発言し、騒ぎ、その他議事の妨害となる言動をしてはならない。

2 委員は、会議中みだりに離席してはならない。

(秩序保持に関する措置)

**第20条** 委員会において地方自治法(昭和22年法律第67号)、会議規則又はこの条例に違反し、その他委員会の秩序を乱す委員があるときは、委員長は、これを制止し、又は発言を取り消させることができる。

2 委員が前項の規定による命令に従わないときは、委員長は、当日の委員会が終るまで発言を禁止し、又は退場させることができる。

3 委員長は、委員会が騒然として整理することが困難であると認めるときは、委員会を閉じ、又は中止することができる。

(公聴会開催の手続)

**第21条** 委員会が公聴会を開こうとするときは、議長の承認を得なければならない。

2 議長は、前項の承認をしたときは、その日時、場所及び意見を聞こうとする案件その他必要な事項を公示する。

(意見を述べようとする者の申出)

**第22条** 公聴会に出席して意見を述べようとする者は、文書であらかじめその理由及び案件に対する賛否を、その委員会に申し出なければならない。

(公述人の決定)

**第23条** 公聴会において意見を聞こうとする利害関係者及び学識経験者等(以下「公述人」という。)は、前条の規定によりあらかじめ申し出た者及びその他の者の中から、委員会において定め、議長を経て、本人にその旨を通知する。

- 2 あらかじめ申し出た者の中に、その案件に対して、賛成者及び反対者があるときは、一方にかたよらないように公述人を選ばなければならない。

(公述人の発言)

第24条 公述人が発言しようとするときは、委員長の許可を得なければならない。

- 2 前項の発言は、その意見を聞こうとする案件の範囲をこえてはならない。

- 3 公述人の発言がその範囲をこえ、又は公述人に不穏当な言動があるときは、委員長は、発言を制止し、又は退席させることができる。

(委員と公述人の質疑)

第25条 委員は、公述人に対し質疑をすることができる。

- 2 公述人は、委員に対し質疑をすることができない。

(代理人又は文書による意見の陳述)

第26条 公述人は、代理人に意見を述べさせ、又は文書で意見を提示することができない。ただし、委員会が特に許可した場合は、この限りでない。

(参考人)

第26条の2 委員会が、参考人の出席を求めるには、議長を経なければならない。

- 2 前項の場合において、議長は、参考人にその日時、場所及び意見を聞こうとする案件その他必要な事項を通知しなければならない。

- 3 参考人については、第24条（公述人の発言）、第25条（委員と公述人の質疑）及び第26条（代理人又は文書による意見の陳述）の規定を準用する。

(記録)

第27条 委員長は、職員をして会議の概要、出席委員の氏名等必要な事項を記載した記録を作成させ、これに署名又は押印しなければならない。

- 2 前項の記録は、議長が保管する。

(会議規則との関係)

第28条 この条例に定めるもののほか、委員会に関しては、会議規則の定めるところによる。

附 則

- 1 この条例は、昭和47年5月15日から施行する。
- 2 沖縄の復帰に伴う特別措置に関する法律（昭和46年法律第129号）第5条の規定に基づき、議会の議員が選挙され、かつ就任するまでは、第2条の規定の適用については、同条中「11人」とあるのは、「8人」と読み替えるものとする。

附 則（昭和49年3月29日条例第21号）

- 1 この条例は、沖縄県部設置条例の一部を改正する条例（昭和48年沖縄県条例第74号）の施行の日（昭和49年4月1日）から施行する。

- 2 この条例施行の際、現に次の表の左欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員は、それぞれ同表右欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員に選任されたものとみなす。

総務委員会	企画総務委員会
経済労働委員会	経済労働渉外委員会
文教厚生委員会	文教厚生委員会

- 3 この条例施行の際、現に改正前の沖縄県議会委員会条例（以下「委員会条例」という。）第2条第1号、第2号及び第3号に規定する常任委員会で審査又は調整中の事件は、この条例による改正後の委員会条例第2条第1号、第2号及び第3号の規定により当該事件を所管することになる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

附 則（昭和51年7月2日条例第23号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和54年7月30日条例第26号）

- 1 この条例は、沖縄県部設置条例の一部を改正する条例（昭和54年沖縄県条例第25号）の施行の日から施行する。

- 2 この条例施行の際、現に次の表の左欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員は、同表右欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員に選任されたものとみなす。

経済労働渉外委員会	経済労働委員会
-----------	---------

- 3 この条例施行の際、現に改正前の沖縄県議会委員会条例（以下「委員会条例」という。）第2条に規定する常任委員会で審査又は調査中の事件は、この条例による改正後の委員会条例第2条の規定により当該事件を所管することになる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

附 則（昭和58年3月31日条例第25号）

- 1 この条例は、沖縄県部設置条例の一部を改正する条例（昭和58年沖縄県条例第11号）の施行の日から施行する。

- 2 この条例施行の際、現に次の表の左欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員は、それぞれ同表右欄に掲げる常任委員会の委員長、副委員長及び委員に選任されたものとみなす。

企画総務委員会	総務企画委員会
---------	---------

- 3 この条例施行の際、現に改正前の沖縄県議会委員会条例（以下「委員会条例」という。）第2条に規定する常任委員会で審査又は調査中の事件は、この条例による改正後の委員会条例第2条の規定により当該事件を所管することになる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

附 則（昭和59年3月31日条例第14号）

この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則（昭和59年6月28日条例第18号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（昭和61年4月3日条例第18号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成3年7月12日条例第17号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成4年6月26日条例第41号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成5年9月28日条例第20号）

この条例は、平成5年10月1日から施行する。

附 則（平成9年12月26日条例第36号）

- 1 この条例は、沖縄県部設置条例の一部を改正する条例（平成9年沖縄県条例第31号）の施行の日から施行する。

- 2 この条例の施行の際、現に改正前の沖縄県議会委員会条例（以下「委員会条例」という。）第2条に規定する常任委員会で審査又は調査中の事件は、この条例による改正後の委員会条例第2条の規定により当該事件を所管することとなる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

附 則（平成11年12月27日条例第57号）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

附 則（平成16年12月28日条例第51号）

この条例は、平成17年1月1日から施行する。

附 則（平成17年3月4日条例第1号）

- 1 この条例は、沖縄県部設置条例の一部を改正する条例（平成16年沖縄県条例第35号）の施行の日から施行する。

- 2 この条例の施行の際、現に改正前の沖縄県議会委

員会条例（以下「委員会条例」という。）第2条に規定する常任委員会で審査又は調査中の事件は、この条例による改正後の委員会条例第2条の規定により当該事件を所管することとなる常任委員会にそれぞれ付議されたものとみなす。

附 則（平成18年3月31日条例第36号）

この条例は、沖縄県病院事業の地方公営企業法の全部適用に伴う関係条例の整備に関する条例（平成18年沖縄県条例第22号）の施行の日〔平成18年4月1日〕から施行する。

附 則（平成19年3月30日条例第29号）

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

## 沖縄県議会会議規則

昭和47年5月15日 議会規則第1号  
改正 平成3年5月24日 議会規則第1号  
平成3年7月12日 議会規則第2号  
平成14年5月22日 議会規則第1号  
平成19年3月30日 議会規則第1号  
平成20年9月18日 議会規則第1号  
注 委員会に係る部分を抄録

### 第8章 委員会

#### (議長への通知)

第72条 委員会を招集しようとするときは、委員長は、開会の日時、場所、事件等をあらかじめ議長に通知しなければならない。

#### (会議中の委員会の禁止)

第73条 委員会は、議会の会議中は、開くことができない。

#### (委員の発言)

第74条 委員は、議題について自由に質疑し、及び意見を述べることができる。ただし、委員会において別に発言の方法を決めたときは、この限りでない。

#### (委員外議員の発言)

第75条 委員会は、審査又は調査中の事件について、必要があると認めるときは、委員でない議員に対しその出席を求めて説明又は意見を聞くことができる。委員でない議員から発言の申出があつたときも、また同様とする。

#### (委員の議案修正)

第76条 委員は、修正案を発議しようとするときは、その案をあらかじめ委員長に提出しなければならない。

#### (分科会又は小委員会)

第77条 委員会は、審査又は調査のため必要があるときは、分科会又は小委員会を設けることができる。

#### (連合審査会)

第78条 委員会は、審査又は調査のため必要があるときは、他の委員会と協議して連合審査会を開くことができる。

#### (証人出頭又は記録提出要求)

第79条 委員会は、法第100条の規定による調査を委託された場合において、証人の出頭又は記録の提出を求めようとするときは、議長に申し出なければな

らない。

#### (所管事務等の調査)

第80条 常任委員会は、その所管に属する事務について調査しようとするときは、その事項、目的、方法及び期間等をあらかじめ議長に通知しなければならない。

2 議会運営委員会が、法第109条の2第4項に規定する調査をしようとするときは、前項の規定を準用する。

#### (委員の派遣)

第81条 委員会は、審査又は調査のため委員を派遣しようとするときは、その日時、場所、目的及び経費等を記載した派遣承認要求書を議長に提出し、あらかじめ承認を得なければならない。

#### (閉会中の継続審査)

第82条 委員会が閉会中もなお審査又は調査を継続する必要があると認めるときは、その理由を付け、委員長から議長に申し出なければならない。

#### (少数意見の留保)

第83条 委員は、委員会において少数で廃棄された意見で他に出席委員1人以上の賛成があるものは、これを少数意見として留保することができる。

2 前項の規定により少数意見を留保した者がその意見を議会に報告しようとする場合においては、簡明な少数意見報告書を作り、委員会の報告書が提出されるまでに、委員長を経て議長に提出しなければならない。

#### (委員会報告書)

第84条 委員会は、事件の審査又は調査を終わつたときは、報告書を作り、議長に提出しなければならない。

# 沖縄県議会傍聴規則

昭和47年5月15日 議会規則第2号  
改正 昭和63年7月5日 議会規則第1号  
平成4年9月29日 議会規則第1号  
平成19年3月30日 議会規則第2号

## (この規則の目的)

**第1条** この規則は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第130条第3項の規定に基づき会議の傍聴に関し必要な事項を定めることを目的とする。

## (傍聴席の区分)

**第2条** 傍聴席は、一般席、特別席、車椅子席及び報道関係者席に分ける。

2 特別席は、公賓、沖縄県議会議員の職にあつた者の礼遇に関する規程（昭和57年沖縄県議会告示第1号）第2条の規定により礼遇を受ける者その他議長が特に必要と認める者の傍聴の用に供する。

## (傍聴人の定員)

**第3条** 一般席の傍聴人の定員は、155人とする。ただし、特に必要がある場合は、議長において増員することができる。

## (傍聴券等の交付)

**第4条** 会議を傍聴しようとする者は、傍聴券又は傍聴証の交付を受けなければならない。

## (傍聴券)

**第5条** 傍聴券は、一般傍聴券及び紹介傍聴券とする。

2 一般傍聴券は、会議当日議会事務局所定の場所で先着順により交付する。

3 紹介傍聴券は、議長において特に必要があると認めた場合に、議長又は議員を経て交付し、その数は、その都度議長が定める。

4 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴券に記載された日に限り傍聴することができる。

## (傍聴券への記入)

**第6条** 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴券に住所及び氏名を記入しなければならない。

## (傍聴証)

**第7条** 傍聴証は、報道関係者及び沖縄県職員で議長において必要があると認める者に交付する。

2 傍聴証の交付を受けた者は、その会期を通じて傍聴することができる。

## (傍聴人の入場)

**第8条** 傍聴人が入場しようとするときは、指定の入口で傍聴券又は傍聴証を係員に提示しなければならない。

## (傍聴券等の提示)

**第9条** 傍聴人は、係員から要求を受けたときは、傍聴券又は傍聴証を提示しなければならない。

## (傍聴券等の返還)

**第10条** 傍聴券の交付を受けた者は、傍聴を終え退場しようとするときは、これを返還しなければならない。

2 傍聴証の交付を受けた者は、その会期が終わつたときは、これを返還しなければならない。

## (傍聴人の制限)

**第11条** 議長において取締上必要があると認めたときは、傍聴人の数を制限することができる。

## (議場への入場禁止)

**第12条** 傍聴人は、議場に入ることはできない。

## (傍聴席に入ることができない者)

**第13条** 次の各号の一に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 銃器、棒、杖その他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれのある物を携帯している者
- (2) 張り紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼり、たれ幕、かさの類を携帯している者
- (3) はち巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は携帯している者
- (4) ラジオ、拡声器、無線機、マイク、録音機、写真機、映写機の類を携帯している者。ただし、第15条ただし書の規定により、撮影又は録音することにつき議長の許可を得た者を除く。
- (5) 笛、ラッパ、太鼓その他の楽器の類を携帯している者
- (6) 下駄、木製サンダルの類をはいている者
- (7) 酒気を帯びていると認められる者
- (8) 異様な服装をしている者
- (9) その他議事を妨害することを疑うに足る顕著な事情が認められる者

2 議長は、必要と認めたときは、傍聴人に対し、係員をして、前項第1号から第5号までに規定する物品を携帯しているか否かを質問させることができる。

3 議長は、前項の質問を受けた者がこれに応じないときは、その者の入場を禁止することができる。

4 児童及び乳幼児は、傍聴席に入ることができない。ただし、議長の許可を得た場合は、この限りでない。

**(傍聴人の守るべき事項)**

**第14条** 傍聴人は、傍聴席にあるときは、静粛を旨とし、次の事項を守らなければならない。

- (1) 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 談論し、放歌し、高笑し、その他騒ぎ立てないこと。
- (3) はち巻、腕章、たすき、リボン、ゼッケン、ヘルメットの類を着用し、又は張り紙、旗、たれ幕の類を掲げる等示威的行為をしないこと。
- (4) 帽子、外とう、えり巻の類を着用しないこと。  
ただし、病気その他の理由により議長の許可を得た場合は、この限りでない。
- (5) 飲食又は喫煙をしないこと。
- (6) みだりに席を離れないこと。
- (7) 不体裁な行為又は他人に迷惑となる行為をしないこと。
- (8) その他議場の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしないこと。

**(写真、映画等の撮影及び録音等の禁止)**

**第15条** 傍聴人は、傍聴席において写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、特に議長の許可を得た場合は、この限りでない。

**(係員の指示)**

**第16条** 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

**(違反に対する措置)**

**第17条** 傍聴人がこの規則に違反するときは、議長は、これを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

**附 則**

この規則は、昭和47年5月15日から施行する。

**附 則** (昭和63年7月5日議会規則第1号)

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則** (平成4年9月29日議会規則第1号)

この規則は、公布の日から施行する。

**附 則** (平成19年3月30日議会規則第2号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

# 沖縄県議会委員会記録の作成及び 閲覧等に関する要綱

昭和49年9月13日 議長決裁  
昭和59年5月19日 改正  
平成12年1月17日 全部改正  
平成14年4月22日 一部改正  
平成16年4月15日 一部改正  
平成17年5月27日 一部改正  
平成20年1月25日 一部改正

## (目的)

**第1条** この要綱は、沖縄県議会委員会条例（昭和47年条例第61号）第27条第1項に規定する委員会記録の作成及び閲覧等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

## (作成)

**第2条** 委員会記録は、議事課及び政務調査課の作成担当者が作成する。

## (作成方法)

**第3条** 委員会記録は、所定の書式に招集年月日、開閉時刻、場所、議題、委員の出欠、説明員の職・氏名、議案の提案理由の説明、議案・陳情等に対する質疑等に対する審査の経過及び結果並びにその他協議事項等の必要事項を記載して作成する。

- 2 委員会記録の所定の書式等は、別に定める。
- 3 委員会記録は、逐語筆記により作成する。ただし、協議事項等についてはこの限りでない。

## (録音)

**第4条** 議事課及び政務調査課の担当者は、委員会記録を作成するため、委員会の議事を録音する。

## (保管)

**第5条** 委員会記録は、議長の命により担当課長が保管する。

- 2 秘密会の記録は、その他の記録と分離して作成し、密封の上、議事課長が保管する。

## (貸し出しの禁止)

**第6条** 委員会記録は、貸し出さないものとする。

## (閲覧等)

**第7条** 委員会記録は、議員及び関係部局の職員以外は、別に定める沖縄県議会委員会記録閲覧要綱に基づき閲覧させるものとする。ただし、沖縄県情報公開条例（平成13年条例第37号。以下「情報公開条例」という。）の不開示情報に該当すると認められる記

録が含まれている場合は、当該記録の部分は閲覧に供さないものとする。

- 2 情報公開条例に基づき県民等から委員会記録の開示請求があった場合は、情報公開条例の規定により処理するものとし、委員会記録の公開マニュアルは別に定める。

- 3 秘密会の記録は、開示しないものとする。

## (配布)

**第8条** 委員会記録は、配布しないものとする。ただし、予算及び決算特別委員会記録については、印刷して配布することができるものとする。

## (作成期間)

**第9条** 委員会記録は、次の定例会までに作成する。ただし、閉会中の委員会記録については、速やかに作成する。

## 附 則

この要綱は、昭和49年9月13日から適用する。

この要綱は、平成12年1月17日から適用する。

この要綱は、平成14年4月22日から施行し、平成14年第1回県議会の委員会記録の作成から適用する。

この要綱は、平成16年4月15日から適用する。

この要綱は、平成17年5月27日から適用する。

この要綱は、平成20年1月25日から適用する。

## 委員会録音テープ取り扱い要綱

昭和49年5月13日 議長決裁  
平成12年1月17日 全部改正  
平成14年4月22日 一部改正  
平成16年4月15日 一部改正  
平成17年5月27日 一部改正

### (目的)

**第1条** この要綱は、常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会（以下「委員会」という。）における録音テープの取り扱いに関し、必要な事項を定めることを目的とする。

### (保管及び消去)

**第2条** 議事課または政務調査課の担当者（以下「録音担当者」という。）は、録音終了後、録音テープに会議の年月日、委員会の名称、開閉時間、その他必要事項を表示して、委員会記録作成担当者に引き継ぐものとする。

**2** 委員会記録作成担当者は、委員会記録作成後は秘密会の議事に係る録音テープを除き、当該録音内容を消去する。ただし、特に担当課長が必要と認めたものは、保管できるものとする。

**3** 秘密会の議事に係る録音テープは、その他の議事と分離して録音し、録音担当者において密封の上、担当課長が保管する。

### (貸し出し禁止)

**第3条** 録音テープは、貸し出さないものとする。

### (再生)

**第4条** 録音テープの再生は当該課内において行い、議員及び関係部局の職員以外は認めないものとする。

**2** 秘密会の議事に係る録音テープは、再生させないものとする。

### (移録の禁止)

**第5条** 録音テープから他のテープに録音することは、認めないものとする。

### 附 則

この要綱は、昭和49年5月13日から適用する。

この要綱は、平成12年1月17日から適用する。

この要綱は、平成14年4月1日から適用する。

この要綱は、平成16年4月15日から適用する。

この要綱は、平成17年5月27日から適用する。

## 議事についての各種成立要件一覧

(注) 「法」は地方自治法、「例」は沖縄県議会委員会条例、「則」は沖縄県議会会議規則を表す。

件 名	根 拠 法 規	成 立 数	本 県 の 場 合 の 最 低 数	備 考
1 臨時会招集の請求	法 101③	議員定数の4分の1以上	12	
2 開議の請求	法 114①	議員定数の半数以上	24	
3 閉議又は会議中止の異議の申出	114②	1人以上		
4 委員会招集の請求	例 12②	委員定数の半数以上		
5 団体の意思決定に関する議案(予算案を除く。)の提出	法 112②	議員定数の12分の1以上	4	
6 上記5以外の議案の提出	則 14	1人以上の賛成		
7 団体の意思決定に関する議案(条例案、予算案等)に対する修正動議の提出	法 115の2	議員定数の12分の1以上	4	
8 懲罰動機の提出	法 135②	議員定数の8分の1以上	6	
9 上記7及び8以外の動議の提出	則 16、17	1人以上の賛成		
10 会議の定足数	法 113	議員定数の半数以上	24	
11 委員会の定足数	例 13	委員定数の半数以上		
12 秘密会を開く発議	法 115①	議長又は議員3人以上		
13 投票表決の要求	則 65①	出席議員の8分の1以上		
14 委員会における少数意見の留保	則 83①	出席委員1人以上の賛成		
15 投票開票の立会人	則 31①②	議員2人以上		議長指名
16 会議録署名議員	法 123② 則 114	議長及び議員2人		議長指名
17 委員会の秘密会	例 17	委員会の議決		

## 特 別 多 数 議 決 一 覧

(注)「法」は地方自治法、「教」は地方教育行政の組織及び運営に関する法律、「特」は地方公共団体の議会の解散に関する特例法を示す。

事 項	根 拠 法 規	成 立 数	備 考
1 地方公共団体の事務所の位置の設定又は変更に関する条例の制定又は改廃の議決	法 4③	出席議員の3分の2以上の同意	
2 直接請求に基づく副知事、選挙管理委員、監査委員、公安委員会委員及び教育委員会委員の解職の議決	法 87① 教 8②	出席議員の4分の3以上の同意	在職議員の3分の2以上の出席
3 秘密会開催の議決	法 115①	出席議員の3分の2以上の賛成	議長又は議員3人以上の発議
4 議員の資格決定	法 127①	出席議員の3分の2以上の賛成	
5 議員の除名の議決	法 135③	出席議員の4分の3以上の同意	在職議員の3分の2以上の出席
6 知事の一般的拒否権により再議に付された議決の同一議決の確定	法 176③	出席議員の3分の2以上の同意	在職議員の3分の2以上の出席
7 知事に対する不信任の議決	法 178③	出席議員の4分の3以上の同意	在職議員の3分の2以上の出席
8 議会解散後初めて招集された議会において再び行う知事の不信任の議決	法 178③	出席議員の過半数の同意	在職議員の3分の2以上の出席
9 重要な公の施設のうち特に重要なものについて、これを廃止し、又は長期かつ独占的利用をさせる許可の議決	法 244の2②	出席議員の3分の2以上の同意	
10 地方公共団体の議会の自主的解散の議決	特 2②	出席議員の5分の4以上の同意	在職議員の4分の3以上の出席

## 議長、委員会、議員の職務権限

### (1) 議長

事 項	根 拠 法 規	摘 要
1 議場の秩序保持権	地方自治法104	
(1) 議場の秩序を乱す議員に対する制止、発言取消、発言禁止又は議場外退去等を命ずる権限	129①	
(2) 議場が騒然として整理することが困難であると認めるときは、その日の会議を閉じ又は中止する権限	129②	
(3) 傍聴人の会議妨害に対し、これを制止し、又は傍聴人を退場させ、若しくは警察官に引き渡す権限	130①・②	
(4) 傍聴人取締規則制定権	130③	
2 議事整理権	104	
3 議会事務の統理権	104	
4 議会の代表権	104	
5 委員会への出席発言権	105	
6 出席催告権	113	ただし書き
7 議員からの請求がある場合の、その日の会議を開く権限	114①	議員定数の半数以上の者の請求
8 秘密会発議権	115①	ただし書き
9 可否同数の場合の裁決権	116①	過半数議決の場合、表決権なし 116②
10 長等に対する議場出席請求権	121	
11 会議録の調製及び署名	123①・②	
12 正当な理由がなく欠席した議員に対する懲罰発議権	137	
13 閉会中における副議長、議員の辞職許可権	108、126	108、126ただし書き
14 議決した条例及び予算を知事に送付すること	16① 219①	議決をした日から3日以内
15 会議の結果を知事に報告すること	123④	
16 事務局長、書記、その他の職員の任免	138⑤	
17 議会に関する事務を事務局長に命ずること	138⑦	
18 議会において知事の不信任を議決したとき、知事にその旨を通知すること	178①	在職議員数の3分の2以上が出席し、その4分の3以上の同意178③
19 解散後初めて招集された議会で再び不信任の議決をしたとき、その旨を通知すること	178②	在職議員数の3分の2以上が出席し、その過半数の同意 178③
20 議員に欠員を生じた場合又は長の退職の申立てがあった場合、選挙管理委員会に通知すること	公職選挙法111① (3) (4)	欠員を生じた日又は申立ての日から5日以内

(2) 委員会

事 項	根 拠 法 規	摘 要
1 常任委員会 (1) その部門に属する当該普通地方公共団体の事務に関する調査 (2) 議案、陳情等の審査 (3) 公聴会開催による関係者等からの意見聴取 (4) 参考人の出頭を求めての意見聴取 (5) 議会から付議された特定の事件についての閉会中の審査	地方自治法 109④  109④ 109⑤ 109⑥ 109⑨	
2 特別委員会 (1) 議会から付議された事件の会期中における審査 (2) 議会から付議された特定の事件についての閉会中の審査 (3) 公聴会開催による関係者等からの意見聴取 (4) 参考人の出頭を求めての意見の聴取	110④ 110④ 110⑤ (109⑤) 110⑤ (109⑥)	ただし書き

(3) 議員

事 項	根 拠 法 規	摘 要
1 知事に対し臨時会の招集を請求すること	地方自治法 101③	議員定数の4分の1以上の請求
2 議会の議決すべき事件（団体意思決定）につき、議案（予算を除く。）を提出すること	112①・②	議員定数の12分の1以上の賛成
3 議長に対し開議の請求をすること	114①	議員定数の半数以上の請求
4 会議を閉じ又は中止することに異議を申し立てること	114②	
5 秘密会を開く発議	115① 委員会条例 17	本会議は、議員3人以上の発議で、出席議員の3分の2以上の議決
6 議案に対する修正動議の提出	地方自治法 115の2 会議規則 17	議員定数の12分の1以上の発議（団体意思決定）
7 表決権	地方自治法 116	議長は過半数議決の場合、表決権を有しない

事 項	根 拠 法 規	摘 要
8 除斥該当事件について、議会の同意を得て会議に出席し、発言すること	地方自治法 117	
9 議会で行う選挙の効力に関する異議、これに対する決定に不服がある場合の審査の申立て及びその裁決に不服があるときの出訴	118①・⑤	
10 指名推薦に対する異議	118②	
11 議員の被選挙権の有無又は地方自治法第92条の2（兼業の禁止）の規定に該当するかどうかについて会議に出席して弁明すること、その決定に不服がある場合の審査の申立て及びその裁決に不服があるときの出訴	127③・④ (118⑤)	
12 会議録に署名すること	123②	議長及び議員 2人以上
13 請願を紹介すること	124	
14 議場の秩序保持について議長の注意を喚起すること	131	
15 会議又は委員会で侮辱を受けた議員が議会に訴えて処分を求めること	133	
16 懲罰動議の提出	135②	議員定数の8分の1以上の発議（除名については、在職議員の3分の2以上が出席し、その4分の3以上の同意 135③)

---

# 委 員 会 報

平成23年 1 月

編 集 沖 縄 県 議 会 事 務 局 政 務 調 査 課  
電 話 ( 0 9 8 ) 8 6 6 - 2 5 7 6  
発 行 ・ 印 刷 沖 縄 県 議 会 事 務 局  
那 覇 市 泉 崎 1 - 2 - 3

---